Hyakuzo



建築金物 総合カタログ

Vol.2210

CONTENTS
(総合目次)

1. 仕口金物(筋かい)
クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ ---- 09
クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ ---- 10
2倍コンパクトボックス K-4 ---- 11

2. 仕口金物(柱頭・柱脚)
ツライチくん ---- 12
チビクリ CK ---- 13
チビクリ(床合板30mm対応) CKG30 ---- 13
クリコーナーⅢ+ KCNⅢ+ ---- 14
クリビスプレート KBPL ---- 15
クリビスプレートⅡ(壁合板9mm対応) KBPLⅡG9 ---- 16
チビクリⅡ CKⅡ ---- 17
チビクリⅡ(床合板30mm対応) CKⅡG30 ---- 18
クリ10(デン)スリムコーナーⅢ K10SⅢ ---- 19
クリ10(デン)スリムコーナーⅢ(床合板30mm対応) K10SⅢG30 ---- 20
クリ15コーナー K15 ---- 21
クリ15コーナー(床合板30mm対応) K15G30 ---- 22
クリ20コーナー K20 ---- 23
クリ20コーナー(床合板30mm対応) K20G30 ---- 24

3. 仕口金物(枠材用)
チビクリⅡ(枠材30mm対応) CKⅡW30 ---- 25
クリ10(デン)スリムコーナーⅢ(枠材30mm対応) K10SⅢW30 ---- 26
クリ15コーナー(枠材30mm対応) K15W30 ---- 27
クリ20コーナー(枠材30mm対応) K20W30 ---- 28
クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材30mm対応) KHDⅢ-15・20・25W30 ---- 29
クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材45mm対応) KHDⅢ-15・20・25W45 ---- 30
クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材45×60mm対応) KHDⅢ-15・20・25W45×60 ---- 31
クリホールダウンⅢ30・35(枠材45mm対応) KHDⅢ-30・35W45 ---- 32
クリホールダウンⅢ30・35(枠材45×60mm対応) KHDⅢ-30・35W45×60 ---- 33
クリホールダウンⅢ40(枠材30mm対応) KHDⅢ-40W30 ---- 34

4. 仕口金物(ホールダウン)
クリホールダウンⅢ15・20・25 KHDⅢ-15・20・25 ---- 35
クリホールダウンⅢ30・35 KHDⅢ-30・35 ---- 36
クリホールダウンⅢ40 KHDⅢ-40 ---- 37
クリ高耐力ホールダウン68 KHD-68 ---- 38
MKパイプホールダウン MK-PHD15-105/15-120/30-105/30-120 ---- 39~40

5. 仕口金物(羽子板)
棟梁羽子板Ⅱ M12 ---- 41
万能羽子板Ⅱ M12 ---- 42
ビス止め棟梁羽子板Ⅱ M12 ---- 43
ビス止め万能羽子板Ⅱ M12 ---- 44
棟梁羽子板 M12 ---- 45
万能羽子板 M12 ---- 46
棟梁羽子板Ⅲ M12 ---- 47

6.補強金物(短ざく・火打)
クリビス止め火打金物Ⅱ KHBⅡ ---- 48
クリ10(デン)プレート K10PL ---- 49
クリ10(デン)プレート(数枚使い) K10PL ---- 50
クリ10(デン)短ざく金物 KS10-300 ---- 51
クリ10(デン)短ざく金物(2枚使い) KS10-300 ---- 52

7. 梁受け金物(梁・大引き・根太)
クリ梁受け金物 KH 105/90/45 ---- 53
アゴ付梁受け・大引き受け金物 ---- 54
クリ大引き受け金物 KO 105 ---- 55
クリ大引き受け金物 KO 120 ---- 56

8. 垂木止め金物
クリ垂木止め金物 KT ---- 57
タルキックⅡ ---- 58

9. 基礎金物(アンカー・基礎パッキン・鋼製束・柱受)
KDHアンカーボルト KDH・M16 ---- 59
クリ高耐力アンカーボルト KAH・M16 ---- 60
クリアンカーボルト KA・M16/M12 ---- 61
クリクランクアンカーボルト KZAC・M16/M12 ---- 62
クランクアンカーボルト ZAC-R ---- 63
グリッパー ---- 64
クリ15kN柱受 寸胴型 ---- 65
柱受 寸胴型・カップ型(ボルトタイプ) ---- 66
柱受 カップ型(釘タイプ) ---- 67
クリジャッキ KJU ---- 68
YR束 ---- 69
リレベル・防虫グリル ---- 70
キソパッキンロング・気密パッキンロング ---- 71

10. 接合金物(ボルト・座金)
めり込み防止座金 PW12 ---- 72
クリSW付角・丸座金 KW4.5×40/KW4.5×φ45 ---- 73
タイトニック(耐震座金) ---- 74
クリカッターⅡ KCⅡ ---- 75
クリカッター KC ---- 76
あと施工クリホールダウン座金 KW19×70×104 ---- 77
座金付ボルト(偏芯タイプ) M16W ---- 78
クリ高耐力座金 KW16×95×122 ---- 79
クリ高耐力座金(偏芯タイプ) KW16×95×120 ---- 80
クリ高耐力両ねじボルト KRH・M16 ---- 81
フラットボルト FBC-M12/FB-M12 ---- 82

11. 2×4用接合金物
2×4クリホールダウンⅢ15・20(2材) 2×4KHDⅢ-15・20-2 ---- 83
2×4クリホールダウンⅢ25・30(2材) 2×4KHDⅢ-25・30-2 ---- 84
2×4クリホールダウンⅢ15・20・25(3材) 2×4KHDⅢ-15・20・25-3 ---- 85
2×4クリホールダウンⅢ30・35(3材) 2×4KHDⅢ-30・35-3 ---- 86
あおり止め金物 KTS ---- 87
根太受け金物 KJH ---- 88
2×4チビクリⅡ 2×4CKⅡ ---- 89

12. 断熱材受け金物
クリクリップ KP ---- 90

13. ブレース
コボット ---- 91

14. 化粧金物
化粧金物 ---- 92

15. 副資材
透湿・防水シート ---- 93
遮熱・透湿・防水シート ---- 93
床合板養生シート ---- 93
防水気密テープ ---- 94
防水水切りシート ---- 94
ルーフスペーサー ---- 94

16. 付属部品(ビス・ビット・ナット)
クリ皿ビス 5.5×45 ---- 95
クリ平頭ビス 5×45 ---- 95

クリ平頭ビス 5×75 ---- 95
クリ平頭ビス 5×120 ---- 95
クリスパイラルビス 7×65 ---- 95
クリ鍋ビス 7×90(S50) ---- 95
クリ鍋ビス 7×120 ---- 96
クリ六角頭ビス 7×90 ---- 96
クリ六角頭ビス 7×120 ---- 96
コーチスクリュー 6×65 ---- 96
四角ビット ＃3×80 ---- 96
六角ソケット 8mm ---- 97
クリカッター M12専用ビット ---- 97
クリカッター M16専用ビット ---- 97
パクトナット NS-M12b・NS-M16b ---- 97
高ナット M12×50・M16×50 ---- 97
オリジナル金物ビス一覧表 ---- 98～102
引張力を土台に定着させる座金の仕様 ---- 103

17. Zマーク表示金物

ホールダウン金物 HD-B ---- 105
ホールダウン金物 HD-N ---- 105
ホールダウン金物 S-HD ---- 106
アンカーボルト M16 ---- 106
両ねじボルト M16 ---- 107
座金付きボルト M16W ---- 107
めり込み防止座金 PW12 ---- 108
短ざく金物 S ---- 108
ひら金物 SM ---- 109
かね折り金物 SA ---- 109
ひねり金物 ST ---- 110
くら金物 SS ---- 110
四角穴付きタッピンねじ STS6.5・F ---- 111
羽子板ボルト SB ---- 111
火打金物 HB ---- 112
アンカーボルト M12 ---- 112
かど金物 CP ---- 113
山形プレート VP ---- 113
筋かいプレート BP ---- 114
筋かいプレート BP-2 ---- 114
太めくぎ ZN ---- 115
スクリューくぎ ZS ---- 115
六角ボルト M12 ---- 115
六角ボルト M16 ---- 115
角根平頭ボルト M12 ---- 115
平くぎ ZF ---- 115
角座金 W ---- 116
小型角座金 W2.3×30 ---- 116
丸座金 RW ---- 116
かすがい C ---- 116
手違いかすがい CC ---- 116

18. Cマーク表示金物

柱脚金物 PB ---- 117
柱頭金物 PC ---- 117～118
帯金物 S ---- 118
ストラップアンカー SA ---- 118
あおり止め金物 TS/TW ---- 118
根太受け金物 JH-S/JH/JHS ---- 119
梁受け金物 BH/BHS ---- 120
パイプガード PG ---- 121
シージングクリップ SC ---- 121
まぐさ受け金物 LH ---- 121

19. 各種金物

デッキコネクター ---- 123
囲い金具 ---- 124
雪止め金物 ---- 125
金属屋根構法の特長 ---- 126
メッキ短ざく金物/メッキ箱金金物 ---- 127
東羽子板ボルト/兼用羽子板 ---- 127
土木特殊金物 ---- 127

20. 仕様図・データ

クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ ---- 129
クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ ---- 130
2倍コンパクトボックス K-4 ---- 131
クリコーナーⅢ$^{+}$ KCNⅢ$^{+}$ ---- 132
クリビスプレート KBPL ---- 133
クリビスプレートⅡ(壁合板9mm対応) KBPLⅡG9 ---- 134
チビクリⅡ CKⅡ ---- 135～136
クリ10(デン)スリムコーナーⅢ K10SⅢ ---- 137～138
クリ15コーナー K15 ---- 139～140
クリ20コーナー K20 ---- 141～142
チビクリ CK ---- 143
クリホールダウンⅢ15・20・25 KHDⅢ-15・20・25 ---- 144
クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材対応) KHDⅢ-15・20・25W ---- 144
クリホールダウンⅢ30・35 KHDⅢ-30・35 ---- 145
クリホールダウンⅢ30・35(枠材45mm対応) KHDⅢ-30・35W45 ---- 145
クリホールダウンⅢ40 KHDⅢ-40 ---- 146
クリホールダウンⅢ40(枠材30mm対応) KHDⅢ-40W30 ---- 146
クリ高耐力ホールダウン68 KHD-68 ---- 147
棟梁羽子板Ⅲ M12 ---- 148
棟梁羽子板Ⅱ M12 ---- 149
万能羽子板Ⅱ M12 ---- 150
ビス止め棟梁羽子板Ⅱ M12 ---- 151
ビス止め万能羽子板Ⅱ M12 ---- 152
棟梁羽子板 M12 ---- 153
万能羽子板 M12 ---- 154
クリ10(デン)プレート K10PL ---- 155～156
クリ10(デン)短ざく金物 KS10-300 ---- 157～158
クリビス止め火打金物Ⅱ KHBⅡ ---- 159
認定金物の説明 ---- 160

21. 参考資料

建築基準法、施工令 ---- 161
表一、表二、表三 ---- 161～162
告示第1460号第二号表(1)、(2)の早見表と解説図 ---- 163
参考図 ---- 164～166
N値計算 ---- 167～168
品質確保法 ---- 169～176
品質性能試験金物一覧表 ---- 177～178
同等認定金物一覧表 ---- 179
性能認定金物一覧表 ---- 180
Zマーク表示金物耐力表 ---- 181～182
Cマーク表示金物耐力表 ---- 183～184

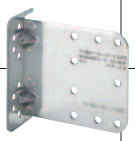
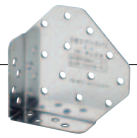
22. 会社案内

開発について ---- 185～186
生産について ---- 187～188
情報・サポート ---- 189～190
沿革・概要 ---- 191～192

索引 ---- 195～196

告示1460号に対する
オリジナル金物一覧表

筋かい金物

第一号	筋かいの種類	Zマーク表示金物	当　社　製　品	耐力(kN)	承認・試験機関	掲載ページ
イ	φ9mm以上の鉄筋	—	—	—	—	—
ロ	15mm×90mm以上の木材	—	—	—	—	—
ハ	30mm×90mm以上の木材	筋かいプレート BP	—	—	—	—
ニ	45mm×90mm以上の木材	筋かいプレート BP-2	クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ（外使い）	3.1	(一財)建材試験センター	9
			クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ（外使い・床合板30mm対応） 	3.4	(一財)建材試験センター	9
			クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ（内使い）	3.3	(一財)建材試験センター	9
			クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ（内使い・床合板30mm対応）	3.4	(一財)建材試験センター	9
			クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ（外使い）	3.6	(一財)建材試験センター	10
			クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ（外使い・床合板28mm対応） 	3.7	(一財)建材試験センター	10
			クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ（内使い）	3.5	(一財)建材試験センター	10
			クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ（内使い・床合板28mm対応）	3.6	(一財)建材試験センター	10
			2倍コンパクトボックス K-4（外使い） 	3.1	(一財)建材試験センター	11
			2倍コンパクトボックス K-4（内使い）	3.5	(一財)建材試験センター	11
ホ	90mm×90mm以上の木材	筋かいプレート BP-3FS	—	—	—	—

接合部の仕様(告示第二号表三に対応)

Nの値	表三	必要耐力(kN)	金物等(これらと同等以上の接合方法を含む)
0.0以下	(い)	0.0	短ほぞ差し、かすがい打ち
0.65以下	(ろ)	3.4	長ほぞ差し込み栓打ち、L字形かど金物くぎZN65×10本
1.0以下	(は)	5.1	T字形かど金物くぎZN65×10本、山形プレート金物くぎZN90×8本
1.4以下	(に)	7.5	羽子板ボルトφ12mm、短冊金物
1.6以下	(ほ)	8.5	羽子板ボルトφ12mmに長さ50mm径4.5mmのスクリューくぎ 短冊金物に長さ50mm径4.5mmのスクリューくぎ×3
1.8以下	(へ)	10.0	10kN用引き寄せ金物
2.8以下	(と)	15.0	15kN用引き寄せ金物
3.7以下	(ち)	20.0	20kN用引き寄せ金物
4.7以下	(り)	25.0	25kN用引き寄せ金物
5.6以下	(ぬ)	30.0	15kN用引き寄せ金物×2枚
5.6超	—	N×5.3	

※「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」より抜粋

仕口金物

第二号表三	Nの値	必要耐力(kN)	Zマーク表示金物	当社製品		耐力(kN)	接合部倍率(N値)	承認・試験機関	掲載ページ
(い)	0.0以下	0.0	かすがいC	—		—	—	—	—
(ろ)	0.65以下	3.4	かど金物CP・L	チビクリ CK		3.6	0.67	(一財)建材試験センター	13
				チビクリ CK (床合板30mm対応) CKG30		3.9	0.73	(一財)建材試験センター	
(は)	1.0以下	5.1	かど金物CP・T 山形プレート VP	クリビスプレート KBPL		6.8	1.2	(一財)建材試験センター	15
				クリビスプレートⅡ (壁合板9mm対応) KBPLⅡG9		5.3	1.0	ハウスプラス確認検査(株)	16
				クリコーナーⅢ+ KCNⅢ+ (床合板30mm対応)		7.4	1.3	(一財)建材試験センター	14
				チビクリⅡ CKⅡ	中柱型	5.3	1.0	(一財)建材試験センター	17
					隅柱型	5.4	1.0		
				チビクリⅡ (床合板30mm対応) CKⅡG30	中柱型	6.9	1.3	(一財)建材試験センター	18
					隅柱型	5.4	1.0		
				チビクリⅡ (枠材30mm対応) CKⅡW30		6.2	1.1	(一財)建材試験センター	25

告示1460号に対する
オリジナル金物一覧表

仕口金物

第二号表三	Nの値	必要耐力(kN)	Zマーク表示金物	当社製品		耐力(kN)	接合部倍率(N値)	承認・試験機関	掲載ページ
(に)	1.4以下	7.5	羽子板ボルト SB・F2/SB・E2 短ざく金物 S	クリコーナーⅢ+ KCNⅢ+		8.0	1.5	(一財)建材試験センター	14
				棟梁羽子板 M12		7.5	1.4	(公財)日本住宅・木材技術センター	45
(ほ)	1.6以下	8.5	羽子板ボルト SB・F/SB・E 短ざく金物 S	棟梁羽子板Ⅱ M12		8.5	1.6	(公財)日本住宅・木材技術センター	41
				万能羽子板Ⅱ M12		8.5	1.6	(公財)日本住宅・木材技術センター	42
				万能羽子板 M12		8.5	1.6	(公財)日本住宅・木材技術センター	46
(へ)	1.8以下	10.0	引き寄せ金物 HD-B10 HD-N10 S-HD10	クリ10(デン)スリムコーナーⅢ K10SⅢ	中柱型	12.6	2.3	ハウスプラス確認検査(株)	19
					隅柱型	11.6	2.1		
				クリ10(デン)スリムコーナーⅢ (床合板30mm対応) K10SⅢG30	中柱型	12.5	2.3	ハウスプラス確認検査(株)	20
					隅柱型	11.5	2.1		
				クリ10(デン)スリムコーナーⅢ (枠材30mm対応) K10SⅢW30		11.8	2.2	ハウスプラス確認検査(株)	26
				ビス止め棟梁羽子板Ⅱ M12		12.0	2.2	ハウスプラス確認検査(株)	43
				ビス止め万能羽子板Ⅱ M12		11.4	2.1	ハウスプラス確認検査(株)	44
				棟梁羽子板Ⅲ M12		10.3	1.9	(一財)建材試験センター	47
				クリ10(デン)短ざく金物 KS10-300		12.0	2.2	(一財)建材試験センター	51
				クリ10(デン)プレート K10PL	継手型	11.2	2.1	ハウスプラス確認検査(株)	49
					中柱型	10.8	2.0		
(と)	2.8以下	15.0	引き寄せ金物 HD-B15 HD-N15 S-HD15	クリ15コーナー K15	中柱型	17.8	3.3	ハウスプラス確認検査(株)	21
					隅柱型	16.6	3.1		
				クリ15コーナー (床合板30mm対応) K15G30	中柱型	15.6	2.9	ハウスプラス確認検査(株)	22
					隅柱型	17.3	3.2		
				クリ15コーナー (枠材30mm対応) K15W30		16.9	3.1	ハウスプラス確認検査(株)	27
				MKパイプホールダウン MK-PHD15		16.5	3.1	富山県林業技術センター	39~40
(ち)	3.7以下	20.0	引き寄せ金物 HD-B20 HD-N20 S-HD20	クリ20コーナー K20	中柱型	20.0	3.7	ハウスプラス確認検査(株)	23
					隅柱型	20.0	3.7		
				クリ20コーナー (床合板30mm対応) K20G30	中柱型	23.0	4.3	ハウスプラス確認検査(株)	24
					隅柱型	22.6	4.2		
				クリ20コーナー (枠材30mm対応) K20W30		20.1	3.7	ハウスプラス確認検査(株)	28

仕口金物

第二号表三	Nの値	必要耐力(kN)	Zマーク表示金物	当社製品	耐力(kN)	接合部倍率(N値)	承認・試験機関	掲載ページ
(り)	4.7以下	25.0	引き寄せ金物 HD-B25 HD-N25 S-HD25	クリホールダウンⅢ15・20・25 KHDⅢ-15・20・25	25.8	4.8	(一財)建材試験センター	35
				クリホールダウンⅢ15・20・25 (枠材30mm対応) KHDⅢ-15・20・25W30	25.2	4.7	(一財)建材試験センター	29
				クリホールダウンⅢ15・20・25 (枠材45mm対応) KHDⅢ-15・20・25W45	26.1	4.9	(一財)建材試験センター	30
				クリホールダウンⅢ15・20・25 (枠材45×60mm対応) KHDⅢ-15・20・25W45×60	27.3	5.1	(一財)建材試験センター	31
(ぬ)	5.6以下	30.0	引き寄せ金物×2 HD-B15 HD-N15 S-HD15	MKパイプホールダウン MK-PHD30	31.3	5.9	富山県林業技術センター	39~40
				クリホールダウンⅢ30・35 KHDⅢ-30・35	37.4	7.0	(一財)建材試験センター	36
				クリホールダウンⅢ30・35 (枠材45mm対応) KHDⅢ-30・35W45	36,0	6.7	(一財)建材試験センター	32
				クリホールダウンⅢ30・35 (枠材45×60mm対応) KHDⅢ-30・35W45×60	36.3	6.8	(一財)建材試験センター	33
				クリホールダウンⅢ40 KHDⅢ-40	40.4	7.6	ハウスプラス確認検査(株)	37
				クリホールダウンⅢ40 (枠材30mm対応) KHDⅢ-40W30	42.9	8.0	ハウスプラス確認検査(株)	34
				クリ高耐力ホールダウン68 KHD-68	68.5	12.9	ハウスプラス確認検査(株)	38

※柱頭柱脚接合部の引抜力以上の耐力がある金物を選んでお使いください。

オリジナル接合金物

1. 仕口金物(筋かい)


クリ筋かいストッパーⅢ P09


クリ筋かいストッパーⅡ P10


2倍コンパクトボックス P11

2. 仕口金物(柱頭・柱脚)

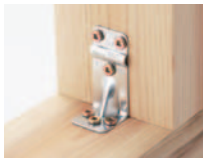

チビクリ P13
チビクリ(床合板30mm対応) P13


クリコーナーⅢ+ P14


クリビスプレート P15

2. 仕口金物(柱頭・柱脚)


クリビスプレートⅡ
(壁合板9mm対応) P16

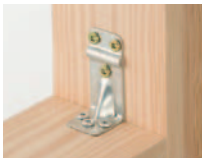

チビクリⅡ P17
チビクリⅡ(床合板30mm対応) P18


クリ10(テン)スリムコーナーⅢ P19
クリ10スリムコーナーⅡ(床合板30mm対応) P20


クリ15コーナー P21
クリ15コーナー(床合板30mm対応) P22


クリ20コーナー P23
クリ20コーナー(床合板30mm対応) P24

3. 仕口金物(枠材用)

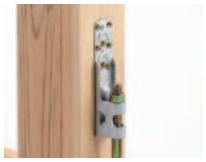

チビクリⅡ
(枠材30mm対応) P25


クリ10(テン)スリムコーナーⅢ
(枠材30mm対応) P26


クリ15コーナー
(枠材30mm対応) P27


クリ20コーナー
(枠材30mm対応) P28


クリホールダウンⅢ15・20・25
(枠材対応) P29~31


クリホールダウンⅢ30・35
(枠材対応) P32~33

3. 仕口金物(枠材用)


クリホールダウンⅢ40
(枠材30mm対応) P34


クリホールダウンⅢ15・20・25
P35

4. 仕口金物(ホールダウン)


クリホールダウンⅢ30・35
P36


クリホールダウンⅢ40 P37


クリ高耐力ホールダウン68
P38


MKパイプホールダウン
P39~40

5. 仕口金物(羽子板)


棟梁羽子板Ⅱ P41


万能羽子板Ⅱ P42


ビス止め棟梁羽子板Ⅱ P43


ビス止め万能羽子板Ⅱ P44

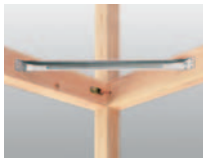

棟梁羽子板 P45


万能羽子板 P46

5. 仕口金物(羽子板)


棟梁羽子板Ⅲ P47

6. 補強金物(短ざく・火打)


クリビス止め火打金物Ⅱ P48


クリ10(テン)プレート P49~50


クリ10(テン)短ざく金物 P51~52

7. 梁受け金物(梁・大引き・根太)


クリ梁受け金物 P53


アゴ付梁受け・大引き受け金物
P54


クリ大引き受け金物 P55~56

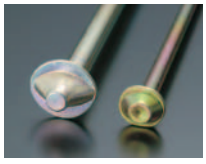
8. 垂木止め金物

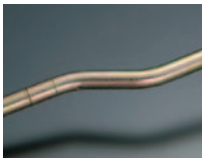

クリ垂木止め金物 P57

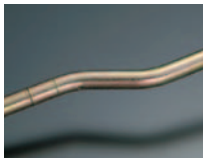
9. 基礎金物(アンカー・基礎パッキン・鋼製束・柱受)


KDHアンカーボルト P59


クリ高耐力アンカーボルト P60

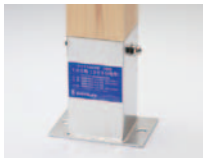

クリアンカーボルト P61


クリクランクアンカーボルト
P62

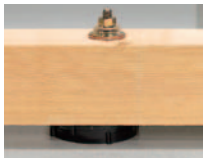

クランクアンカーボルト P63


グリッパー P64

9. 基礎金物(アンカー・基礎パッキン・鋼製束・柱受)


クリ15kN柱受 寸胴型 P65


クリジャッキ P68


リレベル・防虫グリル P70

10. 接合金具(ボルト・座金)


めり込み防止座金 P72


クリSW付角・丸座金 P73


タイトニック(耐震座金) P74


クリカッターⅡ P75


クリカッター P76


あと施工クリホールダウン座金 P77

10. 接合金具(ボルト・座金)


座金付ボルト(偏芯タイプ) P78


クリ高耐力座金 P79


クリ高耐力座金(偏芯タイプ) P80


クリ高耐力両ねじボルト P81


フラットボルト P82

11. 2×4用接合金物


2×4クリホールダウンⅢ 25・30(2材) P84


あおり止め金物 P87


根太受け金物 P88


2×4チビクリⅡ P89

12. 断熱材受け金物


クリクリップ P90

1. 仕口金物(筋かい)
クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ ---- 09
クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ ---- 10
2倍コンパクトボックス K-4 ---- 11

2. 仕口金物(柱頭・柱脚)
ツライチくん ---- 12
チビクリ CK ---- 13
チビクリ(床合板30mm対応) CKG30 ---- 13
クリコーナーⅢ+ KCNⅢ+ ---- 14
クリビスプレート KBPL ---- 15
クリビスプレートⅡ(壁合板9mm対応) KBPLⅡG9 ---- 16
チビクリⅡ CKⅡ ---- 17
チビクリⅡ(床合板30mm対応) CKⅡG30 ---- 18
クリ10(テン)スリムコーナーⅢ K10SⅢ ---- 19
クリ10(テン)スリムコーナーⅢ(床合板30mm対応) K10SⅢG30 -- 20
クリ15コーナー K15 ---- 21
クリ15コーナー(床合板30mm対応) K15G30 ---- 22
クリ20コーナー K20 ---- 23
クリ20コーナー(床合板30mm対応) K20G30 ---- 24

3. 仕口金物(枠材用)
チビクリⅡ(枠材30mm対応) CKⅡW30 ---- 25
クリ10(テン)スリムコーナーⅢ(枠材30mm対応) K10SⅢW30 -- 26
クリ15コーナー(枠材30mm対応) K15W30 ---- 27
クリ20コーナー(枠材30mm対応) K20W30 ---- 28
クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材30mm対応) KHDⅢ-15・20・25W30 -- 29
クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材45mm対応) KHDⅢ-15・20・25W45 -- 30
クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材45×60mm対応) KHDⅢ-15・20・25W45×60 -- 31
クリホールダウンⅢ30・35(枠材45mm対応) KHDⅢ-30・35W45 -- 32
クリホールダウンⅢ30・35(枠材45×60mm対応) KHDⅢ-30・35W45×60 -- 33
クリホールダウンⅢ40(枠材30mm対応) KHDⅢ-40W30 -- 34

4. 仕口金物(ホールダウン)
クリホールダウンⅢ 15・20・25 KHDⅢ-15・20・25 -- 35
クリホールダウンⅢ30・35 KHDⅢ-30・35 ---- 36
クリホールダウンⅢ40 KHDⅢ-40 ---- 37
クリ高耐力ホールダウン68 KHD-68 ---- 38
MKパイプホールダウン MK-PHD15-105/15-120/30-105/30-120 -- 39~40

5. 仕口金物(羽子板)
棟梁羽子板Ⅱ M12 ---- 41
万能羽子板Ⅱ M12 ---- 42
ビス止め棟梁羽子板Ⅱ M12 ---- 43
ビス止め万能羽子板Ⅱ M12 ---- 44
棟梁羽子板 M12 ---- 45
万能羽子板 M12 ---- 46
棟梁羽子板Ⅲ M12 ---- 47

6.補強金物(短ざく・火打)
クリビス止め火打金物Ⅱ KHBⅡ ---- 48
クリ10(テン)プレート K10PL ---- 49~50
クリ10(テン)短ざく金物 KS10-300 ---- 51~52

7. 梁受け金物(梁・大引き・根太)
クリ梁受け金物 KH 105/90/45 ---- 53
アゴ付梁受け・大引き受け金物 ---- 54
クリ大引き受け金物 KO 105 ---- 55
クリ大引き受け金物 KO 120 ---- 56

8. 垂木止め金物
クリ垂木止め金物 KT ---- 57
タルキックⅡ ---- 58

9. 基礎金物(アンカー・基礎パッキン・鋼製束・柱受)
KDHアンカーボルト KDH・M16 ---- 59
クリ高耐力アンカーボルト KAH・M16 ---- 60
クリアンカーボルト KA・M16/M12 ---- 61
クリクランクアンカーボルト KZAC・M16/M12 ---- 62
クランクアンカーボルト ZAC-R ---- 63
グリッパー ---- 64
クリ15kN柱受 寸胴型 ---- 65
柱受 寸胴型・カップ型(ボルトタイプ) ---- 66
柱受 カップ型(釘タイプ) ---- 67
クリジャッキ KJU ---- 68
YR束 ---- 69
リレベル・防虫グリル ---- 70
キソパッキンロング・気密パッキンロング ---- 71

10. 接合金物(ボルト・座金)
めり込み防止座金 PW12 ---- 72
クリSW付角・丸座金 KW4.5×40/KW4.5×φ45 ---- 73
タイトニック(耐震座金) ---- 74
クリカッターⅡ KCⅡ ---- 75
クリカッター KC ---- 76
あと施工クリホールダウン座金 KW19×70×104 ---- 77
座金付ボルト(偏芯タイプ) M16W ---- 78
クリ高耐力座金 KW16×95×122 ---- 79
クリ高耐力座金(偏芯タイプ) KW16×95×120 ---- 80
クリ高耐力両ねじボルト KRH・M16 ---- 81
フラットボルト FBC-M12/FB-M12 ---- 82

11. 2×4用接合金物
2×4クリホールダウンⅢ15・20(2材) 2×4KHDⅢ-15・20-2 -- 83
2×4クリホールダウンⅢ25・30(2材) 2×4KHDⅢ-25・30-2 -- 84
2×4クリホールダウンⅢ15・20・25(3材) 2×4KHDⅢ-15・20・25-3 -- 85
2×4クリホールダウンⅢ30・35(3材) 2×4KHDⅢ-30・35-3 -- 86
あおり止め金物 KTS ---- 87
根太受け金物 KJH ---- 88
2×4チビクリⅡ 2×4CKⅡ ---- 89

12. 断熱材受け金物
クリクリップ KP ---- 90

13. ブレース
コポット ---- 91

14. 化粧金物
化粧金物 ---- 92

15. 副資材
透湿・防水シート ---- 93
遮熱・透湿・防水シート ---- 93
床合板養生シート ---- 93
防水気密テープ ---- 94
防水水切りシート ---- 94
ルーフスペーサー ---- 94

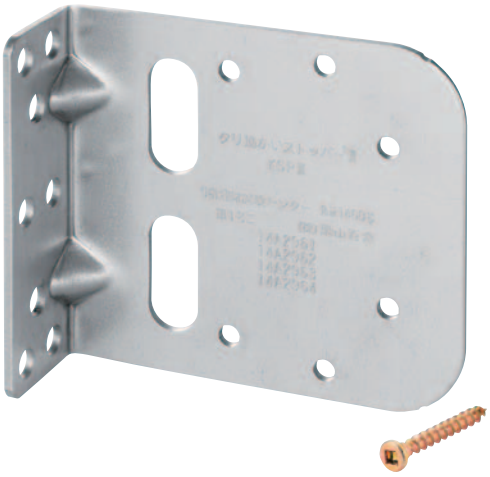
16. 付属部品(ビス・ビット・ナット)
ビス・ビット・ナット ---- 95~97
オリジナル金物ビス一覧表 ---- 98~102

クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ

告示第1460号 第一号 二 | 床合板対応 30mm | 内使い対応 | 外使い対応 | 壁倍率 2倍

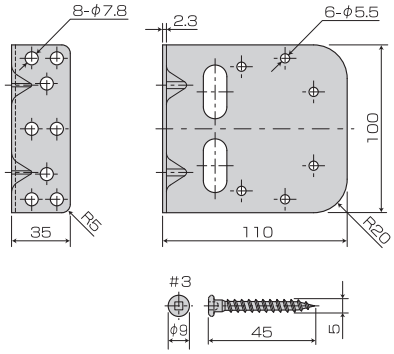
2面止めの筋かい金物 外・内使い、床合板有・無OK!!





※筋かい側6ヶ所すべてに専用ビスを打ち込んでください。

■寸法図



●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリ平頭ビス)
筋かい側	5×45…6本
柱側	5×45…8本

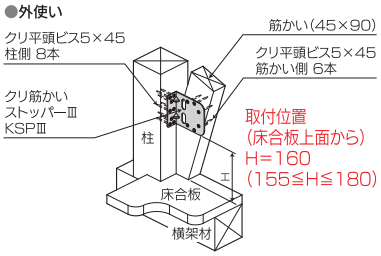
※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●詳細データはP129の仕様図をご覧ください。

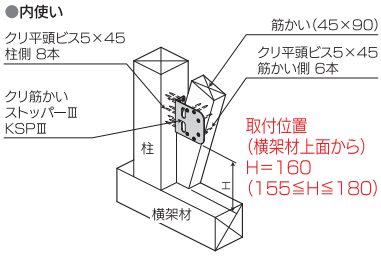
(一財)建材試験センター	(一財)建材試験センター
品質性能試験(14A2962) KSPⅢ(外使い) 1mあたりの基準せん断耐力:3.1kN	品質性能試験(14A2964) KSPⅢ(内使い) 1mあたりの基準せん断耐力:3.3kN
(一財)建材試験センター	**(一財)建材試験センター**
品質性能試験(14A2961) KSPⅢ(外使い・床合板30mm対応) 1mあたりの基準せん断耐力:3.4kN	品質性能試験(14A2963) KSPⅢ(内使い・床合板30mm対応) 1mあたりの基準せん断耐力:3.4kN

■取付図

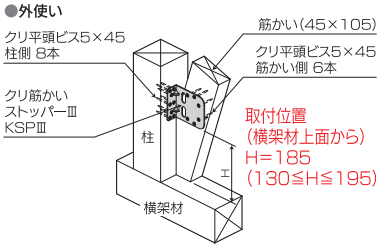
●外使い



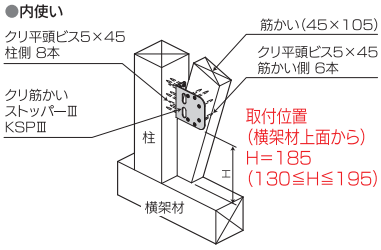
●内使い



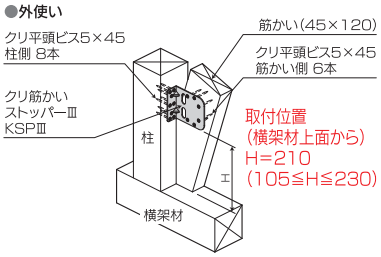
●外使い



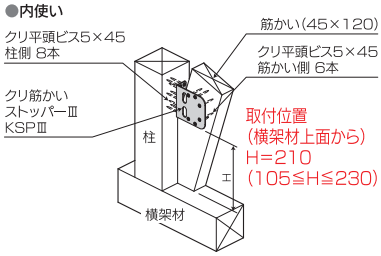
●内使い



●外使い



●内使い



※決められた取付位置でご使用ください。

●筋かいのサイズ別取付位置

筋かいサイズ(mm)	標準位置(mm)	上限位置(mm)	下限位置(mm)
45×90	160	180	155
45×105	185	195	130
45×120	210	230	105

※グリーンの取付位置以外は社内試験データです。

用途・特徴

1.クリ筋かいストッパーⅢは、木造軸組工法において壁倍率2倍の筋かい(45×90以上)を柱と筋かいの2面で接合する金物です。
2.ホールダウン金物と緊結するアンカーボルトや引き寄せボルト等に干渉しにくく、左右どちらでも使え、内使いも可能です。又、床合板(30mm)が入っても使用可能です。
3.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

●外使い(45×90筋かい使用時)
1.寸法カットされた筋かいをセットし、横架材又は床合板上面から高さ約160mmの位置にクリ筋かいストッパーⅢを合わせます。
2.柱側8ヶ所に専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を打ち込み固定してください。
3.筋かい側6ヶ所に専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を打ち込み固定してください。(取付図参照)

●内使い(45×90筋かい使用時)
1.横架材又は床合板上面から高さ約160mmの位置にクリ筋かいストッパーⅢをセットし、柱側8ヶ所に専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を打ち込み固定してください。
2.次に寸法カットされた筋かいをセットし、筋かい側6ヶ所に専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を打ち込み固定してください。(取付図参照)
※すべてのビス穴に専用ビスを打ち込んでください。
※筋かいサイズ別取付位置は上記の「筋かいのサイズ別取付位置」による。

商品名	クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ
試験機関	(一財)建材試験センター/品質性能試験(14A2962・14A2961・14A2964・14A2963)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス/四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…14本(筋かい用6本・柱用8本)
入数	50個/ケース(専用ビス:70本入×10袋)

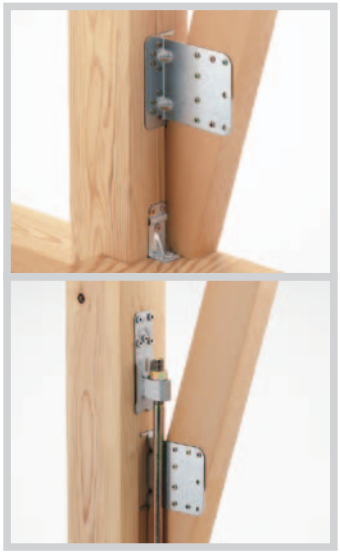
Hyakuzo

告示第1460号 第一号 二 | 床合板対応 28mm | 内使い対応 | 外使い対応 | 壁倍率 2倍

クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ

(一財)建材試験センター	(一財)建材試験センター
品質性能試験(05A2772) KSPⅡ(外使い) 1mあたりの基準せん断耐力:3.6kN	品質性能試験(06A3944) KSPⅡ(内使い) 1mあたりの基準せん断耐力:3.5kN
(一財)建材試験センター	**(一財)建材試験センター**
品質性能試験(05A3199) KSPⅡ(外使い・床合板28mm対応) 1mあたりの基準せん断耐力:3.7kN	品質性能試験(06A3943) KSPⅡ(内使い・床合板28mm対応) 1mあたりの基準せん断耐力:3.6kN

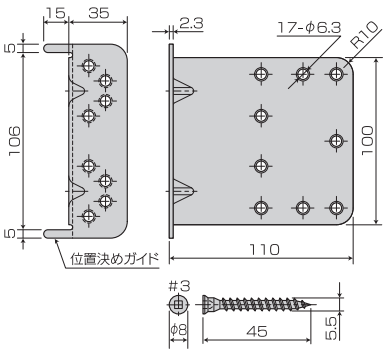
ガイドで位置決め、2面止めの筋かい金物
外・内使い、床合板有・無OK!!





※筋かい側ビス穴9ヶ所のうち中央に近い7ヶ所に専用ビスを打ち込んでください。

■寸法図



●使用接合具

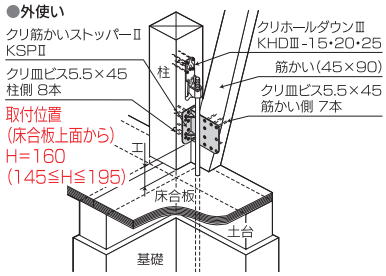
	専用ビス(四角穴付クリ皿ビス)
筋かい側	5.5×45…7本
柱側	5.5×45…8本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

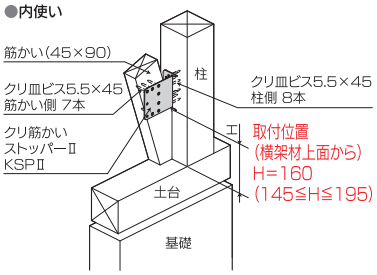
●詳細データはP130の仕様図をご覧ください。

■取付図

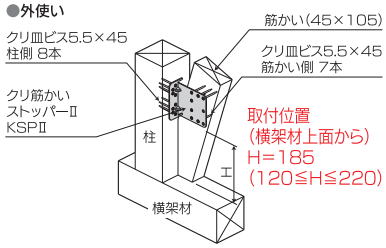
●外使い



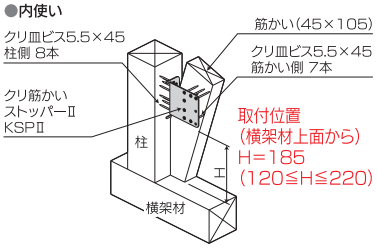
●内使い



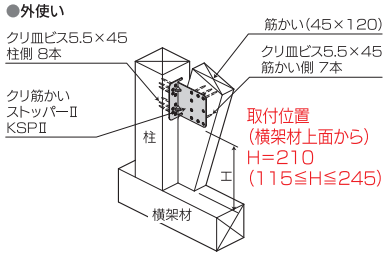
●外使い



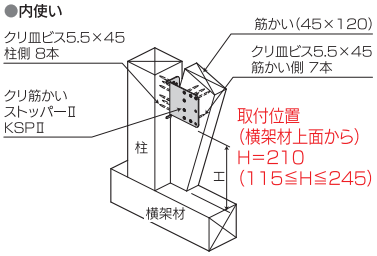
●内使い



●外使い



●内使い



※決められた取付位置でご使用ください。

●筋かいのサイズ別取付位置

筋かいサイズ(mm)	標準位置(mm)	上限位置(mm)	下限位置(mm)
45×90	160	195	145
45×105	185	220	120
45×120	210	245	115

※グリーンの取付位置以外は社内試験データです。

用途・特徴

1.クリ筋かいストッパーⅡは、木造軸組工法において壁倍率2倍の筋かい(45×90以上)を柱と筋かいの2面で接合する金物です。
2.ホールダウン金物と緊結するアンカーボルトや引き寄せボルト等に干渉しにくく、左右どちらでも使え、内使いも可能です。又、床合板(28mm)が入っても使用可能です。
3.位置決めガイド付きの為、筋かいに合わせるだけで、取り付け位置が簡単に決まります。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

●外使い(45×90筋かい使用時)
1.寸法カットされた筋かいをセットし、先付けされた筋かいにクリ筋かいストッパーⅡを合わせ、ガイドがとまる位置(約160mm)にセットします。
2.柱側に8ヶ所専用ビスクリ皿ビス(5.5×45)を打ち込み固定してください。
3.筋かい側にかかる固定穴で、筋かい中央に近い7ヶ所に専用ビスクリ皿ビス(5.5×45)を打ち込み固定してください。(取付図参照)

●内使い(45×90筋かい使用時)
1.横架材又は床合板上面から高さ約160mmの位置にクリ筋かいストッパーⅡをセットし、柱側8ヶ所に専用ビスクリ皿ビス(5.5×45)を打ち込み固定してください。
2.次に寸法カットされた筋かいをセットし、筋かい側にかかる固定穴で、筋かい中央に近い7ヶ所に専用ビスクリ皿ビス(5.5×45)を打ち込み固定してください。(取付図参照)
※施工時に位置決めガイドが不要な場合は、折り曲げて使用してください。
※筋かいサイズ別取付位置は上記の「筋かいのサイズ別取付位置」による。

商品名	クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ
試験機関	(一財)建材試験センター/品質性能試験(05A2772・05A3199・06A3944・06A3943)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス/四角穴付クリ皿ビス(5.5×45)…15本(筋かい用7本・柱用8本)
入数	50個/ケース(専用ビス:75本入×10袋)

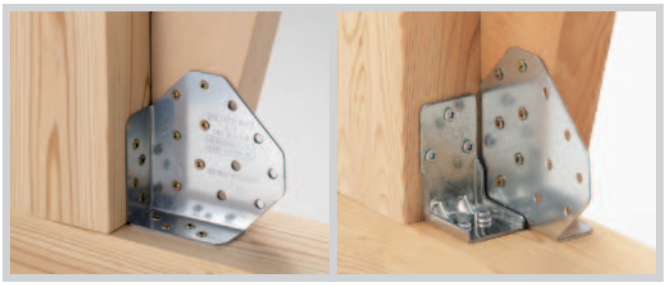
2倍コンパクトボックス
K-4

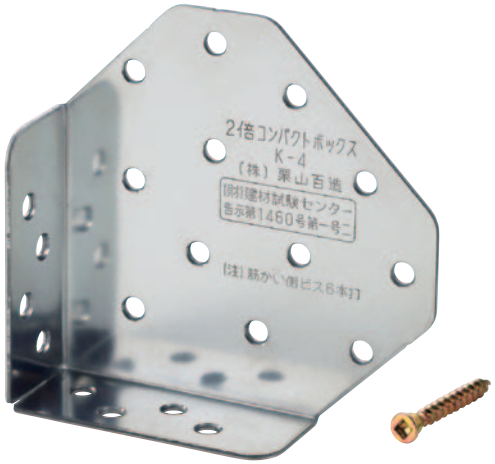
告示第1460号 第一号 二 | 内使い対応 | 外使い対応 | 壁倍率 2倍

3面止めの筋かい金物
外・内使いOK!!

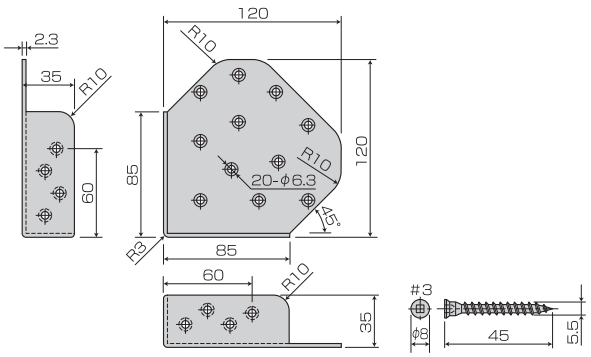
(一財)建材試験センター
品質性能試験(04A2609)
K-4(外使い)
1mあたりの基準せん断耐力:3.1kN

(一財)建材試験センター
品質性能試験(05A2323)
K-4(内使い)
1mあたりの基準せん断耐力:3.5kN



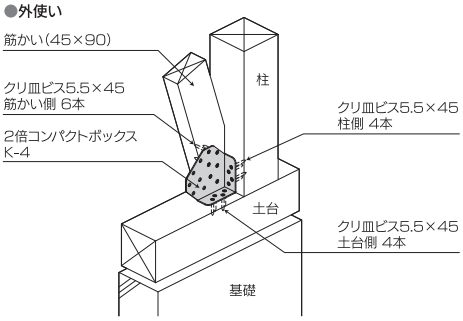


■寸法図

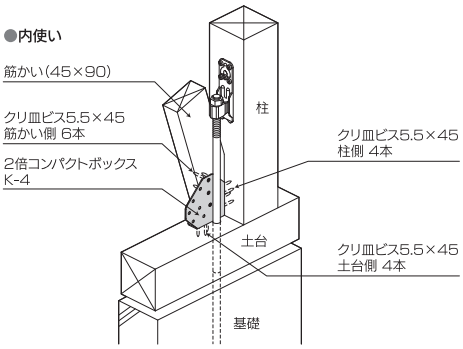


■取付図

●外使い



●内使い



●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリ皿ビス)
筋かい側	5.5×45…6本
柱側	5.5×45…4本
横架材側	5.5×45…4本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●詳細データはP131の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.2倍コンパクトボックスK-4は、木造軸組工法において壁倍率2倍の筋かい(45×90以上)を容易に接合する金物です。
2.コンパクト形状で内使いも可能な為、造作の仕上げに絡みにくく、アンカーボルトの施工自由度も増します。
3.専用ビス(四角穴付クリ皿ビス)はビス頭が出っ張らない為、内使いも可能です。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

●外使い
1.寸法カットされた筋かいをセットし、先付けされた筋かいに2倍コンパクトボックスK-4を合わせ、柱・横架材(土台)それぞれに4ヶ所ずつ専用ビスクリ皿ビス(5.5×45)を打ち込み固定してください。
2.筋かいにかかる固定穴6ヶ所に専用ビスクリ皿ビス(5.5×45)を打ち込み固定してください。(取付図参照)

●内使い
1.柱・横架材(土台)に2倍コンパクトボックスK-4をセットし、それぞれ4ヶ所ずつ専用ビスクリ皿ビス(5.5×45)を打ち込み固定してください。
2.次に寸法カットされた筋かいを2倍コンパクトボックスK-4の内側にセットし、筋かいにかかる固定穴6ヶ所に専用ビスクリ皿ビス(5.5×45)を打ち込み固定してください。(取付図参照)

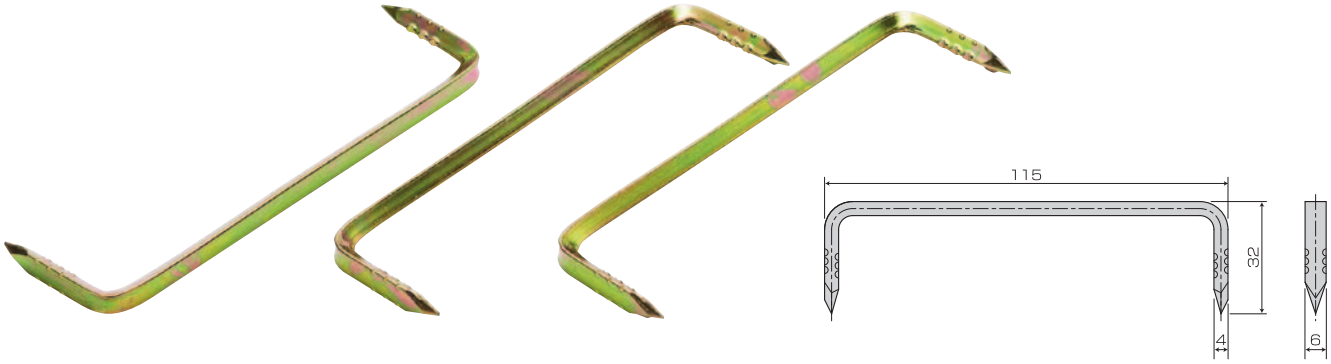
商品名	2倍コンパクトボックス K-4
試験機関	(一財)建材試験センター／品質性能試験(04A2609・05A2323)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス／四角穴付クリ皿ビス(5.5×45)…14本(筋かい用6本・柱用4本・横架材用4本)
入数	50個／ケース(専用ビス:70本入×10袋)

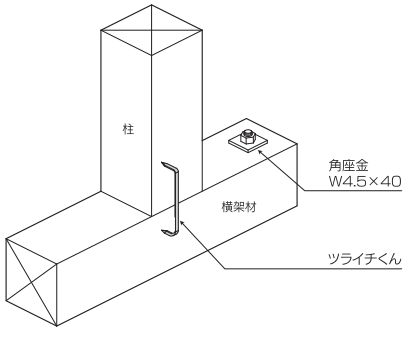
告示第1460号 第二号表三 (い)　接合部倍率 (N値) 0.1

Z同等認定ツライチかすがい

(公財)日本住宅・木材技術センター
同等認定品／Zかすがい C 認定番号:D17B14-01







●引張力を土台に定着させる座金の仕様

柱脚接合部の短期許容引張耐力	座金の仕様	掲載ページ
6.4kN以下	角座金 W4.5×40	116
	丸座金 W4.5×φ45	116
	クリSW付角座金 KW4.5×40	73
	クリSW付丸座金 KW4.5×φ45	73
	クリカッター KC	76
7.2kN以下	クリカッターⅡ KCⅡ	75
14.4kN以下	角座金 W6.0×60	116
	丸座金 RW6.0×68	116

※金物の耐力ではなく柱脚接合部の引張耐力に合わせた座金をご使用ください。

用途・特徴

1.ツライチくんは、大引と束、土台と柱、管柱と胴差、小屋梁と小屋束などの補強に使用します。
2.片ハズレなく、シーソーになりません。
3.施工後、ツライチなので、内・外装を問わず、その上から仕上げ板を取り付け出来ます。
4.検査後、抜かなくでもすみます。
5.座掘りしなくても柱のツラになります。

使用方法

1.小屋束の下部は、かすがいを両面に打ち込みます。
　仕様書により特別に筋かいには筋かいプレート(BP)、柱には山形プレート(VP)を使用と限定されない限りZ釘90ミリ数本とZツライチとの併用で使用可能です。
※木材を割らないように注意してください。

商品名	ツライチくん
承認	(公財)日本住宅・木材技術センター／同等認定金物(認定番号:㊎D17B14-01)
材質	JIS G 3532 くぎ用鉄線SWM-N
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
入数	600本／ケース(100本入×6箱)

チビクリ CK
チビクリ(床合板30mm対応) CKG30

告示第1460号 第二号表三 (ろ) | 床合板対応 30mm | 接合部倍率 (N値) 0.67 (CK) | 接合部倍率 (N値) 0.73 (CKG30)

ちっちゃくてもスグレ物！
内使い用コーナー金物

(一財)建材試験センター
品質性能試験(15A2022)
CK
短期基準引張耐力:3.6kN

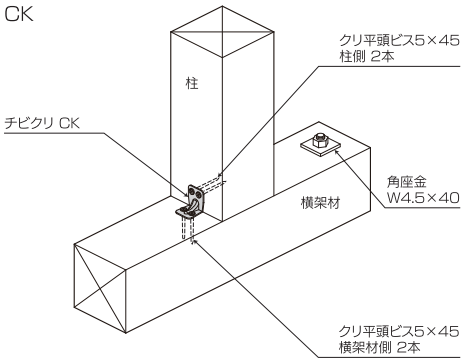
(一財)建材試験センター
品質性能試験(15A2023)
CKG30
短期基準引張耐力:3.9kN





■取付図

CK

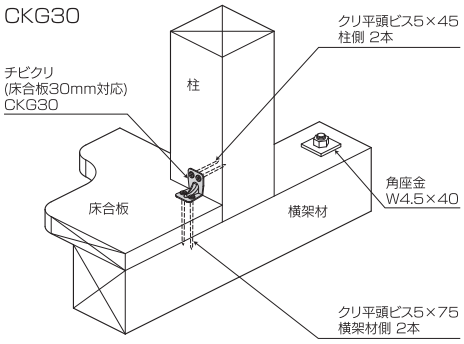


●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリ平頭ビス)
柱　側	5×45…2本
横架材側	5×45…2本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

CKG30



●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリ平頭ビス)
柱　側	5×45(金色)…2本
横架材側	5×75(銀色)…2本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

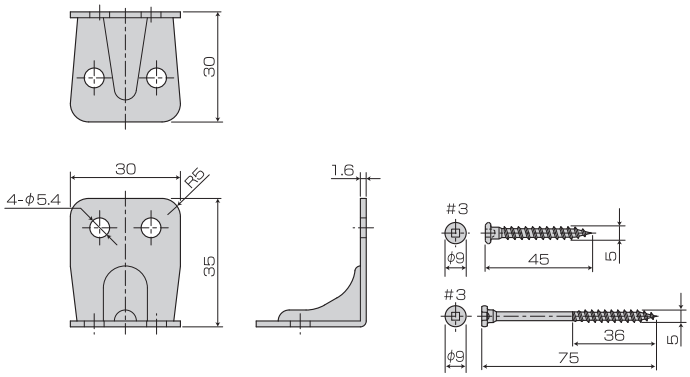
●引張力を土台に定着させる座金の仕様

柱脚接合部の短期許容引張耐力	座金の仕様	掲載ページ
6.4kN以下	角座金 W4.5×40	116
	丸座金 W4.5×φ45	116
	クリSW付角座金 KW4.5×40	73
	クリSW付丸座金 KW4.5×φ45	73
	クリカッター KC	76
7.2kN以下	クリカッターⅡ KCⅡ	75
14.4kN以下	角座金 W6.0×60	116
	丸座金 RW6.0×68	116

※金物の耐力ではなく柱脚接合部の引張耐力に合わせた座金をご使用ください。

●詳細データはP143の仕様図をご覧ください。

■寸法図



用途・特徴

1.チビクリは、柱と横架材を接合する金物です。
2.柱と横架材がクロスに交わり側面部がない場所等にも使用することが出来る内使いタイプの金物です。
3.床合板(30mm)を介しても柱と横架材を接合出来る金物です。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

●通常
1.専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を柱に2本、横架材に2本打ち込んでください。(取付図参照)

●床合板30mm対応
1.専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を柱に2本、専用ビスクリ平頭ビス(5×75)を床合板の上から横架材に2本打ち込んでください。(取付図参照)

商品名	チビクリ CK
試験機関	(一財)建材試験センター／品質性能試験(15A2022)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…4本(柱用2本・横架材用2本)
入数	200個／ケース(専用ビス:20本入×40袋)

商品名	チビクリ(床合板30mm対応) CKG30
試験機関	(一財)建材試験センター／品質性能試験(15A2023)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…2本(柱用・金色) 四角穴付クリ平頭ビス(5×75)…2本(横架材用・銀色)
入数	100個／ケース〔専用ビス:(5×45)20本入×10袋、(5×75)20本入×10袋〕

告示第1460号 第二号表三 (は) KCNⅢ+(床合板30mm対応)
告示第1460号 第二号表三 (に) KCNⅢ+
床合板対応 30mm
接合部倍率 (N値) 1.3 KCNⅢ+(床合板30mm対応)
接合部倍率 (N値) 1.5 KCNⅢ+

ビス1種類で床合板有・無対応のコーナー金物!

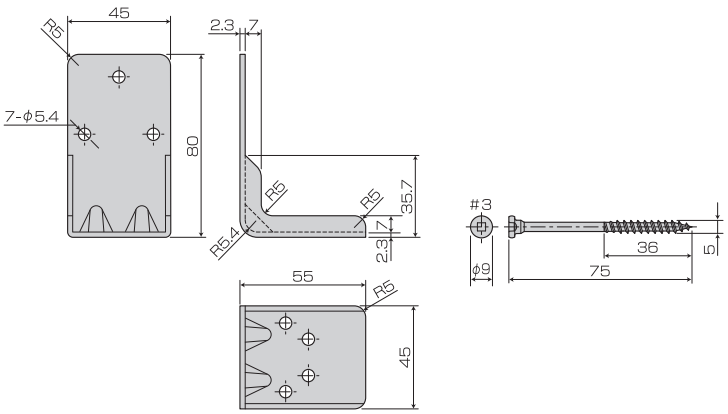
(一財)建材試験センター
品質性能試験(10A3211) KCNⅢ+ 短期基準引張耐力:8.0kN

(一財)建材試験センター
品質性能試験(10A3212) KCNⅢ+(床合板30mm対応) 短期基準引張耐力:7.4kN

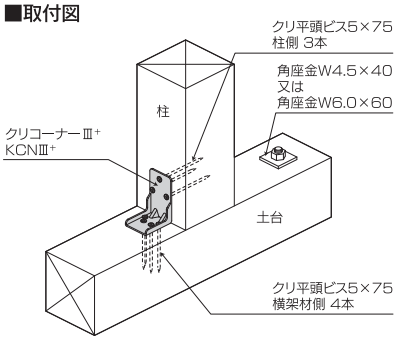


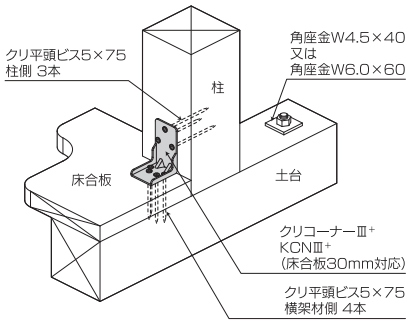


■寸法図



■取付図





●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリ平頭ビス)
柱側	5×75…3本
横架材側	5×75…4本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●引張力を土台に定着させる座金の仕様

柱脚接合部の短期許容引張耐力	座金の仕様	掲載ページ
6.4kN以下	角座金 W4.5×40	116
	丸座金 W4.5×φ45	116
	クリSW付角座金 KW4.5×40	73
	クリSW付丸座金 KW4.5×φ45	73
	クリカッター KC	76
7.2kN以下	クリカッターⅡ KCⅡ	75
14.4kN以下	角座金 W6.0×60	116
	丸座金 RW6.0×68	116

※金物の耐力ではなく柱脚接合部の引張耐力に合わせた座金をご使用ください。

●詳細データはP132の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリコーナーⅢ+は、柱と横架材を接合する金物です。
2.柱と横架材がクロスに交わり側面部がない場所等にも使用することが出来る内使いタイプの金物です。
3.床合板(30mm)を介しても柱と横架材を接合出来る金物です。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

●通常
1.専用ビスクリ平頭ビス(5×75)を柱に3本、横架材に4本打ち込んでください。(取付図参照)

●床合板30mm対応
1.専用ビスクリ平頭ビス(5×75)を柱に3本、床合板の上から横架材に4本打ち込んでください。(取付図参照)

商品名	クリコーナーⅢ+ KCNⅢ+/KCNⅢ+(床合板30mm対応)
試験機関	(一財)建材試験センター/品質性能試験(10A3211・10A3212)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス/四角穴付クリ平頭ビス(5×75)…7本(柱用3本・横架材用4本)
入数	50個/ケース(専用ビス:35本入×10袋)

クリビスプレート
KBPL

告示第1460号 第二号表三 (は) | 板厚 0.6mm | 接合部倍率 (N値) 1.2

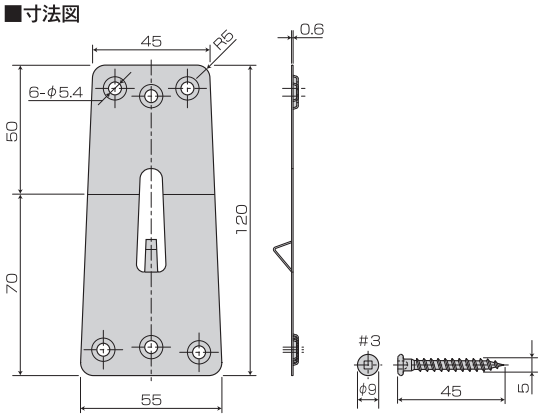
合板直張り施工のビス止めタイプで施工が簡単！ 薄型プレート

(一財)建材試験センター
品質性能試験(06A2584)
短期基準引張耐力:6.8kN

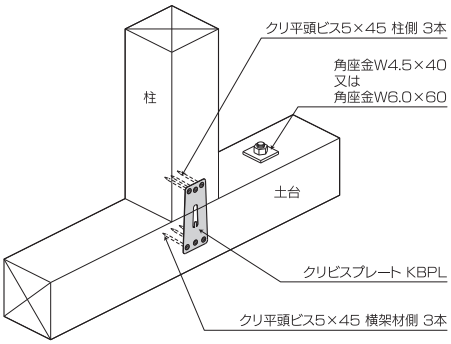




■寸法図



■取付図



●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリ平頭ビス)
柱側	5×45…3本
横架材側	5×45…3本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●引張力を土台に定着させる座金の仕様

柱脚接合部の短期許容引張耐力	座金の仕様	掲載ページ
6.4kN以下	角座金 W4.5×40	116
	丸座金 W4.5×φ45	116
	クリSW付角座金 KW4.5×40	73
	クリSW付丸座金 KW4.5×φ45	73
	クリカッター KC	76
7.2kN以下	クリカッターⅡ KCⅡ	75
14.4kN以下	角座金 W6.0×60	116
	丸座金 RW6.0×68	116

※金物の耐力ではなく柱脚接合部の引張耐力に合わせた座金をご使用ください。

●詳細データはP133の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリビスプレートは、柱と横架材を接合する金物です。
2.板厚が0.6mmと薄く、ビス穴にはエンボス加工を施しましたので、ビス頭が出っ張らず外壁仕上げや下地材の邪魔になりにくく、容易に施工出来ます。
3.仮止め用爪付きの為、施工が簡単に出来ます。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.クリビスプレートの接合線を柱と横架材の接合面に合わせて、専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を6本打ち込み固定してください。(取付図参照)

商品名	クリビスプレート KBPL
試験機関	(一財)建材試験センター／品質性能試験(06A2584)
材質	引張強さ400N/mm²以上の鋼板
表面処理	JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2同等以上の防錆処理
付属部品	専用ビス／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…6本(柱用3本・横架材用3本)
入数	100個／ケース(専用ビス:30本入×20袋)

告示第1460号 第二号表三 (は) | 板厚 0.6mm | 壁合板対応 9mm | 接合部倍率 (N値) 1.0

クリビスプレートⅡ(壁合板9mm対応) KBPLⅡG9

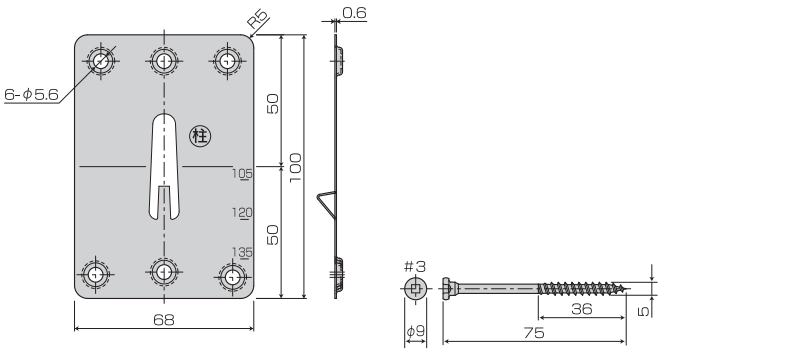
構造用合板(9mm)の上から柱と横架材を接合できる金物

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP13-KT097)
短期基準引張耐力:5.3kN

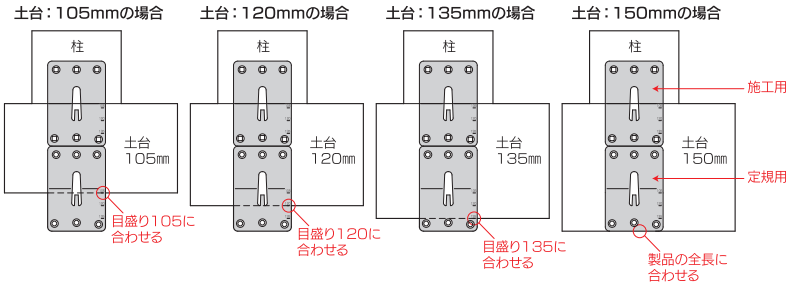




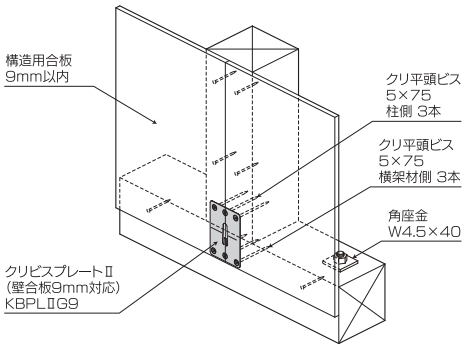
■寸法図



■目盛り刻印の使用方法



■取付図



●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリ平頭ビス)
柱側	5×75…3本
横架材側	5×75…3本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●引張力を土台に定着させる座金の仕様

柱脚接合部の短期許容引張耐力	座金の仕様	掲載ページ
6.4kN以下	角座金 W4.5×40	116
	丸座金 W4.5×φ45	116
	クリSW付角座金 KW4.5×40	73
	クリSW付丸座金 KW4.5×φ45	73
	クリカッター KC	76
7.2kN以下	クリカッターⅡ KCⅡ	75
14.4kN以下	角座金 W6.0×60	116
	丸座金 RW6.0×68	116

※金物の耐力ではなく柱脚接合部の引張耐力に合わせた座金をご使用ください。

●詳細データはP134の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリビスプレートⅡは、構造用合板(9mm)の上から柱と横架材を接合する金物です。
2.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.構造用合板の上から専用ビスクリ平頭ビス(5×75)を柱に3本、横架材に3本打ち込んでください。
(取付図参照)
※製品の目盛り刻印(105・120・135)は施工時の位置決め用の定規(目安)として使用してください。



商品名	クリビスプレートⅡ(壁合板9mm対応) KBPLⅡG9
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP13-KT097)
材質	引張強さ400N/mm²以上の鋼板
表面処理	JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2同等以上の防錆処理
付属部品	専用ビス／四角穴付クリ平頭ビス(5×75)…6本(柱用3本・横架材用3本)
入数	100個／ケース(専用ビス:30本入×20袋)

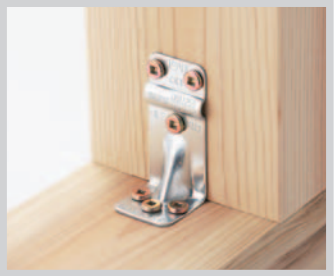
チビクリⅡ CKⅡ

告示第1460号 第二号表三 (は) | 隅柱対応 | 接合部倍率(N値) 1.0 (中柱型) | 接合部倍率(N値) 1.0 (隅柱型)

軽量・コンパクトに抑えたコーナー金物！

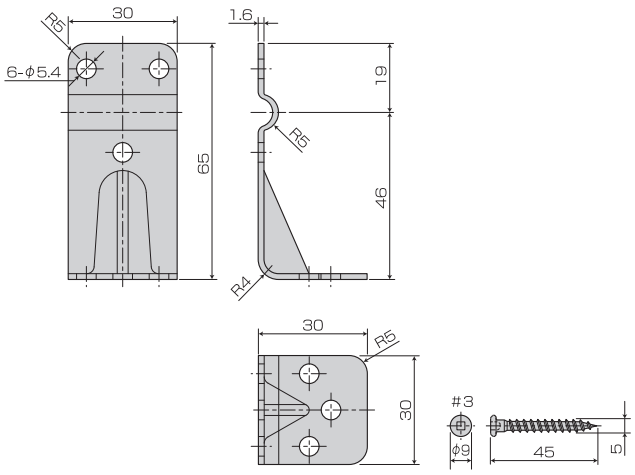
(一財)建材試験センター
品質性能試験(08A1255/中柱型) 短期基準引張耐力:5.3kN

(一財)建材試験センター
品質性能試験(11A3179/隅柱型) 短期基準引張耐力:5.4kN

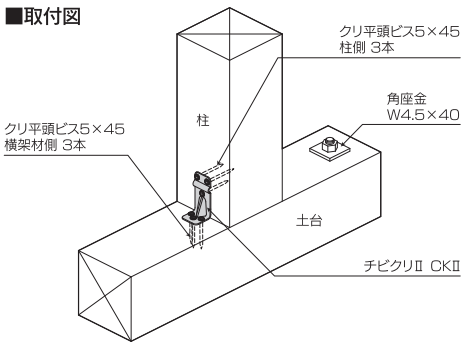




■寸法図



■取付図



●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリ平頭ビス)
柱側	5×45…3本
横架材側	5×45…3本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●引張力を土台に定着させる座金の仕様

柱脚接合部の短期許容引張耐力	座金の仕様	掲載ページ
6.4kN以下	角座金 W4.5×40	116
	丸座金 W4.5×φ45	116
	クリSW付角座金 KW4.5×40	73
	クリSW付丸座金 KW4.5×φ45	73
	クリカッター KC	76
7.2kN以下	クリカッターⅡ KCⅡ	75
14.4kN以下	角座金 W6.0×60	116
	丸座金 RW6.0×68	116

※金物の耐力ではなく柱脚接合部の引張耐力に合わせた座金をご使用ください。

●詳細データはP135～136の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.チビクリⅡは、柱と横架材を接合する金物です。
2.柱と横架材がクロスに交わり側面部がない場所等にも使用することが出来る内使いタイプの金物です。
3.全幅が30mmとスリムな為、真壁で仕上げる場合にも有効です。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を柱に3本、横架材に3本打ち込んでください。(取付図参照)

商品名	チビクリⅡ CKⅡ
試験機関	(一財)建材試験センター／品質性能試験(08A1255・11A3179)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…6本(柱用3本・横架材用3本)
入数	100個／ケース(専用ビス:30本入×20袋)

告示第1460号 第二号表三 (は) | 床合板対応 30mm | 隅柱対応 | 接合部倍率 (N値) 1.3 (中柱型) | 接合部倍率 (N値) 1.0 (隅柱型)

チビクリⅡ(床合板30mm対応) CKⅡG30

床合板対応の コンパクトコーナー金物!

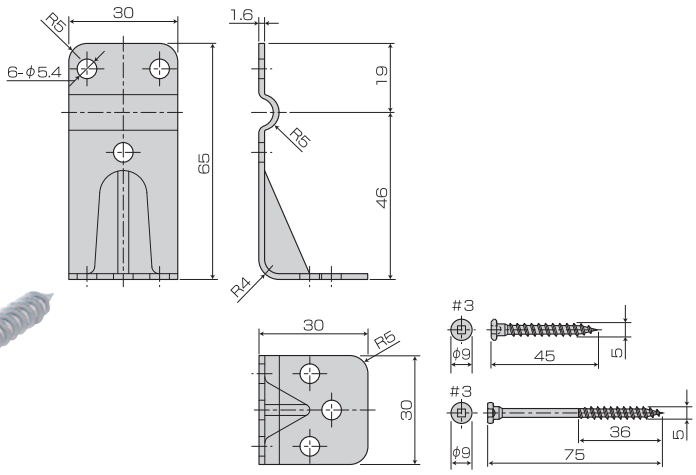
(一財)建材試験センター
品質性能試験(08A1816/中柱型) 短期基準引張耐力:6.9kN

(一財)建材試験センター
品質性能試験(11A3180/隅柱型) 短期基準引張耐力:5.4kN

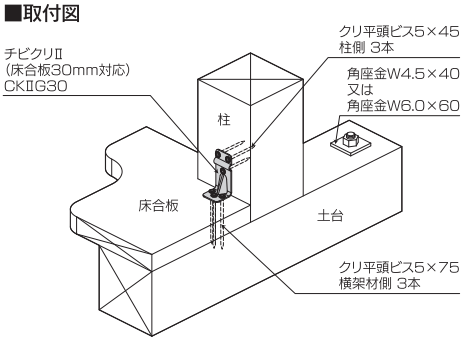




■寸法図



■取付図



●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリ平頭ビス)
柱側	5×45(金色)…3本
横架材側	5×75(銀色)…3本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●引張力を土台に定着させる座金の仕様

柱脚接合部の短期許容引張耐力	座金の仕様	掲載ページ
6.4kN以下	角座金 W4.5×40	116
	丸座金 W4.5×φ45	116
	クリSW付角座金 KW4.5×40	73
	クリSW付丸座金 KW4.5×φ45	73
	クリカッター KC	76
7.2kN以下	クリカッターⅡ KCⅡ	75
14.4kN以下	角座金 W6.0×60	116
	丸座金 RW6.0×68	116

※金物の耐力ではなく柱脚接合部の引張耐力に合わせた座金をご使用ください。

●詳細データはP135~136の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.チビクリⅡは、床合板(30mm)を介しても柱と横架材を接合できる金物です。
2.柱と横架材がクロスに交わり側面部がない場所等にも使用することが出来る内使いタイプの金物です。
3.全幅が30mmとスリムな為、真壁で仕上げる場合にも有効です。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を柱に3本、専用ビスクリ平頭ビス(5×75)を床合板の上から横架材に3本打ち込んでください。(取付図参照)

商品名	チビクリⅡ(床合板30mm対応) CKⅡG30
試験機関	(一財)建材試験センター/品質性能試験(08A1816・11A3180)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス/四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…3本(柱用・金色) 四角穴付クリ平頭ビス(5×75)…3本(横架材用・銀色)
入数	100個/ケース〔専用ビス:(5×45)30本入×10袋、(5×75)30本入×10袋〕

クリ10スリムコーナーⅢ K10SⅢ

告示第1460号 第二号表三 (へ) | 隅柱対応 | 接合部倍率 (N値) 2.3 (中柱型) | 接合部倍率 (N値) 2.1 (隅柱型)

ビス止めタイプの 10kN用スリムコーナー金物

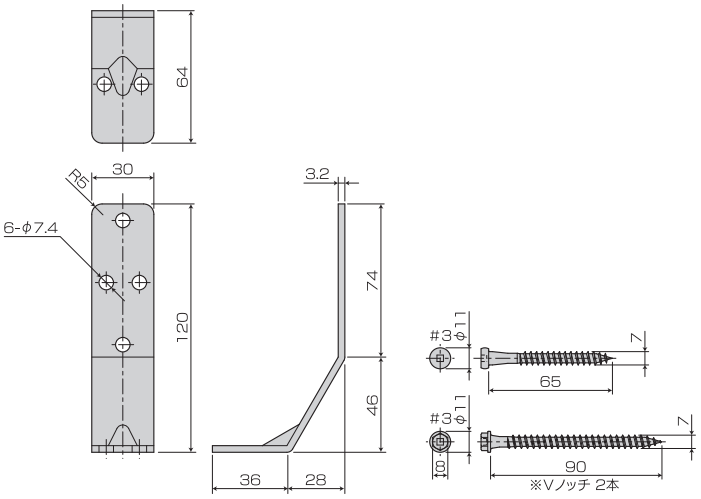


ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP16-KT001/中柱型)
短期基準引張耐力:12.6kN

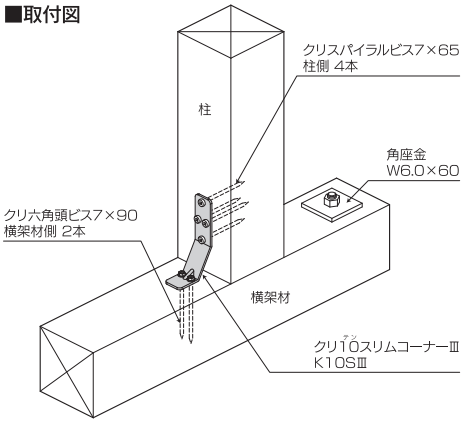
ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP16-KT051/隅柱型)
短期基準引張耐力:11.6kN



■寸法図



■取付図



●使用接合具

柱側	専用ビス(四角穴付クリスパイラルビス)
	7×65(銀色)…4本
横架材側	専用ビス(四角穴付クリ六角頭ビス)
	7×90(青色)…2本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●引張力を土台に定着させる座金の仕様

柱脚接合部の短期許容引張耐力	座金の仕様	掲載ページ
6.4kN以下	角座金 W4.5×40	116
	丸座金 W4.5×φ45	116
	クリSW付角座金 KW4.5×40	73
	クリSW付丸座金 KW4.5×φ45	73
	クリカッター KC	76
7.2kN以下	クリカッターⅡ KCⅡ	75
14.4kN以下	角座金 W6.0×60	116
	丸座金 RW6.0×68	116

※金物の耐力ではなく柱脚接合部の引張耐力に合わせた座金をご使用ください。

●詳細データはP137～138の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリ10スリムコーナーⅢは、引き寄せ金物10kNに該当する金物です。
2.従来この箇所には、引き寄せ金物10kN・羽子板ボルトなどが使用されてきましたが、
クリ10スリムコーナーⅢはビス打ちタイプな為、木材のボルト穴あけ加工が不要です。
3.柱と横架材がクロスに交わり側面部がない場所などにも使用することが出来ます。
4.全幅が30mmとスリムな為、真壁で仕上げる場合にも有効です。
5.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.専用ビスクリスパイラルビス(7×65)を柱に4本、専用ビスクリ六角頭ビス(7×90)を横架材に2本打ち込んでください。(取付図参照)
※クリ六角頭ビスをソケットで打ち込む時は、ソケットサイズ8mmを使用してください。
※付属の六角ソケット8mmはクリ六角頭ビスの四角穴をつぶしてしまった(なめる)時に使用してください。

商品名	クリ10スリムコーナーⅢ K10SⅢ
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP16-KT001・HP16-KT051)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…4本(柱用・銀色) 四角穴付クリ六角頭ビス(7×90)…2本(横架材用・青色) 六角ソケット8mm…1本／ケース
入数	50個／ケース(専用ビス:(7×65)20本入×10袋、(7×90)10本入×10袋、専用ソケット:1本)

告示第1460号 第二号表三 (へ) | 床合板対応 30mm | 隅柱対応 | 接合部倍率(N値) 2.3(中柱型) | 接合部倍率(N値) 2.1(隅柱型)

クリ10(テン)スリムコーナーⅢ(床合板30mm対応) K10SⅢG30

ビス止めタイプの床合板対応 10kN用スリムコーナー金物

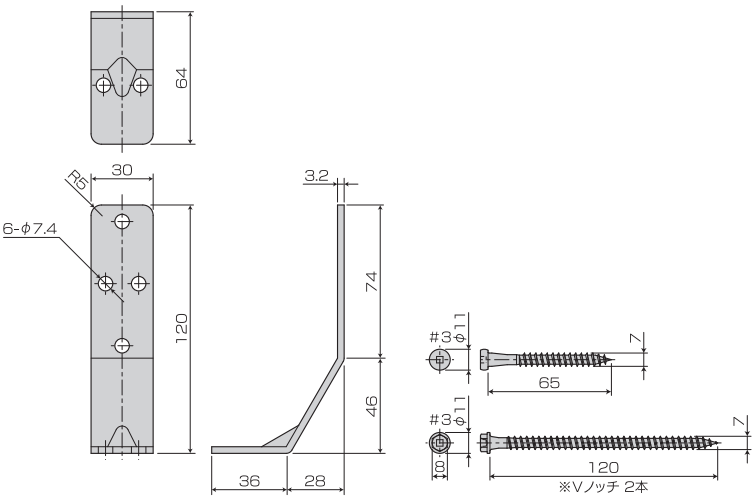




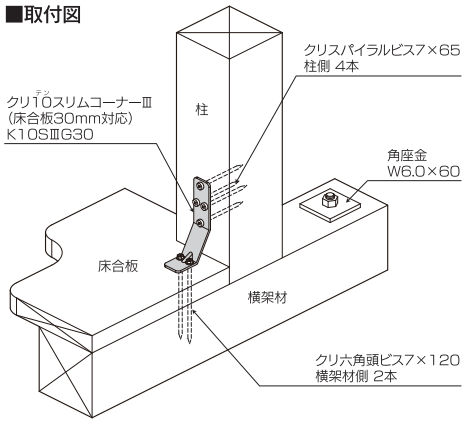
ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP16-KT002/中柱型)
短期基準引張耐力:12.5kN

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP17-KT112/隅柱型)
短期基準引張耐力:11.5kN

■寸法図



■取付図



●使用接合具

柱側	専用ビス(四角穴付クリスパイラルビス)
	7×65(銀色)…4本
横架材側	専用ビス(四角穴付クリ六角頭ビス)
	7×120(れんが色)…2本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●引張力を土台に定着させる座金の仕様

柱脚接合部の短期許容引張耐力	座金の仕様	掲載ページ
6.4kN以下	角座金 W4.5×40	116
	丸座金 W4.5×φ45	116
	クリSW付角座金 KW4.5×40	73
	クリSW付丸座金 KW4.5×φ45	73
	クリカッター KC	76
7.2kN以下	クリカッターⅡ KCⅡ	75
14.4kN以下	角座金 W6.0×60	116
	丸座金 RW6.0×68	116

※金物の耐力ではなく柱脚接合部の引張耐力に合わせた座金をご使用ください。

●詳細データはP137～138の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリ10(テン)スリムコーナーⅢは、引き寄せ金物10kNに該当する金物です。
2.従来この箇所には、引き寄せ金物10kN・羽子板ボルトなどが使用されてきましたが、
クリ10(テン)スリムコーナーⅢはビス打ちタイプな為、木材のボルト穴あけ加工が不要です。
3.柱と横架材がクロスに交わり側面部がない場所などにも使用することが出来ます。
4.床合板(30mm)を介しても柱と横架材を接合できる金物です。
5.全幅が30mmとスリムな為、真壁で仕上げる場合にも有効です。
6.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.専用ビスクリスパイラルビス(7×65)を柱に4本、専用ビスクリ六角頭ビス(7×120)を床合板の上から横架材に2本打ち込んでください。(取付図参照)
※クリ六角頭ビスをソケットで打ち込む時は、ソケットサイズ8mmを使用してください。
※付属の六角ソケット8mmはクリ六角頭ビスの四角穴をつぶしてしまった(なめる)時に使用してください。

商品名	クリ10(テン)スリムコーナーⅢ(床合板30mm対応) K10SⅢG30
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP16-KT002・HP17-KT112)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…4本(柱用・銀色) 四角穴付クリ六角頭ビス(7×120)…2本(横架材用・れんが色) 六角ソケット8mm…1本／ケース
入数	50個／ケース〔専用ビス:(7×65)20本入×10袋、(7×120)10本入×10袋、専用ソケット:1本〕

クリ15コーナー K15

告示第1460号 第二号表三 (と) | 隅柱対応 | 接合部倍率 (N値) 3.3 (中柱型) | 接合部倍率 (N値) 3.1 (隅柱型)

15kN用コーナー金物

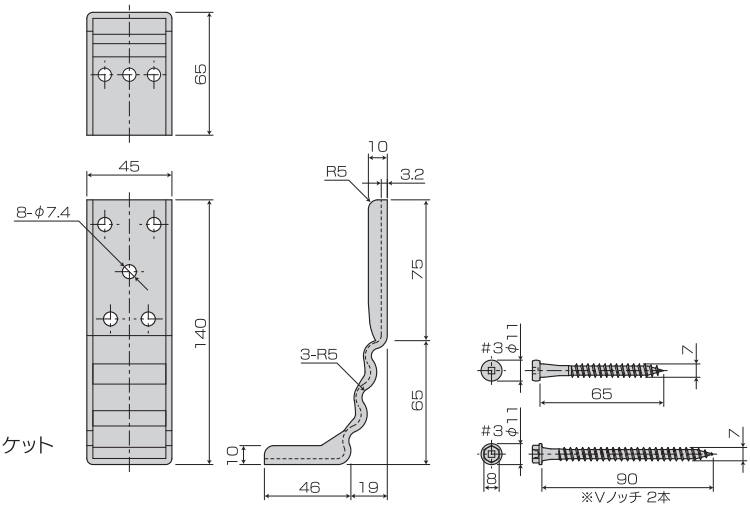
ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP14-KT026/中柱型)
短期基準引張耐力:17.8kN

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP14-KT027/隅柱型)
短期基準引張耐力:16.6kN

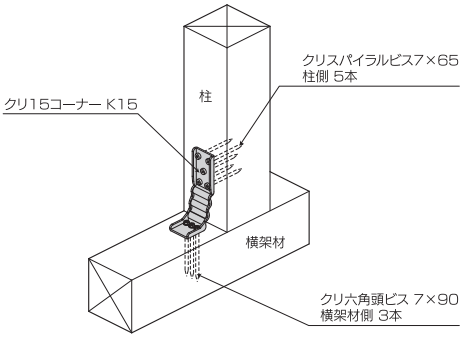




■寸法図



■取付図



●使用接合具

柱側	専用ビス(四角穴付クリスパイラルビス)
	7×65(銀色)…5本
横架材側	専用ビス(四角穴付クリ六角頭ビス)
	7×90(青色)…3本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●詳細データはP139～140の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリ15コーナーは、引き寄せ金物15kNに該当する柱と横架材(土台を除く)を接合する金物です。
2.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。
※告示第1460号第2号表三(と)(ち)(り)(ぬ)の1階柱脚部分には使用しないでください。
※梁が裂ける恐れがありますので、同一仕口での2個使いはしないでください。

使用方法

1.専用ビスクリスパイラルビス(7×65)を柱に5本、専用ビスクリ六角頭ビス(7×90)を横架材に3本打ち込んでください。(取付図参照)
※クリ六角頭ビスをソケットで打ち込む時は、ソケットサイズ8mmを使用してください。
※付属の六角ソケット8mmはクリ六角頭ビスの四角穴をつぶしてしまった(なめる)時に使用してください。

商品名	クリ15コーナー K15
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP14-KT026・HP14-KT027)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…5本(柱用・銀色) 四角穴付クリ六角頭ビス(7×90)…3本(横架材用・青色) 六角ソケット8mm…1本／ケース
入数	20個／ケース(専用ビス:(7×65)25本入×4袋、(7×90)15本入×4袋、専用ソケット:1本)

告示第1460号 第二号表三 (と) | 床合板対応 30mm | 隅柱対応 | 接合部倍率 (N値) 2.9 (中柱型) | 接合部倍率 (N値) 3.2 (隅柱型)

クリ15コーナー(床合板30mm対応) K15G30

床合板対応の 15kN用コーナー金物

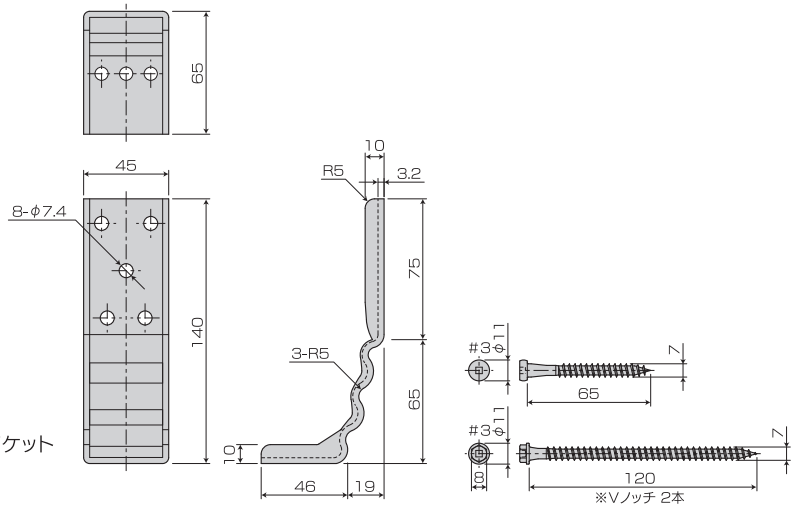
ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP14-KT014/中柱型) 短期基準引張耐力:15.6kN

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP14-KT015/隅柱型) 短期基準引張耐力:17.3kN

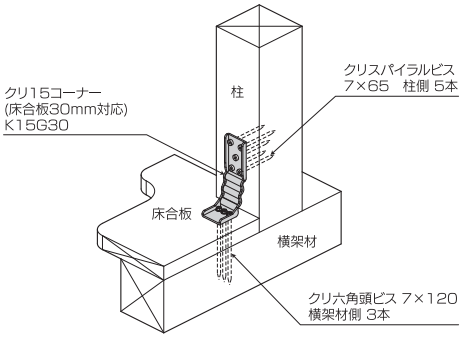




■寸法図



■取付図



●使用接合具

柱側	専用ビス(四角穴付クリスパイラルビス)
	7×65(銀色)…5本
横架材側	専用ビス(四角穴付クリ六角頭ビス)
	7×120(れんが色)…3本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●詳細データはP139～140の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリ15コーナーは、引き寄せ金物15kNに該当する柱と横架材(土台を除く)を接合する金物です。
2.床合板(30mm)を介しても柱と横架材を接合できる金物です。
3.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。
※告示第1460号第2号表三(と)(ち)(り)(ぬ)の1階柱脚部分には使用しないでください。
※梁が裂ける恐れがありますので、同一仕口での2個使いはしないでください。

使用方法

1.専用ビスクリスパイラルビス(7×65)を柱に5本、専用ビスクリ六角頭ビス(7×120)を床合板の上から横架材に3本打ち込んでください。(取付図参照)
※クリ六角頭ビスをソケットで打ち込む時は、ソケットサイズ8mmを使用してください。
※付属の六角ソケット8mmはクリ六角頭ビスの四角穴をつぶしてしまった(なめる)時に使用してください。

商品名	クリ15コーナー(床合板30mm対応) K15G30
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP14-KT014・HP14-KT015)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…5本(柱用・銀色) 四角穴付クリ六角頭ビス(7×120)…3本(横架材用・れんが色) 六角ソケット8mm…1本／ケース
入数	20個／ケース〔専用ビス:(7×65)25本入×4袋、(7×120)15本入×4袋、専用ソケット:1本〕

クリ20コーナー K20

告示第1460号 第二号表三 (ち) | 隅柱対応 | 接合部倍率 (N値) 3.7 (中柱型) | 接合部倍率 (N値) 3.7 (隅柱型)

20kN用コーナー金物

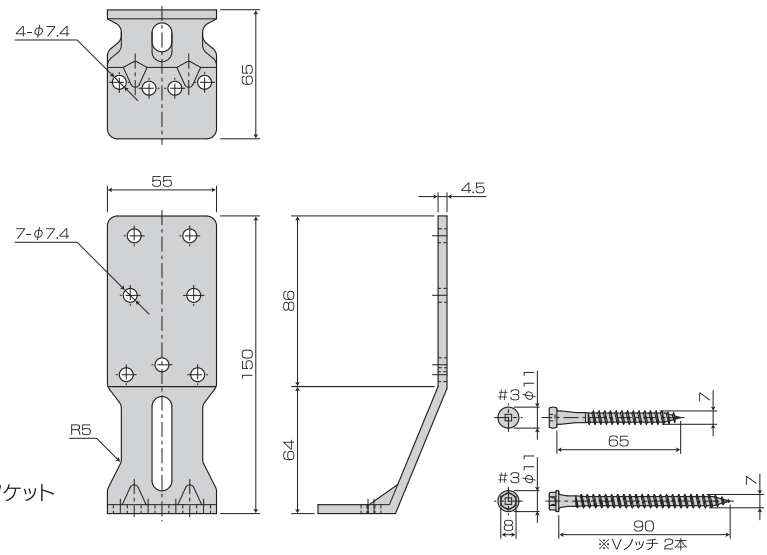
ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP17-KT110/中柱型) 短期基準引張耐力:20.0kN

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP17-KT176/隅柱型) 短期基準引張耐力:20.0kN

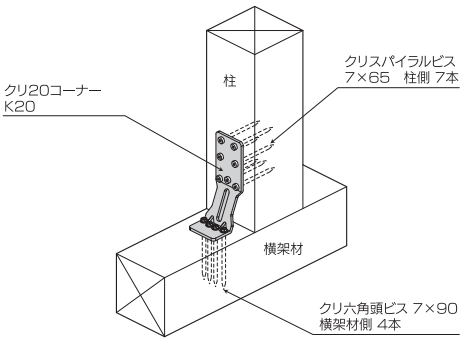




■寸法図



■取付図



●使用接合具

柱側	専用ビス(四角穴付クリスパイラルビス)
	7×65(銀色)…7本
横架材側	専用ビス(四角穴付クリ六角頭ビス)
	7×90(青色)…4本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●詳細データはP141～142の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリ20コーナーは、引き寄せ金物20kNに該当する柱と横架材(土台を除く)を接合する金物です。
2.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。
※告示第1460号表三(と)(ち)(り)(ぬ)の1階柱脚部分には使用しないでください。
※梁が裂ける恐れがありますので、同一仕口での2個使いはしないでください。

使用方法

1.専用ビスクリスパイラルビス(7×65)を柱に7本、専用ビスクリ六角頭ビス(7×90)を横架材に4本打ち込んでください。(取付図参照)
※クリ六角頭ビスをソケットで打ち込む時は、ソケットサイズ8mmを使用してください。
※付属の六角ソケット8mmはクリ六角頭ビスの四角穴をつぶしてしまった(なめる)時に使用してください。

商品名	クリ20コーナー K20
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP17-KT110・HP17-KT176)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…7本(柱用・銀色) 四角穴付クリ六角頭ビス(7×90)…4本(横架材用・青色) 六角ソケット8mm…1本／ケース
入数	20個／ケース〔専用ビス:(7×65)35本入×4袋、(7×90)20本入×4袋、専用ソケット:1本〕

告示第1460号 第二号表三 (ち) | 床合板対応 30mm | 隅柱対応 | 接合部倍率 (N値) 4.3 (中柱型) | 接合部倍率 (N値) 4.2 (隅柱型)

クリ20コーナー(床合板30mm対応) K20G30

床合板対応の 20kN用コーナー金物

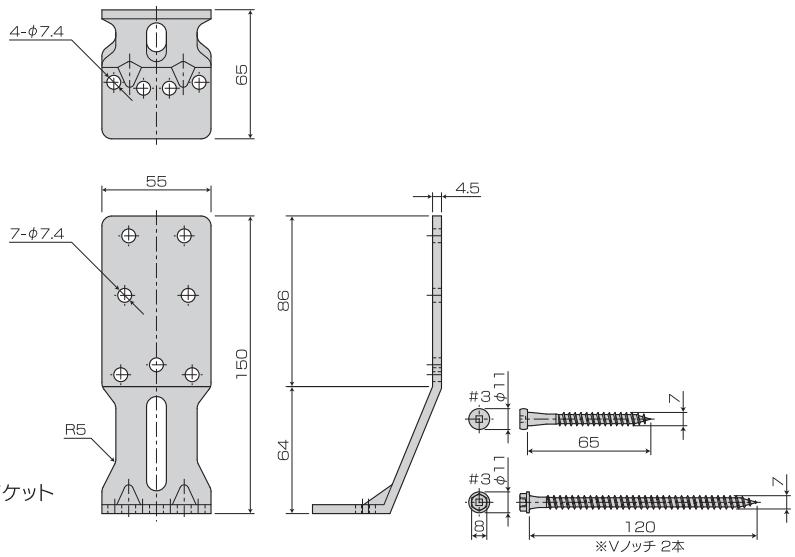
ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP17-KT113/中柱型) 短期基準引張耐力:23.0kN

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP17-KT175/隅柱型) 短期基準引張耐力:22.6kN

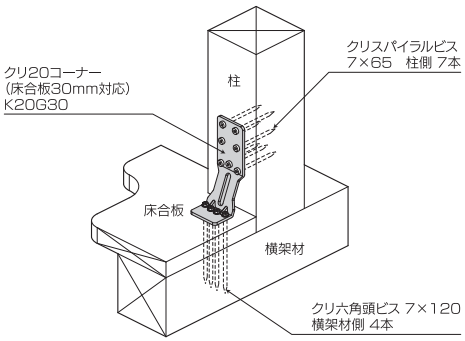




■寸法図



■取付図



●使用接合具

柱側	専用ビス(四角穴付クリスパイラルビス)
	7×65(銀色)…7本
横架材側	専用ビス(四角穴付クリ六角頭ビス)
	7×120(れんが色)…4本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●詳細データはP141～142の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリ20コーナーは、引き寄せ金物20kNに該当する柱と横架材(土台を除く)を接合する金物です。
2.床合板(30mm)を介しても柱と横架材を接合できる金物です。
3.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。
※告示第1460号表三(と)(ち)(り)(ぬ)の1階柱脚部分には使用しないでください。
※梁が裂ける恐れがありますので、同一仕口での2個使いはしないでください。

使用方法

1.専用ビスクリスパイラルビス(7×65)を柱に7本、専用ビスクリ六角頭ビス(7×120)を床合板の上から横架材に4本打ち込んでください。(取付図参照)
※クリ六角頭ビスをソケットで打ち込む時は、ソケットサイズ8mmを使用してください。
※付属の六角ソケット8mmはクリ六角頭ビスの四角穴をつぶしてしまった(なめる)時に使用してください。

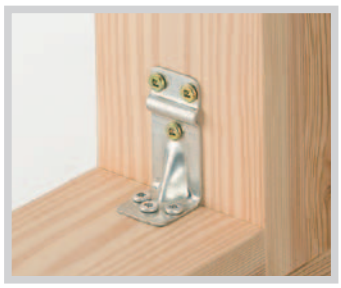
商品名	クリ20コーナー(床合板30mm対応) K20G30
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP17-KT113・HP17-KT175)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…7本(柱用・銀色) 四角穴付クリ六角頭ビス(7×120)…4本(横架材用・れんが色) 六角ソケット8mm…1本／ケース
入数	20個／ケース〔専用ビス:(7×65)35本入×4袋、(7×120)20本入×4袋、専用ソケット:1本〕

チビクリⅡ（枠材30mm対応）CKⅡW30

告示第1460号 第二号表三 (は)　枠材対応 30mm　接合部倍率 (N値) 1.1

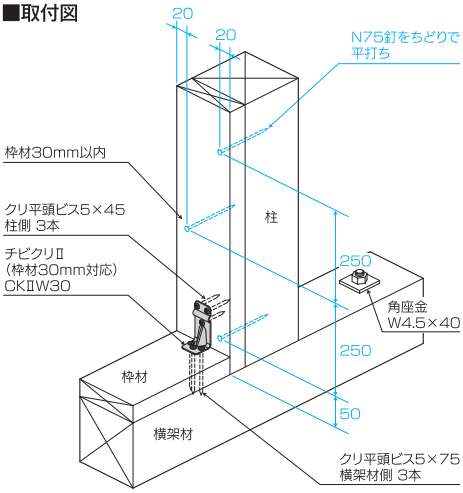
枠材対応の コンパクトコーナー金物!

(一財)建材試験センター
品質性能試験(09A3213)
短期基準引張耐力:6.2kN



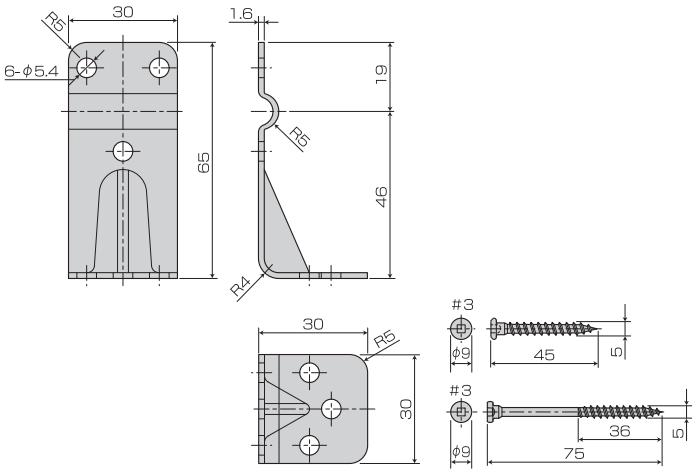


■取付図



※枠材を柱に取り付ける際は、N75釘をちどりで最低11本打ち付け固定してください。
※釘ピッチは目安にしてください。

■寸法図



●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリ平頭ビス)
柱　側	5×45(金色)…3本
横架材側	5×75(銀色)…3本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●引張力を土台に定着させる座金の仕様

柱脚接合部の短期許容引張耐力	座金の仕様	掲載ページ
6.4kN以下	角座金 W4.5×40	116
	丸座金 W4.5×φ45	116
	クリSW付角座金 KW4.5×40	73
	クリSW付丸座金 KW4.5×φ45	73
	クリカッター KC	76
7.2kN以下	クリカッターⅡ KCⅡ	75
14.4kN以下	角座金 W6.0×60	116
	丸座金 RW6.0×68	116

※金物の耐力ではなく柱脚接合部の引張耐力に合わせた座金をご使用ください。

●詳細データはP135～136の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.チビクリⅡは、枠材(30mm)を介しても柱と横架材を接合できる金物です。
2.柱と横架材がクロスに交わり側面部がない場所等にも使用することが出来る内使いタイプの金物です。
3.全幅が30mmとスリムな為、真壁で仕上げる場合にも有効です。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.柱に厚さ30mmの枠材をN75釘で平打ち(ちどりで250mm間隔)し、専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を3本、枠材の上から横架材に専用ビスクリ平頭ビス(5×75)を3本打ち込んでください。(取付図参照)

商品名	チビクリⅡ(枠材30mm対応) CKⅡW30
試験機関	(一財)建材試験センター／品質性能試験(09A3213)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…3本(柱用・金色) 四角穴付クリ平頭ビス(5×75)…3本(横架材用・銀色)
入数	100個／ケース〔専用ビス:(5×45)30本入×10袋、(5×75)30本入×10袋〕

告示第1460号 第二号表三 (へ)　枠材対応 30mm　接合部倍率 (N値) 2.2

クリ10スリムコーナーⅢ(枠材30mm対応) K10SⅢW30

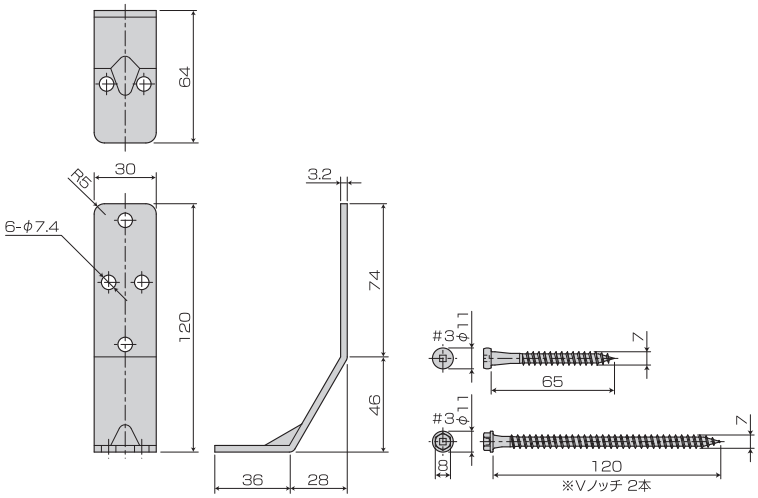
ビス止めタイプの枠材対応 10kN用スリムコーナー金物



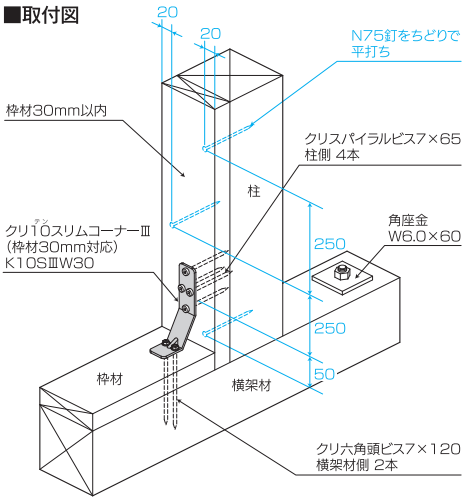
ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP18-KT010)
短期基準引張耐力:11.8kN



■寸法図



■取付図



※枠材を柱に取り付ける際は、N75釘をちどりで最低11本打ち付け固定してください。
※釘ピッチは目安にしてください。

●使用接合具

柱側	専用ビス(四角穴付クリスパイラルビス)
	7×65(銀色)…4本
横架材側	専用ビス(四角穴付クリ六角頭ビス)
	7×120(れんが色)…2本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●引張力を土台に定着させる座金の仕様

柱脚接合部の短期許容引張耐力	座金の仕様	掲載ページ
6.4kN以下	角座金 W4.5×40	116
	丸座金 W4.5×φ45	116
	クリSW付角座金 KW4.5×40	73
	クリSW付丸座金 KW4.5×φ45	73
	クリカッター KC	76
7.2kN以下	クリカッターⅡ KCⅡ	75
14.4kN以下	角座金 W6.0×60	116
	丸座金 RW6.0×68	116

※金物の耐力ではなく柱脚接合部の引張耐力に合わせた座金をご使用ください。

●詳細データはP137～138の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリ10スリムコーナーⅢは、引き寄せ金物10kNに該当する金物です。
2.従来この箇所には、引き寄せ金物10kN・羽子板ボルトなどが使用されてきましたが、クリ10スリムコーナーⅢはビス打ちタイプな為、木材のボルト穴あけ加工が不要です。
3.柱と横架材がクロスに交わり側面部がない場所などにも使用することが出来ます。
4.枠材(30mm)を介しても柱と横架材を接合出来る金物です。
5.全幅が30mmとスリムな為、真壁で仕上げる場合にも有効です。
6.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.柱に厚さ30mmの枠材をN75釘で平打ち(ちどりで250mm間隔)し、専用ビスクリスパイラルビス(7×65)を4本、枠材の上から横架材に専用ビスクリ六角頭ビス(7×120)を2本打ち込んでください。(取付図参照)
※クリ六角頭ビスをソケットで打ち込む時は、ソケットサイズ8mmを使用してください。
※付属の六角ソケット8mmはクリ六角頭ビスの四角穴をつぶしてしまった(なめる)時に使用してください。

商品名	クリ10スリムコーナーⅢ(枠材30mm対応) K10SⅢW30
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP18-KT010)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…4本(柱用・銀色) 四角穴付クリ六角頭ビス(7×120)…2本(横架材用・れんが色) 六角ソケット8mm…1本／ケース
入数	50個／ケース〔専用ビス:(7×65)20本入×10袋、(7×120)10本入×10袋、専用ソケット:1本〕

クリ15コーナー（枠材30mm対応）
K15W30

告示第1460号 第二号表三（と） | 枠材対応 30mm | 接合部倍率（N値） 3.1

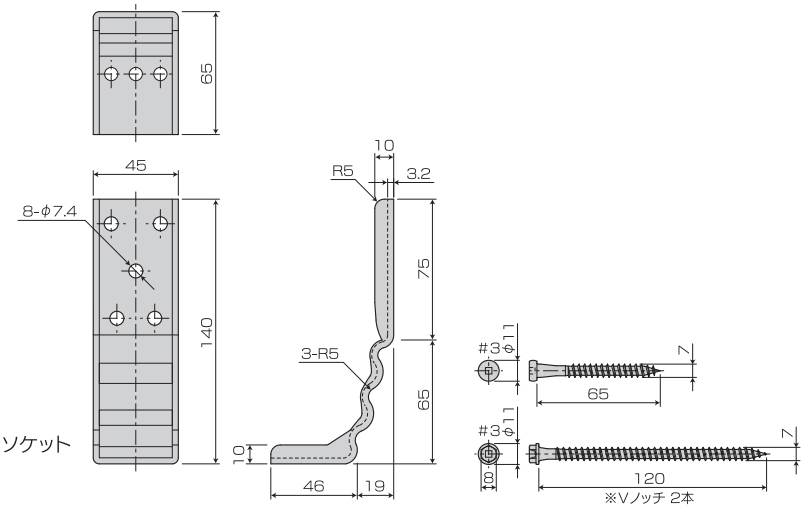
枠材対応の
15kN用コーナー金物

ハウスプラス確認検査（株）
品質性能試験（HP14-KT107） 短期基準引張耐力：16.9kN

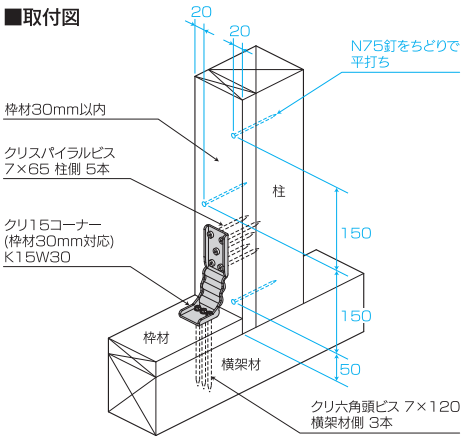




■寸法図



■取付図



※枠材を柱に取り付ける際は、N75釘をちどりで最低17本打ち付け固定してください。
※釘ピッチは目安にしてください。

●使用接合具

柱側	専用ビス（四角穴付クリスパイラルビス）
	7×65（銀色）…5本
横架材側	専用ビス（四角穴付クリ六角頭ビス）
	7×120（れんが色）…3本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●詳細データはP139～140の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリ15コーナーは、引き寄せ金物15kNに該当する柱と横架材（土台を除く）を接合する金物です。
2.枠材（30mm）を介しても柱と横架材を接合できる金物です。
3.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。
※告示第1460号第2号表三（と）（ち）（り）（ぬ）の1階柱脚部分には使用しないでください。
※梁が裂ける恐れがありますので、同一仕口での2個使いはしないでください。

使用方法

1.柱に厚さ30mmの枠材をN75釘で平打ち（ちどりで150mm間隔）し、専用ビスクリスパイラルビス（7×65）を5本、枠材の上から横架材に専用ビスクリ六角頭ビス（7×120）を3本打ち込んでください。（取付図参照）
※クリ六角頭ビスをソケットで打ち込む時は、ソケットサイズ8mmを使用してください。
※付属の六角ソケット8mmはクリ六角頭ビスの四角穴をつぶしてしまった（なめる）時に使用してください。

商品名	クリ15コーナー（枠材30mm対応）K15W30
試験機関	ハウスプラス確認検査（株）／品質性能試験（HP14-KT107）
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス（7×65）…5本（柱用・銀色） 四角穴付クリ六角頭ビス（7×120）…3本（横架材用・れんが色） 六角ソケット8mm…1本／ケース
入数	20個／ケース〔専用ビス：（7×65）25本入×4袋、（7×120）15本入×4袋、専用ソケット：1本〕

告示第1460号 第二号表三 (ち) | 枠材対応 30mm | 接合部倍率 (N値) 3.7

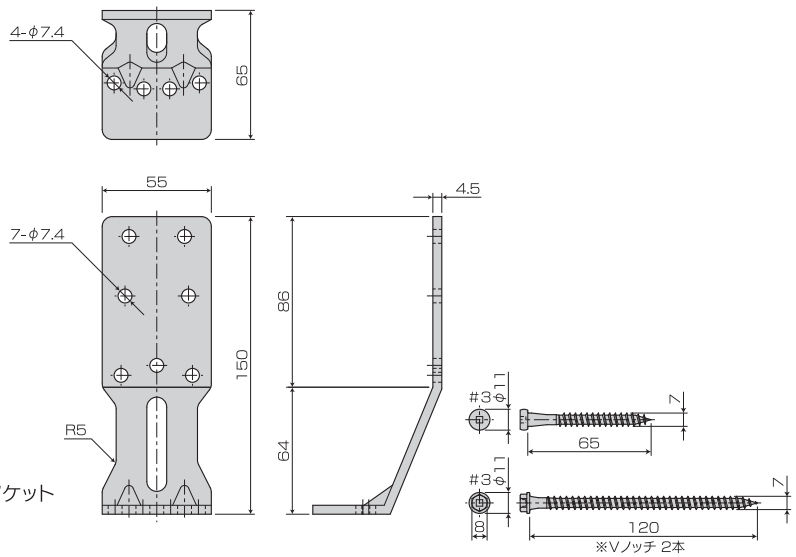
枠材対応の
20kN用コーナー金物

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP19-KT080) 短期基準引張耐力：20.1kN

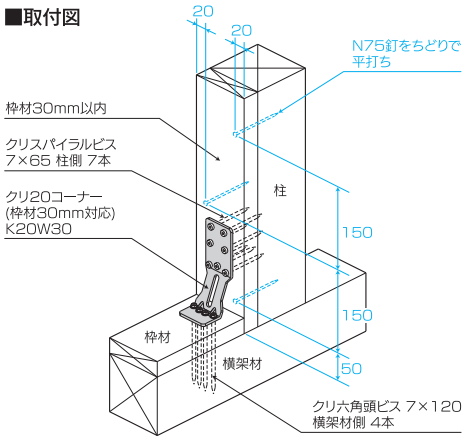




■寸法図



■取付図



※枠材を柱に取り付ける際は、N75釘をちどりで最低17本打ち付け固定してください。
※釘ピッチは目安にしてください。

●使用接合具

柱側	専用ビス(四角穴付クリスパイラルビス)
	7×65(銀色)…7本
横架材側	専用ビス(四角穴付クリ六角頭ビス)
	7×120(れんが色)…4本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●詳細データはP141～142の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリ20コーナーは、引き寄せ金物20kNに該当する柱と横架材(土台を除く)を接合する金物です。
2.枠材(30mm)を介しても柱と横架材を接合できる金物です。
3.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。
※告示第1460号表三(と)(ち)(り)(ぬ)の1階柱脚部分には使用しないでください。
※梁が裂ける恐れがありますので、同一仕口での2個使いはしないでください。

使用方法

1.柱に厚さ30mmの枠材をN75釘で平打ち(ちどりで150mm間隔)し、専用ビスクリスパイラルビス(7×65)を7本、枠材の上から横架材に専用ビスクリ六角頭ビス(7×120)を4本打ち込んでください。(取付図参照)
※クリ六角頭ビスをソケットで打ち込む時は、ソケットサイズ8mmを使用してください。
※付属の六角ソケット8mmはクリ六角頭ビスの四角穴をつぶしてしまった(なめる)時に使用してください。

商品名	クリ20コーナー(枠材30mm対応) K20W30
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP19-KT080)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…7本(柱用・銀色) 四角穴付クリ六角頭ビス(7×120)…4本(横架材用・れんが色) 六角ソケット8mm…1本／ケース
入数	20個／ケース〔専用ビス：(7×65)35本入×4袋、(7×120)20本入×4袋、専用ソケット：1本〕

クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材30mm対応)
KHDⅢ-15・20・25W30

告示第1460号 第二号表三 (り)　枠材対応 30mm　接合部倍率 (N値) 4.7

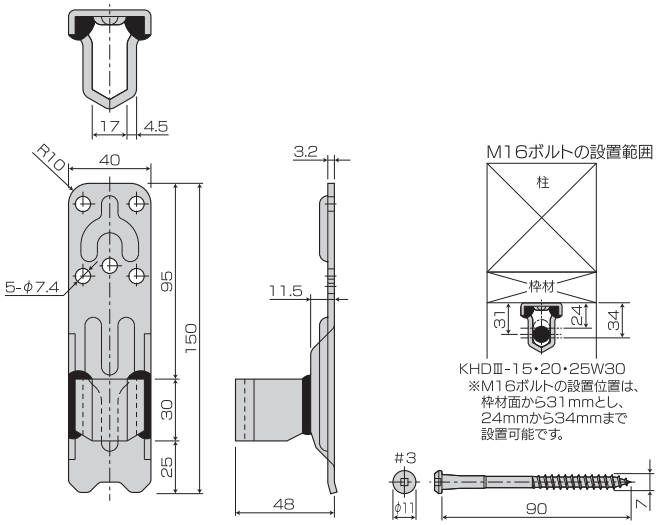
枠材30mmを介しても 25kNまでワンサイズで対応

(一財)建材試験センター
品質性能試験(08A1815)
短期基準引張耐力:25.2kN

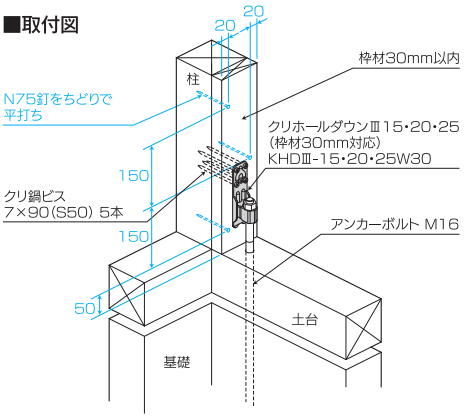




■寸法図



■取付図



※枠材を柱に取り付ける際は、N75釘をちどりで最低17本打ち付け固定してください。
※釘ピッチは目安にしてください。

●使用接合具

柱　側	専用ビス(四角穴付クリ鍋ビス)
	7×90(S50)…5本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●KDHアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ
(コンクリート強度:24N/mm²、基礎幅150mm時)

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
42.3kN以下	240mm

※社団法人日本建築学会発行
「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出

●クリアンカーボルトM16・ZアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
33.8kN以下	360mm

※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、
国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。
なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。

●詳細データはP144の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリホールダウンⅢは、枠材(30mm)を介して柱と基礎、柱と横架材、上下階の柱を緊結する金物です。
2.ビス5本で25kNまで対応出来ます。
3.専用ビス(7×90)を使用することで柱に30mmの枠材を介しても接合することが出来ます。
4.M16用のボルト穴をルーズにしてある為、現場での作業性がアップします。
5.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.柱に厚さ30mmの枠材をN75釘で平打ち(ちどりで150mm間隔)し、アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)にクリホールダウンⅢを通し専用ビスクリ鍋ビス(7×90)を枠材の上から5本打ち込んでください。
※土台、横架材面から金物までの寸法(締めしろ)は、約30mm以上確保してください。
2.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)を六角ナット(M16)で固定してください。(取付図参照)
※専用丸座金は必要ありません。

商品名	クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材30mm対応) KHDⅢ-15・20・25W30
試験機関	(一財)建材試験センター／品質性能試験(08A1815)
材質	板　部:JIS G 3134 SPFH590相当 ボルト受け部:JIS G 3131 SPHC相当
表面処理	ダクロタイズド
付属部品	専用ビス／四角穴付クリ鍋ビス〔7×90(S50)〕…5本
入数	20個／ケース(専用ビス:25本入×4袋)

Hyakuzo

告示第1460号 第二号表三 (り) | 枠材対応 45mm | 接合部倍率 (N値) 4.9

クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材45mm対応) KHDⅢ-15・20・25W45

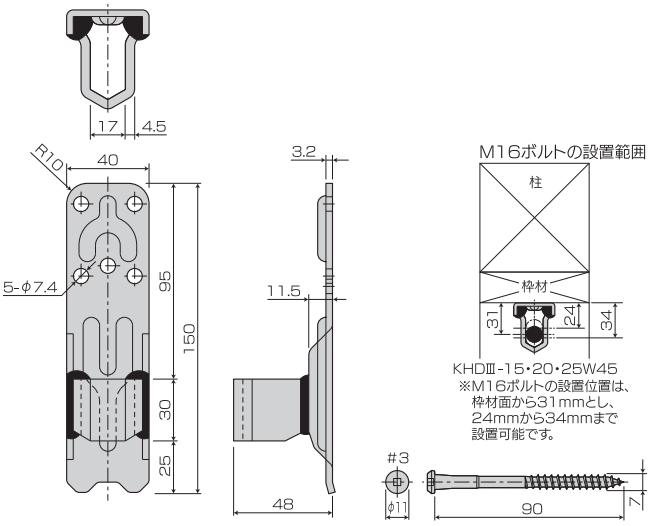
枠材45mmを介しても 25kNまでワンサイズで対応



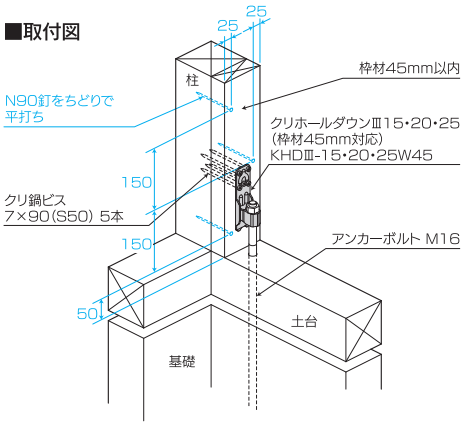
(一財)建材試験センター
品質性能試験(09A1607)
短期基準引張耐力:26.1kN



■寸法図



■取付図



※枠材を柱に取り付ける際は、N90釘をちどりで最低17本打ち付け固定してください。
※釘ピッチは目安にしてください。

●使用接合具

柱　側	専用ビス(四角穴付クリ鍋ビス)
	7×90(S50)…5本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●KDHアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ
(コンクリート強度:24N/mm²、基礎幅150mm時)

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
42.3kN以下	240mm

※社団法人日本建築学会発行
「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出

●クリアンカーボルトM16・ZアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
33.8kN以下	360mm

※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、
国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。
なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。

●詳細データはP144の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリホールダウンⅢは、枠材(45mm)を介して柱と基礎、柱と横架材、上下階の柱を緊結する金物です。
2.ビス5本で25kNまで対応出来ます。
3.専用ビス(7×90)を使用することで柱に45mmの枠材を介しても接合することが出来ます。
4.M16用のボルト穴をルーズにしてある為、現場での作業性がアップします。
5.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.柱に厚さ45mmの枠材をN90釘で平打ち(ちどりで150mm間隔)し、アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)にクリホールダウンⅢを通し専用ビスクリ鍋ビス(7×90)を枠材の上から5本打ち込んでください。
※土台、横架材面から金物までの寸法(締めしろ)は約30mm以上確保してください。
2.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)を六角ナット(M16)で固定してください。(取付図参照)
※専用丸座金は必要ありません。

商品名	クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材45mm対応) KHDⅢ-15・20・25W45
試験機関	(一財)建材試験センター／品質性能試験(09A1607)
材質	板　部:JIS G 3134 SPFH590相当 ボルト受け部:JIS G 3131 SPHC相当
表面処理	ダクロタイズド
付属部品	専用ビス／四角穴付クリ鍋ビス〔7×90(S50)〕…5本
入数	20個／ケース(専用ビス:25本入×4袋)

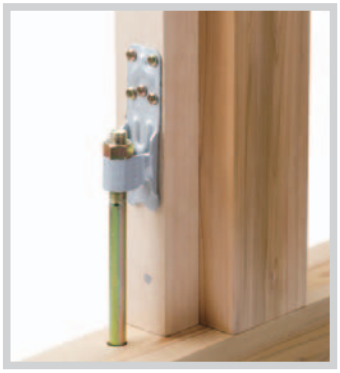
クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材45×60mm対応)
KHDⅢ-15・20・25W45×60

告示第1460号 第二号表三 (り)　枠材対応 45×60mm (ベイツガ)　接合部倍率 (N値) 5.1

枠材45×60mm(べいつが)を介しても25kNまでワンサイズで対応

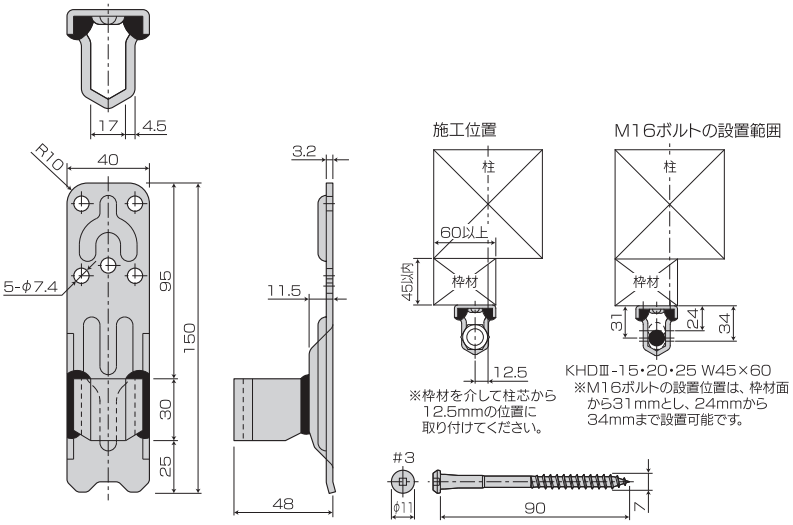
(一財)建材試験センター
品質性能試験(14A3599)
短期基準引張耐力:27.3kN

※試験材
柱:すぎ105×105
縦枠:べいつが45×60

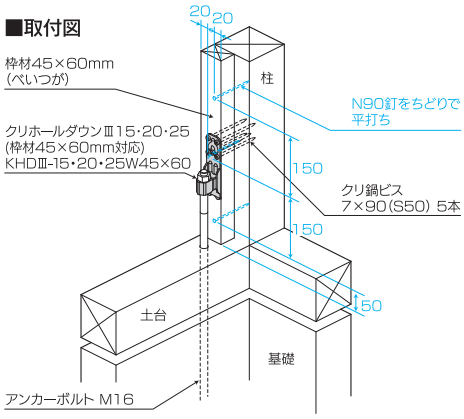




■寸法図



■取付図



※枠材を柱に取り付ける際は、N90釘をちどりで最低17本打ち付け固定してください。
※釘ピッチは目安にしてください。

●使用接合具

柱　側	専用ビス(四角穴付クリ鍋ビス)
	7×90(S50)…5本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●KDHアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ
(コンクリート強度:24N/mm²、基礎幅150mm時)

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
42.3kN以下	240mm

※社団法人日本建築学会発行
「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出

●クリアンカーボルトM16・ZアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
33.8kN以下	360mm

※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、
国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。
なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。

用途・特徴

1.クリホールダウンⅢは、枠材45×60mm(べいつが)を介して柱と基礎、柱と横架材、上下階の柱を緊結する金物です。
2.ビス5本で25kNまで対応出来ます。
3.専用ビス(7×90)を使用することで柱に45mmの枠材を介しても接合することが出来ます。
4.M16用のボルト穴をルーズにしてある為、現場での作業性がアップします。
5.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

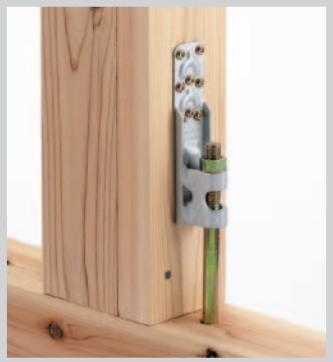
1.柱に厚さ45mm幅60mmの枠材(べいつが)をN90釘で平打ち(ちどりで150mm間隔)し、アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)にクリホールダウンⅢを通し専用ビスクリ鍋ビス(7×90)を枠材の上から5本打ち込んでください。
※土台、横架材面から金物までの寸法(締めしろ)は約30mm以上確保してください。
2.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)を六角ナット(M16)で固定してください。(取付図参照)
※専用丸座金は必要ありません。
※必ず決められた施工位置でご使用ください。

商品名	クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材45×60mm対応) KHDⅢ-15・20・25W45×60
試験機関	(一財)建材試験センター／品質性能試験(14A3599)
材質	板　部:JIS G 3134 SPFH590相当 ボルト受け部:JIS G 3131 SPHC相当
表面処理	ダクロタイズド
付属部品	専用ビス／四角穴付クリ鍋ビス〔7×90(S50)〕…5本
入数	20個／ケース(専用ビス:25本入×4袋)

クリホールダウンⅢ30・35(枠材45mm対応) KHDⅢ-30・35W45

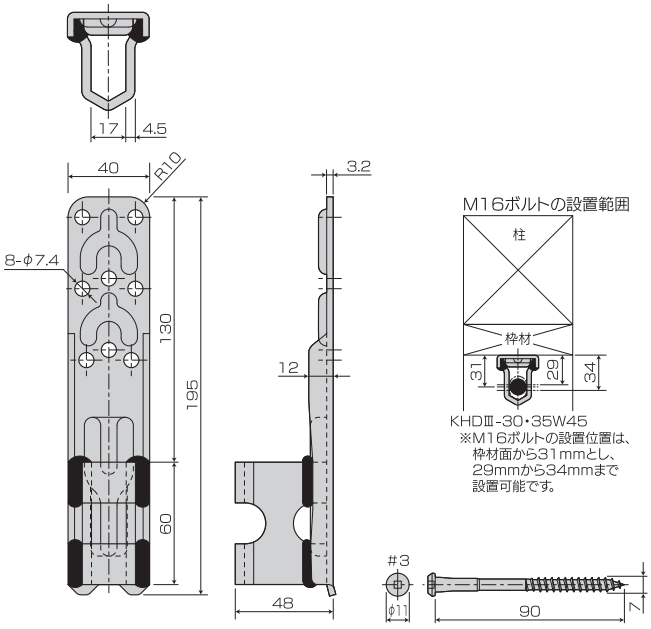
枠材45mm対応の ビス止めホールダウン!!

(一財)建材試験センター
品質性能試験(09A1608)
短期基準引張耐力:36.0kN

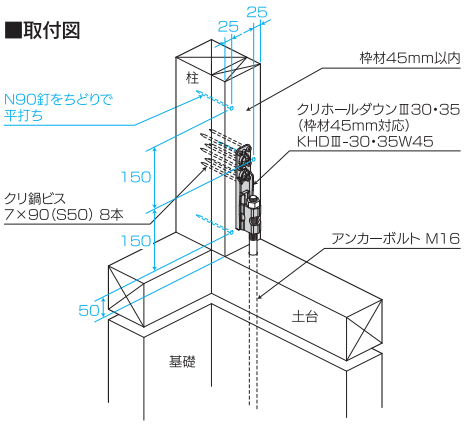




■寸法図



■取付図



※枠材を柱に取り付ける際は、N90釘をちどりで最低17本打ち付け固定してください。
※釘ピッチは目安にしてください。

●使用接合具

柱 側	専用ビス(四角穴付クリ鍋ビス)
	7×90(S50)…8本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●KDHアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ
(コンクリート強度:24N/mm²、基礎幅150mm時)

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
42.3kN以下	240mm

※社団法人日本建築学会発行
「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出

●クリアンカーボルトM16・ZアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ	ボルトの強度区分
33.8kN以下	360mm	4.6
33.8kNを超え37.6kN以下	400mm	4.6

※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、
国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。
なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。

●詳細データはP145の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリホールダウンⅢは、枠材(45mm)を介して柱と基礎、柱と横架材、上下階の柱を緊結する金物です。
2.専用ビス(7×90)を使用することで柱に45mmの枠材を介しても接合することが出来ます。
3.M16用のボルト穴をルーズにしてある為、現場での作業性がアップします。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.柱に厚さ45mmの枠材をN90釘で平打ち(ちどりで150mm間隔)し、アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)にクリホールダウンⅢを通し専用ビスクリ鍋ビス(7×90)を枠材の上から8本打ち込んでください。
※土台、横架材面から金物までの寸法(締めしろ)は約30mm以上確保してください。
2.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)を六角ナット(M16)で固定してください。(取付図参照)
※専用丸座金は必要ありません。

商品名	クリホールダウンⅢ30・35(枠材45mm対応) KHDⅢ-30・35W45
試験機関	(一財)建材試験センター/品質性能試験(09A1608)
材質	板 部:JIS G 3134 SPFH590相当 ボルト受け部:JIS G 3131 SPHC相当
表面処理	ダクロタイズド
付属部品	専用ビス/四角穴付クリ鍋ビス〔7×90(S50)〕…8本
入数	20個/ケース(専用ビス:8本入×20袋)

クリホールダウンⅢ30・35(枠材45×60mm対応)
KHDⅢ-30・35W45×60

告示第1460号 第二号表三 (ぬ)　枠材対応 45×60mm (ベイツガ)　接合部倍率 (N値) 6.8

枠材45×60mm(べいつが)対応の ビス止めホールダウン!!

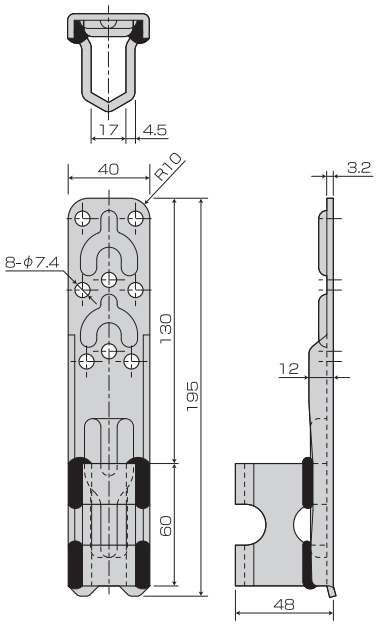
(一財)建材試験センター
品質性能試験(14A3598)
短期基準引張耐力:36.3kN

※試験材
柱:すぎ105×105
縦枠:べいつが45×60

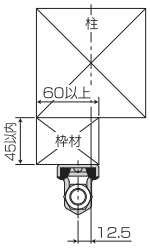




■寸法図

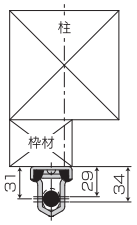


施工位置

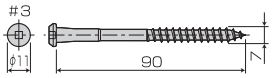


※枠材を介して柱芯から12.5mmの位置に取り付けてください。

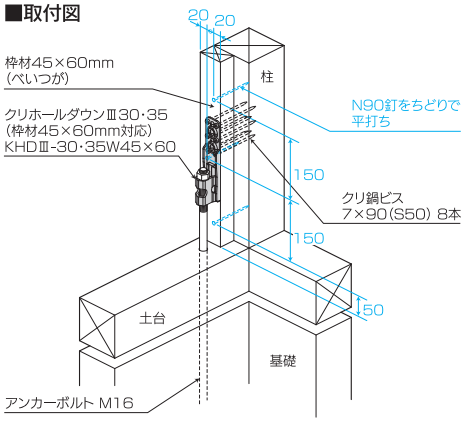
M16ボルトの設置範囲



KHDⅢ-30・35W45×60
※M16ボルトの設置位置は、枠材面から31mmとし、29mmから34mmまで設置可能です。



■取付図



※枠材を柱に取り付ける際は、N90釘をちどりで最低17本打ち付け固定してください。
※釘ピッチは目安にしてください。

●使用接合具

柱　側	専用ビス(四角穴付クリ鍋ビス)
	7×90(S50)…8本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●KDHアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ
(コンクリート強度:24N/mm²、基礎幅150mm時)

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
42.3kN以下	240mm

※社団法人日本建築学会発行
「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出

●クリアンカーボルトM16・ZアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ	ボルトの強度区分
33.8kN以下	360mm	4.6
33.8kNを超え37.6kN以下	400mm	4.6

※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、
国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。
なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。

用途・特徴

1.クリホールダウンⅢは、枠材45×60mm(べいつが)を介して柱と基礎、柱と横架材、上下階の柱を緊結する金物です。
2.専用ビス(7×90)を使用することで柱に45mmの枠材を介しても接合することが出来ます。
3.M16用のボルト穴をルーズにしてある為、現場での作業性がアップします。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.柱に厚さ45mm幅60mmの枠材(べいつが)をN90釘で平打ち(ちどりで150mm間隔)し、アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)にクリホールダウンⅢを通し専用ビスクリ鍋ビス(7×90)を枠材の上から8本打ち込んでください。
※土台、横架材面から金物までの寸法(締めしろ)は約30mm以上確保してください。
2.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)を六角ナット(M16)で固定してください。(取付図参照)
※専用丸座金は必要ありません。
※必ず決められた施工位置でご使用ください。

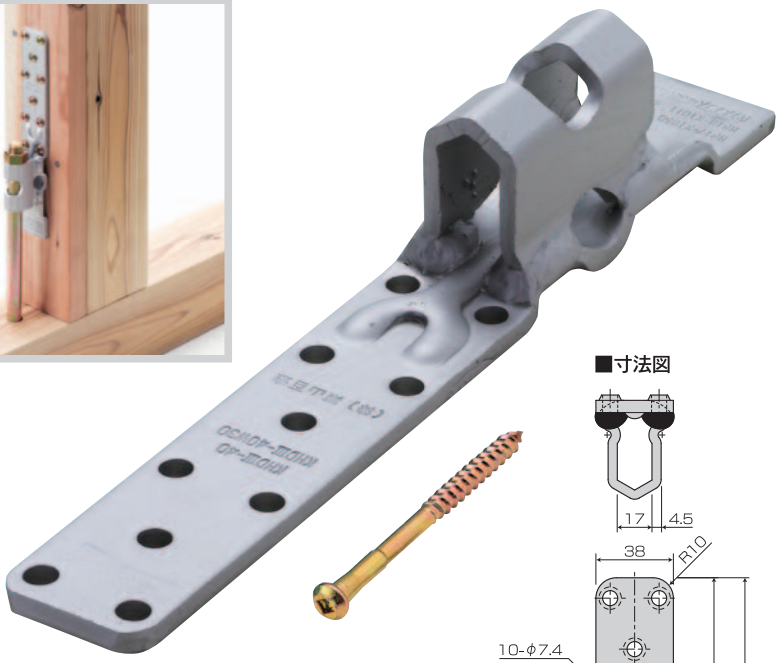
商品名	クリホールダウンⅢ30・35(枠材45×60mm対応) KHDⅢ-30・35W45×60
試験機関	(一財)建材試験センター／品質性能試験(14A3598)
材質	板　部:JIS G 3134 SPFH590相当 ボルト受け部:JIS G 3131 SPHC相当
表面処理	ダクロタイズド
付属部品	専用ビス／四角穴付クリ鍋ビス〔7×90(S50)〕…8本
入数	20個／ケース(専用ビス:8本入×20袋)

クリホールダウンⅢ40(枠材30mm対応) KHDⅢ-40W30

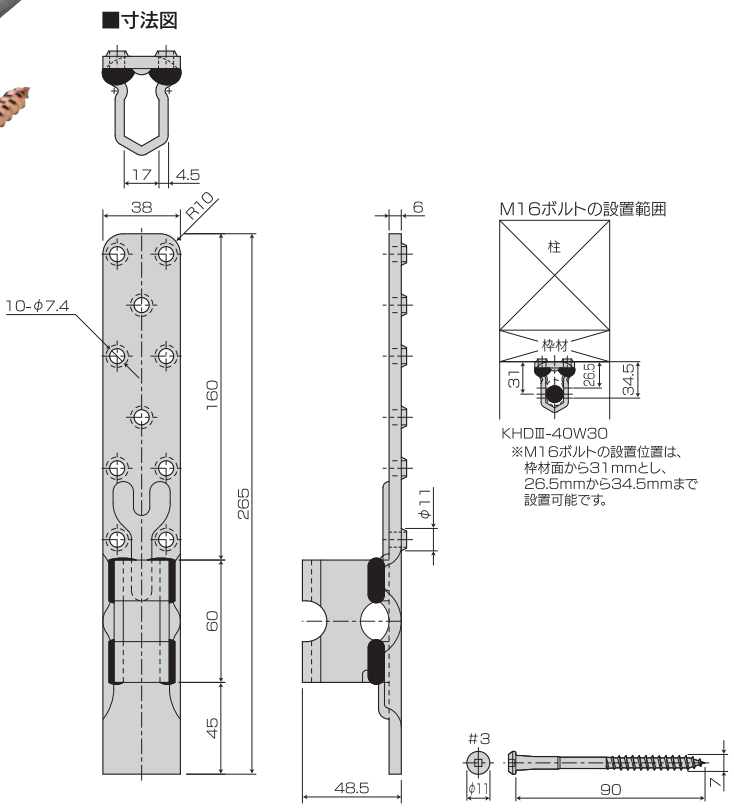
枠材30mm対応の ビス止めホールダウン!!

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP18-KT011)
短期基準引張耐力:42.9kN

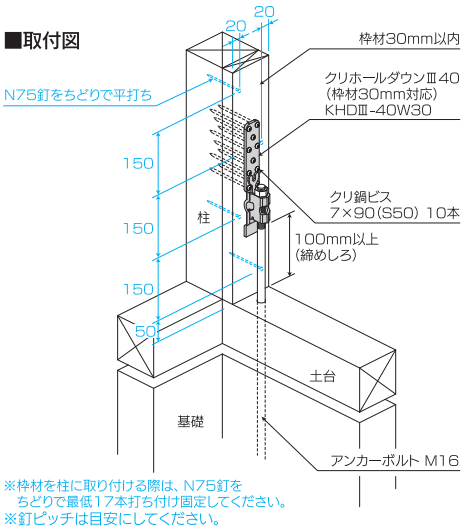




■寸法図



■取付図



※枠材を柱に取り付ける際は、N75釘を
ちどりで最低17本打ち付け固定してください。
※釘ピッチは目安にしてください。

●使用接合具

柱　側	専用ビス(四角穴付クリ鍋ビス)
	7×90(S50)…10本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●KDHアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ
(コンクリート強度:24N/mm², 基礎幅150mm時)

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
42.3kN以下	240mm
42.3kNを超え43.4kN以下	250mm

※社団法人日本建築学会発行
「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出

●クリアンカーボルトM16・ZアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ	ボルトの強度区分
33.8kN以下	360mm	4.6
33.8kNを超え37.6kN以下	400mm	4.6
37.6kNを超え42.9kN以下	445mm	4.8

※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、
国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。
なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。

●詳細データはP146の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリホールダウンⅢは、枠材(30mm)を介して柱と基礎、柱と横架材、上下階の柱を緊結する金物です。
2.専用ビス(7×90)を使用することで柱に30mmの枠材を介しても接合することが出来ます。
3.M16用のボルト穴をルーズにしてある為、現場での作業性がアップします。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.柱に厚さ30mmの枠材をN75釘で平打ち(ちどりで150mm間隔)し、アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)にクリホールダウンⅢを通し専用ビスクリ鍋ビス(7×90)を枠材の上から10本打ち込んでください。
※土台、横架材面から金物までの寸法(締めしろ)は、約100mm以上確保してください。
2.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)を六角ナット(M16)で固定してください。(取付図参照)
※専用丸座金は必要ありません。

商品名	クリホールダウンⅢ40(枠材30mm対応) KHDⅢ-40W30
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP18-KT011)
材質	JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC
表面処理	ダクロタイズド
付属部品	専用ビス／四角穴付クリ鍋ビス〔7×90(S50)〕…10本
入数	20個／ケース(専用ビス:50本入×4袋)

クリホールダウンⅢ15・20・25
KHDⅢ-15・20・25

告示第1460号 第二号表三 (り)

接合部倍率 (N値) 4.8

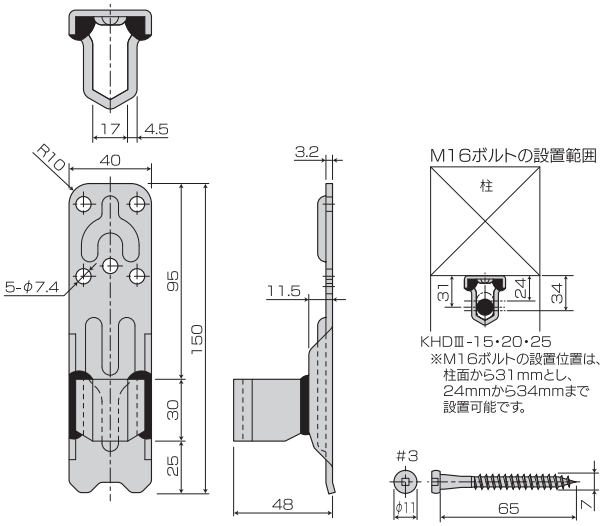
25kNまでワンサイズで対応

(一財)建材試験センター
品質性能試験(07A0611)
短期基準引張耐力:25.8kN

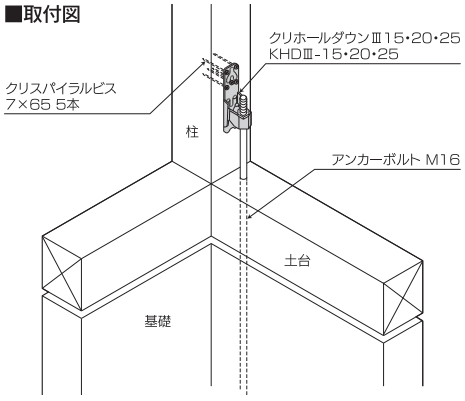




■寸法図



■取付図



●使用接合具

柱　側	専用ビス(四角穴付クリスパイラルビス)
	7×65…5本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●KDHアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ
(コンクリート強度:24N/mm²、基礎幅150mm時)

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
42.3kN以下	240mm

※社団法人日本建築学会発行
「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出

●クリアンカーボルトM16・ZアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
33.8kN以下	360mm

※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、
国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。
なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。

●詳細データはP144の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリホールダウンⅢは、柱と基礎、柱と横架材、上下階の柱を緊結する金物です。
2.ビス5本で25kNまで対応出来ます。
3.M16用のボルト穴をルーズにしてある為、現場での作業性がアップします。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)にクリホールダウンⅢを通し専用ビスクリスパイラルビス(7×65)を5本打ち込んでください。
※土台、横架材面から金物までの寸法(締めしろ)は約30mm以上確保してください。
2.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)を六角ナット(M16)で固定してください。(取付図参照)
※専用丸座金は必要ありません。

商品名	クリホールダウンⅢ15・20・25 KHDⅢ-15・20・25
試験機関	(一財)建材試験センター／品質性能試験(07A0611)
材質	板　部:JIS G 3134 SPFH590相当 ボルト受け部:JIS G 3131 SPHC相当
表面処理	ダクロタイズド
付属部品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…5本
入数	20個／ケース(専用ビス:25本入×4袋)

クリホールダウンⅢ30・35
KHDⅢ-30・35

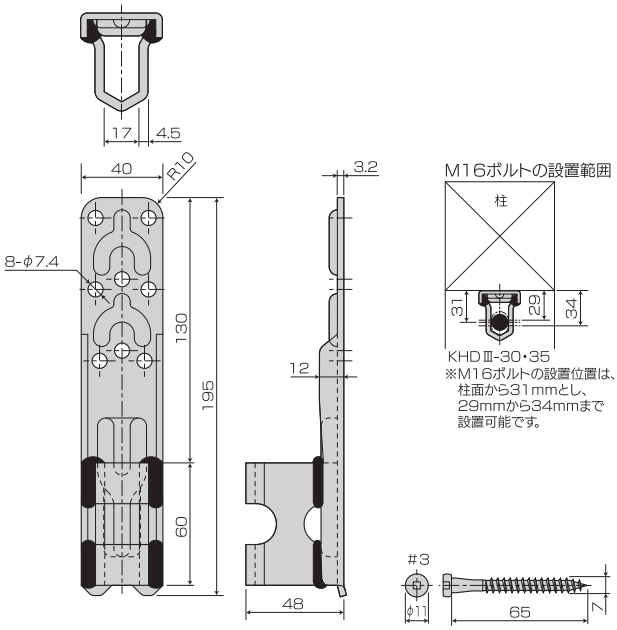
37.4kNまで対応の ビス止めホールダウン!!

(一財)建材試験センター
品質性能試験(07A0612)
短期基準引張耐力:37.4kN

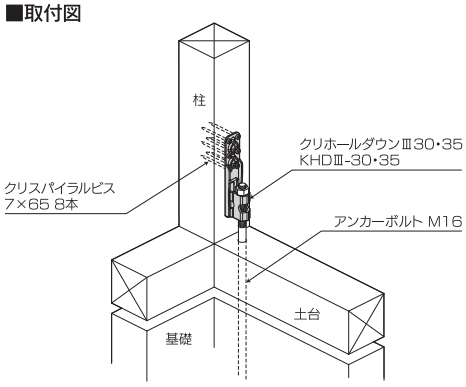




■寸法図



■取付図



●使用接合具

柱　側	専用ビス(四角穴付クリスパイラルビス)
	7×65…8本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●KDHアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ
(コンクリート強度:24N/mm²、基礎幅150mm時)

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
42.3kN以下	240mm

※社団法人日本建築学会発行
「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出

●クリアンカーボルトM16・ZアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ	ボルトの強度区分
33.8kN以下	360mm	4.6
33.8kNを超え37.6kN以下	400mm	4.6

※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、
国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。
なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。

●詳細データはP145の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリホールダウンⅢは、柱と基礎、柱と横架材、上下階の柱を緊結する金物です。
2.M16用のボルト穴をルーズにしてある為、現場での作業性がアップします。
3.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)にクリホールダウンⅢを通し専用ビスクリスパイラルビス(7×65)を8本打ち込んでください。
※土台、横架材面から金物までの寸法(締めしろ)は約30mm以上確保してください。
2.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)を六角ナット(M16)で固定してください。(取付図参照)
※専用丸座金は必要ありません。

商品名	クリホールダウンⅢ30・35 KHDⅢ-30・35
試験機関	(一財)建材試験センター／品質性能試験(07A0612)
材質	板　部:JIS G 3134 SPFH590相当 ボルト受け部:JIS G 3131 SPHC相当
表面処理	ダクロタイズド
付属部品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…8本
入数	20個／ケース(専用ビス:8本入×20袋)

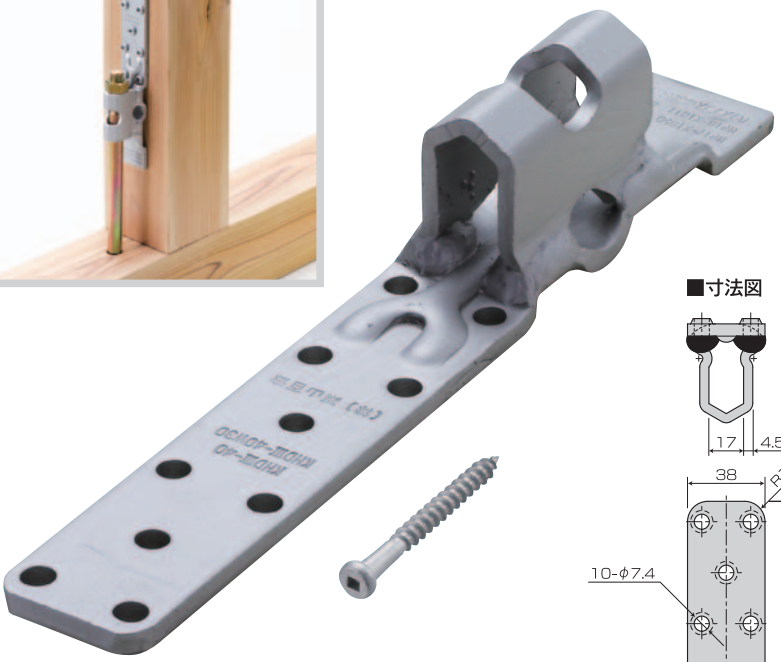
クリホールダウンⅢ40
KHDⅢ-40

告示第1460号 第二号表三 (ぬ)　接合部倍率 (N値) 7.6

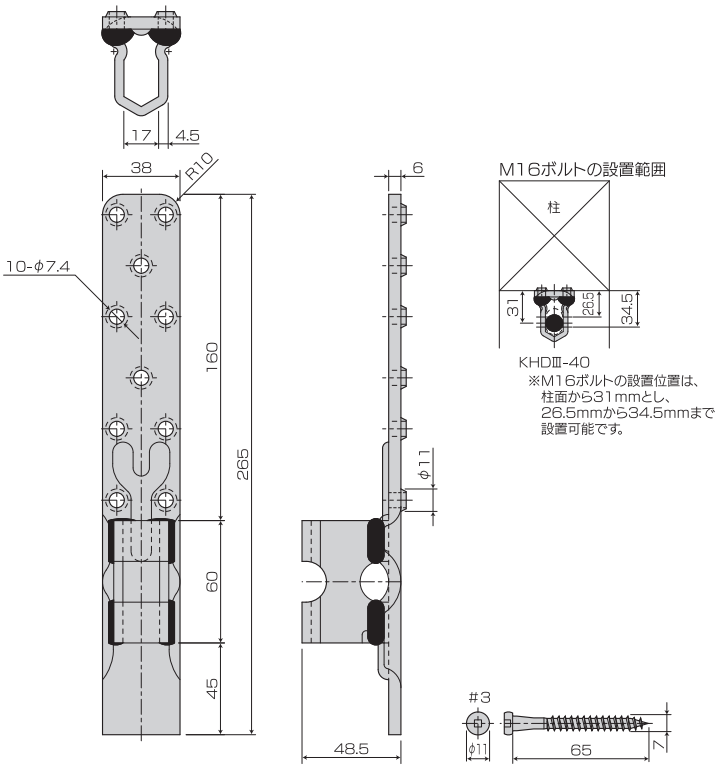
40kN用
ビス止めホールダウン!!

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP17-KT050)
短期基準引張耐力:40.4kN

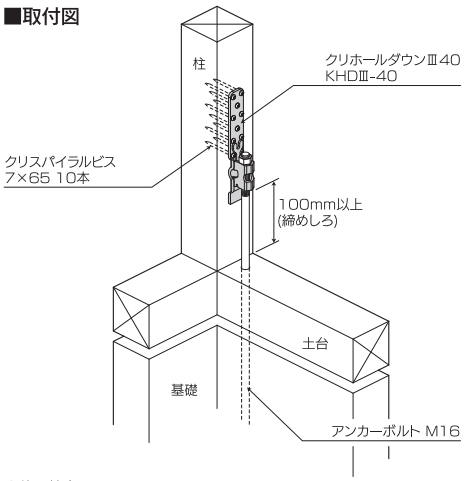




■寸法図



■取付図



●使用接合具

柱　側	専用ビス(四角穴付クリスパイラルビス)
	7×65…10本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●KDHアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ
(コンクリート強度:24N/mm²、基礎幅150mm時)

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
42.3kN以下	240mm
42.3kNを超え43.4kN以下	250mm

※社団法人日本建築学会発行
「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出

●クリアンカーボルトM16・ZアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ	ボルトの強度区分
33.8kN以下	360mm	4.6
33.8kNを超え37.6kN以下	400mm	4.6
37.6kNを超え42.9kN以下	445mm	4.8

※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、
国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。
なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。

●詳細データはP146の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリホールダウンⅢは、柱と基礎、柱と横架材、上下階の柱を緊結する金物です。
2.M16用のボルト穴をルーズにしてある為、現場での作業性がアップします。
3.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)にクリホールダウンⅢを通し専用ビスクリスパイラルビス(7×65)を10本打ち込んでください。
※土台、横架材面から金物までの寸法(締めしろ)は、約100mm以上確保してください。
2.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)を六角ナット(M16)で固定してください。(取付図参照)
※専用丸座金は必要ありません。

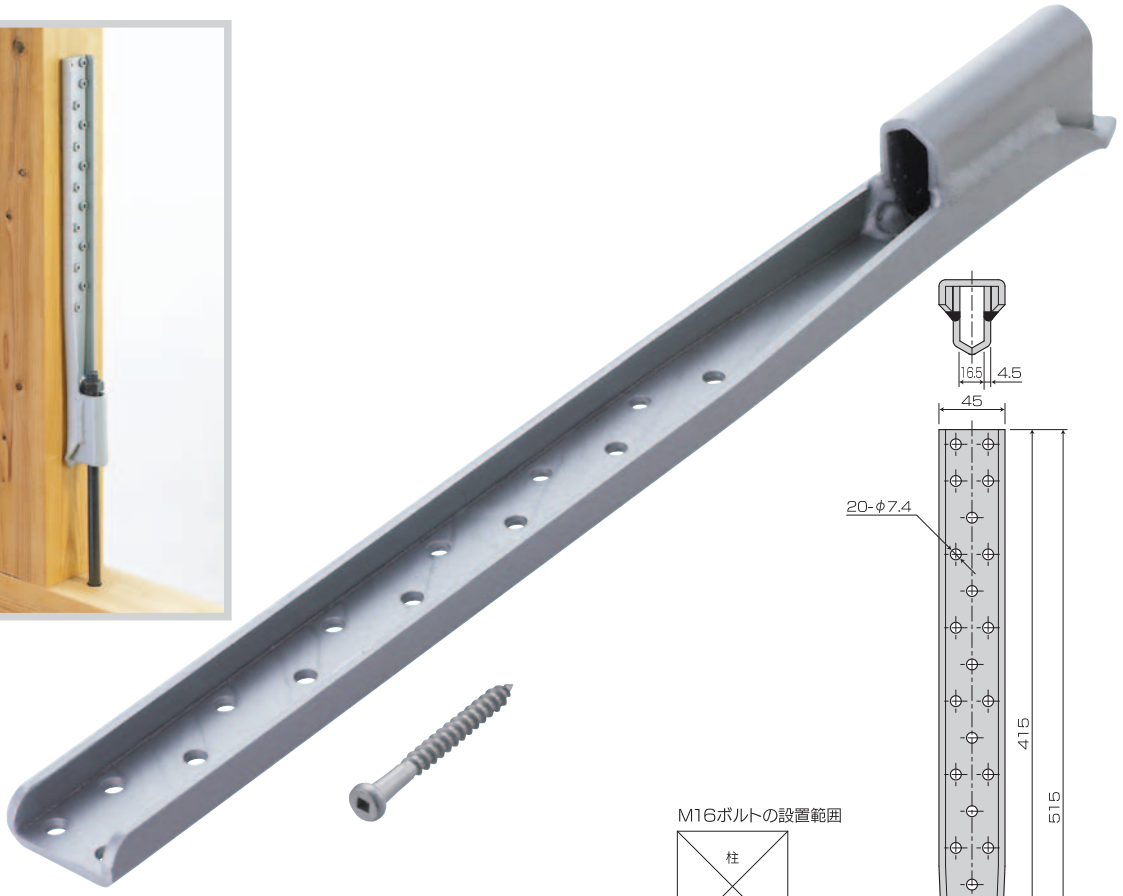
商品名	クリホールダウンⅢ40 KHDⅢ-40
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP17-KT050)
材質	JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC
表面処理	ダクロタイズド
付属部品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…10本
入数	20個／ケース(専用ビス:50本入×4袋)

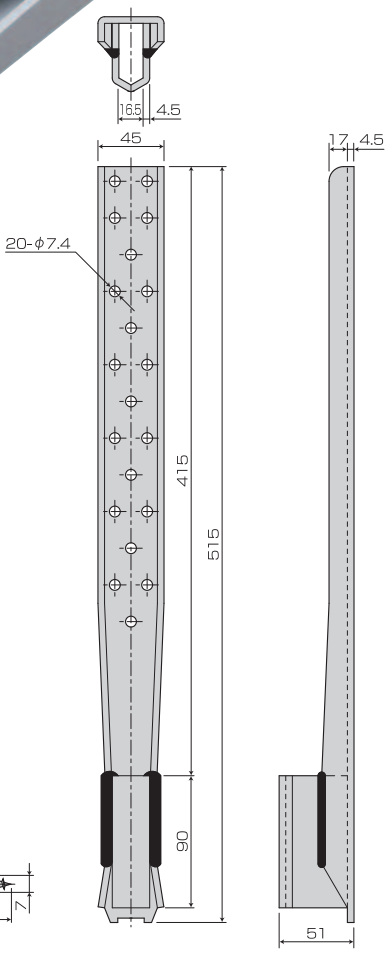
クリ高耐力ホールダウン68 KHD-68

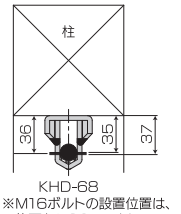
68kNまで対応の ビス止めホールダウン!!

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP21-KT124) 短期基準引張耐力:68.5kN

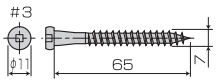




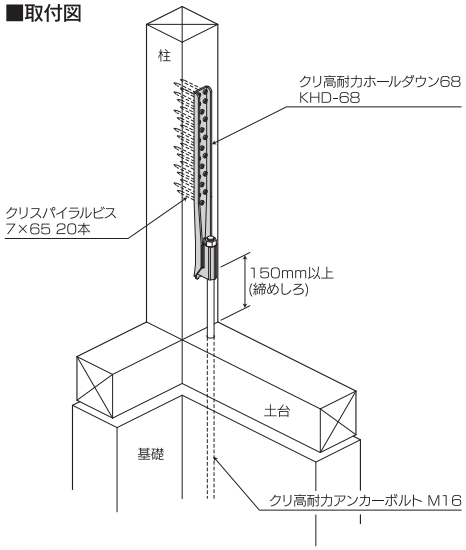




KHD-68
※M16ボルトの設置位置は、柱面から36mmとし、35mmから37mmまで設置可能です。



■取付図



●使用接合具

柱 側	専用ビス(四角穴付クリスパイラルビス)
	7×65…20本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●クリ高耐力アンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ
(コンクリート強度:21N/mm²、基礎幅150mm時)

施工基礎	埋め込み長さ
中柱・L字隅柱	270mm
I字隅柱	420mm

※社団法人日本建築学会発行
「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出

●詳細データはP147の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリ高耐力ホールダウンは、柱と基礎、柱と横架材、上下階の柱を緊結する金物です。
2.M16用のボルト穴をルーズにしてある為、現場での作業性がアップします。
3.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.クリ高耐力アンカーボルト・クリ高耐力両ねじボルト(M16)にクリ高耐力ホールダウンを通し専用ビスクリスパイラルビス(7×65)を20本打ち込んでください。
※土台、横架材面から金物までの寸法(締めしろ)は、約150mm以上確保してください。
2.クリ高耐力アンカーボルト・クリ高耐力両ねじボルト(M16)を高耐力用六角ナット(M16)で固定してください。(取付図参照)
※専用丸座金は必要ありません。

商品名	クリ高耐力ホールダウン68 KHD-68
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP21-KT124)
材質	板 部:JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材SS540 ボルト受け部:JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC
表面処理	ダクロタイズド
付属部品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…20本
入数	5個／ケース(専用ビス:20本入×5袋)

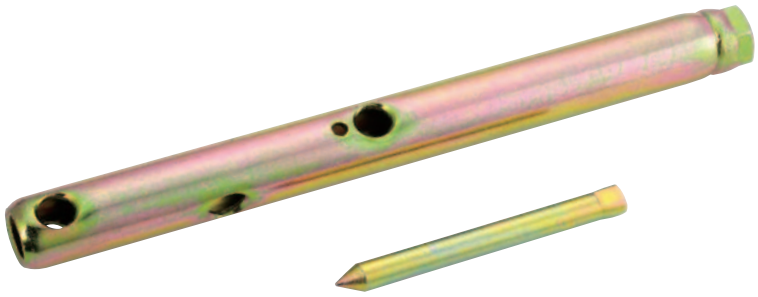
MKパイプホールダウン
MK-PHD15-105/15-120/30-105/30-120

告示第1460号 第二号表三 (と) (MK-PHD15)
告示第1460号 第二号表三 (ぬ) (MK-PHD30)
接合部倍率 (N値) 3.1 (MK-PHD15)
接合部倍率 (N値) 5.9 (MK-PHD30)

施工が簡単で速く、しかも強い！
パネル住宅に最適、ムク材OK！

富山県林業技術センター	富山県林業技術センター
品質性能試験(15-33-1) MK-PHD15 短期基準引張耐力:16.5kN	品質性能試験(15-33-3) MK-PHD15 短期基準せん断耐力:8.9kN
富山県林業技術センター	**富山県林業技術センター**
品質性能試験(15-33-2) MK-PHD30 短期基準引張耐力:31.3kN	品質性能試験(15-33-4) MK-PHD30 短期基準せん断耐力:11.1kN

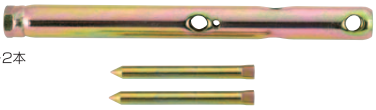

MK-PHD15
※施工例を分かりやすくする為、柱を削ってあります。
MK-PHD30
※施工例を分かりやすくする為、柱を削ってあります。



MK-PHD15-105
3寸5分角柱での使用
パイプ…1本・ドリフトピン(φ11×102)…2本



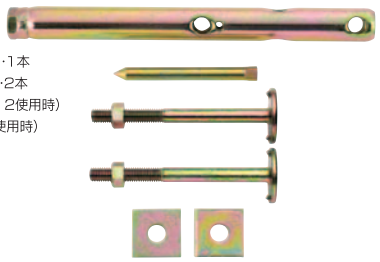
MK-PHD15-120
4寸角柱での使用
パイプ…1本・ドリフトピン(φ11×117)…2本



MK-PHD30-105
3寸5分角柱での使用
パイプ…1本・ドリフトピン(φ11×102)…1本
フラットボルトM12又は六角ボルトM12…2本
角座金又は丸座金…2枚(フラットボルトM12使用時)
角座金又は丸座金…4枚(六角ボルトM12使用時)
六角ナットM12…2個

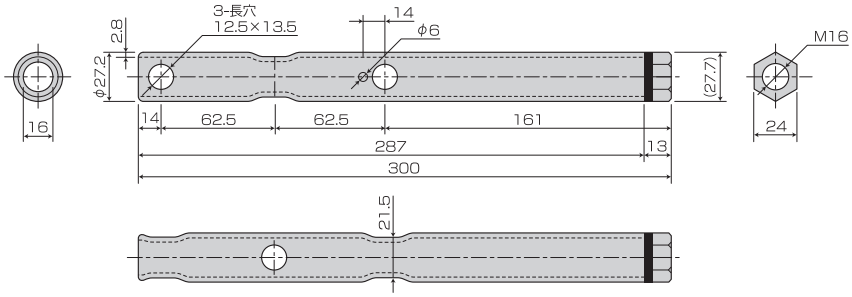


MK-PHD30-120
4寸角柱での使用
パイプ…1本・ドリフトピン(φ11×117)…1本
フラットボルトM12又は六角ボルトM12…2本
角座金又は丸座金…2枚(フラットボルトM12使用時)
角座金又は丸座金…4枚(六角ボルトM12使用時)
六角ナットM12…2個

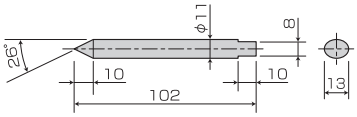


※MK-PHD30の止め付けボルトは六角ボルトM12でも使用できます。
但し、角座金又は丸座金は4枚使用してください。
※ボルト、座金は別売りです。

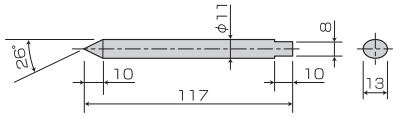
■寸法図



ドリフトピンφ11×102(105角用)



ドリフトピンφ11×117(120角用)



●KDHアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ
(コンクリート強度:24N/mm²、基礎幅150mm時)

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
42.3kN以下	240mm

※社団法人日本建築学会発行
「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出

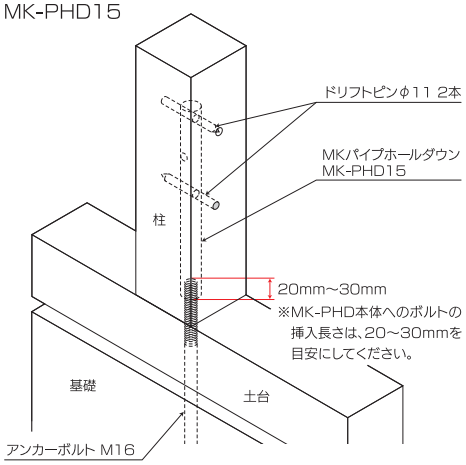
●クリアンカーボルトM16・ZアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ

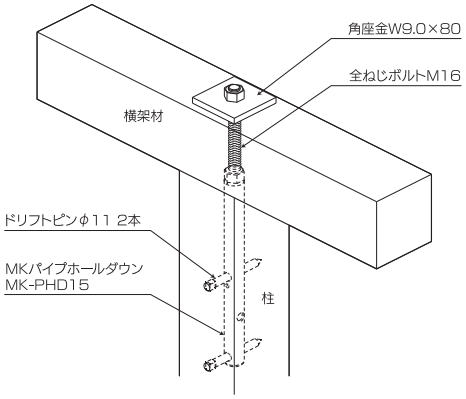
柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ	ボルトの強度区分
33.8kN以下	360mm	4.6

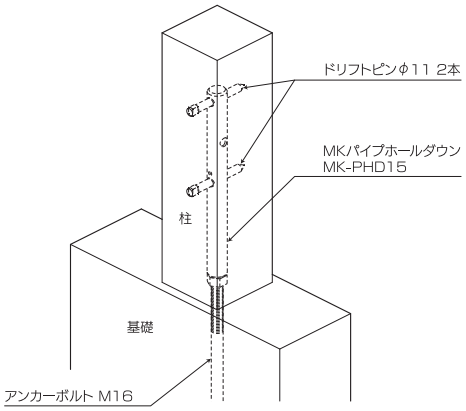
※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、
国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。
なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。

■取付図

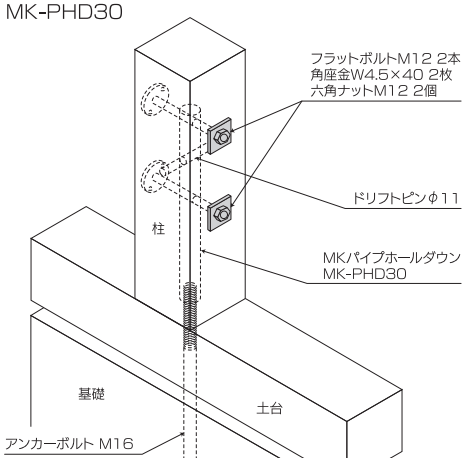
MK-PHD15





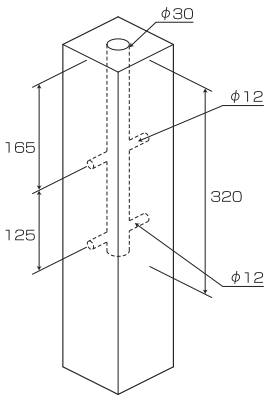


MK-PHD30

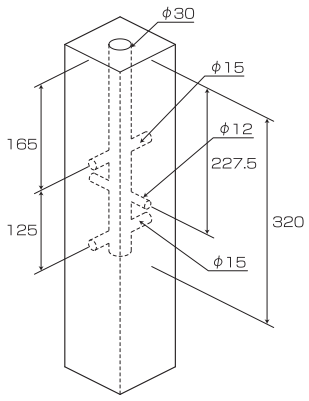


●詳しくは別途お問い合わせください。

■木材加工図



MK-PHD15



MK-PHD30

用 途 ・ 特 徴

1.MKパイプホールダウン（以下MK-PHD）は、柱と基礎、柱と横架材、上下階の柱を緊結する金物です。
2.内付け（柱内包）タイプの為、壁パネル（断熱材）の欠き込み不要です。
3.木ホゾの替わりにM16のボルトを使用する為、せん断強度は木ホゾの1.5～2.0倍あります。
4.杉・桧等のムク材にも使用出来ます。

使 用 方 法

●柱脚使用
1.MK-PHD本体（15kN・30kN兼用）をM16のアンカーに緊結します。
※MK-PHD本体へのボルトの挿入長さは、20～30mmを目安にしてください。
2.柱をMK-PHD挿入後、30kN用では、ボルトM12を2本・ドリフトピンφ11を1本打ち込み固定します。
また、15kN用では、ドリフトピンφ11を2本打ち込み固定します。（取付図参照）

●柱頭使用
1.柱を立てる前にMK-PHDをセットします。30kN用では、ボルトM12を2本・ドリフトピンφ11を1本打ち込み固定します。また、15kN用では、ドリフトピンφ11を2本打ち込み固定します。
2.M16全ねじボルト又は、M16両ねじボルトをMK-PHDにセットします。
※MK-PHD本体へのボルトの挿入長さは、20～30mmを目安にしてください。
3.柱を立て横架材を落とし込みます。
4.角座金（W9.0×80）又は（RW9.0×φ90）をセットし、ナットで緊結します。（取付図参照）
※ボルト・ドリフトピンのサイズは木材に合わせてサイズをお選びください。
※MK-PHD本体を挿入する柱には、φ30mmの穴をあけてください。
※ドリフトピンを挿入する柱には、φ12mmの穴をあけてください。（木材加工図参照）

商 品 名	MKパイプホールダウン15（105用） MK-PHD15-105 MKパイプホールダウン15（120用） MK-PHD15-120 MKパイプホールダウン30（105用） MK-PHD30-105 MKパイプホールダウン30（120用） MK-PHD30-120
試 験 機 関	富山県林業技術センター 品質性能試験（引　張=MK-PHD15：15-33-1、MK-PHD30：15-33-2 せん断=MK-PHD15：15-33-3、MK-PHD30：15-33-4）
材　　質	パイプ：JIS G 3452 配管用炭素鋼管SGP ナット：JIS B 1181 附属書JA：2014 強度区分4Tを満足する炭素鋼
表 面 処 理	クロメートメッキ（JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2）
入　　数	10本／ケース MK-PHD15-105=本体：10本・ドリフトピンφ11×102：20本 MK-PHD15-120=本体：10本・ドリフトピンφ11×117：20本 MK-PHD30-105=本体：10本・ドリフトピンφ11×102：10本 MK-PHD30-120=本体：10本・ドリフトピンφ11×117：10本

棟梁羽子板Ⅱ M12

告示第1460号 第二号表三 (ほ)　接合部倍率 (N値) 1.6

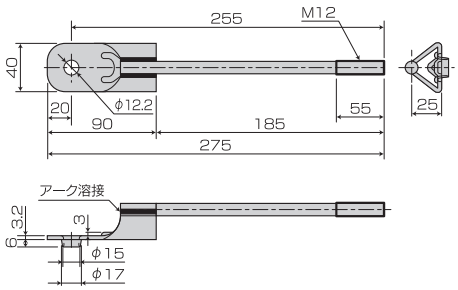
バーリング加工で強度が増した ボルト固定タイプの腰高羽子板

(公財)日本住宅・木材技術センター
同等認定品／Z羽子板ボルト SB・E
認定番号:D19A01-06

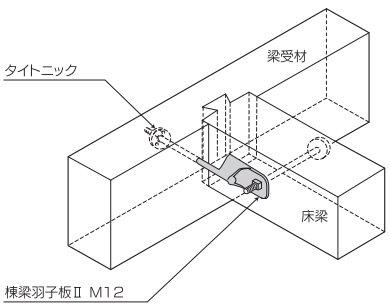




■寸法図



■取付図



用途・特徴

1.棟梁羽子板Ⅱは、小屋梁と軒桁・軒桁と柱・胴差と床梁・通し柱と胴差を容易に接合する金物です。
2.ボルト穴がバーリング加工されている為、ボルト1本でZ羽子板SB・E(ボルト1本＋釘1本)と同等の耐力が得られます。
3.本体がビード形状の為、強度が増します。さらに腰高で、通し柱に横架材(胴差)が相互にくる場合でも欠き込むことなく座金が取り付けられます。
4.羽根部分が短い為、柱・横架材(梁・胴差等)の寸法が大きくなっても(閂ボルトの穴芯から棒の先端までの長さ255mmを確保)、羽根部分が材に干渉しません。
5.座掘りをしなくても105mm～150mmの柱、横架材に対応出来ます。
6.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.一般の羽子板ボルトと同じく、材を引き寄せ固定します。(取付図参照)
※閂ボルトは使用する木材に合わせてサイズをお選びください。

商品名	棟梁羽子板Ⅱ M12
承認	(公財)日本住宅・木材技術センター／同等認定金物(認定番号:㊎D19A01-06)
材質	板:JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC 棒:JIS B 1180 附属書JA:2014 強度区分4.6又は4.8を満足する炭素鋼
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
付属部品	六角ナットM12…1個
入数	50本／ケース(ナット:50個入×1袋)

●詳細データはP149の仕様図をご覧ください。

告示第1460号 第二号表三 (ほ)

接合部倍率 (N値) 1.6

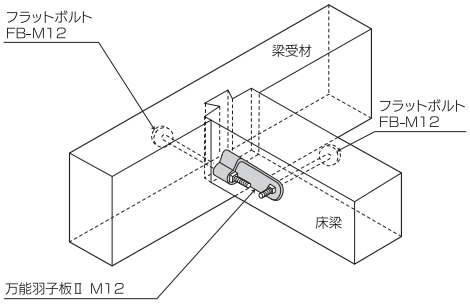
バーリング加工により強度が増した両引きタイプの腰高羽子板

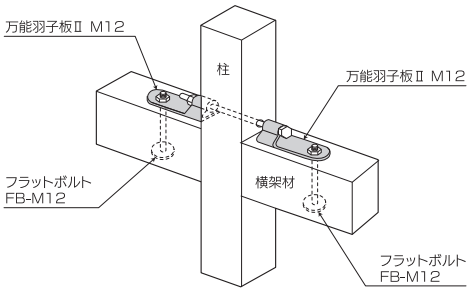
(公財)日本住宅・木材技術センター
同等認定品／Z羽子板ボルト SB・E
認定番号:D19A05-07

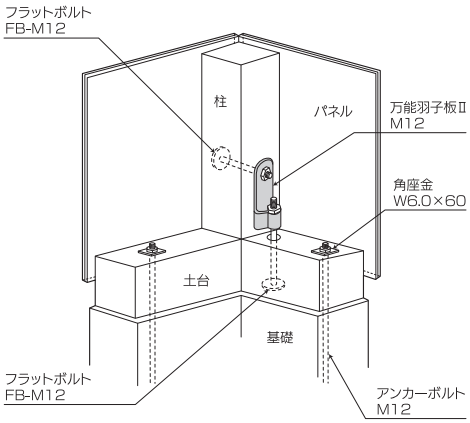




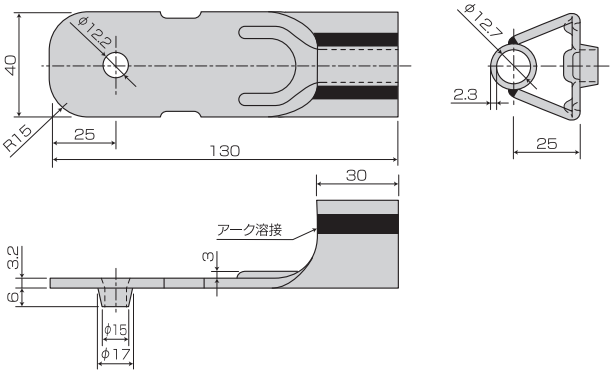
■取付図







■寸法図



用途・特徴

1.万能羽子板Ⅱは、従来の羽子板ボルトが一方向の引き寄せしかできないのに対し、ボルトを介して相互に引き寄せあうことが出来る金物です。
2.ボルト穴がバーリング加工されている為、ボルト1本でZ羽子板SB・E(ボルト1本＋釘1本)と同等の耐力が得られます。
3.大工さんの工夫一つで色々な用途に使える万能タイプの羽子板です。
4.横架材などの取合方向が多いとき、ボルトの錯綜を少なくして取り付けることが出来ます。
5.本体にビード形状が施してある為、強度が増します。さらにラチェットレンチもラクに使用できる腰高タイプです。
6.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.使用用途に応じた長さの六角ボルト(M12)を本体2個または1個に通し、ナットで締めつけます。
(取付図参照)

商品名	万能羽子板Ⅱ M12
承認	(公財)日本住宅・木材技術センター／同等認定金物(認定番号:D19A05-07)
材質	板:JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC パイプ:JIS G 3452 配管用炭素鋼管SGP
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
入数	100個／ケース

●詳細データはP150の仕様図をご覧ください。

ビス止め棟梁羽子板Ⅱ
M12

告示第1460号 第二号表三 (へ)　接合部倍率 (N値) 2.2

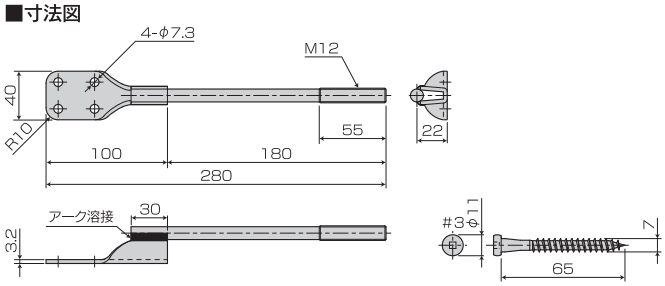
ビス止めタイプの腰高羽子板

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP20-KT044) 短期基準引張耐力:12.0kN

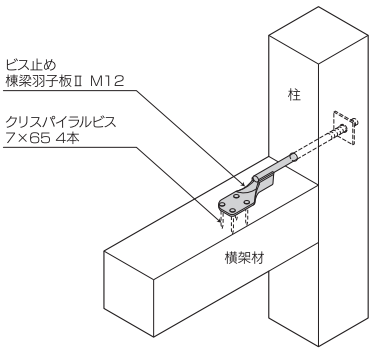




■寸法図



■取付図



使用接合具／クリスパイラルビス7×65…4本
※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

用途・特徴

1.ビス止め棟梁羽子板Ⅱは、小屋梁と軒桁・軒桁と柱・胴差と床梁・通し柱と胴差を容易に接合する金物です。
2.専用ビス(四角穴付クリスパイラルビス)使用により木材の門ボルト穴あけ加工が不要です。
3.本体が腰高になっている為、通し柱に横架材(胴差)が相互にくる場合でも欠き込むことなく座金が取り付けられます。
4.羽根部分が短い為、柱・横架材(梁・胴差等)の寸法が大きくなっても羽根部分が材に干渉しません。
5.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.専用ビスクリスパイラルビス(7×65)4本で取り付けてください。
2.一般の羽子板ボルトと同じく、材を引き寄せ固定します。(取付図参照)

商品名	ビス止め棟梁羽子板Ⅱ M12
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP20-KT044)
材質	板:JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC 棒:JIS B 1180 附属書JA:2014 強度区分4.6又は4.8を満足する炭素鋼
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
付属部品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…4本、六角ナットM12…1個
入数	50本／ケース(専用ビス:20本入×10袋、ナット:50個入×1袋)

●詳細データはP151の仕様図をご覧ください。

告示第1460号 第二号表三 (へ)

接合部倍率 (N値) 2.1

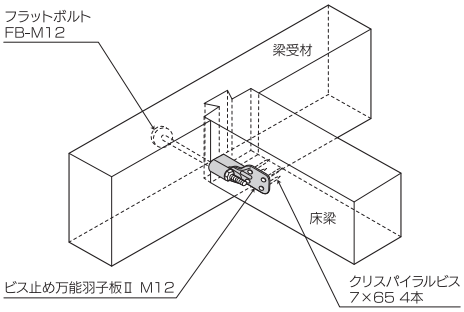
ビス止めタイプの腰高両引き羽子板

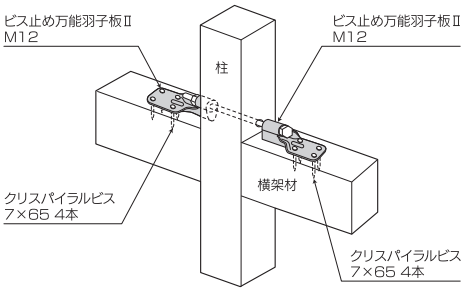
ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP20-KT045) 短期基準引張耐力:11.4kN

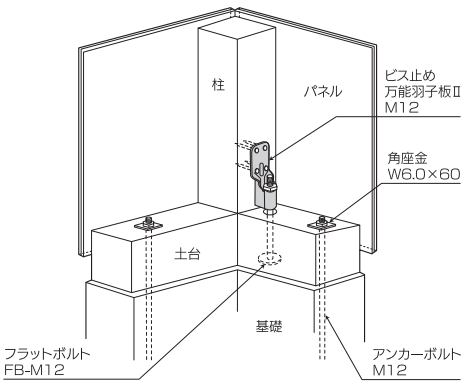




■取付図



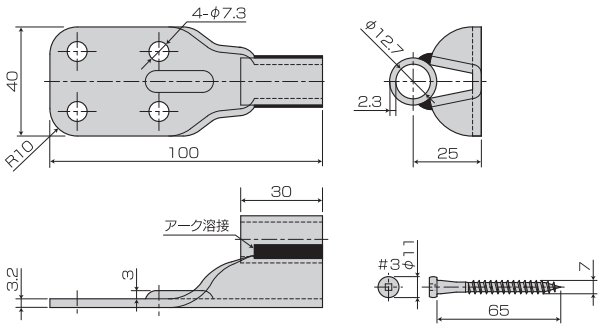




使用接合具／クリスパイラルビス7×65…4本
※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●詳細データはP152の仕様図をご覧ください。

■寸法図



用途・特徴

1.ビス止め万能羽子板Ⅱは、従来の羽子板ボルトが一方向の引き寄せしかできないのに対し、ボルトを介して相互に引き寄せあうことが出来る金物です。
2.大工さんの工夫一つでいろんな用途に使える万能タイプの羽子板です。
3.横架材などの取合方向が多いとき、ボルトの錯綜を少なくして取り付けることが出来ます。
4.本体が腰高になっている為、ラチェットレンチもラクに使用出来ます。
5.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.専用ビスクリスパイラルビス(7×65)4本で取り付けてください。
2.使用用途に応じた長さの六角ボルト(M12)を通し、材を引き寄せ固定します。(取付図参照)

商品名	ビス止め万能羽子板Ⅱ M12
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP20-KT045)
材質	板:JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC パイプ:JIS G 3452 配管用炭素鋼管SGP
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
付属部品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…4本
入数	50個／ケース(専用ビス:20本入×10袋)

棟梁羽子板
M12

告示第1460号 第二号表三 (に)　接合部倍率 (N値) 1.4

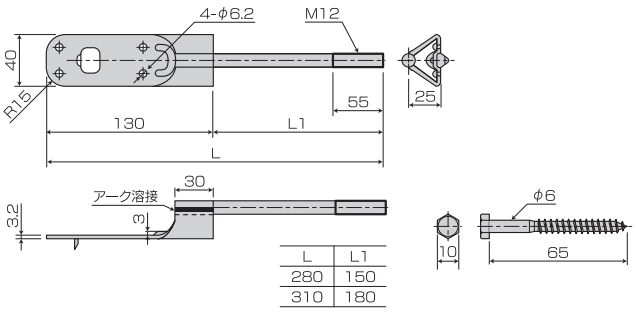
コーチスクリュー止めタイプの腰高羽子板

(公財)日本住宅・木材技術センター
同等認定品／Z羽子板ボルト SB・E2
認定番号:D19A01-03



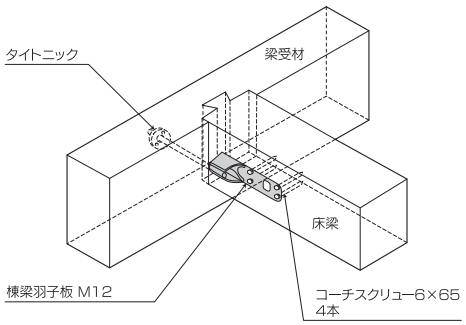


■寸法図



L	L1
280	150
310	180

■取付図



使用接合具／コーチスクリュー6×65…4本
※取り付けは、必ず専用コーチを使用し決められた本数を打ち込んでください。

用途・特徴

1.棟梁羽子板は、小屋梁と軒桁・軒桁と柱・胴差と床梁・通し柱と胴差を容易に接合する金物です。
2.コーチスクリュー使用により木材のボルト穴あけ加工が不要です。また本体が仮止め用爪付きの為、施工が簡単に出来ます。
3.本体がビード形状の為、強度が増します。さらに腰高で、通し柱に横架材(胴差)が相互にくる場合でも欠き込むことなく座金が取り付けられます。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.閂ボルトは使用せずセットされているコーチスクリュー(6×65)4本で取り付けてください。
2.一般の羽子板ボルトと同じく、材を引き寄せ固定します。(取付図参照)

商品名	棟梁羽子板 M12
承認	(公財)日本住宅・木材技術センター／同等認定金物(認定番号:㊎D19A01-03)
材質	板:JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC 棒:JIS B 1180 附属書JA:2014 強度区分4.6又は4.8を満足する炭素鋼
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
付属部品	専用コーチ／コーチスクリュー(6×65)…4本、六角ナットM12…1個
入数	50本／ケース(専用コーチ:100本入×2箱、ナット:50個入×1袋)

●詳細データはP153の仕様図をご覧ください。

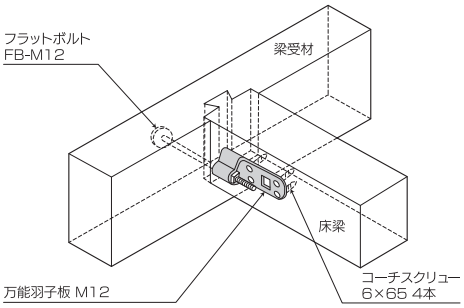
コーチスクリュー止めタイプの腰高両引き羽子板

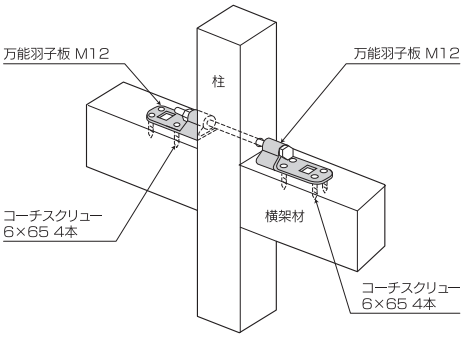
(公財)日本住宅・木材技術センター
同等認定品／Z羽子板ボルト SB・E
認定番号:D19A01-05

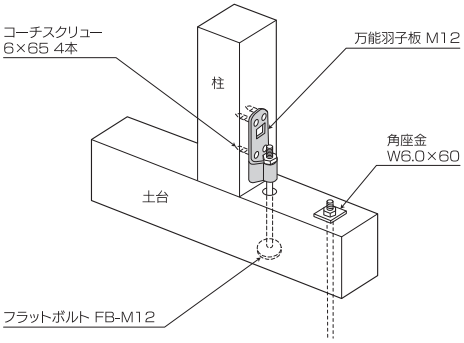




■取付図



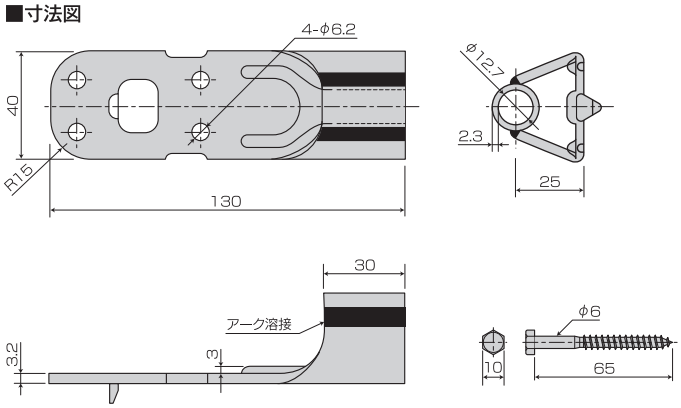




使用接合具／コーチスクリュー6×65…4本
※取り付けは、必ず専用コーチを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●詳細データはP154の仕様図をご覧ください。

■寸法図



用途・特徴

1.万能羽子板は、従来の羽子板ボルトが一方向の引き寄せしかできないのに対し、ボルトを介して相互に引き寄せあうことが出来る金物です。
2.大工さんの工夫一つでいろんな用途に使える万能タイプの羽子板です。
3.コーチスクリュー使用により木材の門ボルト穴あけ加工が不要です。また本体が仮止め用爪付きの為、施工が簡単に出来ます。
4.本体にビード形状が施してある為、強度が増します。さらにラチェットレンチもラクに使用できる腰高タイプです。
5.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.門ボルトは使用せずセットされているコーチスクリュー(6×65)4本で取り付けてください。
2.使用用途に応じた長さの六角ボルト(M12)を通し、材を引き寄せ固定します。(取付図参照)

商品名	万能羽子板 M12
承認	(公財)日本住宅・木材技術センター／同等認定金物(認定番号:㊎D19A01-05)
材質	板:JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC パイプ:JIS G 3452 配管用炭素鋼管SGP
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
付属部品	専用コーチ／コーチスクリュー(6×65)…4本
入数	100個／ケース(専用コーチ:100本入×4箱)

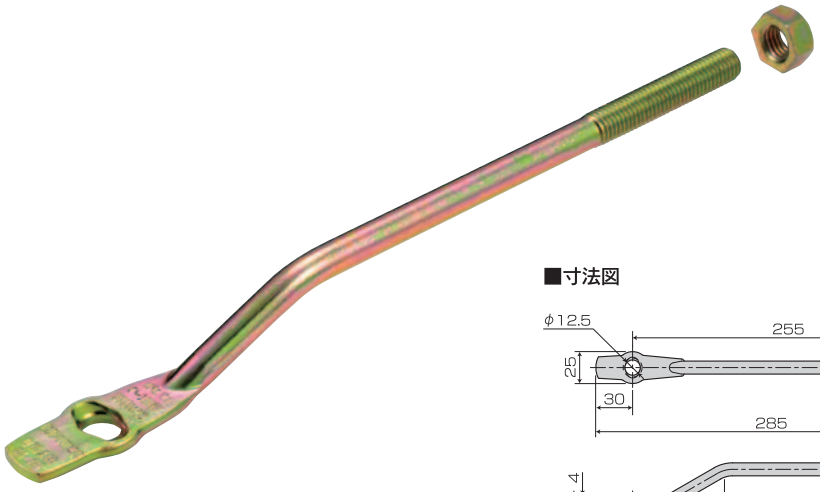
棟梁羽子板Ⅲ M12

告示第1460号 第二号表三 (へ)　接合部倍率 (N値) 1.9

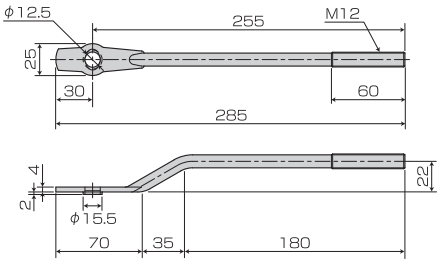
一体成型のスリム腰高羽子板

(一財)建材試験センター
品質性能試験(07A2362)
短期基準引張耐力:10.3kN

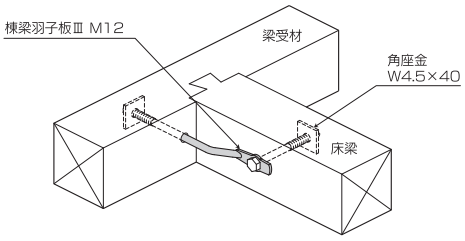




■寸法図



■取付図



用途・特徴

1.棟梁羽子板Ⅲは、小屋梁と軒桁・軒桁と床梁・通し柱と胴差を容易に接合する金物です。
2.ボルト穴がバーリング加工されている為、ボルト1本でZ羽子板SB・E(ボルト1本＋釘1本)以上の耐力が得られます。
3.本体が腰高になっている為、通し柱に横架材(胴差)が相互にくる場合でも欠き込むことなく座金が取り付けられます。
4.羽根部分がスリムな為、根太や筋かい等と干渉しにくく、施工自由度が増します。(閂ボルトの穴芯から棒の先端までの長さ255mmを確保)
5.座掘りをしなくても105mm～150mmの柱、横架材に対応出来ます。
6.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.一般の羽子板ボルトと同じく、材を引き寄せ固定します。(取付図参照)
※閂ボルトは使用する木材に合わせてサイズをお選びください。

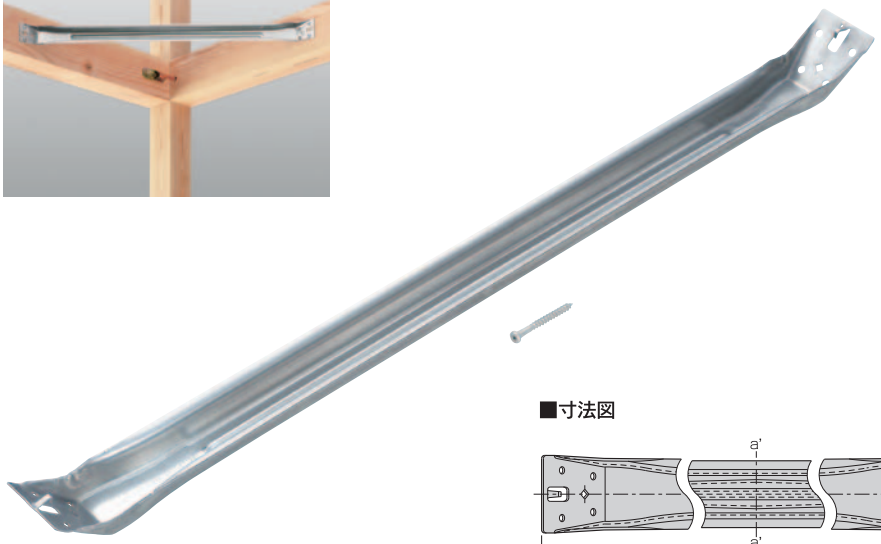
商品名	棟梁羽子板Ⅲ M12
試験機関	(一財)建材試験センター／品質性能試験(07A2362)
材質	JIS B 1180 附属書JA:2014 強度区分4.6又は4.8を満足する炭素鋼
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
付属部品	六角ナットM12…1個
入数	50本／ケース(ナット:50個入×1袋)

●詳細データはP148の仕様図をご覧ください。

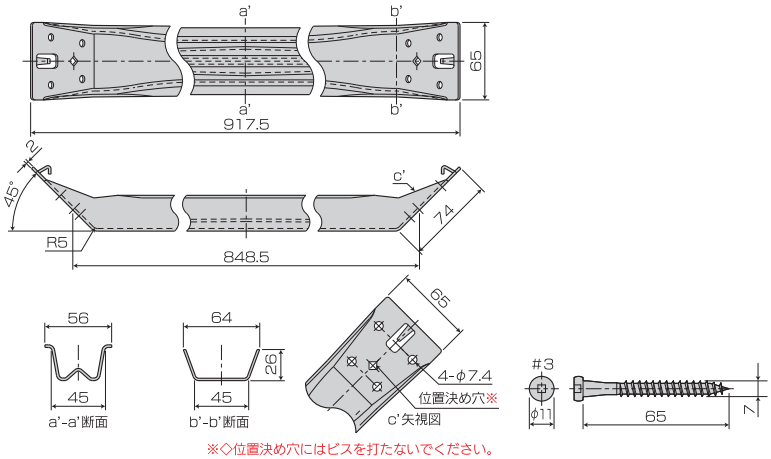
ビス8本で施工が簡単！後付け施工対応の火打金物

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP11-KT124)
評定書(HP評定(木)-11-003)
短期基準モーメント 引張:8.6kN
短期基準モーメント 圧縮:8.6kN



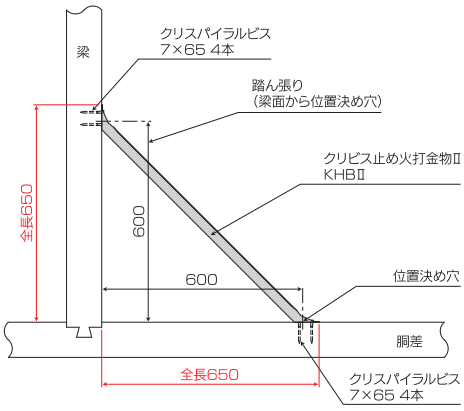


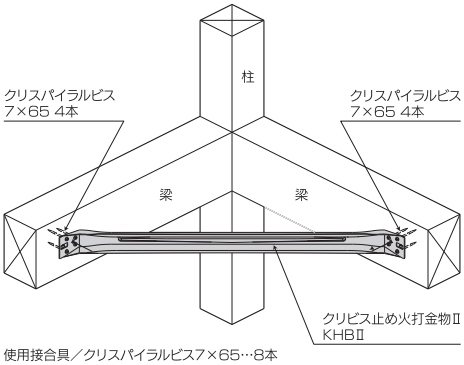
■寸法図



※◇位置決め穴にはビスを打たないでください。

■取付図





使用接合具／クリスパイラルビス7×65…8本
※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

種　類	短期基準モーメント	
	引張(kN)	圧縮(kN)
クリビス止め火打金物Ⅱ	**8.6**	**8.6**
鋼製火打ち	7.0	6.4
木製火打ち (かたぎ大入れ)	1.3	9.8
木製火打ち (一部かたぎ大入れ・一部突き付け)	1.1	7.2

試験機関：ハウスプラス確認検査株式会社

●詳細データはP159の仕様図をご覧ください。

用途・特徴

1.クリビス止め火打金物Ⅱは床組及び小屋組の隅角部の補強、火打土台としても使用出来ます。
2.Zマーク火打金物に比べ踏ん張り長さ600mm(Z火打：700mm)と短く、幅もスリムになっています。
3.仮止め用爪付きなので、施工が簡単に出来ます。
4.ビス止めタイプの為、ボルト穴あけ加工が不要で後付けの必要な箇所及びリフォーム補強に適しています。

使用方法

1.取り合う材の面から600mmの位置に墨付けします。
※材の芯からではありませんので、ご注意ください。
2.金物の◇位置決め穴に芯墨を合わせ、仮止め用爪を打ち込み、仮止めをします。
※◇位置決め穴にはビスを打たないでください。
3.専用ビスクリスパイラルビス(7×65)を8本ビス穴に打ち込み、固定してください。(取付図参照)

商　品　名	クリビス止め火打金物Ⅱ KHBⅡ
試 験 機 関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP11-KT124)・評定書(HP評定(木)-11-003)
材　　質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表 面 処 理	JIS G 3302 溶融 Z27
付 属 部 品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…8本
入　　数	10本／ケース(専用ビス：8本入×10袋)

クリ10プレート
K10PL

告示第1460号 第二号表三 (へ) | 板厚 0.6mm | 接合部倍率 (N値) 2.1 (継手型) | 接合部倍率 (N値) 2.0 (中柱型)

1つで2役!
10kN用外付けビス止めプレート

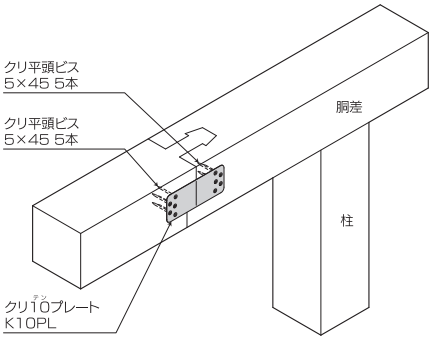
ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP12-KT060/継手型) 短期基準引張耐力:11.2kN

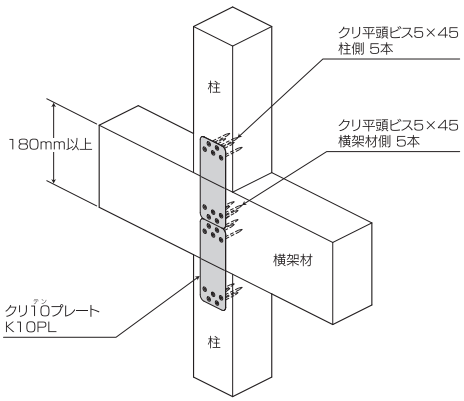
ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP12-KT061/中柱型) 短期基準引張耐力:10.8kN

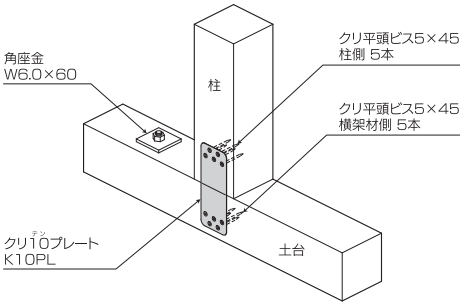




■取付図

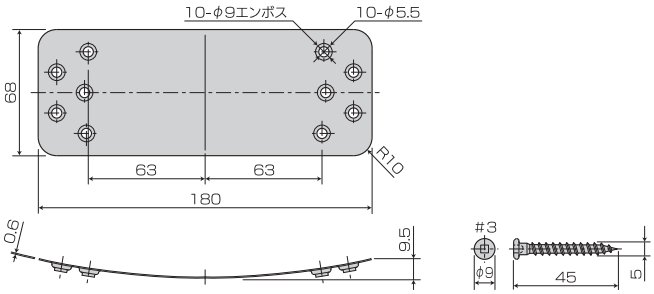






使用接合具/クリ平頭ビス5×45…10本
※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

■寸法図



用途・特徴

1.クリ10プレートは、柱と土台又は柱と横架材、胴差相互の緊結に使用する金物です。
2.全長180mmと短く、板厚も0.6mmと薄くしビス穴にはエンボス加工を施しましたので、ビス頭が出っ張らず外壁仕上げや下地材の邪魔になりにくく、収まり良く施工出来ます。
3.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.クリ10プレートの中心線を接合部のセンターに合わせて専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を10本ビス穴に打ち込み、固定してください。(取付図参照)

商品名	クリ10プレート K10PL
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)/品質性能試験(HP12-KT060・HP12-KT061)
材質	引張強さ400N/mm²以上の鋼板
表面処理	JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2同等以上の防錆処理
付属部品	専用ビス/四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…10本
入数	50個/ケース(専用ビス:50本入×10袋)

●詳細データはP155~156の仕様図をご覧ください。

クリ10(テン)プレート(数枚使い) K10PL

板厚 0.6mm | 接合部倍率(N値) 3.1(両面使い・屋外側面材上) | 接合部倍率(N値) 4.5(並列・両面2枚使い) | 接合部倍率(N値) 7.6(両面4枚使い)

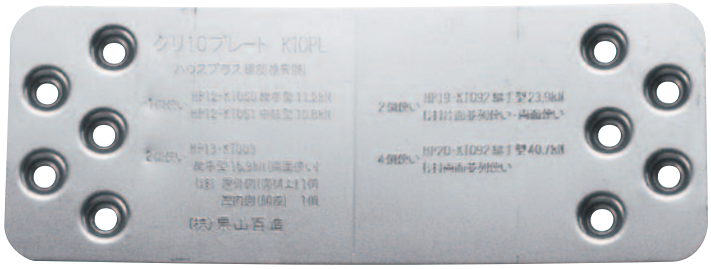
両面・並列対応!!
片面面材を介しての施工も可能!!

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP13-KT003/継手型)
両面使い(屋外側:面材上/屋内側:胴差)
短期基準引張耐力:16.9kN

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP19-KT092/継手型)
並列・両面2枚使い
短期基準引張耐力:23.9kN

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP20-KT092/継手型)
両面4枚使い
短期基準引張耐力:40.7kN

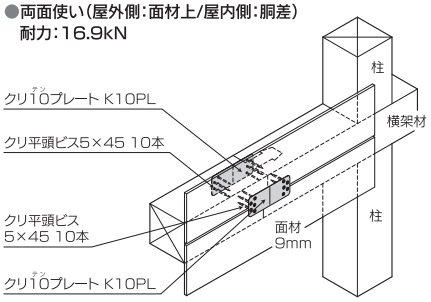




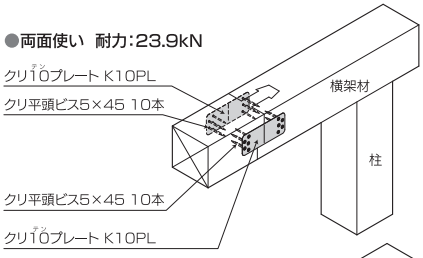


■取付図(2枚使い)

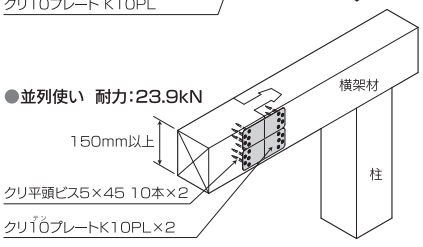
●両面使い(屋外側:面材上/屋内側:胴差)
耐力:16.9kN



●両面使い 耐力:23.9kN

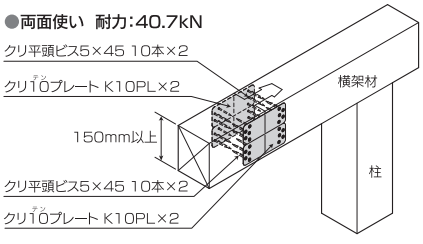


●並列使い 耐力:23.9kN



■取付図(4枚使い)

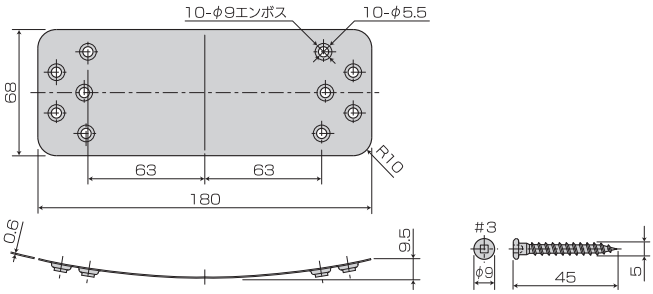
●両面使い 耐力:40.7kN



使用接合具/クリ平頭ビス5×45…10本
※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●詳細データはP155~156の仕様図をご覧ください。

■寸法図



用途・特徴

1.クリ10(テン)プレートは、胴差相互の両面緊結に使用する金物です。
2.従来両面とも胴差に直接金物を止めていましたが、面材を貼ってしまうと金物が付いているか確認が出来ないため、片側のみ面材(9mm)の上から使用出来るようにしました。
3.2枚直付け使用で20kN以上の耐力を持ち、並列、両面使いともに使用出来ます。
4.4枚直付け使用で40kN以上の耐力を持ち、並列、両面使いともに使用出来ます。
5.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

●両面使い(屋外側面材上・屋内側胴差)
1.屋外側面材上からクリ10(テン)プレートの中心線を接合部のセンターに合わせて専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を10本ビス穴に打ち込み、固定してください。
2.接合部のセンターに合わせて専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を10本ビス穴に打ち込み、固定してください。(取付図参照)

●2・4枚使い
1.用途に応じて並列または両面に必要枚数を、クリ10(テン)プレートの中心線を接合部のセンターに合わせて専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を10本ビス穴に打ち込み、固定してください。(取付図参照)
※梁成は150mm以上確保してください。

商品名	クリ10(テン)プレート K10PL
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)/品質性能試験(HP13-KT003・HP19-KT092・HP20-KT092)
材質	引張強さ400N/mm²以上の鋼板
表面処理	JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2同等以上の防錆処理
付属部品	専用ビス/四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…10本
入数	50個/ケース(専用ビス:50本入×10袋)

クリ10短ざく金物
KS10-300

告示第1460号 第二号表三 (へ)　板厚 0.6mm　接合部倍率 (N値) 2.2

施工が簡単！ 薄型ビス止め短ざく金物

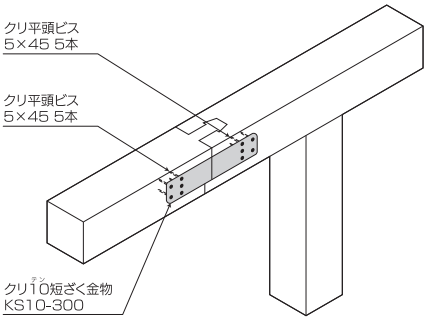
(一財)建材試験センター
品質性能試験(06A3278)
短期基準引張耐力：12.0kN

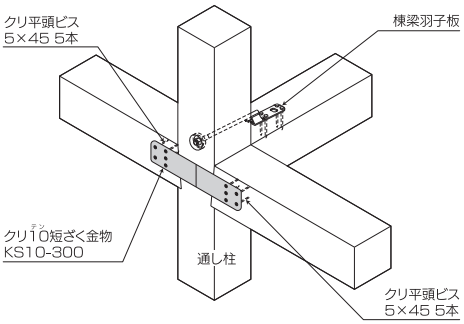


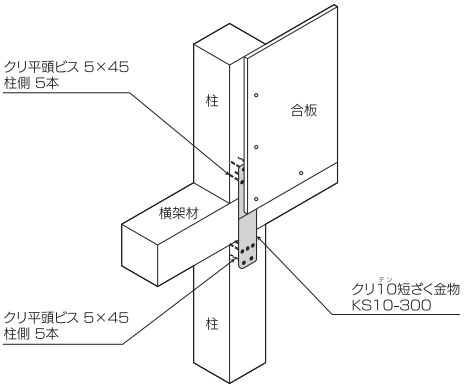




■取付図

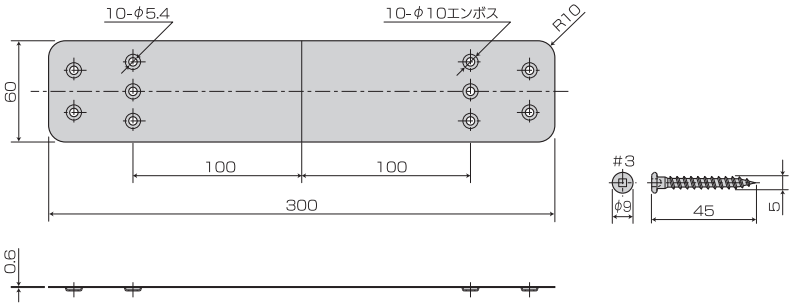






使用接合具／クリ平頭ビス5×45…10本
※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

■寸法図



用途・特徴

1.クリ10短ざく金物は、上下階管柱の緊結、胴差相互の緊結、及び2階床梁の継手の補強に使用する金物です。
2.10kN以上の耐力を持つ為、上下階の緊結にも使用出来ます。
3.板厚を0.6mmと薄くしビス穴にはエンボス加工を施しましたので、ビス頭が出っ張らず外壁仕上げや下地材の邪魔になりにくく、容易に施工出来ます。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.クリ10短ざく金物の中心線を接合部のセンターに合わせて専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を10本ビス穴に打ち込み、固定してください。(取付図参照)

商品名	クリ10短ざく金物　KS10-300
試験機関	(一財)建材試験センター／品質性能試験(06A3278)
材質	引張強さ400N/mm²以上の鋼板
表面処理	JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2同等以上の防錆処理
付属部品	専用ビス／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…10本
入数	50個／ケース(専用ビス:50本入×10袋)

●詳細データはP157の仕様図をご覧ください。

クリ10短ざく金物（2枚使い）KS10-300

板厚 0.6mm　接合部倍率（N値） 3.8

2枚使いで20kN対応!!
並列、両面施工可能

ハウスプラス確認検査（株）
品質性能試験（HP19-KT017）
短期基準引張耐力：20.4kN

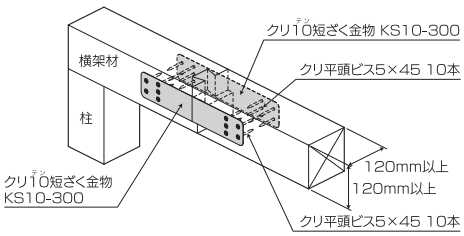


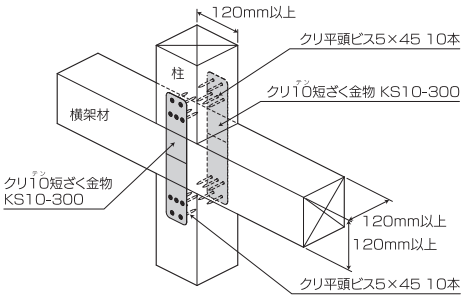




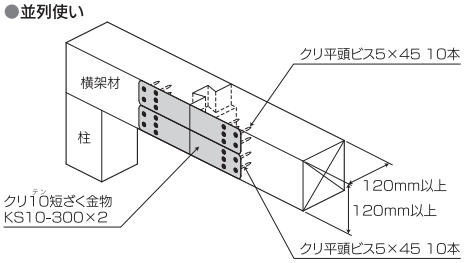
■取付図

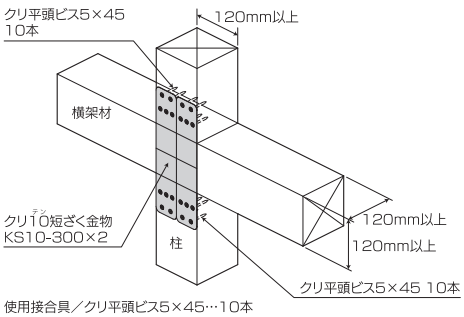
●両面使い





●並列使い

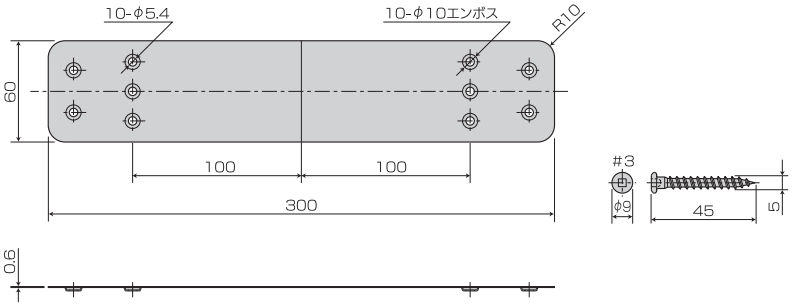




使用接合具／クリ平頭ビス5×45…10本
※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●詳細データはP158の仕様図をご覧ください。

■寸法図



用途・特徴

1.クリ10短ざく金物は、上下階管柱の緊結、胴差相互の緊結、及び2階床梁の継手の補強に使用する金物です。
2.2枚使いで20kN以上の耐力を持ち、並列・両面どちらでも使用出来ます。
3.板厚を0.6mmと薄くしビス穴にはエンボス加工を施しましたので、ビス頭が出っ張らず外壁仕上げや下地材の邪魔になりにくく、容易に施工出来ます。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

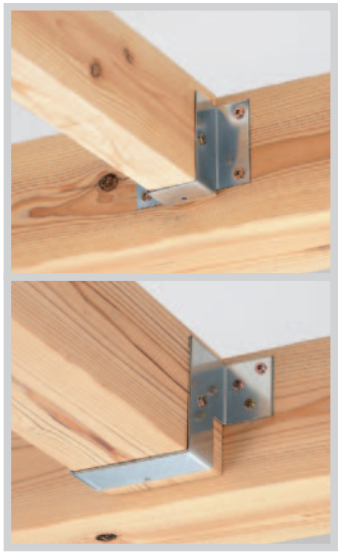
使用方法

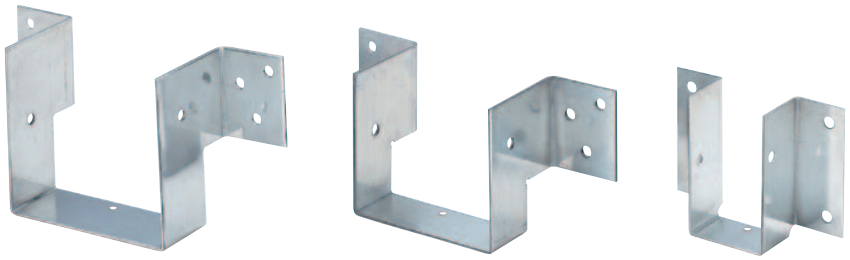
1.用途に応じて並列に2枚または両面に2枚を、クリ10短ざく金物の中心線を接合部のセンターに合わせて専用ビスクリ平頭ビス（5×45）を10本ビス穴に打ち込み、固定してください。（取付図参照）
※木材の幅は120mm以上をご使用ください。

商品名	クリ10短ざく金物　KS10-300
試験機関	ハウスプラス確認検査（株）／品質性能試験（HP19-KT017）
材質	引張強さ400N/mm²以上の鋼板
表面処理	JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2同等以上の防錆処理
付属部品	専用ビス／四角穴付クリ平頭ビス（5×45）…10本
入数	50個／ケース（専用ビス：50本入×10袋）

クリ梁受け金物
KH 105/90/45

ビスどめタイプにより作業効率アップ!

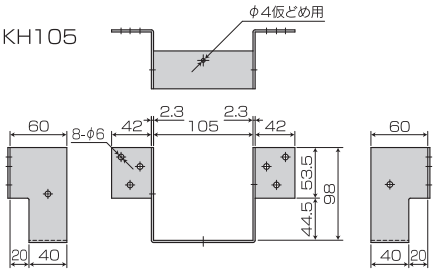




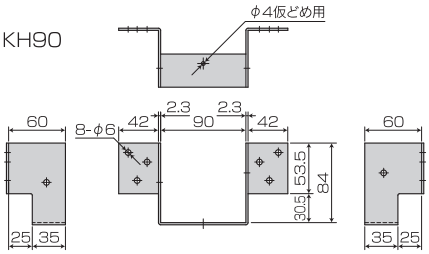
KH 105　　KH 90　　KH 45

■寸法図

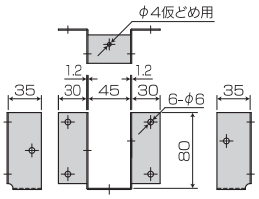
KH105



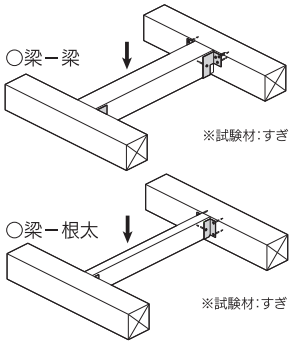
KH90



KH45



■試験方法

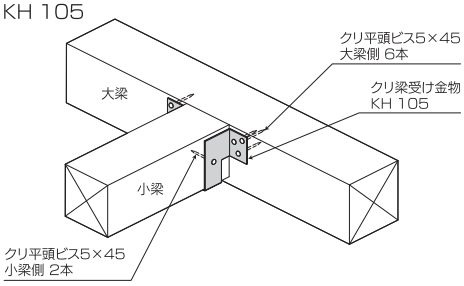


記号	長期基準せん断耐力
KH 105	5.0kN
KH 90	4.4kN
KH 45	3.1kN

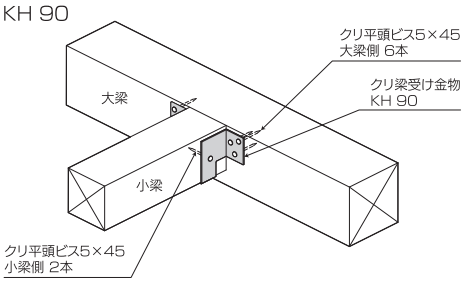
※当社試験データ

■取付図

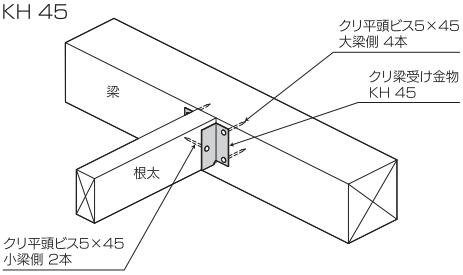
KH 105



KH 90



KH 45



●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリ平頭ビス)
KH 105	5×45…8本
KH 90	5×45…8本
KH 45	5×45…6本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

用 途 ・ 特 徴

1.クリ梁受け金物は、梁同士を接合する金物です。
2.金物の下部がカットされている為、基礎に干渉せずに取り付けることが出来るので、大引き受けとしても使用することが出来ます。
3.アゴ無しなので梁のサイズを気にせず取り付けることが出来ます。

使 用 方 法

1.梁又は土台に金物を合わせ専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を必要本数打ち込み固定してください。
2.梁又は大引きを落とし込み、専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を必要本数打ち込み固定してください。
(取付図参照)
※φ4仮どめ用穴には、付属部品の専用ビスは打たないでください。

商　品　名	クリ梁受け金物 KH 105／KH 90／KH 45
材　　質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表 面 処 理	JIS G 3302 溶融 Z27
付 属 部 品	KH 105／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…8本 KH 90／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…8本 KH 45／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…6本
入　　数	KH 105:50個／ケース(専用ビス:40本入×10袋) KH 90:50個／ケース(専用ビス:40本入×10袋) KH 45:50個／ケース(専用ビス:30本入×10袋)

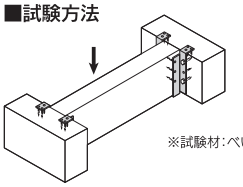
アゴ付きで位置決め簡単





105×105　105×180　105×240

■試験方法



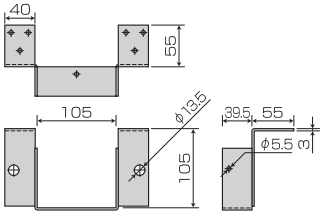
※試験材:べいまつ

記号	長期基準せん断耐力
105×105	8.9kN
105×150	17.3kN
105×240	18.2kN

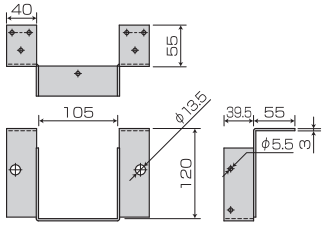
※当社試験データ

■寸法図

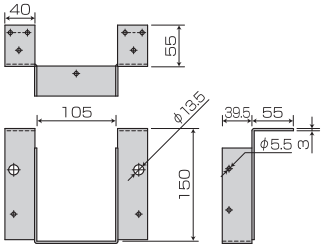
105×105



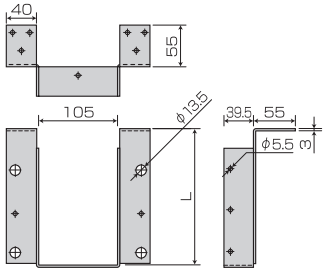
105×120



105×150

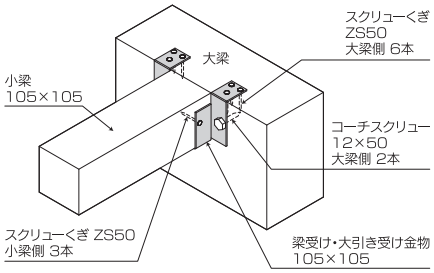


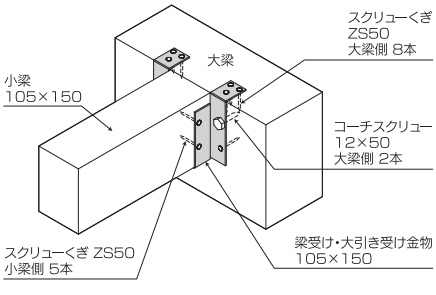
105×180・210・240・270・300・330・360

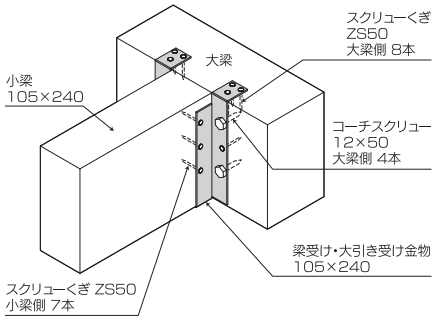


L=180／210／240／270／300／330／360

■取付図







●使用接合具

	スクリューくぎZS50	コーチスクリュー12×50
105×105	9本	2本
105×120	11本	2本
105×150	13本	2本
105×180・210・240・270 300・330・360	15本	4本

※使用接合具は別売りです。

用途・特徴

1.アゴ付梁受け・大引き受け金物は、梁同士、横架材同士、土台・大引きの接合に使用する金物です。
2.木材のボルト穴あけ加工が不要の為、作業効率がアップしました。
3.アゴ付きの為、位置決めが簡単に出来ます。

使用方法

1.大梁に金物のアゴ部を掛け位置決めし、別売りのコーチスクリューLS12×50、スクリューくぎZS50を必要本数打ち込み固定してください。
2.小梁を落とし込み、スクリューくぎZS50を必要本数打ち込み固定してください。(取付図参照)

商品名	アゴ付梁受け・大引き受け金物 105×105・120・150・180・210・240・270・300・330・360
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
入数	各20個／ケース

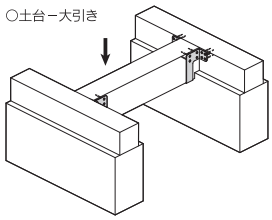
クリ大引き受け金物
KO 105





KO105×150・180　KO105×210・240　KO105×270・300　KO105×330・360

■試験方法



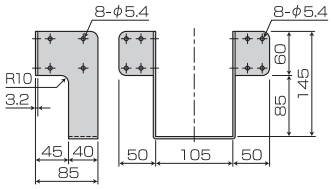
※試験材:土台／すぎ、大引き／べいまつ
※大引の基礎への掛け7.5mm

記号	長期基準せん断耐力
KO 105×150	10.8kN
KO 105×180	12.1kN
KO 105×210	12.5kN
KO 105×240	13.4kN
KO 105×270	12.2kN
KO 105×300	13.0kN
KO 105×330	12.0kN
KO 105×360	13.7kN

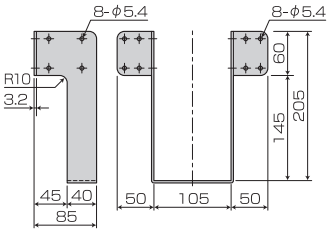
※当社試験データ

■寸法図

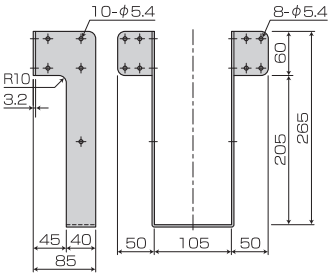
KO 105×150・180



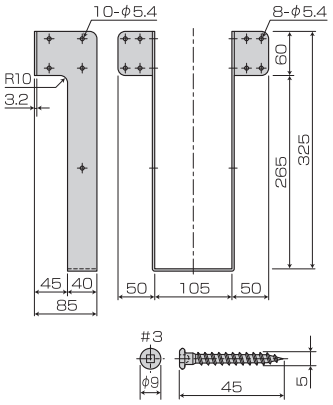
KO 105×210・240



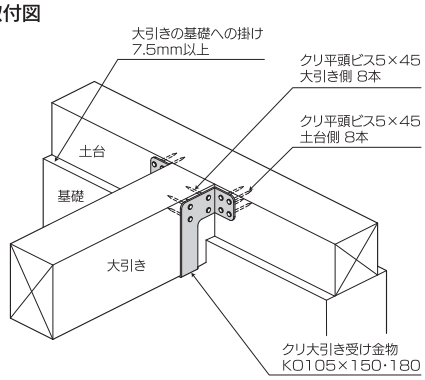
KO 105×270・300



KO 105×330・360



■取付図



●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリ平頭ビス)
KO 105×150・180	5×45…16本
KO 105×210・240	5×45…16本
KO 105×270・300	5×45…18本
KO 105×330・360	5×45…18本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

用途・特徴

1.クリ大引き受け金物は、土台と大引きを接合する金物です。
2.金物の下部がカットされている為、基礎に干渉せずに取り付けることが出来ます。

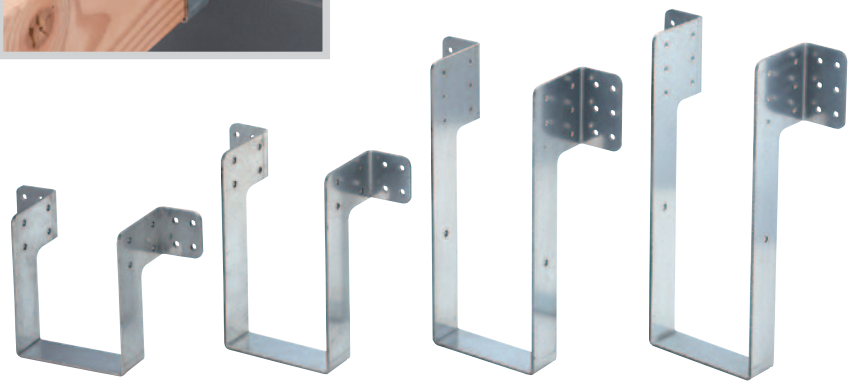
使用方法

1.クリ大引き受け金物のサイズは、使用する大引きの材成に合わせてお選びください。
2.大引きは基礎に掛かる部分を欠き込み土台にセットし、金物を合わせ専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を必要本数打ち込み固定してください。(取付図参照)
※大引きを落とし込む際、大引きと土台・基礎との間に隙間があかないようにセットしてください。

商品名	クリ大引き受け金物 KO 105×150・180／KO 105×210・240 KO 105×270・300／KO 105×330・360
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	KO 105×150・180／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…16本(土台用8本・大引き用8本) KO 105×210・240／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…16本(土台用8本・大引き用8本) KO 105×270・300／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…18本(土台用8本・大引き用10本) KO 105×330・360／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…18本(土台用8本・大引き用10本)
入数	KO 105×150・180:20個／ケース(専用ビス:80本入×4袋) KO 105×210・240:20個／ケース(専用ビス:80本入×4袋) KO 105×270・300:10個／ケース(専用ビス:90本入×2袋) KO 105×330・360:10個／ケース(専用ビス:90本入×2袋)

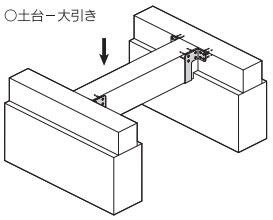
クリ大引き受け金物
KO 120





KO120×150・180・210　KO120×240・270　KO120×300・330　KO120×360

■試験方法



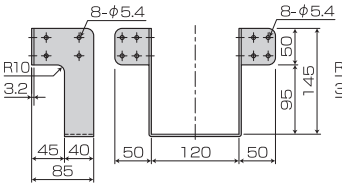
※試験材：土台／すぎ、大引き／べいまつ
※大引の基礎への掛け7.5mm

記号	長期基準せん断耐力
KO 120×150	10.4kN
KO 120×180	12.8kN
KO 120×210	14.2kN
KO 120×240	13.1kN
KO 120×270	14.2kN
KO 120×300	13.4kN
KO 120×330	16.1kN
KO 120×360	16.0kN

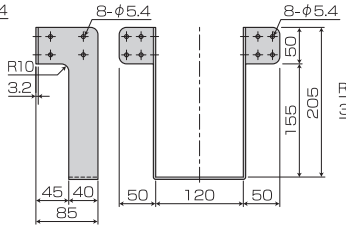
※当社試験データ

■寸法図

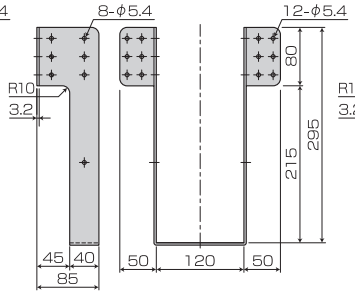
KO 120×150・180・210



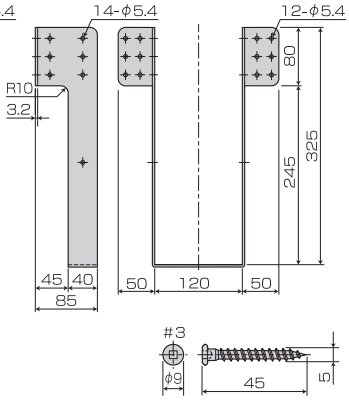
KO 120×240・270



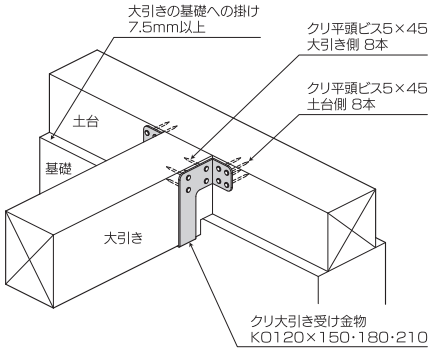
KO 120×300・330



KO 120×360



■取付図



●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリ平頭ビス)
KO 120×150・180・210	5×45…16本
KO 120×240・270	5×45…16本
KO 120×300・330	5×45…26本
KO 120×360	5×45…26本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

用途・特徴

1.クリ大引き受け金物は、土台と大引きを接合する金物です。
2.金物の下部がカットされている為、基礎に干渉せずに取り付けることが出来ます。

使用方法

1.クリ大引き受け金物のサイズは、使用する大引きの材成に合わせてお選びください。
2.大引きは基礎に掛かる部分を欠き込み土台にセットし、金物を合わせ専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を必要本数打ち込み固定してください。(取付図参照)
※大引きを落とし込む際、大引きと土台・基礎との間に隙間があかないようにセットしてください。

商品名	クリ大引き受け金物 KO 120×150・180・210／KO 120×240・270 KO 120×300・330／KO 120×360
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	KO 120×150・180・210／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…16本(土台用8本・大引き用8本) KO 120×240・270／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…16本(土台用8本・大引き用8本) KO 120×300・330／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…26本(土台用12本・大引き用14本) KO 120×360／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…26本(土台用12本・大引き用14本)
入数	KO 120×150・180・210:20個／ケース(専用ビス:80本入×4袋) KO 120×240・270:20個／ケース(専用ビス:80本入×4袋) KO 120×300・330:10個／ケース(専用ビス:130本入×2袋) KO 120×360:10個／ケース(専用ビス:130本入×2袋)

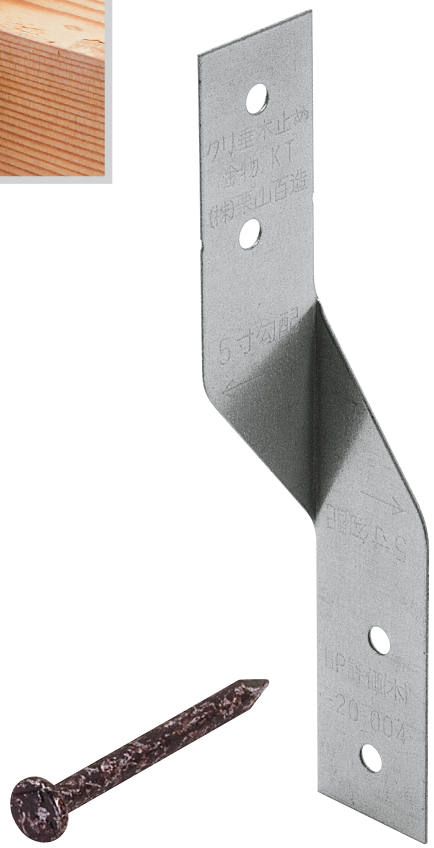
クリ垂木止め金物
KT

板厚 0.6mm

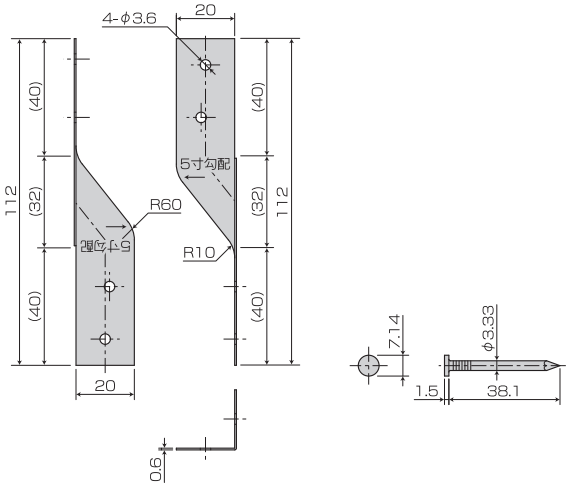
軒先外面からの取り付け可能!!

ハウスプラス確認検査(株)
評定書(HP評価(木)-20-004) 短期許容耐力 (吹き上げ等に対する引張方向):1.4kN

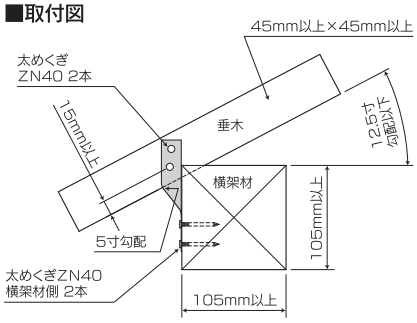


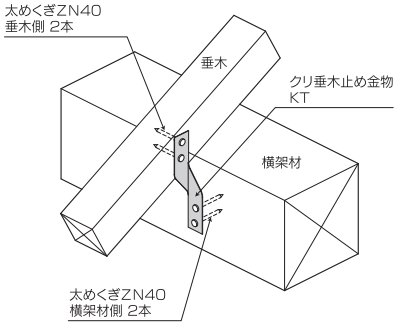


■寸法図



■取付図





用途・特徴

1.クリ垂木止め金物は、垂木と母屋・軒桁・棟木等を接合する金物です。
2.屋根の勾配は、12.5寸勾配まで対応出来ます。
3.位置決め刻印付きのため、垂木下端に刻印線を合わせるだけで取付位置が簡単に決まります。
(屋根勾配5寸勾配以下)

使用方法

1.垂木と桁等の外側(軒先側)に金物を合わせます。
※屋根勾配5寸勾配以下は位置決め刻印線を垂木下端に合わせます。
※垂木下端から近い釘孔との距離は、15mm以上確保してください。
2.太めくぎ(ZN40)を垂木に2本、横架材に2本打ちつけてください。(取付図参照)
※垂木には、断面寸法45mm×45mm以上、すぎ以上の製材をご使用ください。
※横架材には、断面寸法105mm×105mm以上、すぎ以上の製材をご使用ください。
※垂木と横架材の接触面は、横架材に小返りを設ける等により、接触面を確保してください。

商品名	クリ垂木止め金物 KT
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／評定書(HP評価(木)-20-004)
材質	引張強さ400N/mm²以上の鋼板
表面処理	JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2同等以上の防錆処理
付属部品	専用くぎ／太めくぎZN40…4本
入数	200個／ケース(専用くぎ:20本入×40袋)

垂木どめ用ビス

(公財)日本住宅・木材技術センター
品質性能試験(依24-9)





TK5×105Ⅱ　TK5×120Ⅱ　TK5×135Ⅱ　TK5×150Ⅱ　TK5×165Ⅱ　TK6×185Ⅱ　TK6×200Ⅱ

■寸法図



※頭部サイズ刻印入り

品名・記号	対応垂木高さ(mm)	L(mm)	D(mm)	d(mm)	S(mm)
TK5×105Ⅱ	~60	105	13	5.5	40
TK5×120Ⅱ	~75	120	13	5.5	40
TK5×135Ⅱ	~90	135	13	5.5	40
TK5×150Ⅱ	~105	150	13	5.5	40
TK5×165Ⅱ	~120	165	13	5.5	40
TK6×185Ⅱ	~140	185	13	6.0	40
TK6×200Ⅱ	~155	200	13	6.0	40

※垂木幅38mm以上

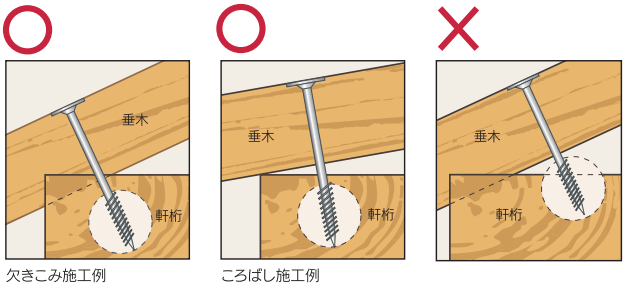
用途・特徴

1.タルキックⅡは、垂木と軒桁の接合に使用します。
2.ひねり金物(ST-12)と同等の耐力を持っています。
3.ビス1本で施工が出来ますので、施工時間が大幅に短縮出来ます。

使用方法

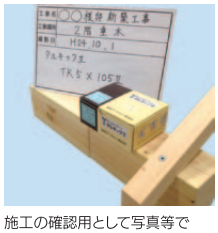
1.垂木に対してタルキックⅡを垂直に打ち込み固定します。(取付図参照)
※ネジ部が十分に軒桁に入っていれば、ネジの無い部分が見えた状態でも大丈夫です。
※ネジ部すべてが軒桁に入らないと十分な強度が得られません。(取付図参照)
※タルキックⅡは、野地板を張ると目視が出来なくなってしまいます。中間検査がある物件については、事前に検査機関とタルキックⅡの使用に関する取り決めを行ってください。

■取付図



欠きこみ施工例　ころばし施工例

■施工の確認方法例



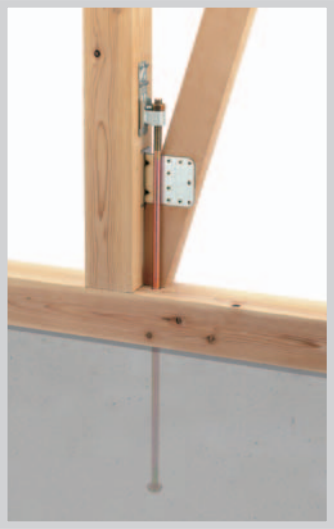
施工の確認用として写真等で記録することをお薦めします。

商品名	タルキックⅡ
試験機関	(公財)日本住宅・木材技術センター／品質性能試験(依24-9)
材質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼線SWCH22A相当
表面処理	プロイズ+TORK
入数	各100本／ケース

KDHアンカーボルト
KDH・M16

240mm以上の埋め込みを標準とした低埋め込みアンカーボルト!!

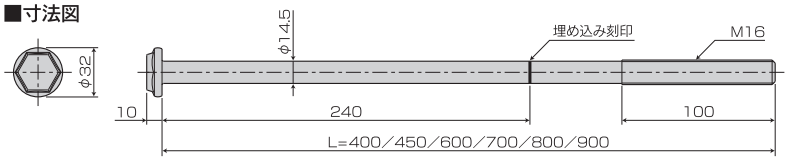
(一財)建材試験センター
品質性能試験(11A0831)





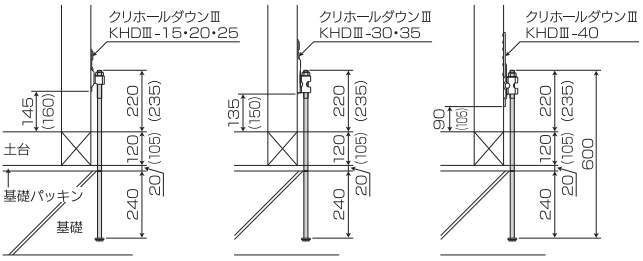
KDH・M16×600　KDH・M16×450　KDH・M16×400

■寸法図



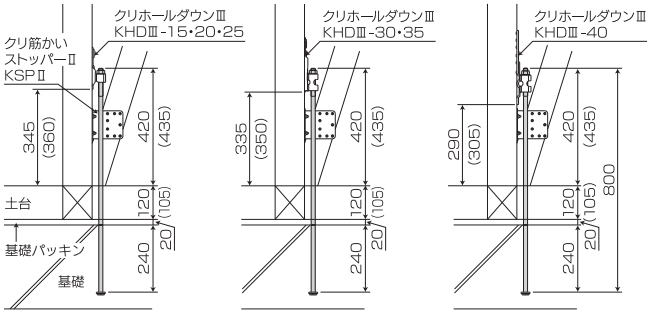
■取付図

●標準仕様 L=600



※基礎幅、コンクリート強度を確認して、耐力に合わせた仕様でご使用ください。

●筋かい仕様(クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ) L=800



※基礎幅、コンクリート強度を確認して、耐力に合わせた仕様でご使用ください。

基礎幅 (mm)	埋め込み長さ (mm)	コンクリート強度(N/mm²)		
		18	21	24
		短期許容引張耐力(kN)		
120	240	29.3	31.6	33.9
135	240	33.0	35.6	38.1
150	240	36.6	39.6	42.3

※KDHアンカーボルト M16の最小保証降伏耐力295N/mm²
※引張耐力は、社団法人 日本建築学会発行「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出
試験機関:一般財団法人 建材試験センター

※クリ高耐力ホールダウン68にはクリ高耐力アンカーボルトをご使用ください。

用途・特徴

1.KDHアンカーボルトは、土台と基礎の緊結、ホールダウン金物を使用して柱と基礎を緊結する場合に使用します。
2.従来のアンカーボルトの埋め込み長さ360mm以上に比べ、埋め込み長さ240mm(首下)以上で施工出来るアンカーボルトです。
3.埋め込む時、L型と違い向きを気にする必要がありません。
4.クリホールダウンⅢ推奨アンカーボルトです。

使用方法

1.KDHアンカーボルトは使用用途に合わせてサイズをお選びください。
2.基礎に、埋め込み刻印を目安にして埋め込みます。(取付図参照)

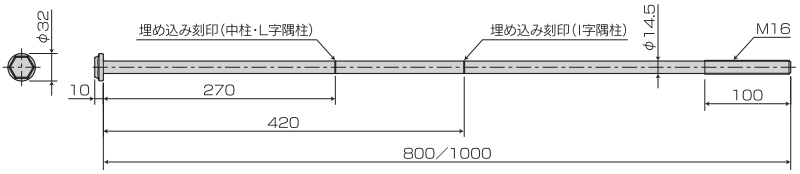
商品名	KDHアンカーボルト KDH・M16×400/450/600/700/800/900
試験機関	(一財)建材試験センター/品質性能試験(11A0831)
材質	最小降伏耐力 295N/mm²以上の炭素鋼
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
付属部品	六角ナットM16…1個
入数	KDH・M16×400/450:20本/ケース(ナット掛) KDH・M16×600~900:10本/ケース(ナット掛)

クリ高耐力アンカーボルト
KAH・M16



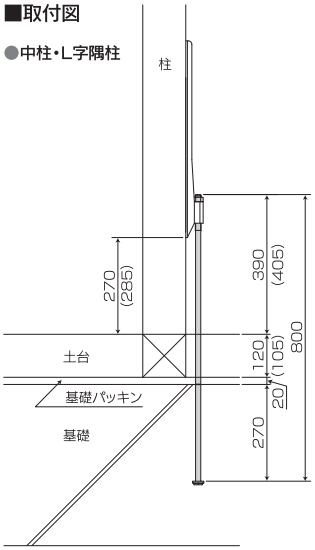


■寸法図

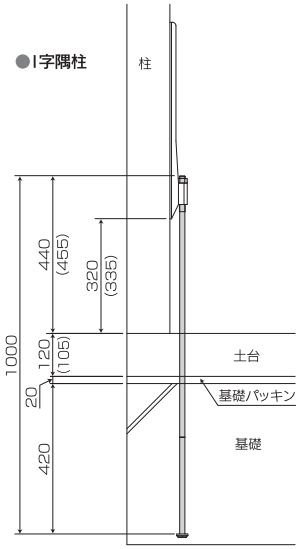


■取付図

●中柱・L字隅柱



●I字隅柱



中柱・L字隅柱

基礎幅(mm)	埋め込み長さ(mm)	コンクリート強度(N/mm²)		
		18	21	24
		短期許容引張耐力(kN)		
120	270	51.4	55.5	59.4
135	270	57.8	62.5	66.8
150	270	64.3	69.0	69.0

I字隅柱

基礎幅(mm)	埋め込み長さ(mm)	コンクリート強度(N/mm²)		
		18	21	24
		短期許容引張耐力(kN)		
120	420	52.3	56.5	60.4
135	420	58.9	63.6	68.0
150	420	65.4	69.0	69.0

※クリ高耐力アンカーボルト M16の最小保証降伏耐力440N/mm²
※引張耐力は、社団法人 日本建築学会発行「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出

用途・特徴

1.クリ高耐力アンカーボルトは、クリ高耐力ホールダウン金物を使用して柱と基礎を緊結する場合に使用します。

使用方法

1.クリ高耐力アンカーボルトは、基礎の種類に合わせて埋め込み長さをお選びください。
2.基礎に、埋め込み刻印を目安にして埋め込みます。(取付図参照)

商品名	クリ高耐力アンカーボルト KAH・M16×800／1000
材質	降伏耐力 440N/mm²以上の炭素鋼
表面処理	黒色クロメート(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8)
付属部品	高耐力六角ナットM16…1個
入数	ー本／ケース

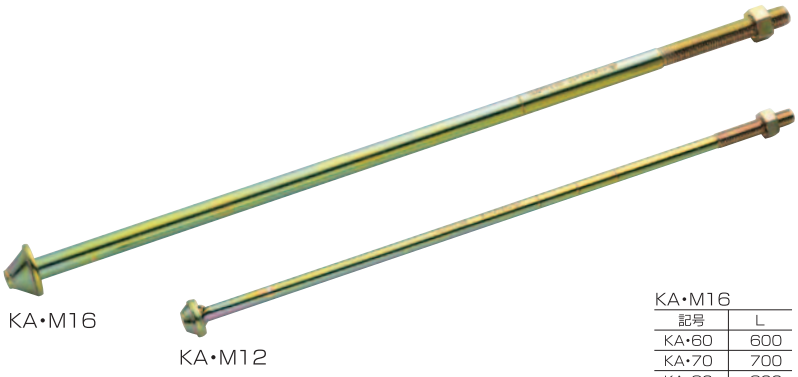
クリアンカーボルト KA・M16/M12

頭の形状が大判型(笠形楕円形)のため コンクリートが収縮しても共回りしない

(公財)日本住宅・木材技術センター
同等認定品／Zアンカーボルト M16 KA・M16 認定番号:D19A04-10

(公財)日本住宅・木材技術センター
同等認定品／Zアンカーボルト M12 KA・M12 認定番号:D19A04-08

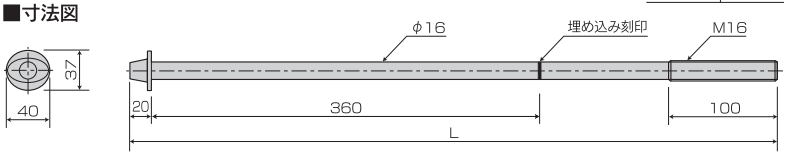


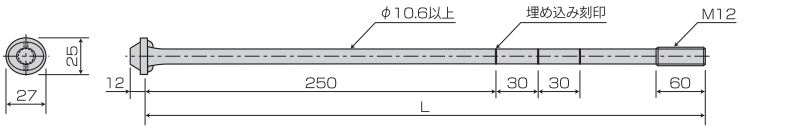


KA・M16

記号	L
KA・60	600
KA・70	700
KA・80	800
KA・90	900
KA・100	1,000

■寸法図

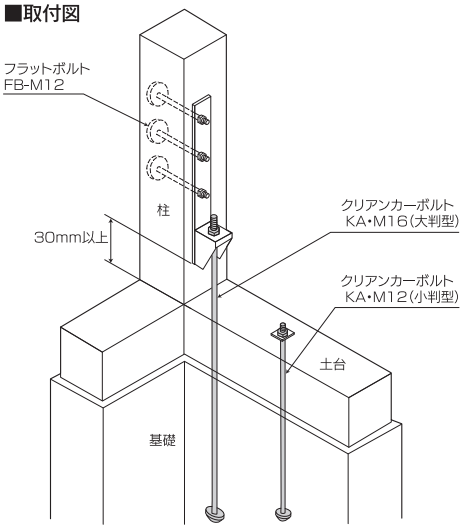




KA・M12

記号	L
KA・40	400
KA・45	450

■取付図



コンクリート基礎へのM12アンカーボルトの埋め込み長さ

ボルトの強度区分	埋め込み長さ(mm)	コンクリート強度(N/mm²)		
		18	21	24
		短期許容引張耐力(kN)		
4.6	250	16.8	19.6	20.2
4.8	250	16.8	19.6	21.0

コンクリート基礎へのM16アンカーボルトの埋め込み長さ

ボルトの強度区分	埋め込み長さ(mm)	コンクリート強度(N/mm²)		
		18	21	24
		短期許容引張耐力(kN)		
4.6	360	33.8	37.6	37.6
4.8	360	33.8	39.5	42.3

※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、
国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。

用途・特徴

1.クリアンカーボルトM12は、土台と基礎の緊結に使用します。
クリアンカーボルトM16は、土台と基礎の緊結、ホールダウン金物を使用して柱と基礎を緊結する場合に使用します。
2.先端の形状が大判型(笠形楕円形)で埋め込みやすく、ネジ締めの際に基礎コンクリートが収縮しても共回りしません。
3.クリアンカーボルトを埋め込む時L型と違い向きを気にする必要がありません。

使用方法

1.基礎に、埋め込み刻印を目安にして埋め込みます。(取付図参照)

KA・M16(大判型)

商品名	クリアンカーボルト KA・M16×60／70／80／90／100
承認	(公財)日本住宅・木材技術センター／同等認定金物(認定番号:D19A04-10)
材質	JIS B 1180 附属書JA:2014 強度区分4.8を満足する炭素鋼
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
付属部品	六角ナットM16…1個
入数	10本／ケース(ナット掛け)

KA・M12(小判型)

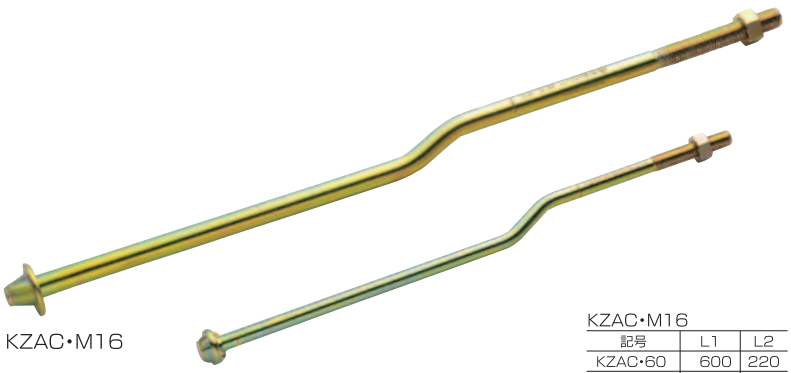
商品名	クリアンカーボルト KA・M12×40／45
承認	(公財)日本住宅・木材技術センター／同等認定金物(認定番号:D19A04-08)
材質	JIS B 1180 附属書JA:2014 強度区分4.6又は4.8を満足する炭素鋼
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
付属部品	六角ナットM12…1個
入数	50本／ケース(ナット:50個入×1袋)

コンクリートが収縮しても共回りせず、クランク形状により基礎の上部主筋に干渉しない

(公財)日本住宅・木材技術センター
同等認定品／Zアンカーボルト M16 KZAC・M16 認定番号:D19A04-11

(公財)日本住宅・木材技術センター
同等認定品／Zアンカーボルト M12 KZAC・M12 認定番号:D19A04-09

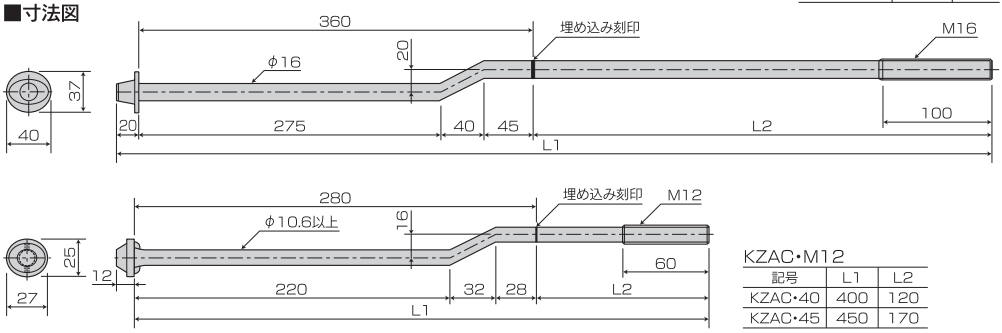




KZAC・M16

記号	L1	L2
KZAC・60	600	220
KZAC・70	700	320
KZAC・80	800	420
KZAC・90	900	520
KZAC・100	1,000	620

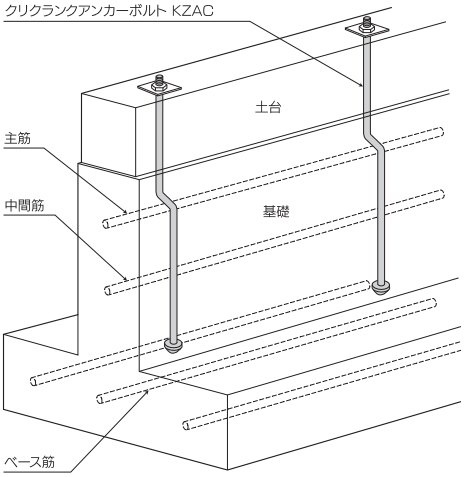
■寸法図



KZAC・M12

記号	L1	L2
KZAC・40	400	120
KZAC・45	450	170

■取付図



コンクリート基礎へのM12アンカーボルトの埋め込み長さ

ボルトの強度区分	埋め込み長さ(mm)	コンクリート強度(N/mm²)		
		18	21	24
		短期許容引張耐力(kN)		
4.6	250	16.8	19.6	20.2
4.8	250	16.8	19.6	21.0

コンクリート基礎へのM16アンカーボルトの埋め込み長さ

ボルトの強度区分	埋め込み長さ(mm)	コンクリート強度(N/mm²)		
		18	21	24
		短期許容引張耐力(kN)		
4.6	360	33.8	37.6	37.6
4.8	360	33.8	39.5	42.3

※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、
国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。

用途・特徴

1.クリクランクアンカーボルトM12は、土台と基礎の緊結に使用します。
クリクランクアンカーボルトM16は、土台と基礎の緊結、ホールダウン金物を使用して柱と基礎を緊結する場合に使用します。
2.先端の形状が大判型(笠形楕円形)で埋め込みやすく、ネジ締めの際に基礎コンクリートが収縮しても共回りしません。
3.本体クランク部分に主筋、補強筋を納めることで、基礎の中心にアンカーボルトを立ち上げることが容易に出来ます。

使用方法

1.基礎に、埋め込み刻印を目安にして埋め込みます。(取付図参照)

KZAC・M16(大判型)

商品名	クリクランクアンカーボルト KZAC・M16×60／70／80／90／100
承認	(公財)日本住宅・木材技術センター／同等認定金物(認定番号:㊞D19A04-11)
材質	JIS B 1180 附属書JA:2014 強度区分4.8を満足する炭素鋼
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
付属部品	六角ナットM16…1個
入数	10本／ケース(ナット掛け)

KZAC・M12(小判型)

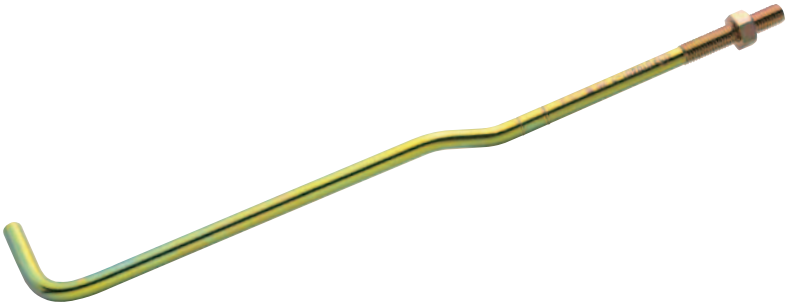
商品名	クリクランクアンカーボルト KZAC・M12×40／45
承認	(公財)日本住宅・木材技術センター／同等認定金物(認定番号:㊞D19A04-09)
材質	JIS B 1180 附属書JA:2014 強度区分4.6又は4.8を満足する炭素鋼
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
付属部品	六角ナットM12…1個
入数	50本／ケース(ナット:50個入×1袋)

クランクアンカーボルト
ZAC-R

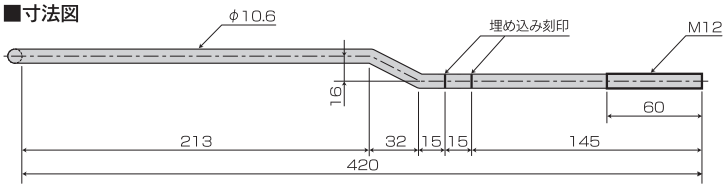
クランク形状により
基礎の上部主筋に干渉しない



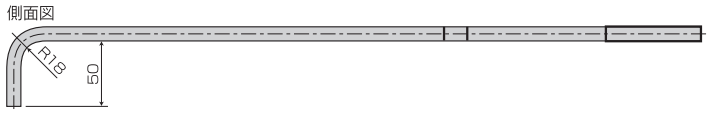
(公財)日本住宅・木材技術センター
同等認定品／Zアンカーボルト M12
認定番号:D19A01-02



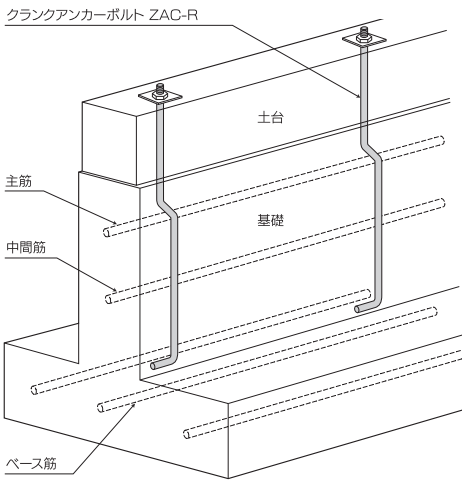
■寸法図



側面図



■取付図



コンクリート基礎へのM12アンカーボルトの埋め込み長さ

ボルトの強度区分	埋め込み長さ(mm)	コンクリート強度(N/mm²)		
		18	21	24
		短期許容引張耐力(kN)		
4.6	250	16.8	19.6	20.2
4.8	250	16.8	19.6	21.0

※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、
国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。

用 途 ・ 特 徴

1.クランクアンカーボルトは、土台と基礎の緊結に使用します。
2.本体クランク部分に主筋、補強筋を納めることで基礎の中心にアンカーボルトを立ち上げることが容易に出来ます。

使 用 方 法

1.基礎に、埋め込み刻印を目安にして埋め込みます。(取付図参照)

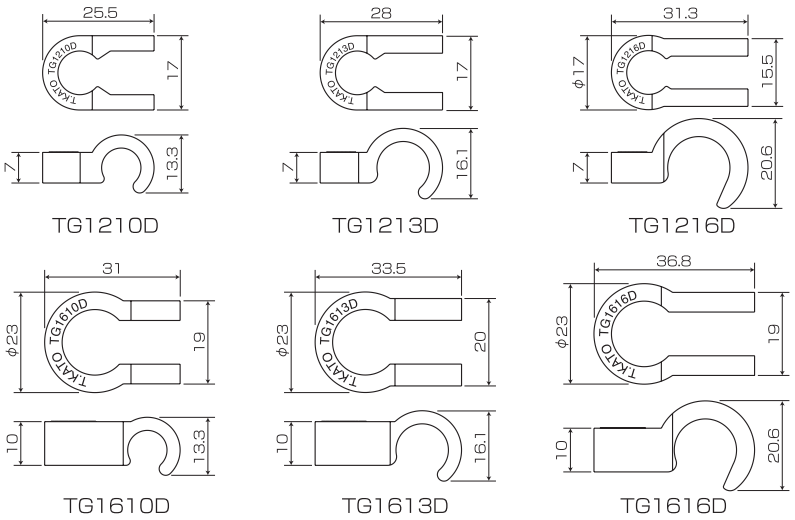
商 品 名	クランクアンカーボルト ZAC-R
承 認	(公財)日本住宅・木材技術センター／同等認定金物(認定番号:㊎D19A01-02)
材 質	JIS B 1180 附属書JA:2014 強度区分4.6又は4.8を満足する炭素鋼
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
付属部品	六角ナットM12…1個
入 数	50本／ケース(ナット:50個入×1袋)

取り付け簡単、スピーディー!
自沈や横倒れも解決グリッパー!





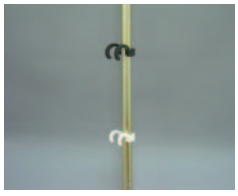
■寸法図

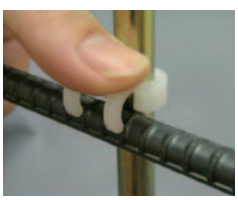


■施工手順

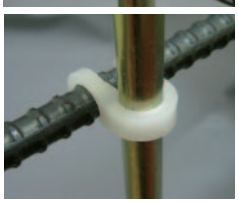


1.アンカーボルトにグリッパーを
取り付けて高さを決める。





2.鉄筋にはめてセット完了。



用途・特徴

1.グリッパーは、アンカーボルト支持器具です。
2.アンカーボルトと鉄筋を容易且つスピーディーに取り付けが出来ます。
3.あらかじめ高さ調節が出来ます。また結束線での固定と違い施工後の調節も容易に出来ます。
4.確実に固定されるので自沈や横倒れも解決出来ます。

使用方法

1.アンカーボルトにグリッパーを取り付けて高さを決める。
2.鉄筋にはめてセット完了。(施工手順参照)
※基礎立ち上がりの鉄筋が、垂直に施工されていないと、アンカーボルトも一緒に傾いてしまうので、配筋の施工精度が必要になります。

商品名	グリッパー TG1210D/TG1213D/TG1216D/TG1610D/TG1613D/TG1616D
材質	ポリプロピレン
入数	TG1210D:3,500個/ケース(50個入×70袋)・TG1213D:3,500個/ケース(50個入×70袋)
	TG1216D:2,500個/ケース(50個入×50袋)・TG1610D:1,000個/ケース(100個入×10袋)
	TG1613D:1,000個/ケース(100個入×10袋)・TG1616D:1,000個/ケース(100個入×10袋)

品番	TG1210D	TG1213D	TG1216D	TG1610D	TG1613D	TG1616D
適応品	M12アンカーボルト	M12アンカーボルト	M12アンカーボルト	M16アンカーボルト	M16アンカーボルト	M16アンカーボルト
	異形鉄筋D10	異形鉄筋D13	異形鉄筋D16	異形鉄筋D10	異形鉄筋D13	異形鉄筋D16

クリ15kN柱受
寸胴型 100角/115角

オールステンレスタイプの15kN用柱受
上階に耐力壁がきてもOK！





100角(3寸5分柱用)

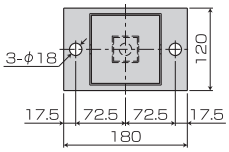


115角(4寸柱用)

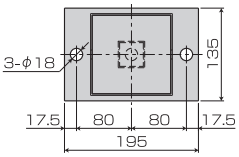
ハウスプラス確認検査(株)	ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP13-KT011) 100角 短期基準引張耐力:**20.8**kN	品質性能試験(HP13-KT012) 115角 短期基準引張耐力:**21.7**kN
ハウスプラス確認検査(株)	ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP13-KT007) 100角 短期許容圧縮耐力:**82.5**kN	品質性能試験(HP13-KT008) 115角 短期許容圧縮耐力:**85.5**kN
ハウスプラス確認検査(株)	ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP13-KT009) 100角 短期基準せん断耐力:**16.3**kN	品質性能試験(HP13-KT010) 115角 短期基準せん断耐力:**21.5**kN

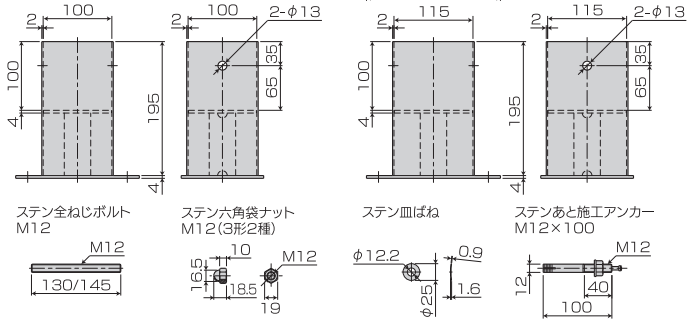
■寸法図

100角(3寸5分柱用)



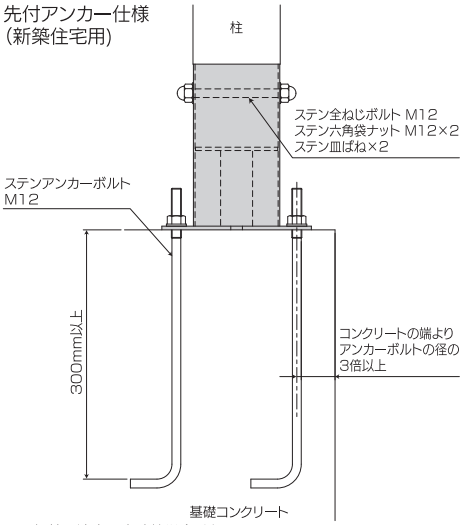
115角(4寸柱用)





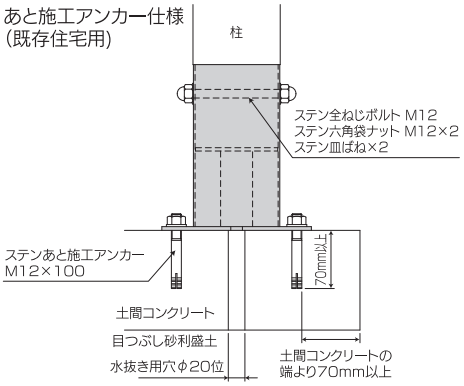
■取付図

先付アンカー仕様
(新築住宅用)



※一般社団法人日本建築学会発行
「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出
※ステンアンカーボルトは別売りです。

あと施工アンカー仕様
(既存住宅用)



※ステンあと施工アンカーの穿孔径(ドリル径)は12.7mm、穿孔深さは82mm以上確保してください。
※水はけをよくする為に、土間コンクリートに水抜き用穴(φ20位)をあけてからクリ15kN柱受を施工してください。
※あと施工アンカー・連続繊維補強設計・施工指針に基づき算出

用途・特徴

1.クリ15kN柱受は、玄関の独立柱等の柱脚または、上階に耐力壁がある場合の柱脚に使用する金物です。

使用方法

●先付アンカー仕様(新築住宅)
1.先付されたステンアンカーボルトM12にクリ15kN柱受を取り付け固定します。
2.柱の脚部をクリ15kN柱受の寸法に合わせてカットしてください。
3.柱をクリ15kN柱受にセットし、ステン全ねじボルトM12・ステン皿ばね・ステン六角袋ナットM12で固定してください。(取付図参照)
※ステンアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋め込み深さは300mm以上確保してください。
※ステンアンカーボルトの埋め込み位置は基礎コンクリートの端よりアンカーボルトの径の3倍以上離してください。
●あと施工アンカー仕様(既存住宅)
1.クリ15kN柱受を土間コンクリートの所定の位置にステンあと施工アンカー(M12×100)で取り付け、固定します。
2.柱の脚部をクリ15kN柱受の寸法に合わせてカットしてください。
3.柱をクリ15kN柱受にセットし、ステン全ねじボルトM12・ステン皿ばね・ステン六角袋ナットM12で固定してください。(取付図参照)
※ステンあと施工アンカーの穿孔径(ドリル径)は12.7mm、穿孔深さは82mm以上確保してください。
※ステンあと施工アンカーの土間コンクリートへの埋め込み深さは70mm以上確保してください。
※ステンあと施工アンカーの埋め込み位置は土間コンクリートの端より70mm以上離してください。
※コンクリートの圧縮強度18N/mm²～36N/mm²の範囲でご使用ください。

商品名	クリ15kN柱受 寸胴型 100角(3寸5分柱用)／115角(4寸柱用)
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験 100角(引張:HP13-KT011、圧縮:HP13-KT007、せん断:HP13-KT009) 115角(引張:HP13-KT012、圧縮:HP13-KT008、せん断:HP13-KT010)
材質	SUS304
付属部品	100角／ステン全ねじボルトM12×130…1本、ステン六角袋ナットM12…2個 ステン皿ばね…2枚、ステンあと施工アンカーM12×100…2本 115角／ステン全ねじボルトM12×145…1本、ステン六角袋ナットM12…2個 ステン皿ばね…2枚、ステンあと施工アンカーM12×100…2本
入数	1個／ケース(全ねじボルト:1本、袋ナット:2個、皿ばね:2枚、あと施工アンカー:2本)


寸胴型（ボルトタイプ）


カップ型（ボルトタイプ）

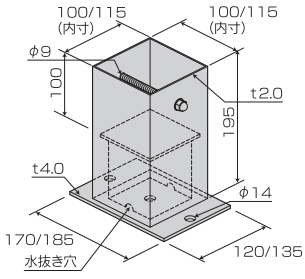

100角寸胴型（ボルトタイプ）


90角カップ型（ボルトタイプ）

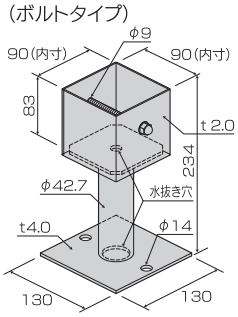

100角カップ型（ボルトタイプ）

■寸法図

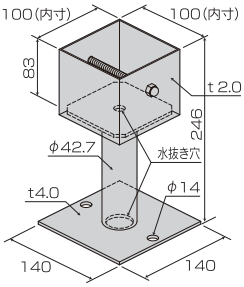
寸胴型
（ボルトタイプ）



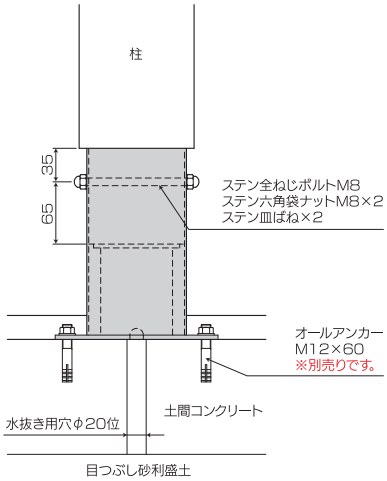
90角カップ型
（ボルトタイプ）



100角カップ型
（ボルトタイプ）



■取付図 寸胴型（ボルトタイプ）



※ステンレス・寸胴型では、水はけをよくする為に、土間コンクリートに水抜き用穴（φ20位）をあけてから柱受を施工してください。

	短期基準圧縮耐力（kN）	短期基準引張耐力（kN）
ステン90カップ型（ボルトタイプ）	59.3	13.4
ステン100カップ型（ボルトタイプ）	59.8	11.3
ステン100寸胴型（ボルトタイプ）	109.5	12.7
ステン115寸胴型（ボルトタイプ）	101.7	12.5

※当社試験データ

※特注品もご注文に応じます。

用途・特徴

1.玄関の独立柱等の柱脚に使用する金物です。
2.カップ型・寸胴型と2種類あります。

使用方法

1.柱受を所定の位置にオールアンカー等で取り付け、コンクリートを打設してください。
2.柱の脚部を柱受の寸法に合わせてカットしてください。
3.柱を柱受にセットし、ステン全ねじボルトM8・ステン皿ばね・ステン六角袋ナットM8で固定してください。
（取付図参照）

商品名	柱受90角カップ型（ボルトタイプ）
材質	SUS304
付属部品	ステン全ねじボルトM8×115…1本、ステン袋ナットM8…2個、ステン皿ばね…2枚
入数	1個／ケース（全ねじボルト：1本、袋ナット：2個、皿ばね：2枚／袋）

商品名	柱受100角カップ型（ボルトタイプ）
仕様	ステンレス／ステン黒塗り
材質	SUS304
付属部品	ステン全ねじボルトM8×125…1本、ステン袋ナットM8…2個、ステン皿ばね…2枚
入数	1個／ケース（全ねじボルト：1本、袋ナット：2個、皿ばね：2枚／袋）

商品名	柱受100角寸胴型（ボルトタイプ）／115角寸胴型（ボルトタイプ）
材質	SUS304（100角パイプ38.5角パイプ受板90×90）、SUS430（底板120×170）
付属部品	100角／ステン全ねじボルトM8×125…1本、ステン袋ナットM8…2個、ステン皿ばね…2枚 115角／ステン全ねじボルトM8×140…1本、ステン袋ナットM8…2個、ステン皿ばね…2枚
入数	1個／ケース（全ねじボルト：1本、袋ナット：2個、皿ばね：2枚／袋）

柱受
カップ型(釘タイプ)



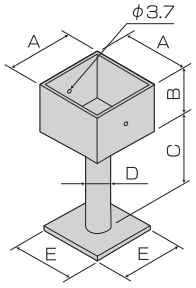


カップ型(釘タイプ)100角



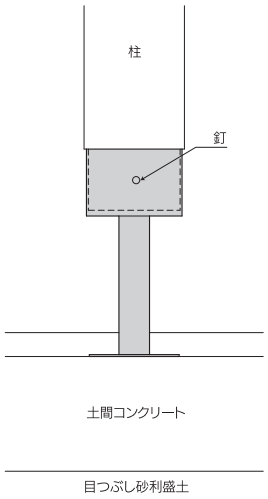
カップ型(釘タイプ)150角

■寸法図



呼称	箱部寸法(外寸)			柱(パイプ)部寸法			底板寸法	
	幅(A)	高さ(B)	板厚	高さ(C)	幅又は径(D)	板厚	幅(E)	板厚
75角	75	55	2.0	145	φ31.8	1.5	70	2.0
90角	90	60	2.0	145	φ31.8	1.5	84	2.0
100角	100	70	2.0	145	φ31.8	1.5	94	2.0
120角	120	90	2.0	145	φ31.8	1.5	94	2.0
150角	150	100	2.0	145	φ60.0	1.5	115	2.0

■取付図



	短期基準圧縮耐力(kN)	短期基準引張耐力(kN)
カップ型・柱部φ31.8(釘タイプ)	63.5	—

※当社試験データ

※特注品もご注文に応じます。

用途・特徴

1.玄関の独立柱等の柱脚に使用する金物です。

使用方法

1.柱受を所定の位置に埋設し、コンクリートを打設してください。
2.柱の脚部を柱受の寸法に合わせてカットしてください。
3.柱を柱受にセットし、釘等で固定してください。

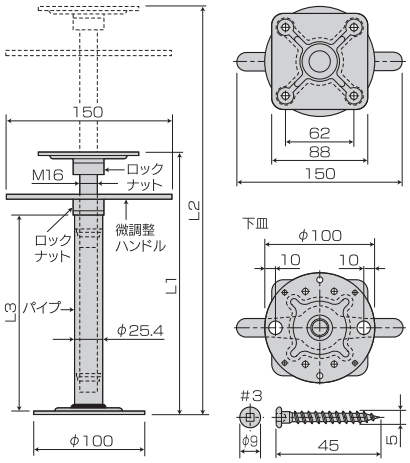
商品名	柱受カップ型(釘タイプ)
サイズ	75角／90角／100角／120角／150角
材質	ステンレス〔SUS304(パイプ、箱部)、SUS430(底板)〕
入数	各1個／ケース

ジャッキ方式で、作業性が大幅に向上
施行後の微調整も簡単





■寸法図

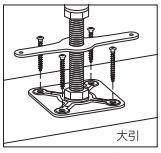


記 号	L1~L2	L3
KJU400	340~460	265
KJU500	440~560	365
KJU600	540~660	465
KJU700	640~760	565
KJU800	740~860	665
KJU900	840~960	765
KJU1000	940~1060	865

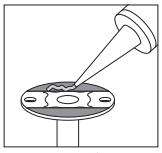
記 号	長期許容圧縮耐力(kN)
KJU400	15.8
KJU500	14.8
KJU600	13.2
KJU700	14.5
KJU800	10.9
KJU900	11.3
KJU1000	11.5

※当社試験データ

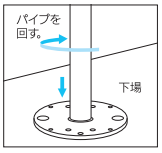
■使用方法



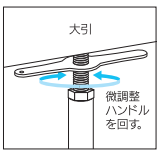
1.大引きにクリジャッキを付属ビスにて固定します。(上皿面を大引きにセットし、ビスにて固定します。)



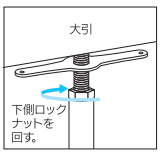
2.本体底面にボンド(別売り)を塗布します。



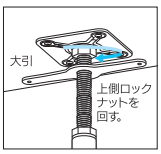
3.パイプを回しながら、下場に密着するまで調整し、コンクリート釘あるいはオールアンカー等で固定してください。



4.微調整ハンドルを回し、微調整してください。



5.下側のロックナットを固定します。(ナットの締めすぎにご注意ください。)



6.上側のロックナットを固定します。(ナットの締めすぎにご注意ください。)

用 途 ・ 特 徴

1.クリジャッキは、大引きを支える床束として使用します。
2.ダクロタイズド表面処理を施している為、耐久性も抜群で、床下の湿気等にも優れた防錆力を発揮します。
3.M16ボルトを使用し、外観・強度を高めました。
4.パイプに丸ナットを組み込んだジャッキタイプの為、施工しやすく施行後の微調整もハンドルで簡単に調整でき、作業性が大幅に向上しました。
5.ガタツキ防止金具を取り付けた特殊構造で、安全性が大幅に向上しました。ガタツキ防止金具は抜け防止にもなります。

使 用 方 法

1.大引きに付属ビス4本でクリジャッキを固定します。
2.本体底面に接着剤(別売り)を塗布し、大引きを落とし込みます。
3.パイプを回しながら本体底面が下場に密着するまで調整し、コンクリート釘(別売り)あるいはオールアンカー(別売り)などで固定してください。
4.微調整ハンドルを回しながら高さを調整してください。
5.下側のロックナットを固定してください。
6.上側のロックナットを固定してください。
※ロックナットを固定した後は、調整出来ません。固定後に調整する時は、上下のロックナットを必ず緩めて調整してください。

商 品 名	クリジャッキ KJU400／KJU500／KJU600／KJU700／KJU800 KJU900／KJU1000
材 質	JIS G 3131SPHC(上皿・下皿・ハンドル)、JIS G 3444 一般構造用炭素鋼管 STK(パイプ) JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材 SS400(ボルト)
表 面 処 理	ダクロタイズド
付 属 部 品	専用ビス／四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…4本(上皿用)
入 数	KJU400:20本／ケース(専用ビス:20本入×4袋) KJU500・600:15本／ケース(専用ビス:20本入×3袋) KJU700・800・900・1000:10本／ケース(専用ビス:20本入×2袋)

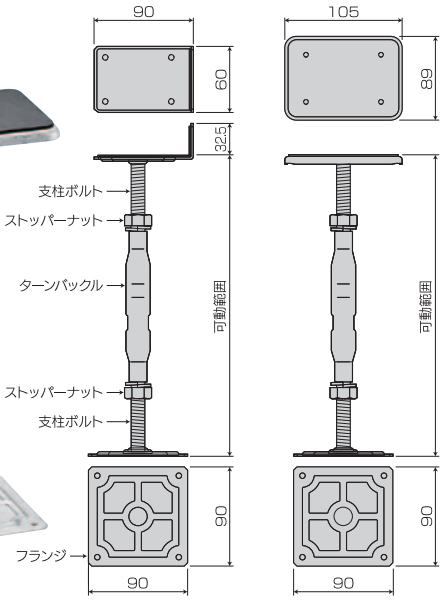
YR束
YR-1827L・YR-2438L・YR-3045L・YR-3953L
YR-1827T・YR-2438T・YR-3045T・YR-3953T

ターンバックル方式で高さ調整が自由自在



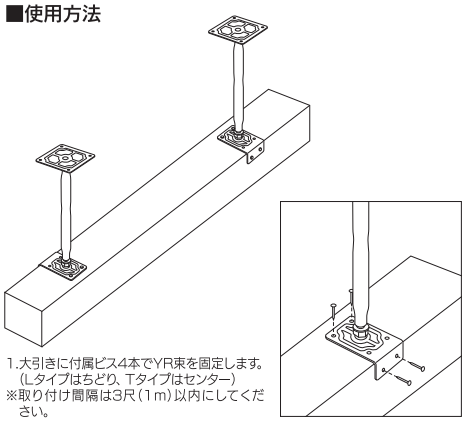


■寸法図

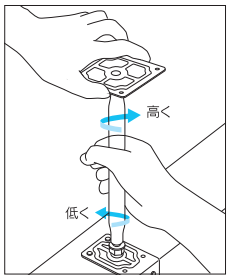


品　番	可動範囲(mm)
YR-1827L YR-1827T	192~267
YR-2438L YR-2438T	247~382
YR-3045L YR-3045T	292~447
YR-3953L YR-3953T	397~532

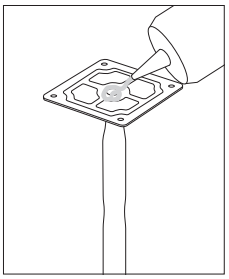
■使用方法



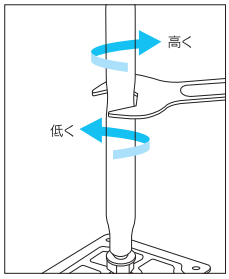
1.大引きに付属ビス4本でYR束を固定します。
(Lタイプはちどり、Tタイプはセンター)
※取り付け間隔は3尺(1m)以内にしてください。



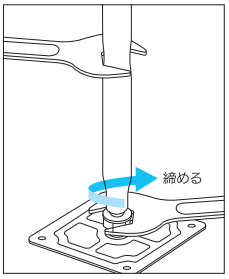
2.フランジ部を片手で固定しながらターンバックルを手で回転させ、おおむね使用する高さに調整しておきます。



3.フランジ底面と土間(束石)面のゴミ・汚れ等を取り除き、接着剤(別売り)をフランジ底面にまんべんなく塗布します。



4.ターンバックルをスパナ(19mm)で回転させ、高さを微調整します。



5.高さ調整後、ターンバックルにスパナ(19mm)を掛けて固定し、上下のストッパーナットをもう1本のスパナ(19mm)で締め付けてください。

用途・特徴

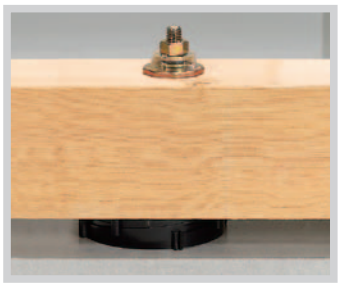
1.YR束は、大引きを支える床束として使用します。
2.ターンバックル方式の為、高さ調整が楽に出来ます。
3.本体大引き受けにゴム貼りをすることで、木材との接触音防止に配慮しています。

使用方法

1.大引きに付属ビス4本でYR束を固定します。
※Lタイプは大引きにちどり(交互)に、Tタイプは大引きのセンターに取り付けます。
※取り付け位置は、前後左右、おおむね間隔3尺(1m)以内となるように取り付けます。
2.フランジ部を片手で固定しながらターンバックルを手で回転させ、おおむね使用する高さに調整しておきます。
※高さ調整は片方のボルトだけを廻さずターンバックルを回転させて行ってください。
※支柱ボルトの黄色い印が見えない範囲でご使用ください。
3.フランジ底面と土間(束石)面のゴミ・汚れ等を取り除き、接着剤(別売り)をフランジ底面にまんべんなく塗布します。次に、YR束が取り付けられた大引きを反転させ所定の位置にセットし、フランジの穴から接着剤がはみ出すまで圧着します。
※接着剤が硬化するまでにYR束の固定が必要な場合は、付属のコンクリート釘を2本打ち込み固定します。
4.ターンバックルをスパナ(19mm)で回転させ、高さを微調整します。
5.高さ調整後、ターンバックルにスパナ(19mm)を掛けて固定し、上下のストッパーナットをもう1本のスパナ(19mm)で締め付けてください。
※上下ナットとも右回転で締まります。
※上下ストッパーナットの締め付けが不完全ですと固定が不十分になり、床レベルの低下や床鳴りの原因となる場合があります。

商　品　名	YR束 YR-1827L・YR-2438L・YR-3045L・YR-3953L YR-1827T・YR-2438T・YR-3045T・YR-3953T
表 面 処 理	メッキ処理(ダクロ相当)
付 属 部 品	専用ビス／ビス(φ4×40)…4本(大引き用) 専 用 釘／コンクリート釘(φ3×25)…2本
入　　数	25個／ケース(専用ビス:100本、専用釘:50本)

レベル調整自在の土台用パッキン「曲げ重ね」のできる防虫グリル

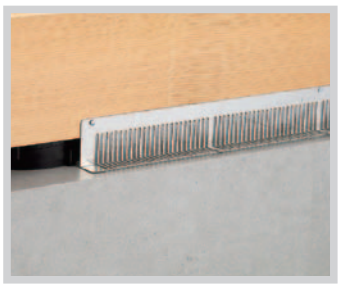




リレベル
RT110-20
外径110mm
ボルト穴径16mm



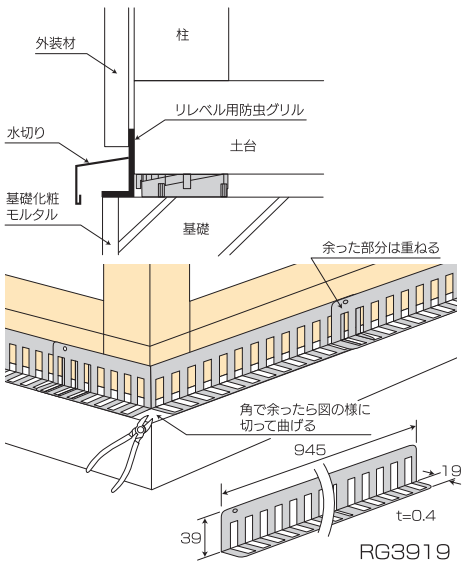
リレベル
RT130-20
外径130mm
ボルト穴径16mm×29mm





防虫グリル

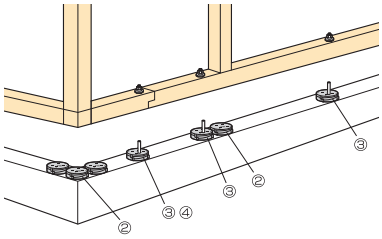
■防虫グリル取付図



■リレベル取付図

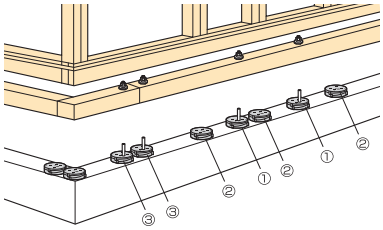
●リレベルは、基礎の外回りも中回りも使用してください。
●ホールダウンをお使いの箇所は必ず2個以上使用してください。

在来軸組工法



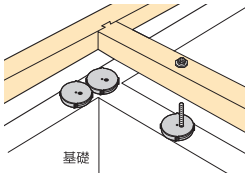
①間隔は概ね3尺ピッチ
②柱の下や大引など荷重が集中する部分
③アンカーボルト部分
④土台の継手に掛かる部分

2×4枠組壁工法

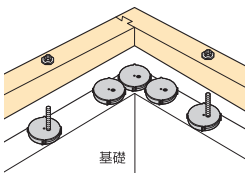


①間隔は概ね3尺ピッチ(1m以内)
②2本以上スタッドがある部分や構造用合板の継ぎ目部分
③アンカーボルト部分
④土台の継手に掛かる部分

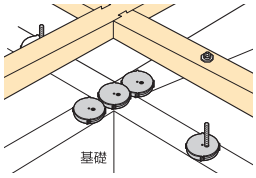
T字の場合



L字の場合



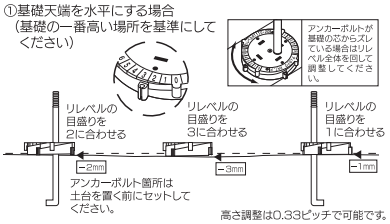
十字の場合



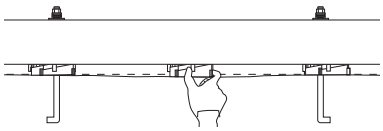
■リレベル高さ調整方法

●木材のめり込み等を考慮してリレベル1個に付き15kN以内の荷重で使用してください。
●換気量の確保のため4m以内に概ね20個以内で使用してください。(4mで300cm²の換気面積が必要です)

①基礎天端を水平にする場合
(基礎の一番高い場所を基準にしてください)



②隙間が生じた場合リレベルの調整爪を回して隙間を埋める



③メンテナンスで隙間が生じている場合も②と同じように調整爪を回して隙間を埋めてください。

用途・特徴

1.リレベルは、床換気の為、基礎と土台の間に設置する製品です。
2.リレベルを廻すだけで基礎天端のレベル調整が出来ます。「高さ20～25mm(調整板不要)高さ目盛付」
3.丸型なので空気の流れが良く、またアンカーボルト用の穴が偏芯しているのでアンカーボルトがズレている場合でも、リレベル全体を廻して調整出来ます。
4.リレベル用防虫グリルは曲げたり重ねたり出来るので、ゴミがでません。またサビに強いZAM材を使用しています。

使用方法

1.リレベルは、基礎の外回り・中回りに概ね3尺ピッチで、土台を敷く前にセットしてください。
2.土台敷き後、隙間が生じた場合はリレベルの調整用爪を廻して隙間を埋めてください。
3.防虫グリルは、土台敷き後、土台外回りに設置してください。角で余った場合はニッパーなどで一部切断し折り曲げたり、重ねたりして使用してください。(取付図参照)
※25mm以上の調整が必要な場合は、別途ベースを使用してください。(RT110-20用ベースのみ厚さ5mm)

商品名	リレベル RT110-20／RT130-20
材質	ポリプロピレン
入数	RT110-20:66個／ケース・RT130-20:60個／ケース

商品名	リレベル用防虫グリル RG3919／RG3634
有効換気面積	110cm²／m
材質	ZAM®
入数	36本／ケース

※ZAM®は、日本製鉄株式会社の登録商標です。

キソパッキンロング KP-L102/KP-L120/KP-L150
気密パッキンロング KPK-102/KPK-120/KPK-140

「キソパッキンロング」

防鼠材不要！基礎全周に敷き込むロングタイプ



KP-L102

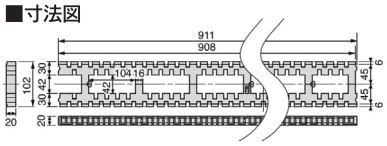


KP-L120

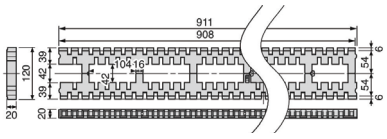


KP-L150

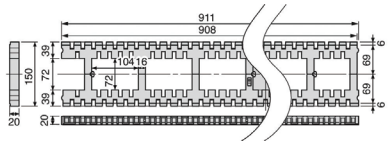
■寸法図



KP-L102



KP-L120



KP-L150

「気密パッキンロング」PAT.

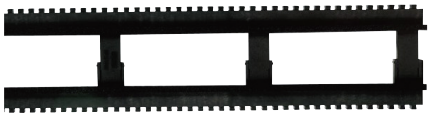
玄関まわりの劣化を軽減！床下気流の室内への流入をシャットアウト



KPK-N105

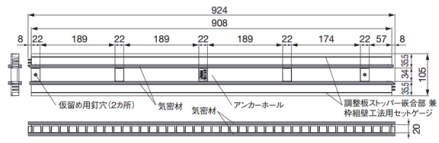


KPK-N120

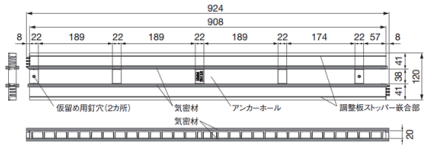


KPK-N140

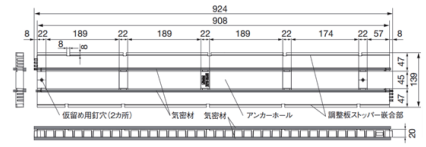
■寸法図



KPK-N105



KPK-N120



KPK-N140

用途・特徴

●キソパッキンロング

1.床換気の為、基礎と土台の間に設置する製品です。
2.基礎全周に敷き込むロングタイプです。
3.防鼠機能付ですので、防鼠材の取り付けは不要です。

●気密パッキンロング

1.玄関部分や勝手口からの床下気流の室内への流入を防ぐ為、基礎と土台の間に設置する製品です。

使用方法

●キソパッキンロング

1.基礎の内外全てに、隙間なく敷き込んでください。
2.アンカーボルトがキソパッキンロングのアンカーホールと合わない場合は、左右を入れ換えてアンカーボルトがあたらないように敷き込んでください。
3.土台敷設後、キソパッキンロングと土台との間に隙間が生じる箇所には、必ず別売品の調整板を使用してください。

●気密パッキンロング

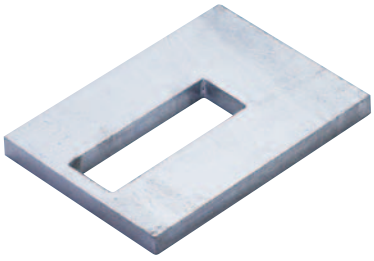
1.玄関部分及び勝手口等の気密性を要する基礎天端全周に敷き込んでください。
2.切断面に気密性が必要な場合は、付属の気密テープを貼り付けてください。
3.コーナー部分の上下端は、必ず付属の気密テープを貼り付けてください。
4.アンカーボルトが気密パッキンロングのアンカーホールと合わない場合は、左右を入れ換えてアンカーボルトがあたらないように敷き込んでください。
※気密パッキンロングには、表と裏がありますので、製品の刻印側を上向きにして敷き込んでください。

商品名	キソパッキンロング KP-L102／KP-L120／KP-L150
材質	JC(ポリオレフィン樹脂＋炭酸カルシウム)
有効換気面積	101.76cm²／m(92.4cm²／本)
入数	20本／ケース

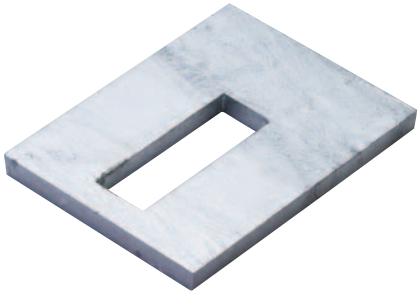
商品名	気密パッキンロング KPK-N105／KPK-N120／KPK-N140
材質	JC(ポリオレフィン樹脂＋炭酸カルシウム)
付属品	気密テープ〔EPDM(発泡ゴム)〕
入数	10本／ケース(気密テープ：1シート)

めり込み防止座金
PW12(105×145)／PW12(120×160)





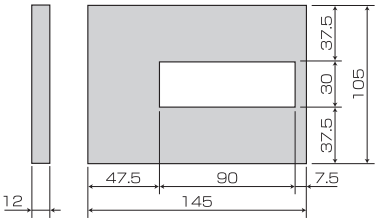
PW12(105×145)



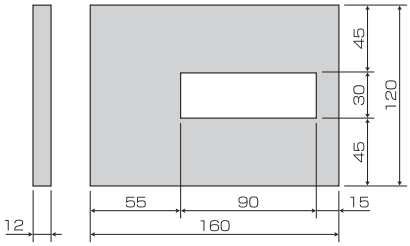
PW12(120×160)

■取付図

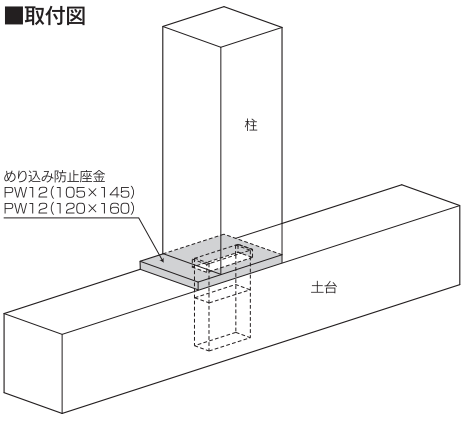
PW12(105×145)



PW12(120×160)



■取付図



めり込み防止座金の許容めり込み耐力(単位:kN)

樹脂と部位		PW12(105×145) 長期 積雪時	PW12(105×145) 長期 積雪時以外	PW12(105×145) 短期 積雪時	PW12(105×145) 短期 積雪時以外	PW12(120×160) 長期 積雪時	PW12(120×160) 長期 積雪時以外	PW12(120×160) 短期 積雪時	PW12(120×160) 短期 積雪時以外
ベイマツ類	土台	56.16		74.88		74.05		98.73	
	その他	53.54	41.18	59.90	74.88	70.59	54.30	78.98	98.73
ヒノキ類	土台	48.67		64.90		64.17		85.57	
	その他	46.40	35.69	51.92	64.90	61.18	47.06	68.45	85.57
スギ類	土台	37.44		49.92		49.37		65.82	
	その他	35.69	27.46	39.94	49.92	47.06	36.20	52.66	65.82

※耐力の算出方法は、(公益)日本住宅・木材センター発行
「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2017年度版)」による。

用途・特徴

1.柱脚部のめり込み防止用座金です。

使用方法

●PW12(105×145)
1.柱105mm×105mmに対し、土台幅105mm以上に使用します。

●PW12(120×160)
1.柱120mm×120mmに対し、土台幅120mm以上に使用します。

商品名	めり込み防止座金 PW12(105×145)／PW12(120×160)
承認	(公財)日本住宅・木材技術センター／Zマーク表示金物(承認番号:Z24-1)
材質	JIS G 3101 一般構造用圧延鋼板 SS400
表面処理	JIS H 8641 溶融亜鉛めっき 2種 HDZ35
入数	各6枚／ケース

クリSW付角・丸座金
KW4.5×40/KW4.5×φ45

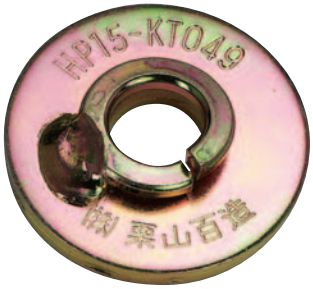
スプリングワッシャー付きにより ナットの締め付けを確認できる座金

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP15-KT048) 評定書(HP評定(木)-14-009) 「厚さ4.5mm、40mm角の角座金」と同等 KW4.5×40

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP15-KT049) 評定書(HP評定(木)-14-010) 「厚さ4.5mm、40mm角の角座金」と同等 KW4.5×φ45

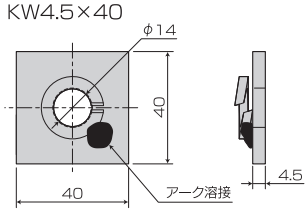




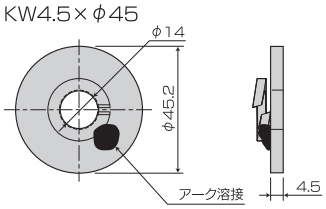


■寸法図

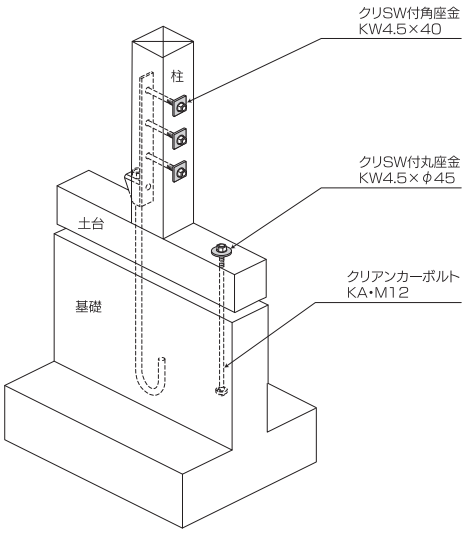
KW4.5×40



KW4.5×φ45



■取付図



用途・特徴

1.M12ボルト・アンカー・羽子板など、どこにでも使用出来ます。
2.スプリングワッシャー付きによりナットの締め付けを確認できる座金です。
3.スプリングワッシャーと座金が一体の為、現場での作業性がアップします。

使用方法

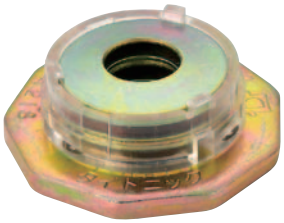
1.M12ボルト(アンカー・羽子板)に座金をセットしてナットで締め付けます。
※スプリングワッシャー側をナットで締め付け固定します。(取付図参照)
●木痩せ対応品に関しては「タイトニック耐震座金」をご使用ください。

商品名	クリSW付角座金 KW4.5×40
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP15-KT048)・評定書(HP評定(木)-14-009)
材質	板:JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC バネ座金:JIS G 3506 硬鋼線材SWRH57~77
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
入数	400枚／ケース(50枚入×8袋)

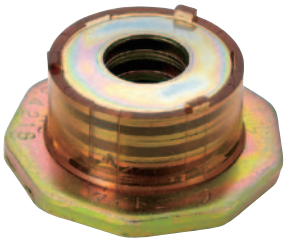
商品名	クリSW付丸座金 KW4.5×φ45
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP15-KT049)・評定書(HP評定(木)-14-010)
材質	板:JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC バネ座金:JIS G 3506 硬鋼線材SWRH57~77
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
入数	400枚／ケース(50枚入×8袋)

取り付けワンタッチ！ 木痩せ追従耐震座金

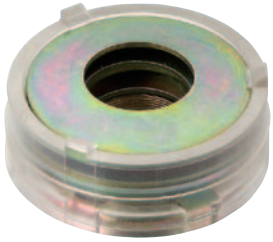




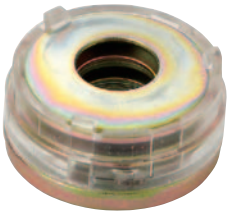
TZ12SE-I



TZ12ME-I

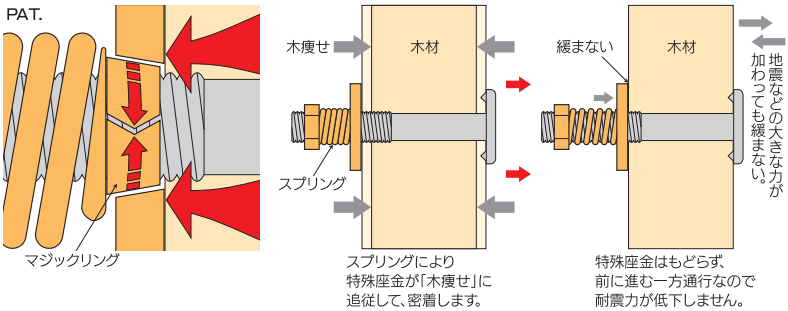


T-16ME-I



TZ12SES-I

仕様＼記号	TZ12SE-I	TZ12ME-I	T-16ME-I	TZ12SES-I
本体寸法(mm)	H16×W47	H20×W47	H16×W41	H16×W32
適応ボルト	Zボルト12mm	Zボルト12mm	16mm5/8インチ	Zボルト12mm
木痩対応幅	4.0mm	6.0mm	5.0mm	4.0mm
必要ネジ長	20mm（座堀25mm）	23mm（座堀30mm）	25mm	20mm



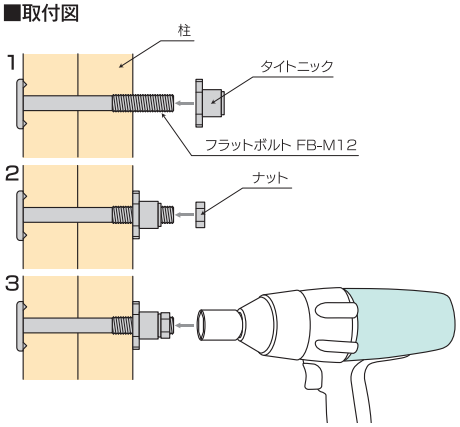
用途・特徴

1.内蔵のスプリングでボルトを引き寄せ、マジックリングでボルトを締め付けるため乾燥や荷重による木痩せにも緩みません。
2.マジックリングのクサビ効果でボルトと座金が一体構造になり、接合部のズレを防止します。
3.マジックリングで振動を締め付ける力に変え、スプリングでナットの緩みも防ぎます。
4.タイトニックとナットのダブルナット効果で、最大引っ張り強度4.3トンでボルト破断、ナットに損傷はありません。
5.アンカー・火打・羽子板・両引き羽子板・門ボルト・ホールダウン他どこにでも使用出来ます。
（お手持ちのボルト類でご使用出来ます。）
6.ボルトに入れて締めるだけで簡単に取り付けが出来ます。締め終わるとナットがケースに入るので締め忘れも一目でわかります。

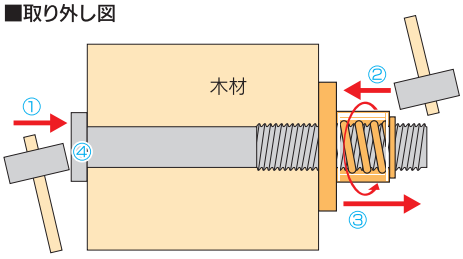
使用方法

1.ボルトのネジ山側にタイトニックを差し込みケースの中のパネが密着するまでナットで締めてください。
※タイトニックは「必ずネジ山側」に使用してください。
※締付けトルク10N・m～30N・m
締めすぎるとタイトニックの機能が発揮できなくなる場合があります。木材やネジ山を傷めるだけで、木痩せ対策にはなりません。
※ボルトを木材に通してからタイトニックを取り付けてください。（事前にボルトにセットすると、タイトニックが外しにくくなります。）

■取付図



■取り外し図



ナットを外してから①か②の方向に叩く。③か④を左に回す。

商品名	タイトニック
材質	JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC
表面処理	クロメートメッキ（JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2）
入数	TZ12SE-I・TZ12ME-I・TZ12SES-I：300個／ケース（100個入×3箱） T-16ME-I：100個／ケース

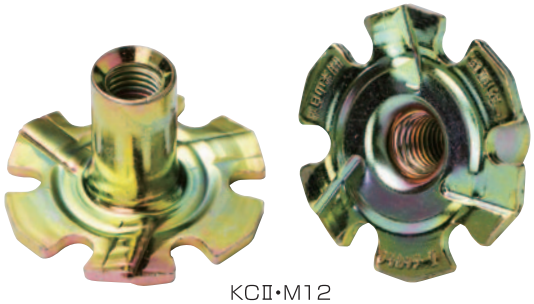
すぎ7.2kN・ひのき9.4kN・べいまつ10.9kN
座掘り機能付き、座金付き・ナット





ソケットサイズ
19mm

KCⅡ・M12専用ビット



KCⅡ・M12

(一財)建材試験センター
品質性能試験(15A2060)
認定番号:A-001
短期許容めり込み耐力Na:7.2kN
樹種:すぎが該当する樹種群のもの

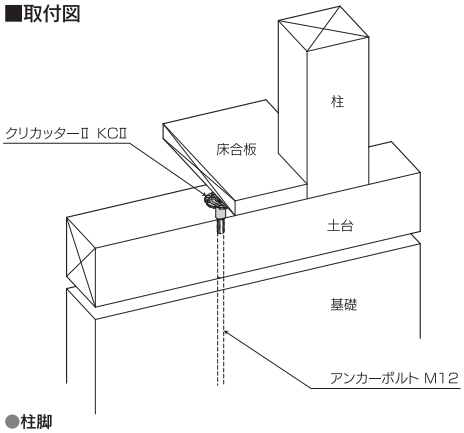
(一財)建材試験センター
品質性能試験(15A2061)
認定番号:A-002
短期許容めり込み耐力Na:9.4kN
樹種:ひのきが該当する樹種群のもの

(一財)建材試験センター
品質性能試験(15A2062)
認定番号:A-003
短期許容めり込み耐力Na:10.9kN
樹種:べいまつが該当する樹種群のもの

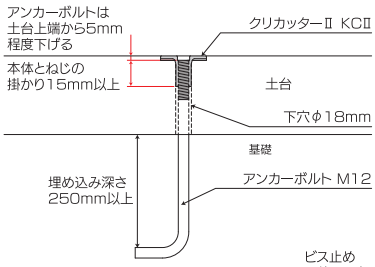
樹種(平成13年国土交通省告示第1024号)

	第3第一号の表1 無等級材(製材)	第3第二号のロ (集成材)
すぎ該当樹種群	つが、べいつが、もみ えぞまつ、とどまつ べにまつ、すぎ べいすぎ及びスプルース	つが、アラスカイエローシダー べにまつ、ラジアタパイン べいつが、もみ、とどまつ えぞまつ、べいもみ スプルース、ロッジポールパイン ポンデローサパイン、 おうしゅうあかまつ、 すぎ及びべいすぎ
ひのき該当樹種群	からまつ、ひば ひのき及びべいひ	ひのき、ひば からまつ及びべいひ
べいまつ該当樹種群	あかまつ くろまつ及びべいまつ	あかまつ、くろまつ ダフリカからまつ、サザンパイン べいまつ及びラワン

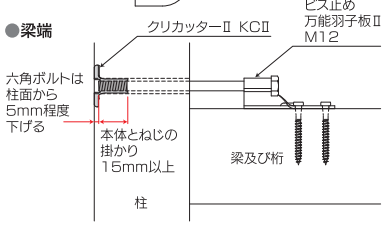
■取付図



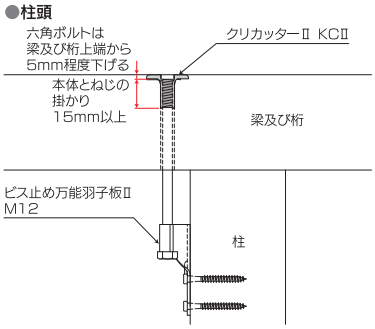
●柱脚



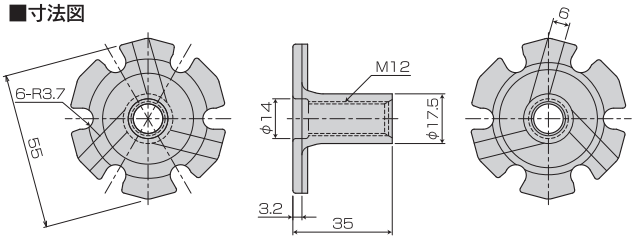
●梁端



●柱頭



■寸法図



用途・特徴

1.クリカッターⅡ(以下本体)は、座掘り機能が付いた座金とナットを一体化させた金物です。本体をアンカーボルトM12に締め付けることにより仕上げ面をフラットにすることが出来ます。
2.座金部裏面の突起で木材を切削する為、座掘り作業が不要でスピーディーに施工が出来ます。
3.仕上げ面がフラットになる為、根太レス工法等の場合でも容易に施工出来ます。
4.梁端・柱頭の羽子板ボルトにも使用出来ます。(取付図参照)

使用方法

1.アンカーボルトM12は、土台上端より5mm程度下がるように埋め込んでください。
2.土台には、ボルト穴φ18mmをあけてください。
3.本体をアンカーボルトM12に3山以上掛けます。
4.専用ビット(ソケットサイズ19mm)をインパクトレンチ〔締付けトルク294N・m(3,000kgf・cm)を推奨〕に取り付け本体にはめ込みます。
5.インパクトレンチを垂直にし、土台上面がフラットになるまで本体を埋め込みます。但し、土台の木痩せを考慮して深めに埋め込んでください。
※本体とビットをしっかりはめ合わせてから施工してください。
※施工中は、本体に触れぬように注意してください。
※施工後、本体にねじ山が15mm以上掛かるようにしてください。(取付図参照)

施工管理要項

1.コンクリートはJIS A 5308(レディーミクストコンクリート)に規定されたレディーミクストコンクリートを使用してください。
2.基礎幅は120mm以上に施工してください。
3.座金の施工(本締め)は、構造体コンクリートの強度が22.5N/mm²以上に達した時点で行ってください。
4.コンクリートの品質基準強度が22.5N/mm²以上のものを使用する場合、座金の施工(本締め)はコンクリート打設後28日経過した後に行ってください。なお、座金の施工(本締め)時期を早める場合は、構造体コンクリートの圧縮強度が22.5N/mm²以上に達したことを確認してから行ってください。

商品名	クリカッターⅡ KCⅡ
試験機関	(一財)建材試験センター／認定番号(A-001・A-002・A-003)
材質	JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
付属部品	専用ビット…1個／ケース
入数	200個／ケース(50個入×4袋、専用ビット:1個)

1つで3役！ 施工がスピーディー
座掘り、座金、ナットの機能を備えた優れもの!!

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP13-KT129) 評定書(HP評定(木)-13-013-1) 短期許容耐力:6.6kN





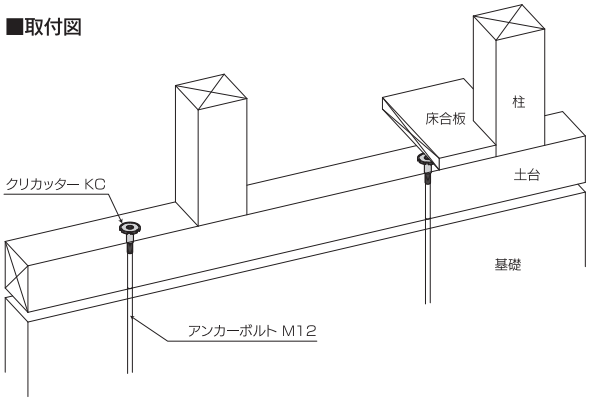
ソケットサイズ
19mm

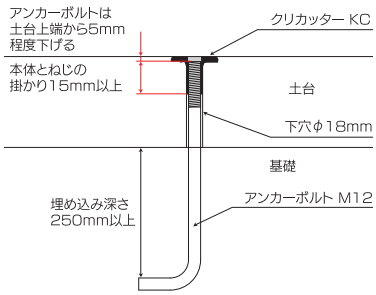
KC・M12専用ビット



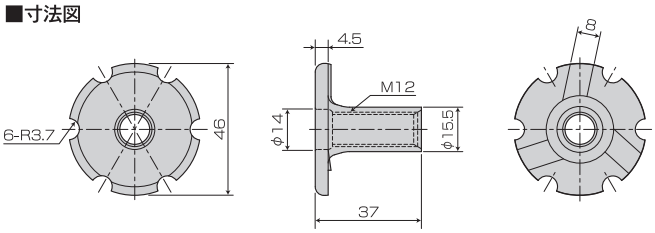
KC・M12

■取付図





■寸法図

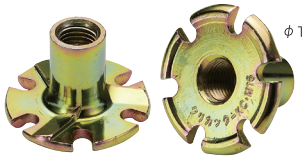


●M16タイプもあります。



ソケットサイズ
19mm
※ビットの中央には
ガイドはありません。

KC・M16専用ビット(別売り)



φ16×37

KC・M16(入数:100個/ケース)

※土台には、ボルト穴φ24mmをあけてください。

短期許容めり込み耐力:１１.３kN

※ハウスプラス確認検査㈱　評価書　HP評価(木)-２３-００５

※木材の仕様:樹種:スプルース又はこれと同等以上のめり込み基準強度を有する樹種かつ、スプルースと同等以上の木材密度を有する樹種
断面:105㎜以上×105㎜以上

用 途 ・ 特 徴

1.クリカッター(以下本体)は、座掘り機能が付いた座金とナットを一体化させた金物です。本体をアンカーボルトM12に締め付けることにより仕上げ面をフラットにすることが出来ます。
2.座金部裏面の突起で木材を切削する為、座掘り作業が不要でスピーディーに施工が出来ます。
3.仕上げ面がフラットになる為、根太レス工法等の場合でも容易に施工出来ます。
4.ビット中央にガイドがある為、本体にセットし易く、又、ビットの円周上にある6つの凸が本体にピッタリはまる為、施工し易く若干斜めになっても外れません。

使 用 方 法

1.アンカーボルトM12は、土台上端より5mm程度下がるように埋め込んでください。
2.土台には、ボルト穴φ18mmをあけてください。
3.本体をアンカーボルトM12に3山以上掛けます。
4.専用ビット(ソケットサイズ19mm)をインパクトレンチ〔締付けトルク294N・m(3,000kgf・cm)を推奨〕に取り付け本体にはめ込みます。
5.インパクトレンチを垂直にし、土台上面がフラットになるまで本体を埋め込みます。但し、土台の木痩せを考慮して深めに埋め込んでください。
※本体とビットをしっかりはめ合わせてから施工してください。
※施工中は、本体に触れぬように注意してください。
※施工後、本体にねじ山が15mm以上掛かるようにしてください。(取付図参照)

商　品　名	クリカッター KC
試 験 機 関	ハウスプラス確認検査(株)／品質性能試験(HP13-KT129) 評定書(HP評定(木)-13-013-1)
材　　質	JIS B 1180 附属書JA:2014 強度区分4.6又は4.8を満足する炭素鋼
表 面 処 理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
付 属 部 品	専用ビット…1個／ケース
入　　数	300個／ケース(50個入×6袋、専用ビット:1個)

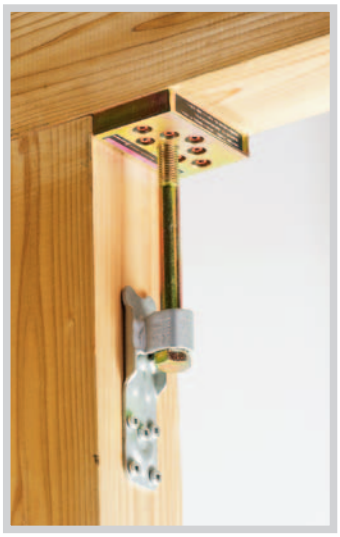
あと施工クリホールダウン座金 KW19×70×104

告示第1460号 第二号表三 (り)

接合部倍率 (N値) 4.9

ハウスプラス確認検査(株)
品質性能試験(HP22-KT030) 短期基準引張耐力:**26.2**kN

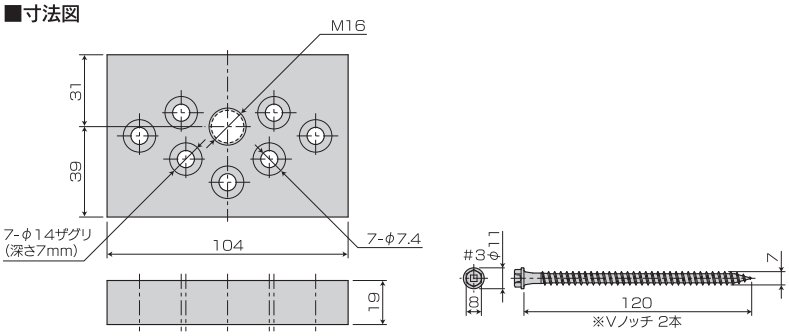
※試験材
柱:すぎ105×105
横架材:すぎ105×150



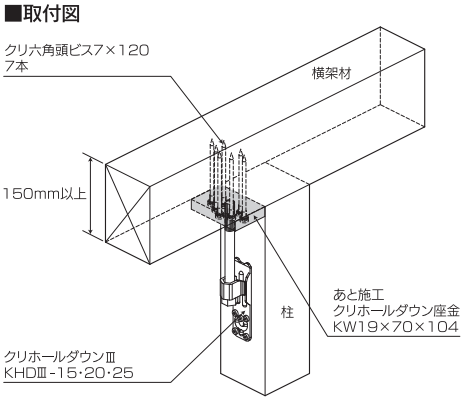


六角ソケット

■寸法図



■取付図



使用接合具/クリ六角頭ビス7×120…7本
※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

用途・特徴

1.あと施工クリホールダウン座金+クリホールダウンⅢ15・20・25は、引き寄せ金物25kNに該当する柱と横架材(土台を除く)を接合する金物です。
2.横架材にボルト穴をあけ忘れた時や梁成が高く穴あけが困難な時に最適です。
※告示第1460号第2号表三(と)(ち)(り)(ぬ)の1階柱脚部分には使用しないでください。
※梁成150mm以上でご使用ください。
※梁の上下で使用する場合は梁成300mm以上でご使用ください。
※KHDⅢ以外では所定の耐力は得られません。
※柱頭部での施工時に落とさないようご注意ください。

使用方法

1.あと施工クリホールダウン座金の柱側を柱に合わせ、専用ビスクリ六角頭ビス(7×120)を横架材に7本打ち込んでください。
2.クリホールダウンⅢ15・20・25を専用ビスクリスパイラルビス(7×65)を5本で打ち込んでください。
3.M16ボルトを使用し、あと施工クリホールダウン座金とクリホールダウンⅢ15・20・25を固定してください。(取付図参照)
※あと施工クリホールダウン座金のねじ穴に、M16ボルトが17mm以上掛かるようにしてください。

商品名	あと施工クリホールダウン座金 KW19×70×104
試験機関	ハウスプラス確認検査(株)/品質性能試験(HP22-KT030)
材質	JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材SS400
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
付属部品	専用ビス/四角穴付クリ六角頭ビス(7×120)…7本 六角ソケット8mm…1本/ケース
入数	6個/ケース(専用ビス:7本入×6袋、専用ソケット:1本)

座金付ボルト（偏芯タイプ）M16W80×80/M16W90×100

柱に干渉しにくく施行が簡単 偏芯タイプの座金付ボルト!



ハウスプラス確認検査（株）	ハウスプラス確認検査（株）
品質性能試験（HP11-KT004） M16W80×80 短期基準引張耐力：**36.4**kN	品質性能試験（HP15-KT042） M16W80×80 短期基準引張耐力：**30.8**kN
※試験材：べいまつ105×150	※試験材：すぎ105×105
ハウスプラス確認検査（株）	**ハウスプラス確認検査（株）**
品質性能試験（HP11-KT005） M16W90×100 短期基準引張耐力：**42.8**kN	品質性能試験（HP15-KT041） M16W90×100 短期基準引張耐力：**32.4**kN
※試験材：べいまつ105×150	※試験材：すぎ105×105

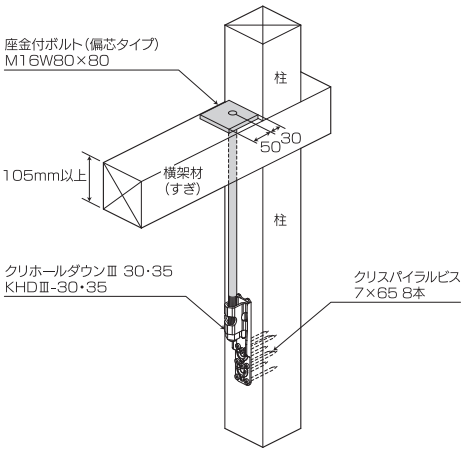
●木材種別

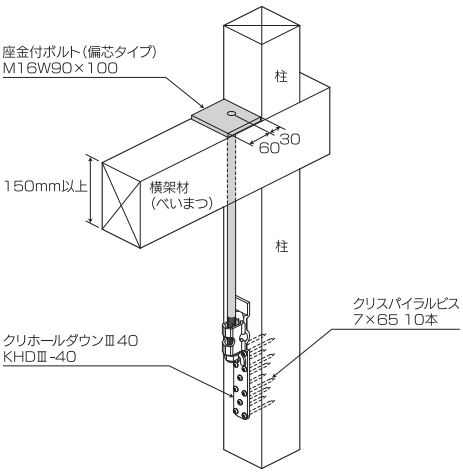
針葉樹	あかまつ、くろまつ及びべいまつ
	からまつ、ひば、ひのき及びべいひ
	つが、べいつが、もみ、えぞまつ、とどまつ、べにまつ、すぎ べいすぎ及びスプルース

※国土交通省告示第1024号抜粋



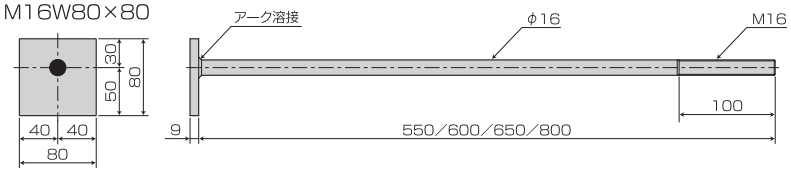
■取付図



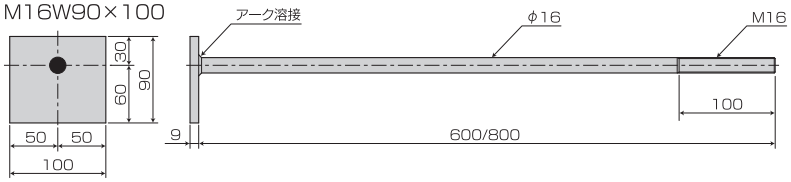


■寸法図

M16W80×80



M16W90×100



用途・特徴

1.座金付ボルト（偏芯タイプ）は、ホールダウン金物の接合具として使用します。
2.座金部が柱に干渉しにくいよう、座金中央よりボルト部をずらしている為、容易に施工できます。

使用方法

1.座金付ボルト（偏芯タイプ）は、使用する箇所・木材に合わせてサイズをお選びください。（取付図参照）

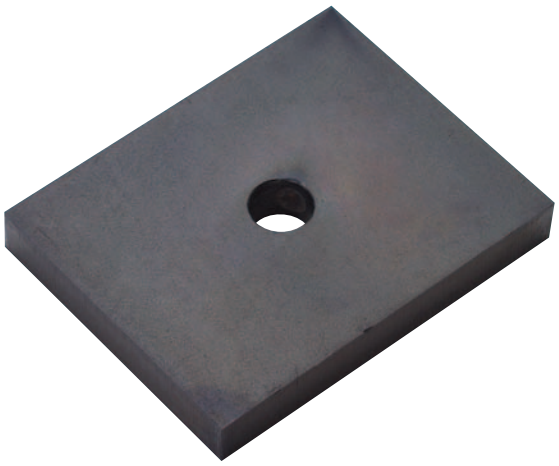
商品名	座金付ボルト（偏芯タイプ） M16W80×80／M16W90×100
試験機関	ハウスプラス確認検査（株）／品質性能試験 （HP11-KT004・HP11-KT005・HP15-KT042・HP15-KT041）
材質	板：JIS G 3131 SPHC相当 ボルト：JIS B 1180 附属書JA：2014 強度区分4.6又は4.8を満足する炭素鋼
表面処理	クロメートメッキ（JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2）
付属部品	六角ナットM16…1個
入数	10本／ケース（ナット掛）

クリ高耐力座金
KW16×95×122

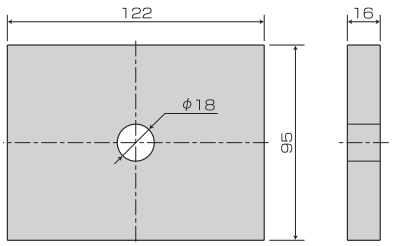
樹種群	すぎ類	ひのき類	べいまつ類
めり込み耐力kN	47.5	61.7	71.0

※座金のめり込み耐力の算出方法は、国土交通省告示第1024号の規定によるとともに、座面積の算出方法は、(公財)日本住宅・木材技術センター発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」による。

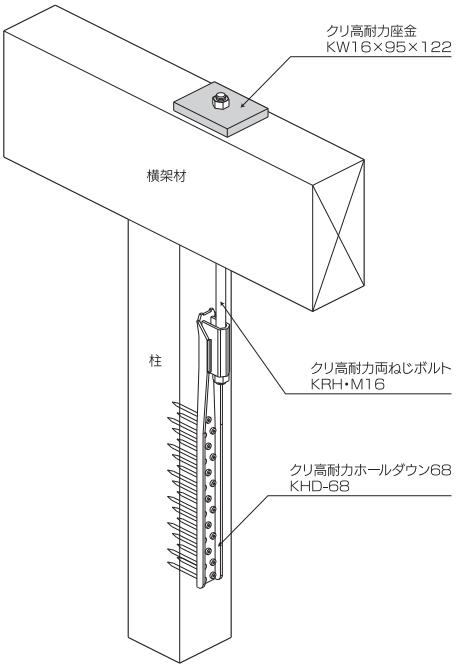




■寸法図



■取付図



用途・特徴

1.M16ボルトに使用します。

使用方法

1.M16ボルトに座金をセットしてナットで締め付けます。

商品名	クリ高耐力座金 KW16×95×122
材質	降伏耐力 325N／mm² 以上の鋼板
表面処理	黒色クロメート(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8)

クリ高耐力座金（偏芯タイプ）KW16×95×120

ハウスプラス確認検査（株）
品質性能試験（HP22-KT028） 短期基準引張耐力：68.7kN

※試験材：ひのき105×150

ハウスプラス確認検査（株）
品質性能試験（HP22-KT029） 短期基準引張耐力：43.9kN

※試験材：すぎ105×150

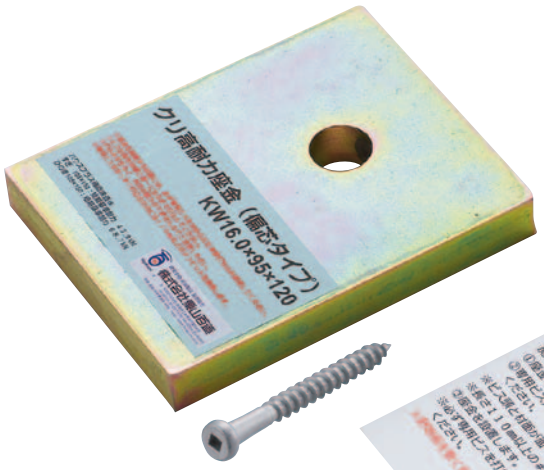




1.座金を設置する材面に
ビス打ち用シールを貼ります。



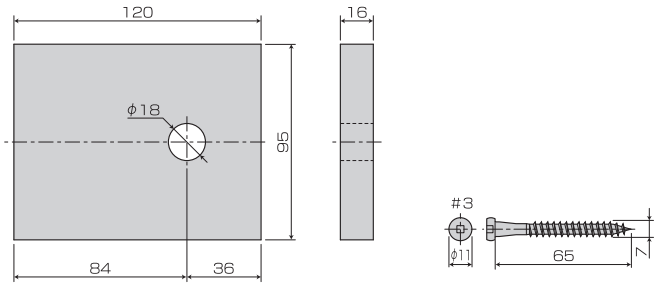
2.専用ビス7×65を6本＋の
中心にまっすぐ打ち込んで
ください。



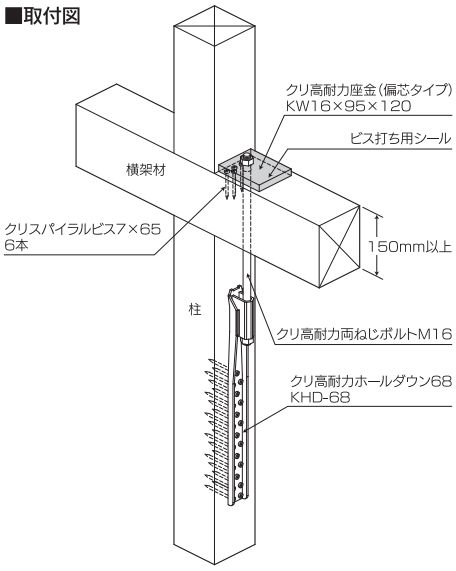


ビス打ち用シール

■寸法図



■取付図



使用接合具／クリスパイラルビス7×65…6本
※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

用途・特徴

1.クリ高耐力座金（偏芯タイプ）は、クリ高耐力ホールダウン68の接合具として使用します。
2.座金の下にビスを打ち込むことで、偏芯させて施工しても耐力が得られます。

使用方法

1.座金を設置する材面にビス打ち用シールを貼ります。
2.専用ビス7×65を6本＋の中心にまっすぐ打ち込んでください。
※ビス頭と材面が面一になるまで打ち込みます。
※ビスを打ち込みすぎると、所定の耐力がでませんのでご注意ください。
※長さ110mm以上の#3ビットを推奨。
3.座金を設置します。
※必ず専用ビスを打ち込んでから座金を設置してください。
※野地板を敷く前に施工してください。

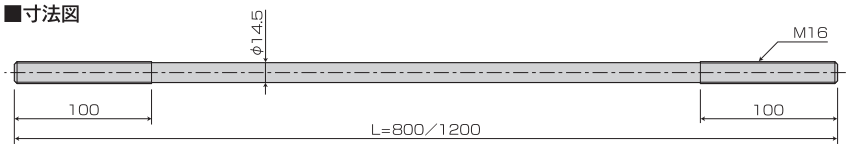
商品名	クリ高耐力座金（偏芯タイプ）KW16×95×120
試験機関	ハウスプラス確認検査（株）／品質性能試験（HP22-KT028・HP22-KT029）
材質	降伏耐力 325N／mm² 以上の鋼板
表面処理	クロメートメッキ（JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2）
付属部品	専用ビス／四角穴付クリスパイラルビス（7×65）…6本、専用シール…1枚
入数	1個／ケース（専用ビス：6本入×1袋、専用シール：1枚）

クリ高耐力両ねじボルト
KRH・M16

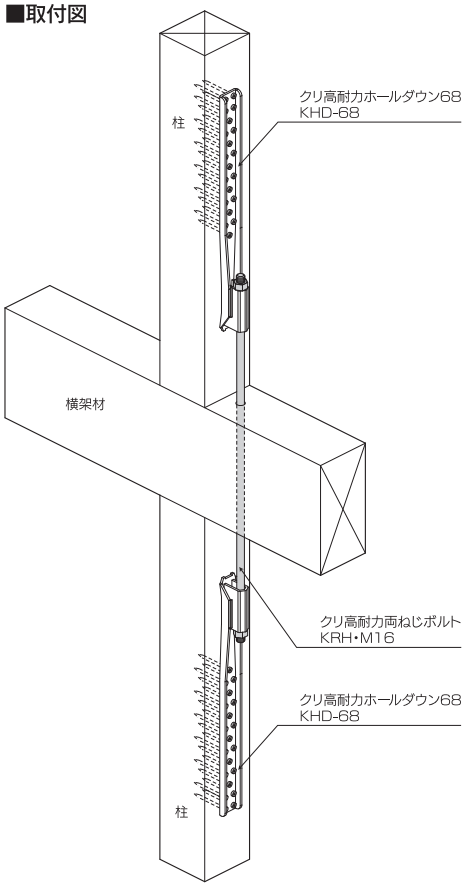




■寸法図



■取付図



用 途 ・ 特 徴

1.クリ高耐力ホールダウン68の接合具として使用します。

使 用 方 法

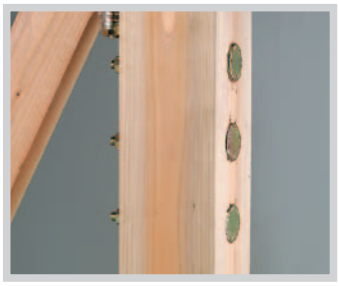
1.クリ高耐力ホールダウン68が取り付く箇所に合わせてサイズをお選びください。

商 品 名	クリ高耐力両ねじボルト KRH・M16
材 質	降伏耐力 440N／mm² 以上の炭素鋼
表 面 処 理	黒色クロメート(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8)
付 属 部 品	高耐力六角ナットM16…2個

施工がラクな座金とボルトの一体成型

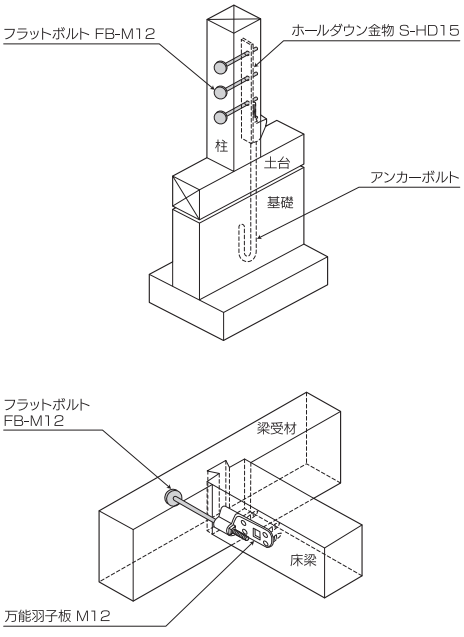
(公財)日本住宅・木材技術センター
性能認定品
FBC-M12
認定番号:SB2-45A04-01

(公財)日本住宅・木材技術センター
同等認定品／Z六角ボルト M12
FB-M12
認定番号:D19A04-02

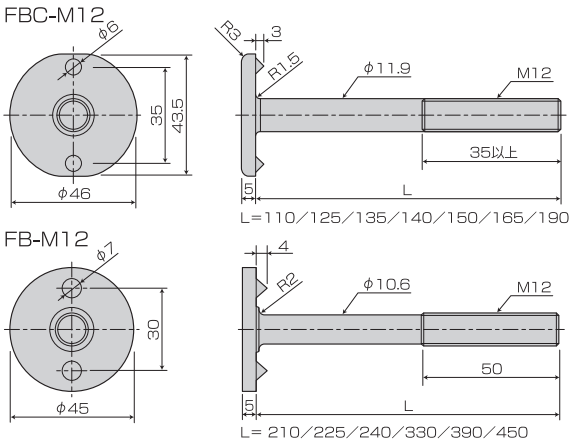




■取付図



■寸法図



用 途 ・ 特 徴

1.フラットボルトは、座金とボルトの一体成型品です。
2.フラット面は、角座金(4.5×40×40)と同等のサイズを有していますので座金の役割を果たします。
3.躯体に座掘りをして補強金物で接合する場合、一般的には60φ深さ20mmから25mm程度の座掘りを行いますが、フラットボルトを使用しますと座掘り50φ深さ5mm程度で済み、木材の欠損を少なくすることが出来ます。
4.座金面裏側に突起が2箇所ありますので、締め付けの際共回りしません。
5.特に出隅の柱でのホールダウン金物接合に有効です。

使 用 方 法

1.フラットボルトは使用する箇所・木材に合わせてサイズをお選びください。(取付図参照)

商 品 名	フラットボルト FBC-M12／FB-M12
承 認	(公財)日本住宅・木材技術センター／性能認定金物(認定番号:㊎SB2-45A04-01) 同等認定金物(認定番号:㊎D19A04-02)
材 質	JIS B 1180 附属書JA:2014 強度区分4.6又は4.8を満足する炭素鋼
表 面 処 理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
付 属 部 品	六角ナットM12…1個
入 数	110～240:50本／ケース(ナット:50個入×1袋) 330～450:25本／ケース(ナット:25個入×1袋)

2×4クリホールダウンⅢ15・20(2材)
2×4KHDⅢ-15・20-2

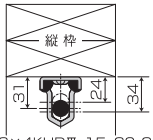
ビス長さ65mm使用 20kNまで対応!
軽量コンパクトホールダウン!

(一財)建材試験センター
品質性能試験(10A4411)
短期許容耐力:23.8kN



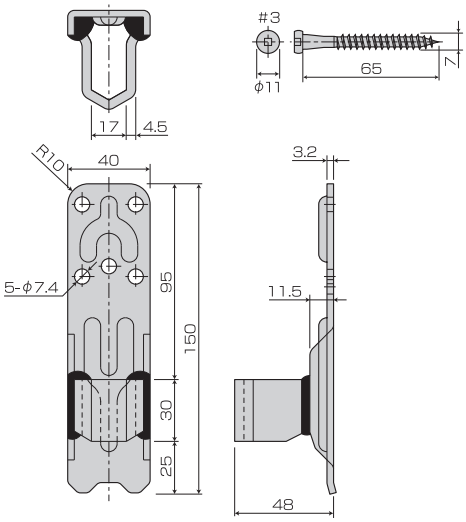


M16ボルトの設置範囲

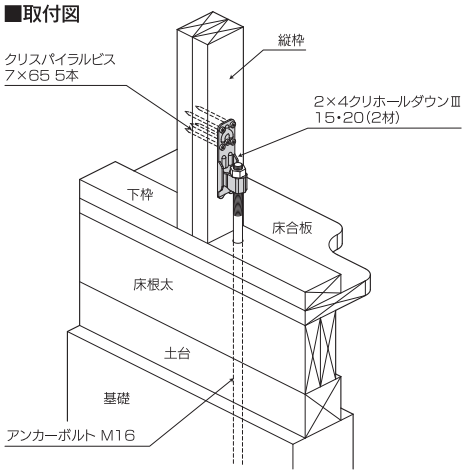


2×4KHDⅢ-15・20-2
※M16ボルトの設置位置は、縦枠面から31mmとし、24mmから34mmまで設置可能です。

■寸法図



■取付図



●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリスパイラルビス)
縦枠側	7×65…5本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●KDHアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ
(コンクリート強度:24N/mm²、基礎幅150mm時)

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
42.3kN以下	240mm

※社団法人日本建築学会発行
「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出

●クリアンカーボルトM16・ZアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ	ボルトの強度区分
33.8kN以下	360mm	4.6

※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。
なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。

■Cマーク表示金物の耐力性能一覧表から抜粋

名称	記号	短期許容耐力(kN) D.Fir-L ベイマツ類※1	Hem-Fir ヒノキ類※2	S.P.F スギ類※3	使用接合具
引き寄せ金物	HD-B10	11.3	10.4	10.0	六角ボルトM12(2本)又はラグスクリューLS12(2本)
	S-HD10				
	HD-B15	17.0	15.6	15.0	六角ボルトM12(3本)又はラグスクリューLS12(3本)
	S-HD15				
	HD-B20	22.7	20.8	20.0	六角ボルトM12(4本)又はラグスクリューLS12(4本)
	S-HD20				
	HD-B25	28.4	26.0	25.0	六角ボルトM12(5本)又はラグスクリューLS12(5本)
	S-HD25				
	HD-N5	7.5	6.8	5.8	太めくぎZN90(6本)
	HD-N10	12.6	11.4	9.8	太めくぎZN90(10本)
	HD-N15	20.1	18.2	15.6	太めくぎZN90(16本)
	HD-N20	22.6	20.5	17.6	太めくぎZN90(20本)
	HD-N25	29.4	26.6	22.9	太めくぎZN90(26本)

※1 ベイマツ類:ベイマツ、クロマツ、アカマツ、カラマツ、ツガ、リュウキュウマツ
※2 ヒノキ類:ヒノキ、ベイツガ、ベイヒ、ヒバ、モミ、アスナロ
※3 スギ類:スギ、ベイスギ、トドマツ、エゾマツ、ベニマツ、スプルース
これらの樹種分類は、密度ベースで整理した一般社団法人日本建築学会基準の趣旨を援用して整理している。

用途・特徴

1.2×4クリホールダウンⅢは、枠組壁工法において土台又は基礎と縦枠の緊結、上下階の縦枠相互を緊結する金物です。
2.ビス5本で20kNまで対応出来ます。
3.M16用のボルト穴をルーズにしてある為、現場での作業性がアップします。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

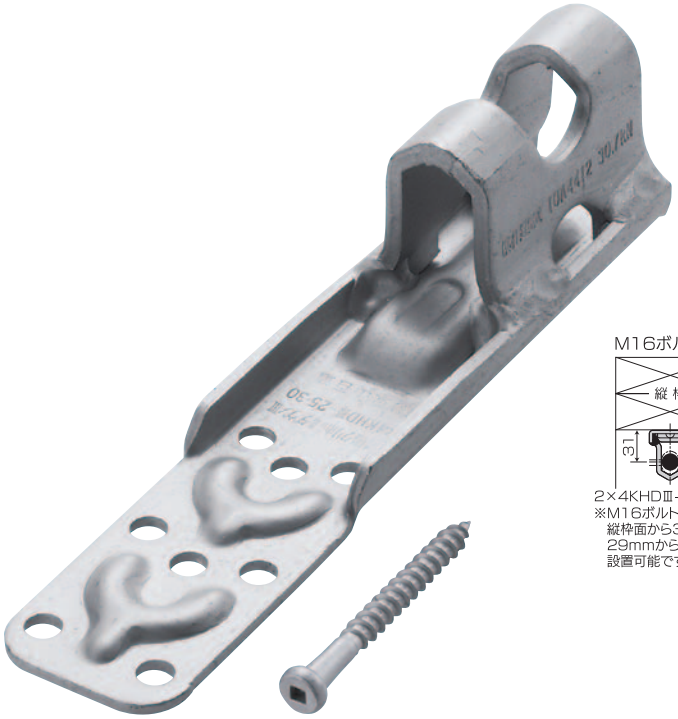
1.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)に2×4クリホールダウンⅢを通し専用ビスクリスパイラルビス(7×65)を5本打ち込んでください。
※土台、横架材面から金物までの寸法(締めしろ)は、約30mm以上確保してください。
2.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)を六角ナット(M16)で固定してください。(取付図参照)
※専用丸座金は必要ありません。

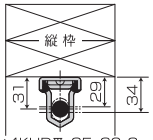
商品名	2×4クリホールダウンⅢ15・20(2材) 2×4KHDⅢ-15・20-2
試験機関	(一財)建材試験センター/品質性能試験(10A4411)
材質	板 部/JIS G 3134 SPFH590相当 ボルト受け部/JIS G 3131 SPHC相当
表面処理	ダクロタイズド
付属部品	専用ビス/四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…5本
入数	20個/ケース(専用ビス:25本入×4袋)

ビス長さ65mm使用 30kNまで対応! 軽量コンパクトホールダウン!

(一財)建材試験センター
品質性能試験(10A4412) 短期許容耐力:30.7kN

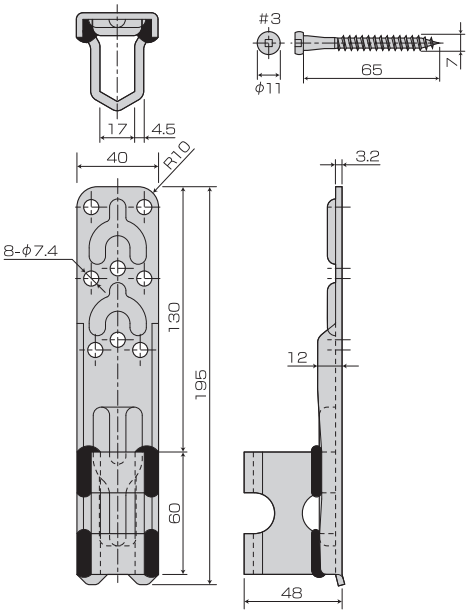




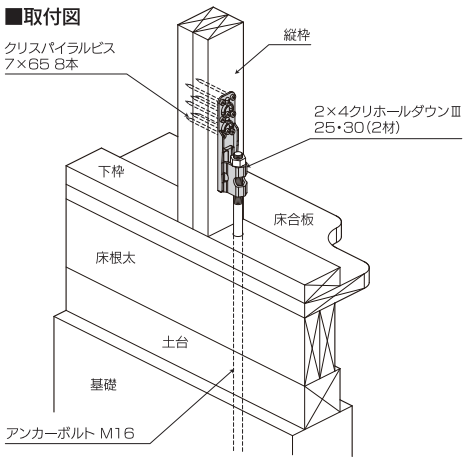


2×4KHDⅢ-25・30-2
※M16ボルトの設置位置は、縦枠面から31mmとし、29mmから34mmまで設置可能です。

■寸法図



■取付図



●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリスパイラルビス)
縦枠側	7×65…8本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●KDHアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ
(コンクリート強度:24N/mm²、基礎幅150mm時)

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
42.3kN以下	240mm

※社団法人日本建築学会発行
「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出

●クリアンカーボルトM16・ZアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ	ボルトの強度区分
33.8kN以下	360mm	4.6

※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、
国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。
なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。

■Cマーク表示金物の耐力性能一覧表から抜粋

名称	記号	短期許容耐力(kN) D.Fir-L ベイマツ類※1	Hem-Fir ヒノキ類※2	S.P.F スギ類※3	使用接合具
引き寄せ金物	HD-B10	11.3	10.4	10.0	六角ボルトM12(2本)又はラグスクリューLS12(2本)
	S-HD10				
	HD-B15	17.0	15.6	15.0	六角ボルトM12(3本)又はラグスクリューLS12(3本)
	S-HD15				
	HD-B20	22.7	20.8	20.0	六角ボルトM12(4本)又はラグスクリューLS12(4本)
	S-HD20				
	HD-B25	28.4	26.0	25.0	六角ボルトM12(5本)又はラグスクリューLS12(5本)
	S-HD25				
	HD-N5	7.5	6.8	5.8	太めくぎZN90(6本)
	HD-N10	12.6	11.4	9.8	太めくぎZN90(10本)
	HD-N15	20.1	18.2	15.6	太めくぎZN90(16本)
	HD-N20	22.6	20.5	17.6	太めくぎZN90(20本)
	HD-N25	29.4	26.6	22.9	太めくぎZN90(26本)

※1 ベイマツ類:ベイマツ、クロマツ、アカマツ、カラマツ、ツガ、リュウキュウマツ
※2 ヒノキ類:ヒノキ、ベイツガ、ベイヒ、ヒバ、モミ、アスナロ
※3 スギ類:スギ、ベイスギ、トドマツ、エゾマツ、ベニマツ、スプルース
これらの樹種分類は、密度ベースで整理した一般社団法人日本建築学会基準の趣旨を援用して整理している。

用途・特徴

1.2×4クリホールダウンⅢは、枠組壁工法において土台又は基礎と縦枠の緊結、上下階の縦枠相互を緊結する金物です。
2.ビス8本で30kNまで対応出来ます。
3.M16用のボルト穴をルーズにしてある為、現場での作業性がアップします。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

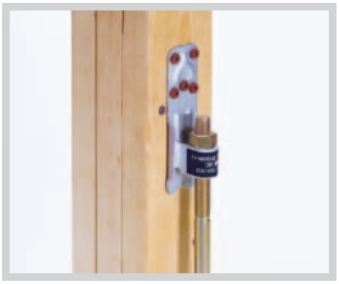
1.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)に2×4クリホールダウンⅢを通し専用ビスクリスパイラルビス(7×65)を8本打ち込んでください。
※土台、横架材面から金物までの寸法(締めしろ)は、約30mm以上確保してください。
2.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)を六角ナット(M16)で固定してください。(取付図参照)
※専用丸座金は必要ありません。

商品名	2×4クリホールダウンⅢ25・30(2材) 2×4KHDⅢ-25・30-2
試験機関	(一財)建材試験センター/品質性能試験(10A4412)
材質	板部/JIS G 3134 SPFH590相当 ボルト受け部/JIS G 3131 SPHC相当
表面処理	ダクロタイズド
付属部品	専用ビス/四角穴付クリスパイラルビス(7×65)…8本
入数	20個/ケース(専用ビス:8本入×20袋)

2×4クリホールダウンⅢ15・20・25(3材)
2×4KHDⅢ-15・20・25-3

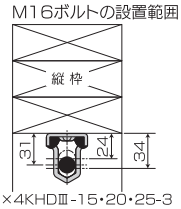
ビス長さ120mm使用 30kNまで対応!
軽量コンパクトホールダウン!

(一財)建材試験センター
品質性能試験(10A1493)
短期許容耐力:30.5kN



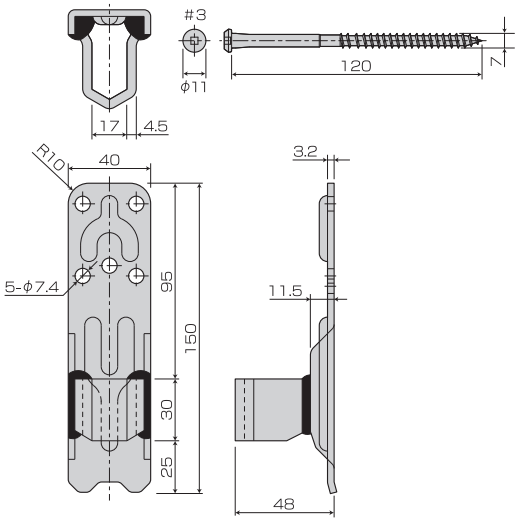


M16ボルトの設置範囲

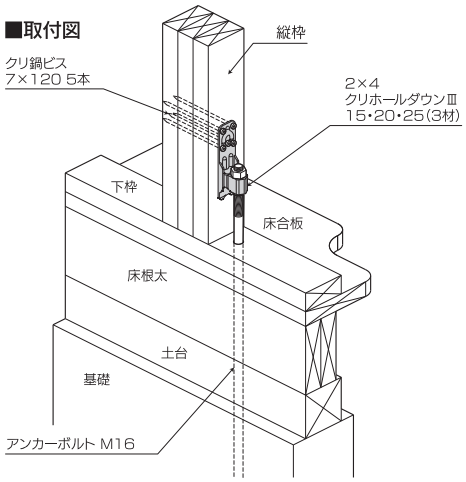


2×4KHDⅢ-15・20・25-3
※M16ボルトの設置位置は、縦枠面から31mmとし、24mmから34mmまで設置可能です。

■寸法図



■取付図



●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリ鍋ビス)
縦枠側	7×120…5本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●KDHアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ
(コンクリート強度:24N/mm²、基礎幅150mm時)

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
42.3kN以下	240mm

※社団法人日本建築学会発行
「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出

●クリアンカーボルトM16・ZアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ	ボルトの強度区分
33.8kN以下	360mm	4.6

※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、
国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。
なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。

■Cマーク表示金物の耐力性能一覧表から抜粋

名称	記号	短期許容耐力(kN) D.Fir-L ベイマツ類※1	Hem-Fir ヒノキ類※2	S.P.F スギ類※3	使用接合具
引き寄せ金物	HD-B10	11.3	10.4	10.0	六角ボルトM12(2本)又はラグスクリューLS12(2本)
	S-HD10				
	HD-B15	17.0	15.6	15.0	六角ボルトM12(3本)又はラグスクリューLS12(3本)
	S-HD15				
	HD-B20	22.7	20.8	20.0	六角ボルトM12(4本)又はラグスクリューLS12(4本)
	S-HD20				
	HD-B25	28.4	26.0	25.0	六角ボルトM12(5本)又はラグスクリューLS12(5本)
	S-HD25				
	HD-N5	7.5	6.8	5.8	太めくぎZN90(6本)
	HD-N10	12.6	11.4	9.8	太めくぎZN90(10本)
	HD-N15	20.1	18.2	15.6	太めくぎZN90(16本)
	HD-N20	22.6	20.5	17.6	太めくぎZN90(20本)
	HD-N25	29.4	26.6	22.9	太めくぎZN90(26本)

※1 ベイマツ類:ベイマツ、クロマツ、アカマツ、カラマツ、ツガ、リュウキュウマツ
※2 ヒノキ類:ヒノキ、ベイツガ、ベイヒ、ヒバ、モミ、アスナロ
※3 スギ類:スギ、ベイスギ、トドマツ、エゾマツ、ベニマツ、スプルース
これらの樹種分類は、密度ベースで整理した一般社団法人日本建築学会基準の趣旨を援用して整理している。

用途・特徴

1.2×4クリホールダウンⅢは、枠組壁工法において土台又は基礎と縦枠の緊結、上下階の縦枠相互を緊結する金物です。
2.ビス5本で30kNまで対応出来ます。
3.M16用のボルト穴をルーズにしてある為、現場での作業性がアップします。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)に2×4クリホールダウンⅢを通し専用ビスクリ鍋ビス(7×120)を5本打ち込んでください。
※土台、横架材面から金物までの寸法(締めしろ)は、約30mm以上確保してください。
2.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)を六角ナット(M16)で固定してください。(取付図参照)
※専用丸座金は必要ありません。

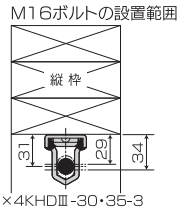
商品名	2×4クリホールダウンⅢ15・20・25(3材) 2×4KHDⅢ-15・20・25-3
試験機関	(一財)建材試験センター/品質性能試験(10A1493)
材質	板 部/JIS G 3134 SPFH590相当 ボルト受け部/JIS G 3131 SPHC相当
表面処理	ダクロタイズド
付属部品	専用ビス/四角穴付クリ鍋ビス(7×120)…5本
入数	20個/ケース(専用ビス:25本入×4袋)

ビス長さ120mm使用 38kNまで対応! 軽量コンパクトホールダウン!

(一財)建材試験センター
品質性能試験(10A1494) 短期許容耐力:38.9kN

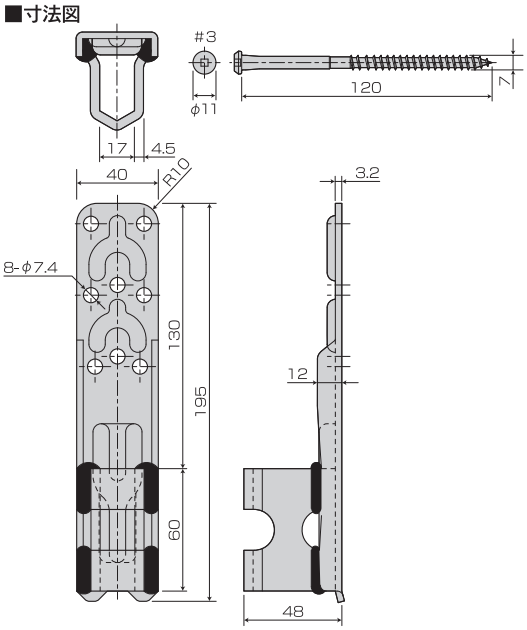




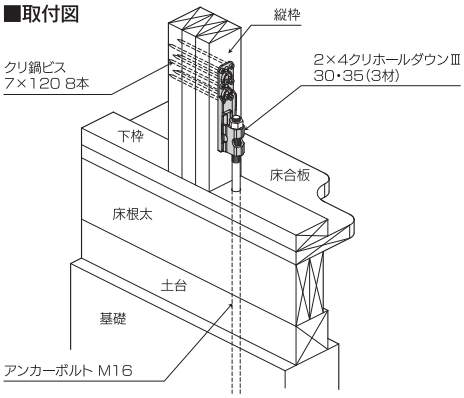


2×4KHDⅢ-30・35-3
※M16ボルトの設置位置は、縦枠面から31mmとし、29mmから34mmまで設置可能です。

■寸法図



■取付図



●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリ鍋ビス)
縦枠側	7×120…8本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

●KDHアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ
(コンクリート強度:24N/mm²、基礎幅150mm時)

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ
42.3kN以下	240mm

※社団法人日本建築学会発行
「各種合成構造設計指針・同解説」に基づき算出

●クリアンカーボルトM16・ZアンカーボルトM16使用時のコンクリート基礎への埋め込み長さ

柱脚接合部の短期許容耐力	埋め込み長さ	ボルトの強度区分
33.8kN以下	360mm	4.6
33.8kNを超え37.6kN以下	400mm	4.6
37.6kNを超え39.0kN以下	410mm	4.8

※アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。
なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。

■Cマーク表示金物の耐力性能一覧表から抜粋

名称	記号	短期許容耐力(kN) D.Fir-L ベイマツ類※1	Hem-Fir ヒノキ類※2	S.P.F スギ類※3	使用接合具
引き寄せ金物	HD-B10	11.3	10.4	10.0	六角ボルトM12(2本)又はラグスクリューLS12(2本)
	S-HD10				
	HD-B15	17.0	15.6	15.0	六角ボルトM12(3本)又はラグスクリューLS12(3本)
	S-HD15				
	HD-B20	22.7	20.8	20.0	六角ボルトM12(4本)又はラグスクリューLS12(4本)
	S-HD20				
	HD-B25	28.4	26.0	25.0	六角ボルトM12(5本)又はラグスクリューLS12(5本)
	S-HD25				
	HD-N5	7.5	6.8	5.8	太めくぎZN90(6本)
	HD-N10	12.6	11.4	9.8	太めくぎZN90(10本)
	HD-N15	20.1	18.2	15.6	太めくぎZN90(16本)
	HD-N20	22.6	20.5	17.6	太めくぎZN90(20本)
	HD-N25	29.4	26.6	22.9	太めくぎZN90(26本)

※1 ベイマツ類:ベイマツ、クロマツ、アカマツ、カラマツ、ツガ、リュウキュウマツ
※2 ヒノキ類:ヒノキ、ベイツガ、ベイヒ、ヒバ、モミ、アスナロ
※3 スギ類:スギ、ベイスギ、トドマツ、エゾマツ、ベニマツ、スプルース
これらの樹種分類は、密度ベースで整理した一般社団法人日本建築学会基準の趣旨を援用して整理している。

用途・特徴

1.2×4クリホールダウンⅢは、枠組壁工法において土台又は基礎と縦枠の緊結、上下階の縦枠相互を緊結する金物です。
2.ビス8本で38kNまで対応出来ます。
3.M16用のボルト穴をルーズにしてある為、現場での作業性がアップします。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)に2×4クリホールダウンⅢを通し専用ビスクリ鍋ビス(7×120)を8本打ち込んでください。
※土台、横架材面から金物までの寸法(締めしろ)は約30mm以上確保してください。
2.アンカーボルト・引き寄せボルト(M16)を六角ナット(M16)で固定してください。(取付図参照)
※専用丸座金は必要ありません。

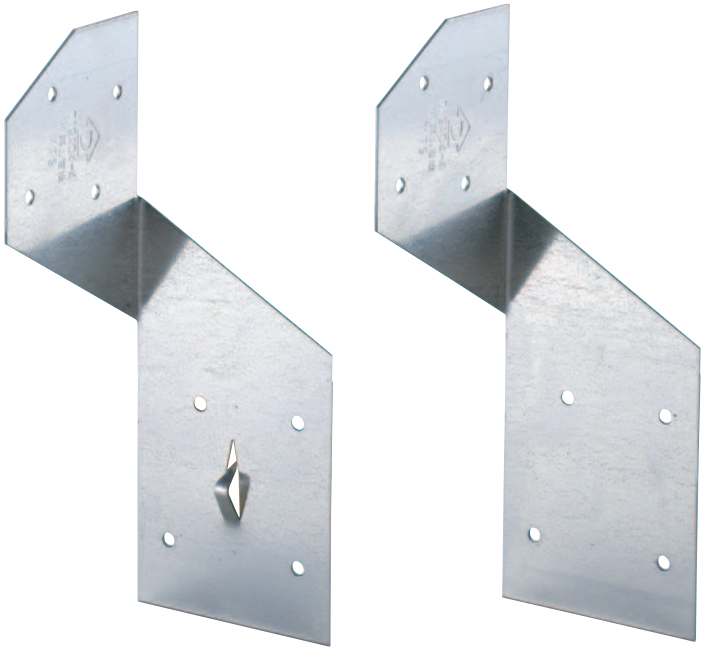
商品名	2×4クリホールダウンⅢ30・35(3材) 2×4KHDⅢ-30・35-3
試験機関	(一財)建材試験センター/品質性能試験(10A1494)
材質	板 部/JIS G 3134 SPFH590相当 ボルト受け部/JIS G 3131 SPHC相当
表面処理	ダクロタイズド
付属部品	専用ビス/四角穴付クリ鍋ビス(7×120)…8本
入数	20個/ケース(専用ビス:40本入×4袋)

あおり止め金物
KTS

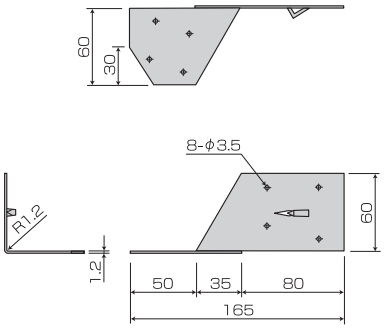
独自の斜めカットで作業性アップ!

(公財)日本住宅・木材技術センター
同等認定品／Cあおり止め金物 TS
認定番号:D19A04-04

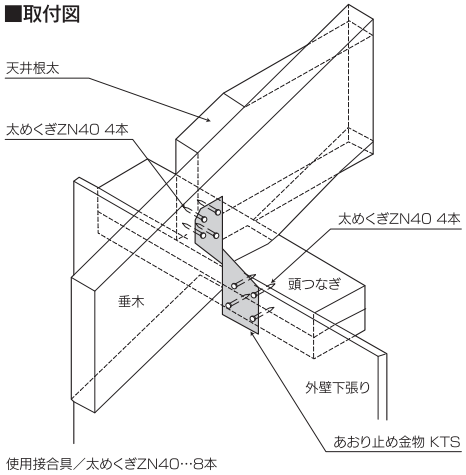




■寸法図



■取付図



使用接合具／太めくぎZN40…8本

用途・特徴

1.あおり止め金物は、垂木・頭つなぎ・天井根太と外壁の緊結に使用します。
2.上部を斜めにカットしてありますので、垂木よりはみ出ません。
3.釘打ち機が入りやすい位置に釘穴があいていますので、打ち付けがスムーズに出来ます。
4.仮止めに便利な爪が付いていますので作業がラクに出来ます。

使用方法

1.垂木と頭つなぎ等の側面にあて、太めくぎ(ZN40)を8本打ち付けてください。(取付図参照)

●爪なしタイプもあります。

商品名	あおり止め金物 KTS
承認	(公財)日本住宅・木材技術センター／同等認定金物(認定番号:D19A04-04)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用くぎ／太めくぎZN40…8本
入数	50個／ケース(専用くぎ:40本入×10袋)

仮止め爪＋墨のぞき穴付きで正確に取り付け可能

(公財)日本住宅・木材技術センター
同等認定品／C根太受け金物 JH204・206
KJH204・206
認定番号:D19A04-05

(公財)日本住宅・木材技術センター
同等認定品／C根太受け金物 JH208・210
KJH208・210
認定番号:D19A04-07





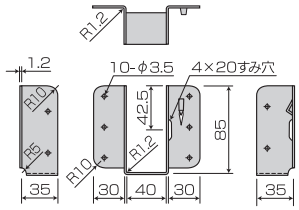
KJH 204・206



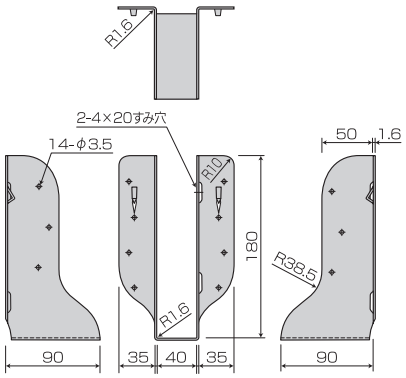
KJH 208・210

■寸法図

KJH 204・206

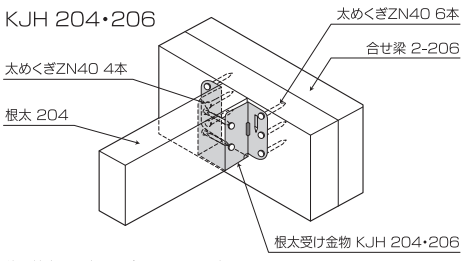


KJH 208・210



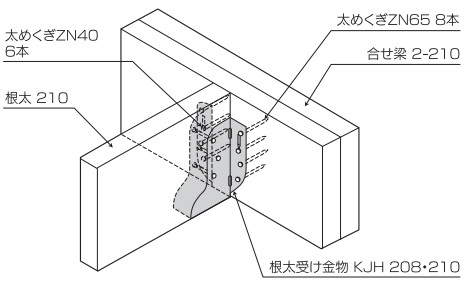
■取付図

KJH 204・206



使用接合具／太めくぎZN40…10本

KJH 208・210



使用接合具／合せ梁:太めくぎZN65…8本・根太:太めくぎZN40…6本

用途・特徴

1.根太受け金物は、天井根太と端根太との仕口部分・床梁と根太の仕口部分・桁と床開口部の合わせ根太との緊結に使用します。
2.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので容易かつ安心して取り扱いが出来ます。
3.【墨のぞき穴】があいていますので、取り付け位置に正確に金物を取り付けることが出来ます。
4.仮止めに便利な爪が付いていますので作業がラクに出来ます。

使用方法

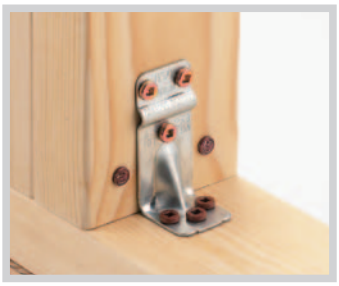
1.梁に金物を合わせ、爪で仮止めをし、太めくぎを必要本数打ち付けます。
2.根太を落とし込み、太めくぎを必要本数打ち付けます。(取付図参照)

商品名	根太受け金物 KJH 204・206／KJH 208・210
承認	(公財)日本住宅・木材技術センター／同等認定金物 (認定番号:KJH 204・206㊟D19A04-05／KJH 208・210㊟D19A04-07)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	KJH 204・206:専用くぎ／太めくぎZN40…10本 KJH 208・210:専用くぎ／太めくぎZN40(根太用)…6本・太めくぎZN65(合せ梁用)…8本
入数	KJH 204・206:50個／ケース(専用くぎZN40:50本入×10袋) KJH 208・210:40個／ケース(専用くぎZN40:60本入×4袋・専用くぎZN65:80本入×4袋)

2×4チビクリⅡ
2×4CKⅡ

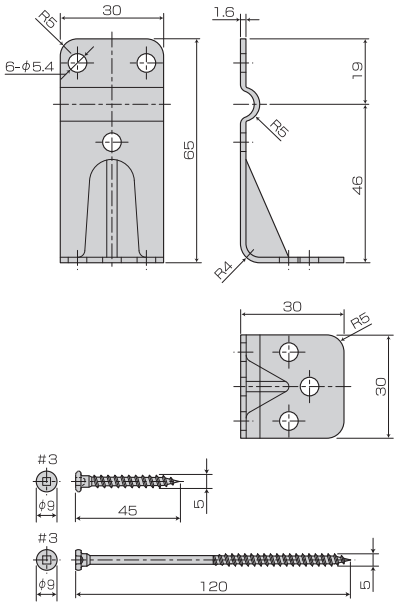
内使いで納まりスッキリ!

(一財)建材試験センター
品質性能試験(10A3210)
短期許容耐力:6.3kN

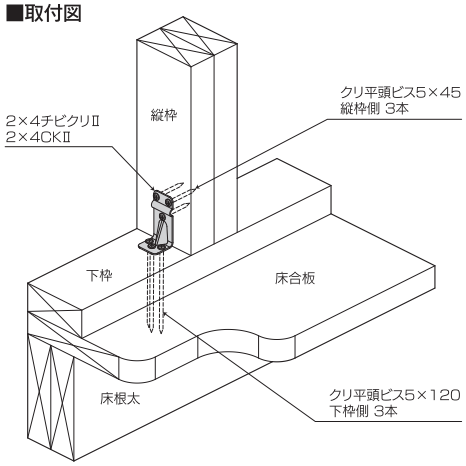




■寸法図



■取付図



●使用接合具

	専用ビス(四角穴付クリ平頭ビス)
縦枠側	5×45(金色)…3本
下枠側	5×120(れんが色)…3本

※取り付けは、必ず専用ビスを使用し決められた本数を打ち込んでください。

■Cマーク表示金物の耐力性能一覧表から抜粋

名称	記号	短期許容耐力(kN) D.Fir-L ベイマツ類※1	Hem-Fir ヒノキ類※2	S.P.F スギ類※3	使用接合具
かど金物	CP・L	4.3	3.8	3.4	太めくぎZN65(10本)
	CP・T				
帯金物	S-45	2.5	2.3	2.0	太めくぎZN40(6本)
	S-50	5.1	4.6	4.0	太めくぎZN65(12本)
	S-65	5.1	4.6	4.0	太めくぎZN65(15本)
	S-90	5.1	4.6	4.0	太めくぎZN40(12本)
	SW-67	10.3	9.3	8.1	太めくぎZN65(26本)

※1 ベイマツ類:ベイマツ、クロマツ、アカマツ、カラマツ、ツガ、リュウキュウマツ
※2 ヒノキ類:ヒノキ、ベイツガ、ベイヒ、ヒバ、モミ、アスナロ
※3 スギ類:スギ、ベイスギ、トドマツ、エゾマツ、ベニマツ、スプルース
これらの樹種分類は、密度ベースで整理した一般社団法人日本建築学会基準の趣旨を援用して整理している。

用途・特徴

1.2×4チビクリⅡは、枠組壁工法において縦枠と下枠を接合する仕口金物です。
2.壁内にスッキリ納まりますので、帯金物・かど金物のように外壁面に金物を出さずに施工出来ます。
3.帯金物・かど金物に比べ、ビスを打つ本数が少なく作業効率がアップします。
4.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使用方法

1.枠材のコーナー部分に2×4チビクリⅡをセットし、縦枠に専用ビスクリ平頭ビス(5×45)を3本、下枠に専用ビスクリ平頭ビス(5×120)を3本打ち込んでください。(取付図参照)

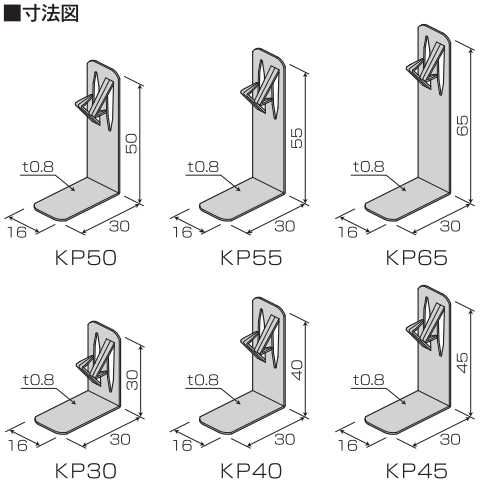
商品名	2×4チビクリⅡ 2×4CKⅡ
試験機関	(一財)建材試験センター/品質性能試験(10A3210)
材質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表面処理	JIS G 3302 溶融 Z27
付属部品	専用ビス/四角穴付クリ平頭ビス(5×45)…3本(縦枠用・金色) 四角穴付クリ平頭ビス(5×120)…3本(下枠用・れんが色)
入数	100個/ケース〔専用ビス:(5×45)30本入×10袋、(5×120)30本入×10袋〕

床下断熱材をしっかりサポート!

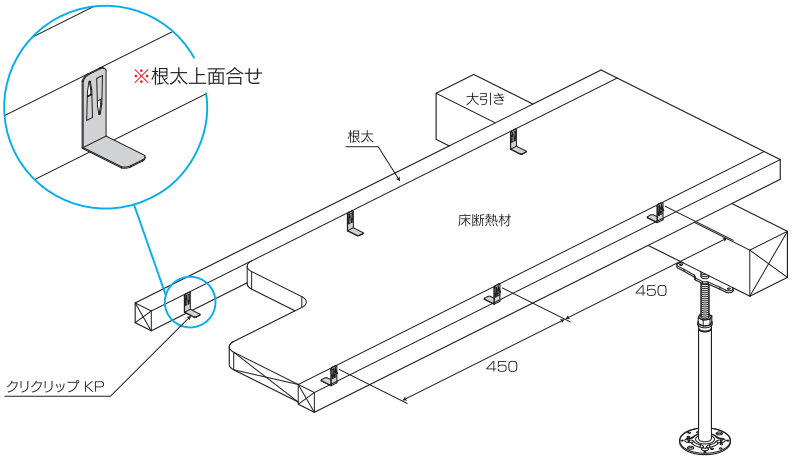




■寸法図



■取付図



用 途 ・ 特 徴

1.床下のボードタイプの断熱材を保持する為の金物です。
2.ステンレス材を使用していますので、耐食性に優れています。
3.コーナー部分が【やわらかカーブ】になっていますので、容易かつ安心して取り扱いが出来ます。

使 用 方 法

1.ボードタイプの断熱材の厚みに合わせたクリクリップを根太の側面に450mmピッチ程度の間隔で、切り起こされた2つの爪を同時に打ち込み取り付けてください。(取付図参照)

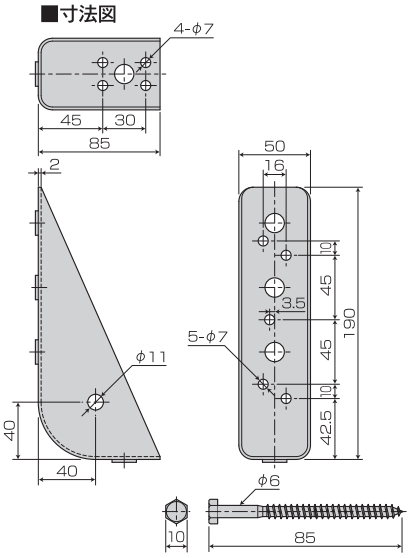
商　品　名	クリクリップ KP30／KP40／KP45／KP50／KP55／KP65
材　　質	SUS430-2B
入　　数	500個／ケース(100個入×5袋)

「コボット」ステンブレースシステムでしなやか耐震補強

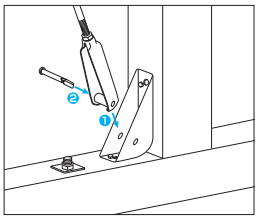


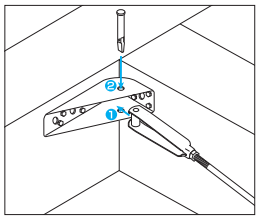


■寸法図



■施工図



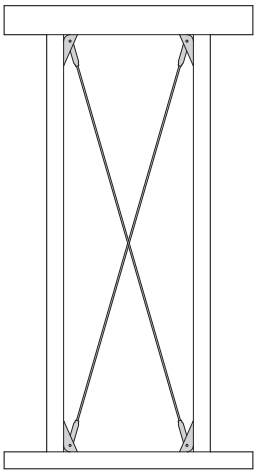


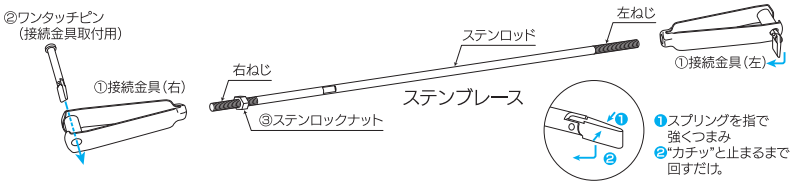
●接合金具左右セット1組

①	接続金具左右セット(M10)	1セット
②	接続金具取付用ワンタッチピン	2個
③	ステンロックナット(M10)	1個

※接続金具(右)とステンロッドの右ねじ、接続金具(左)とステンロッドの左ねじが合うように、施工してください。

■取付図





用途・特徴

1.開口部にコボットステンブレースを設置することにより、耐力壁がえられます。
2.オールステンレス製の為、いつまでも美しくサビの心配がありません。
3.床・天井の水平面全体の剛性アップやねじれの力に対して有効な水平補強が出来ます。

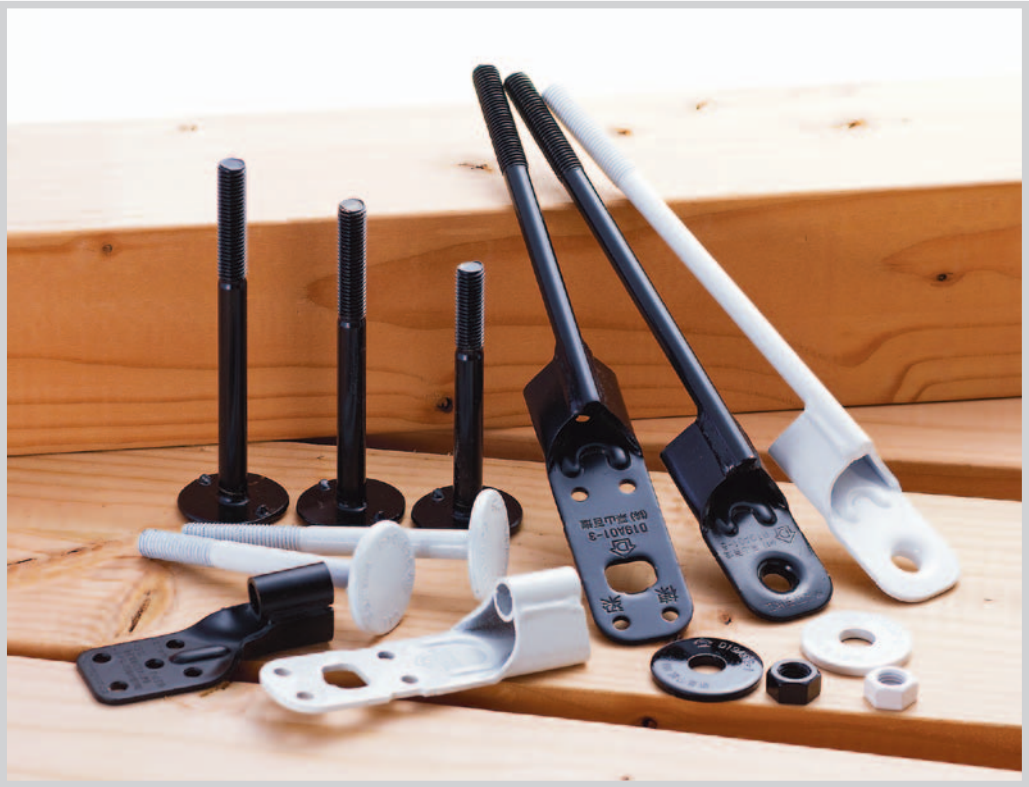
使用方法

1.柱・横架材(土台)にコボット本体をセットし、柱に5本横架材に4本専用ステンコーチスクリュー(6×85)で固定してください。
2.ステンロッドの両端の右ねじ(ロックナット用のナット③付)、左ねじに右ねじ用、左ねじ用それぞれの接続金具①を取り付けてください(名称:ステンブレース)。
3.次にコボット本体にステンブレースを取り付けます。まず、左ねじ用接続金具のボルト取り付け穴部分を、上側のコボット内部に差し込み、コボット側面穴の位置に合うようにステンロッドを回して長さ調整し、ワンタッチピン②を通しスプリングを90°回転させて、カチッと音がするところで固定します。次に右ねじ用接続金具のボルト取り付け穴部分を、下側のコボット内部に差し込み、コボット側面穴の位置に合わせてワンタッチピンで同様に固定します。
4.ステンロッドのツブシ部にスパナを掛けて回し、ステンブレースをしっかり張り、最後にステンロックナット③を締め付けて完了です。

※コーチタイプのみ

商品名	コボットステンブレースシステム				
材質	ステンレス(SUS304)				
910×2730システム(1面あたり・たすき掛け)					
半間セット	部品名	サイズ(mm)	数量	壁倍率	国土交通大臣認定番号
	コボット本体	高さ190×奥行85×幅50	4個		
	専用コーチスクリュー	M6×85	36本	2.7倍 (5.46kN/m)	FRM-0256
	接続金具	M10左右セット	2組		
	ステンロッド	M10×2,600	2本		
1820×2730システム(1面あたり・たすき掛け)					
1間セット	部品名	サイズ(mm)	数量	壁倍率	国土交通大臣認定番号
	コボット本体	高さ190×奥行85×幅50	4個		
	専用コーチスクリュー	M6×85	36本	3.3倍 (6.52kN/m)	FRM-0257
	接続金具	M10左右セット	2組		
	ステンロッド	M10×3,000	2本		

機能と美しさのコラボレーション、見せるための接合金物





対応製品(栗山オリジナル金物)

- 棟梁羽子板 M12
- 棟梁羽子板Ⅱ M12
- ビス止め棟梁羽子板Ⅱ M12
- フラットボルト FBC-M12
- 丸座金 W4.5×φ45
- Zナット M12

化粧金物《インテリアジョイント》

近年、木の優しさや自然のぬくもりを感じさせる梁を見せた、
開放的な大空間を設けたいとの声が多く聞かれます。
吹き抜けのリビングにむき出しで通る太い梁は、
インテリアのポイントになっていると同時に大切な構造材です。
構造材をむき出しにすれば、40年50年先でも痛んだ箇所がひと目でわかるので、
的確にメンテナンスができ、住まいを長持ちさせることにもつながるからです。
それに伴い接合金物も、インテリアに合わせた製品が求められるようになりました。
美しい質感を持った各種化粧金物は、
見せる金物として安心して施工していただけます。

当社基準色(2色)　黒・白(1色に付き10本単位で承ります。)

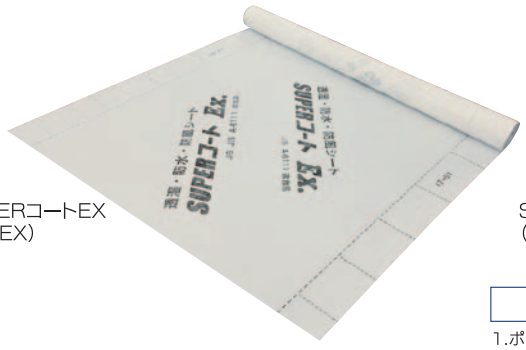
注)部品(ビス・くぎなど)は、塗装されておりません。
※本製品は栗山オリジナル金物のみ対応とさせていただきます。

- 各種金物同色1製品に付き10本単位(1箱)でのご注文でお願いいたします。
- 1箱に付補修液(同色30cc)を同梱しておりますので仕上げにお使いください。
- 製品・色・サイズ・数量により納期がかかる場合がございますのでご注文時にご確認ください。
- 本製品は表面処理(メッキ等)の上に焼付け塗装を施している為、品質には問題はございません。
- ご不明な点はお問合せください。

透湿・防水シート

「SUPERコートEX/MAX」

不織布を全面にラミネート加工、風によるバタツキ音を抑えたシートです NYG協会推奨品 JIS A 6111 B:2004適合品



SUPERコートEX
(SC-EX)



SUPERコートMAX
(SC-65)

用途・特徴

1.ポリエステル長繊維不織布とポリエチレン多孔質フィルムのラミネート品で、安定した防水性と透湿性が保てます。
2.不織布を基材に使用している為、タッカー針の引っ掛かりが強く、安定した強度が保てます。
3.不織布が全面にラミネートされている為、収縮性に優れ、高い耐久性が保持出来ます。

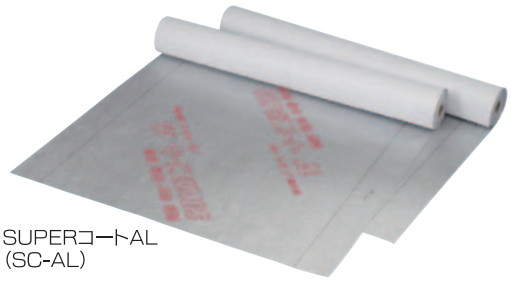
品　番	厚み(mm)	幅(mm)	長さ(m)	入　数
SC-EX	0.22	1000	50	2巻／ケース
SC-65	0.16	1000	50	2巻／ケース

材質:PE+PET

遮熱・透湿・防水シート

「SUPERコートAL/ALⅡ/ALⅢ」

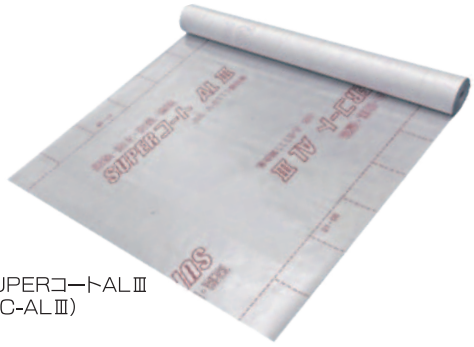
外壁から室内へ伝わる熱エネルギーを遮断し、効果的に反射します



SUPERコートAL
(SC-AL)



SUPERコートALⅡ
(SC-ALⅡ)



SUPERコートALⅢ
(SC-ALⅢ)

用途・特徴

1.空気を通す特殊フィルムを使用しているので、壁体内の湿気を外に逃がし結露を防ぎ、住宅寿命をアップさせます。
2.外部からの水や風の侵入を防ぎます。基材にポリエステル不織布を使用している為、風によるバタツキ音を抑制し快適な住空間を実現します。
3.ALはアルミ箔、ALⅡ・ALⅢはアルミニウムコートを採用しています。

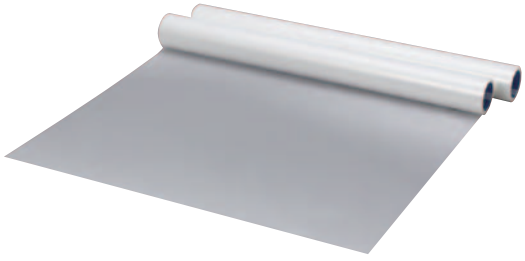
品　番	厚み(mm)	幅(mm)	長さ(m)	入　数	遮熱タイプ
SC-AL	0.35	1000	25	2巻／ケース	アルミ箔
SC-ALⅡ	0.22	1000	50	2巻／ケース	アルミニウムコート
SC-ALⅢ	0.16	1000	50	2巻／ケース	アルミニウムコート

材質:アルミ+PE+PET

床合板養生シート

「粘着養生シートDX」

半透明でスムーズ施工、繰り出しが軽く施工性UP!!



用途・特徴

1.特殊塗布方法で繰り出しが非常に軽く、正巻・逆巻も選べ簡単に施工出来ます。
2.半透明シートで墨出し線がはっきりと見え、施工性に優れています。
3.表面のエンボス加工によりスリップしにくく、安全に作業が出来ます。

粘着養生シートDX

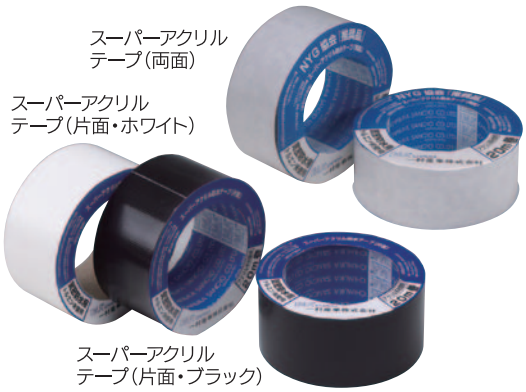
品　番	巻方向	幅(mm)	長さ(m)	入　数
NY-30S	正巻	1000	30	4巻
NY-30SG	逆巻	1000	30	4巻

材質:PE

防水気密テープ

「スーパーアクリルテープ」

粘着力が高く、耐久性・汚染性に優れ、高い気密性を維持します



特 徴

1.アクリル系粘着剤を使用している為、強粘着を保てます。
2.基材にクロス材を使用している為、手で簡単に切ることが可能です。

品　番	タイプ・カラー	幅(mm)	長さ(m)	入　数
AR-50	両面	50	20	24巻／ケース
AR-75	両面	75	20	18巻／ケース
AK-50	片面・ブラック	50	20	24巻／ケース
AK-75	片面・ブラック	75	20	18巻／ケース
AKW-50	片面・ホワイト	50	20	24巻／ケース
AKW-75	片面・ホワイト	75	20	18巻／ケース

防水気密テープ

「ブチルテープ」

粘着面がブチルゴム系の為、段差防水性に優れています



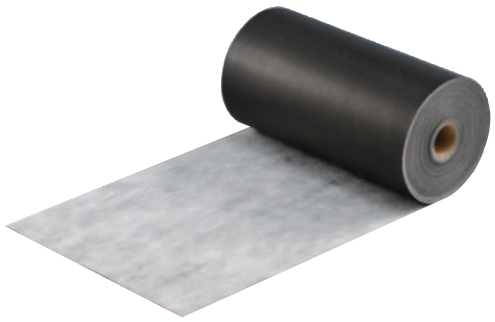
特 徴

1.ブチルゴム系粘着剤を使用している為、長期耐久性・汚染性に優れています。また、透湿防水シートにしっかりと接着する為、親密性が図れます。

品　番	タイプ	幅(mm)	長さ(m)	入　数
BR-50	両面	50	20	16巻／ケース
BR-75	両面	75	20	12巻／ケース
BK-50	片面	50	20	16巻／ケース
BK-75	片面	75	20	12巻／ケース

「防水水切りシート」

優れた温度特性に加え施工性も抜群です



用 途 ・ 特 徴

1.通常のゴムアスファルト系と比べて、高温時のコンパウンドのダレ現象無しはもとより、優れた低温特性を備えており、寒冷地における作業性も抜群です。
2.1mm以下の薄さで軟質のため、折り曲げ加工が自由自在。また、裏面に不織布がラミネート。クギ打ち、タッカー止めで施工が容易です。

品　番	厚み(mm)	幅(mm)	長さ(m)	入　数
BM-310	0.6	300	10	4巻／ケース
BM-320	0.6	300	20	4巻／ケース
BM-510	0.6	500	10	4巻／ケース

材質:PET不織布＋ブチルゴム＋オレフィン系樹脂

「ルーフスペーサー」



用 途 ・ 特 徴

1.垂木と垂木の間にスペーサーを入れることにより、軒から棟にかけて空気の通り道をつくります。

商　品　名	幅(mm)	長さ(mm)	入　数
ルーフスペーサー303	303	900	50枚／束
ルーフスペーサー364	364	900	50枚／束
ルーフスペーサー465	465	900	50枚／束

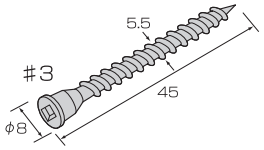
材質:紙

クリ皿ビス 5.5×45



商品名	四角穴付クリ皿ビス5.5×45
入数	70本・75本／袋

■寸法図

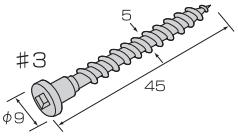


クリ平頭ビス 5×45



商品名	四角穴付クリ平頭ビス5×45
入数	20本・30本・40本・50本・70本・80本・90本・130本／袋

■寸法図

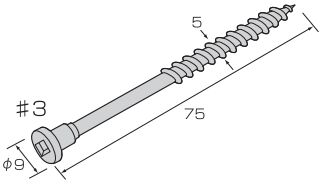


クリ平頭ビス 5×75



商品名	四角穴付クリ平頭ビス5×75
入数	20本・30本・35本／袋

■寸法図

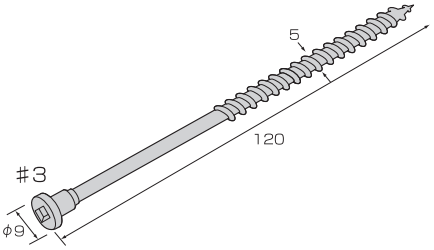


クリ平頭ビス 5×120



商品名	四角穴付クリ平頭ビス5×120
入数	30本／袋

■寸法図

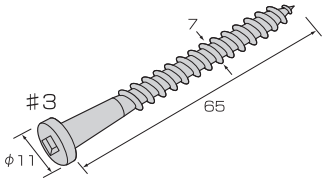


クリスパイラルビス 7×65



商品名	四角穴付クリスパイラルビス7×65
入数	6本・8本・20本・25本・35本・50本／袋

■寸法図

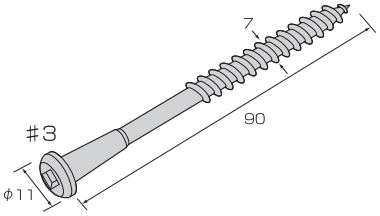


クリ鍋ビス 7×90(S50)



商品名	四角穴付クリ鍋ビス7×90(S50)
入数	8本・25本・50本／袋

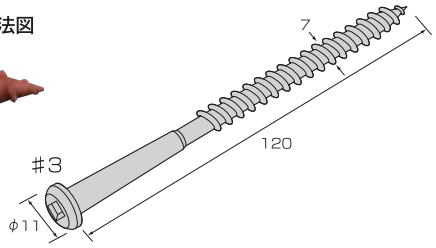
■寸法図



クリ鍋ビス 7×120



■寸法図

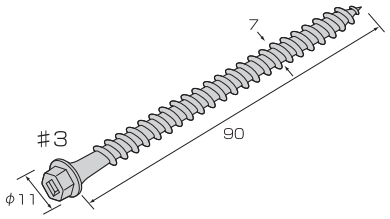


商　品　名	四角穴付クリ鍋ビス7×120
入　　数	25本・40本／袋

クリ六角頭ビス 7×90（ソケットサイズ8mm）



■寸法図

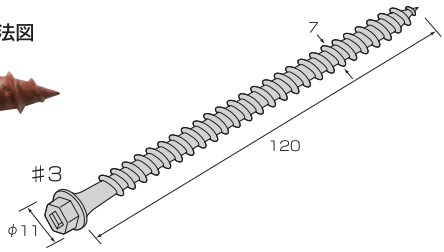


商　品　名	四角穴付クリ六角頭ビス7×90（ソケットサイズ8mm）
入　　数	10本・15本・20本／袋

クリ六角頭ビス 7×120（ソケットサイズ8mm）



■寸法図

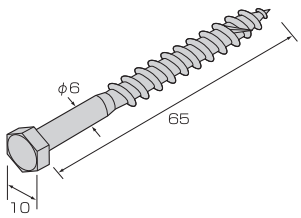


商　品　名	四角穴付クリ六角頭ビス7×120（ソケットサイズ8mm）
入　　数	7本・10本・15本・20本／袋

コーチスクリュー 6×65



■寸法図

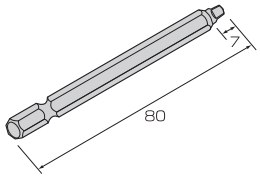


商　品　名	コーチスクリュー6×65
入　　数	100本／小箱

四角ビット #3



■寸法図



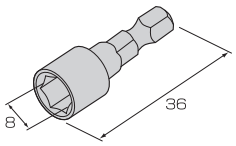
商　品　名	四角ビット#3 #3×80
入　　数	—

六角ソケット 8mm



商　品　名	六角ソケット 8mm
入　　数	—

■寸法図

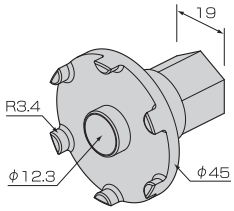


クリカッター M12専用ビット（ソケットサイズ19mm）



商　品　名	クリカッター M12専用ビット（ソケットサイズ19mm）
入　　数	1個／袋

■寸法図

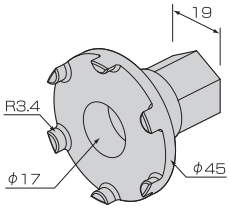


クリカッター M16専用ビット（ソケットサイズ19mm）



商　品　名	クリカッター M16専用ビット（ソケットサイズ19mm）
入　　数	1個／袋

■寸法図

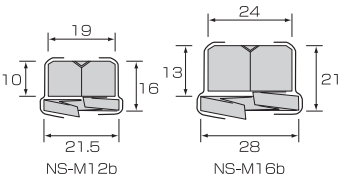


パクト NS-M12b・NS-M16b

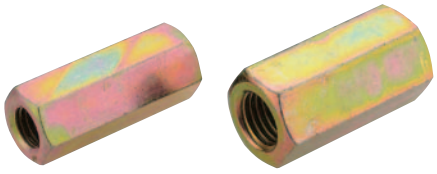


商　品　名	パクト NS-M12b・NS-M16b
入　　数	NS-M12b：100個／袋、NS-M16b：50個／袋

■寸法図

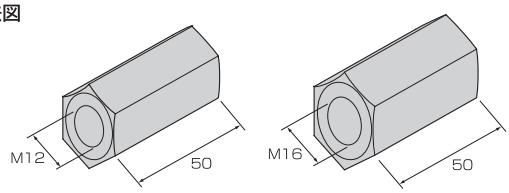


高ナット M12×50・M16×50



商　品　名	高ナット M12×50・M16×50
入　　数	M12×50：40個／箱、M16×50：25個／箱

■寸法図



オリジナル金物ビス一覧表



❶クリ皿ビス5.5×45



❷クリ平頭ビス5×45



❸クリ平頭ビス5×75



❹クリ平頭ビス5×120



❺クリスパイラルビス7×65



❻クリ鍋ビス7×90(S50)

※スクエアーサイズ＃3

	▼製 品 名	▼使 用 ビ ス	▼使 用 本 数	▼入数/小袋	▼色	▼掲載ページ
	クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ	❷クリ平頭ビス5×45	14本 筋かい側 6本 柱側 8本	70本	金色	9
	クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ	❶クリ皿ビス5.5×45	15本 筋かい側 7本 柱側 8本	75本	金色	10
	2倍コンパクトボックス K-4	❶クリ皿ビス5.5×45	14本 筋かい側 6本 柱側 4本 横架材側 4本	70本	金色	11
	チビクリ CK	❷クリ平頭ビス5×45	4本 柱側 2本 横架材側 2本	20本	金色	13
	チビクリ (床合板30mm対応) CKG30	❷クリ平頭ビス5×45 ❸クリ平頭ビス5×75	4本 柱側 2本 横架材側 2本	20本 20本	金色 銀色	13
	クリコーナーⅢ+ KCNⅢ+	❸クリ平頭ビス5×75	7本 柱側 3本 横架材側 4本	35本	銀色	14
	クリコーナーⅢ+ KCNⅢ+ (床合板30mm対応)	❸クリ平頭ビス5×75	7本 柱側 3本 横架材側 4本	35本	銀色	14
	クリビスプレート KBPL	❷クリ平頭ビス5×45	6本 柱側 3本 横架材側 3本	30本	金色	15
	クリビスプレートⅡ (壁合板9mm対応) KBPLⅡG9	❸クリ平頭ビス5×75	6本 柱側 3本 横架材側 3本	30本	銀色	16
	チビクリⅡ CKⅡ	❷クリ平頭ビス5×45	6本 柱側 3本 横架材側 3本	30本	金色	17

オリジナル金物ビス一覧表


❶クリ皿ビス5.5×45


❷クリ平頭ビス5×45


❸クリ平頭ビス5×75


❹クリ平頭ビス5×120


❺クリスパイラルビス7×65


❻クリ鍋ビス7×90(S50)

	▼製品名	▼使用ビス	▼使用本数	▼入数/小袋	▼色	▼掲載ページ
	チビクリⅡ (床合板30mm対応) CKⅡG30	❷クリ平頭ビス5×45 ❸クリ平頭ビス5×75	6本 柱側 3本 横架材側 3本	30本 30本	金色 銀色	18
	チビクリⅡ (枠材30mm対応) CKⅡW30	❷クリ平頭ビス5×45 ❸クリ平頭ビス5×75	6本 柱側 3本 横架材側 3本	30本 30本	金色 銀色	25
	クリ10(テン)スリムコーナーⅢ K10SⅢ	❺クリスパイラルビス7×65 ❼クリ六角頭ビス7×90	6本 柱側 4本 横架材側 2本	20本 10本	銀色 青色	19
	クリ10(テン)スリムコーナーⅢ (床合板30mm対応) K10SⅢG30	❺クリスパイラルビス7×65 ❽クリ六角頭ビス7×120	6本 柱側 4本 横架材側 2本	20本 10本	銀色 れんが色	20
	クリ10(テン)スリムコーナーⅢ (枠材30mm対応) K10SⅢW30	❺クリスパイラルビス7×65 ❽クリ六角頭ビス7×120	6本 柱側 4本 横架材側 2本	20本 10本	銀色 れんが色	26
	クリ15コーナー K15	❺クリスパイラルビス7×65 ❼クリ六角頭ビス7×90	8本 柱側 5本 横架材側 3本	25本 15本	銀色 青色	21
	クリ15コーナー (床合板30mm対応) K15G30	❺クリスパイラルビス7×65 ❽クリ六角頭ビス7×120	8本 柱側 5本 横架材側 3本	25本 15本	銀色 れんが色	22
	クリ15コーナー (枠材30mm対応) K15W30	❺クリスパイラルビス7×65 ❽クリ六角頭ビス7×120	8本 柱側 5本 横架材側 3本	25本 15本	銀色 れんが色	27
	クリ20コーナー K20	❺クリスパイラルビス7×65 ❼クリ六角頭ビス7×90	11本 柱側 7本 横架材側 4本	35本 20本	銀色 青色	23
	クリ20コーナー (床合板30mm対応) K20G30	❺クリスパイラルビス7×65 ❽クリ六角頭ビス7×120	11本 柱側 7本 横架材側 4本	35本 20本	銀色 れんが色	24

オリジナル金物ビス一覧表



⑦クリ六角頭ビス7×90



⑨コーチスクリュー6×65



⑧クリ六角頭ビス7×120



⑩クリ鍋ビス7×120

※スクエアーサイズ＃3

	▼製 品 名	▼使 用 ビ ス	▼使 用 本 数	▼入数/小袋	▼色	▼掲載ページ
	クリ20コーナー (枠材30mm対応) K20W30	 ⑤クリスパイラルビス7×65  ⑧クリ六角頭ビス7×120	11本 柱側 7本 横架材側 4本	35本 20本	銀色 れんが色	28
	クリホールダウンⅢ 15・20・25 KHDⅢ-15・20・25	 ⑤クリスパイラルビス7×65	5本	25本	銀色	35
	クリホールダウンⅢ 15・20・25 (枠材30mm対応) KHDⅢ-15・20・25W30	 ⑥クリ鍋ビス7×90(S50)	5本	25本	金色	29
	クリホールダウンⅢ 15・20・25 (枠材45mm対応) KHDⅢ-15・20・25W45	 ⑥クリ鍋ビス7×90(S50)	5本	25本	金色	30
	クリホールダウンⅢ 15・20・25 (枠材45×60mm対応) KHDⅢ-15・20・25W45×60	 ⑥クリ鍋ビス7×90(S50)	5本	25本	金色	31
	クリホールダウンⅢ 30・35 KHDⅢ-30・35	 ⑤クリスパイラルビス7×65	8本	8本	銀色	36
	クリホールダウンⅢ 30・35 (枠材45mm対応) KHDⅢ-30・35W45	 ⑥クリ鍋ビス7×90(S50)	8本	8本	金色	32
	クリホールダウンⅢ 30・35 (枠材45×60mm対応) KHDⅢ-30・35W45×60	 ⑥クリ鍋ビス7×90(S50)	8本	8本	金色	33
	クリホールダウンⅢ40 KHDⅢ-40	 ⑤クリスパイラルビス7×65	10本	50本	銀色	37
	クリホールダウンⅢ40 (枠材30mm対応) KHDⅢ-40W30	 ⑥クリ鍋ビス7×90(S50)	10本	50本	金色	34

オリジナル金物ビス一覧表


❶クリ皿ビス5.5×45


❷クリ平頭ビス5×45


❸クリ平頭ビス5×75


❹クリ平頭ビス5×120


❺クリスパイラルビス7×65


❻クリ鍋ビス7×90(S50)

	▼製品名	▼使用ビス	▼使用本数	▼入数/小袋	▼色	▼掲載ページ
	クリ高耐力ホールダウン68 KHD-68	 ❺クリスパイラルビス7×65	20本	20本	銀色	38
	ビス止め棟梁羽子板Ⅱ M12	 ❺クリスパイラルビス7×65	4本	20本	銀色	43
	ビス止め万能羽子板Ⅱ M12	 ❺クリスパイラルビス7×65	4本	20本	銀色	44
	棟梁羽子板 M12	 ❾コーチスクリュー6×65	4本	100本	金色	45
	万能羽子板 M12	 ❾コーチスクリュー6×65	4本	100本	金色	46
	クリビス止め火打金物Ⅱ KHBⅡ	 ❺クリスパイラルビス7×65	8本	8本	銀色	48
	クリ10(テン)プレート K10PL	 ❷クリ平頭ビス5×45	10本	50本	金色	49
	クリ10(テン)短ざく金物 KS10-300	 ❷クリ平頭ビス5×45	10本	50本	金色	51
	クリ梁受け金物 KH105	 ❷クリ平頭ビス5×45	8本 大梁側 6本 小梁側 2本	40本	金色	53
	クリ梁受け金物 KH90	 ❷クリ平頭ビス5×45	8本 大梁側 6本 小梁側 2本	40本	金色	53
	クリ梁受け金物 KH45	 ❷クリ平頭ビス5×45	6本 横架材側 4本 根太側 2本	30本	金色	53

オリジナル金物ビス一覧表



⑦クリ六角頭ビス7×90



⑨コーチスクリュー6×65



⑧クリ六角頭ビス7×120



⑩クリ鍋ビス7×120

※スクエアーサイズ＃3

	▼製 品 名	▼使 用 ビ ス	▼使 用 本 数	▼入数/小袋	▼色	▼掲載ページ
	クリ大引き受け金物 KO105×150・180 KO105×210・240	 ②クリ平頭ビス5×45	16本 土台側 8本 大引き側 8本	80本	金色	55
	クリ大引き受け金物 KO105×270・300 KO105×330・360	 ②クリ平頭ビス5×45	18本 土台側 8本 大引き側 10本	90本	金色	55
	クリ大引き受け金物 KO120×150・180・210 KO120×240・270	 ②クリ平頭ビス5×45	16本 土台側 8本 大引き側 8本	80本	金色	56
	クリ大引き受け金物 KO120×300・330 KO120×360	 ②クリ平頭ビス5×45	26本 土台側 12本 大引き側 14本	130本	金色	56
	あと施工クリホールダウン座金 KW19×70×104	 ⑧クリ六角頭ビス7×120	7本	7本	れんが色	77
	クリ高耐力座金(偏芯タイプ) KW16×95×120	 ⑤クリスパイラルビス7×65	6本	6本	銀色	80
	2×4 クリホールダウンⅢ 15・20(2材) 2×4KHDⅢ-15・20-2	 ⑤クリスパイラルビス7×65	5本	25本	銀色	83
	2×4 クリホールダウンⅢ 25・30(2材) 2×4KHDⅢ-25・30-2	 ⑤クリスパイラルビス7×65	8本	8本	銀色	84
	2×4 クリホールダウン 15・20・25(3材) 2×4KHDⅢ-15・20・25-3	 ⑩クリ鍋ビス7×120	5本	25本	れんが色	85
	2×4 クリホールダウンⅢ 30・35(3材) 2×4KHDⅢ-30・35-3	 ⑩クリ鍋ビス7×120	8本	40本	れんが色	86
	2×4チビクリⅡ 2×4CKⅡ	 ②クリ平頭ビス5×45  ④クリ平頭ビス5×120	6本 縦枠側 3本 下枠側 3本	30本 30本	金色 れんが色	89

座 金

座金は、建築基準法施行令第47条第2項において「ボルト締めは、ボルトの径に応じ有効な大きさと厚さを有する座金を使用しなければならない。」と規定している。特に、基礎や柱と土台等の横架材を緊結させるために用いるアンカーボルト等の座金は、柱脚または柱頭接合部の短期許容引張耐力に応じて、下表の仕様の角座金または同等以上の座金を使用することが望ましい。

土台等の横架材に定着させるアンカーボルト等の座金の仕様

柱脚または柱頭接合部の短期許容引張耐力	座 金 の 仕 様
6.4kN以下	厚さ**4.5mm**、**40mm×40mm**
14.4kN以下	厚さ**6.0mm**、**60mm×60mm**
25.6kN以下	厚さ**9.0mm**、**80mm×80mm**

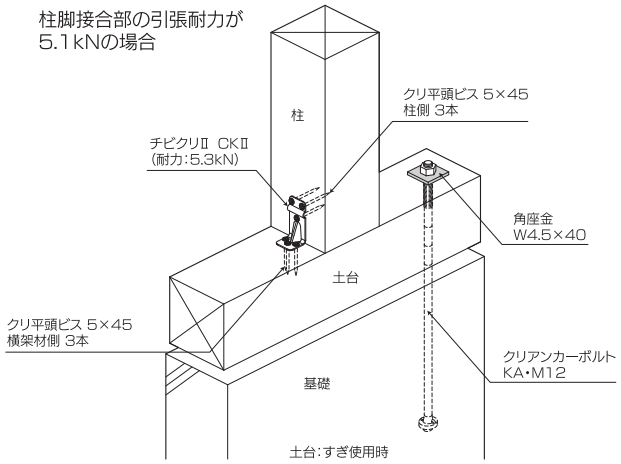
アンカーボルトのナットの掛かりは、ねじ山を3山以上出すこととしているが、座彫り座金(土台アンカーボルトに使用する座金で、土台上面をフラットにおさめるために開発されたもの。)に関しては、ナットの掛かりがねじ山の3山未満であっても、耐力上支障がないものもある。

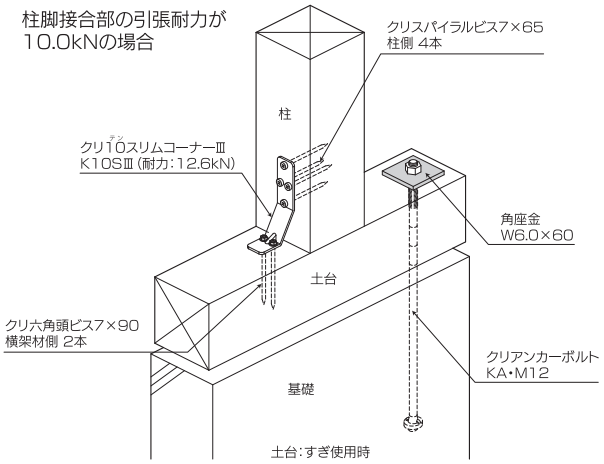
※【フラット35】対応木造住宅工事仕様書 平成27年版 抜粋

接合具の短期許容耐力表(kN)

名 称	記 号	短 期 許 容 耐 力 (k N)		
		べいまつ類※1	ひのき類※2	すぎ類※3
角座金	W4.5×40×φ14	**9.60**	**8.32**	**6.40**
	W6.0×60×φ14	**21.60**	**18.72**	**14.40**
	W9.0×80×φ18	**38.40**	**33.28**	**25.60**
丸座金	RW6.0×68×φ14	**21.77**	**18.87**	**14.51**
	RW9.0×90×φ18	**38.14**	**33.06**	**25.43**

(注1)座金のめり込み耐力の算出方法は、国土交通省告示第1024号第1の1のイの規定によるとともに、座面積の算出方法は、
(公財)日本住宅・木材技術センター発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」による。
(注2)※1 べいまつ類:べいまつ、くろまつ、あかまつ、からまつ、つが
※2 ひ の き 類:べいつが、ひのき、べいひ、ひば、もみ
※3 す ぎ 類:すぎ、べいすぎ、とどまつ、えぞまつ、べにまつ、スプルース
※(公財)日本住宅・木材技術センター「Zマーク表示金物の耐力性能一覧表」抜粋





Zマーク表示金物

ホールダウン金物 HD-B・HD-N ---- 105
ホールダウン金物 S-HD ---- 106
アンカーボルト M16 ---- 106
両ねじボルト M16、座金付きボルト ---- 107
めり込み防止座金、短ざく金物 ---- 108
ひら金物、かね折り金物 ---- 109
ひねり金物、くら金物 ---- 110
四角穴付きタッピンねじ、羽子板ボルト ---- 111
火打金物、アンカーボルト M12 ---- 112
かど金物、山形プレート ---- 113
筋かいプレート ---- 114
太めくぎ、スクリューくぎ ---- 115
六角ボルト、角根平頭ボルト、平くぎ ---- 115
角座金、小型角座金、丸座金 ---- 116
かすがい、手違いかすがい ---- 116

Cマーク表示金物

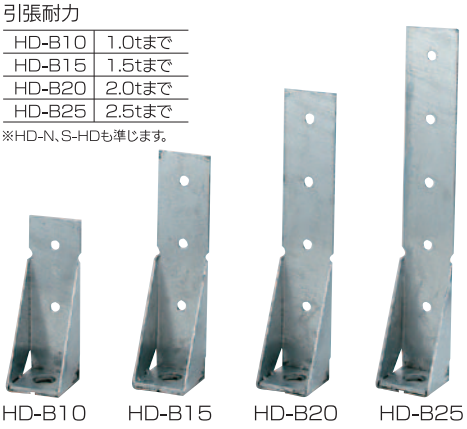
柱脚金物、柱頭金物 ---- 117
柱頭金物、帯金物 ---- 118
ストラップアンカー、あおり止め金物 ---- 118
根太受け金物 ---- 119
梁受け金物 ---- 120
パイプガード、シージングクリップ ---- 121
まぐさ受け金物 ---- 121

ホールダウン金物(引き寄せ金物) HD-B

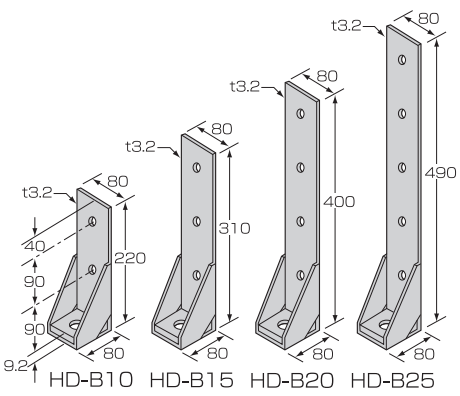
引張耐力

HD-B10	1.0tまで
HD-B15	1.5tまで
HD-B20	2.0tまで
HD-B25	2.5tまで

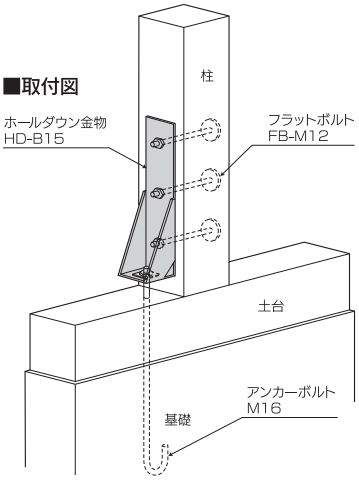
※HD-N、S-HDも準じます。



■寸法図



■取付図



●引張耐力1.5t以上のホールダウン金物を使用する場合はアンカーボルトと直接緊結してください。

●使用接合具

	使用接合具		HD-B10	HD-B15	HD-B20	HD-B25
柱	六角ボルト 六角ナット 角座金 又は ラグスクリュー	M12 M12 W4.5×40	2 2 2	3 3 3	4 4 4	5 5 5
		LS12	2	3	4	5
土台	六角ナット 角座金	M16 W6.0×54	1 1	1 1	1 1	1 1
	座金付きボルト 又はアンカーボルト	M16W M16以上	1 1	— 1	— 1	— 1

※ラグスクリュー(LS12)は長さ11cm以上を使用してください。

【栗山オリジナル金物対象製品】
●クリ10スリムコーナーⅢ=P19~20・26
●クリ15コーナー=P21~22・27
●クリ20コーナー=P23~24・28
●クリホールダウンⅢ=P29~37
●クリ高耐力ホールダウン68=P38
●MKパイプホールダウン MK-PHD=P39~40
●クリ10プレート K10PL=P49~50参照

用途・特徴

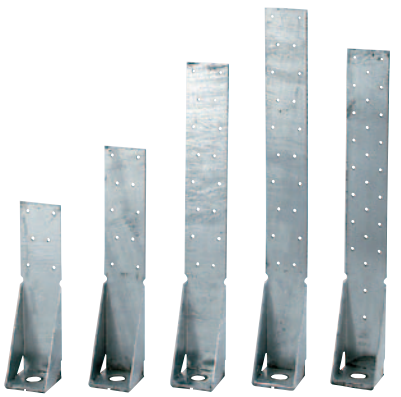
●土台又は基礎と柱の接合及び上下階の柱相互の接合に使います。

使用方法

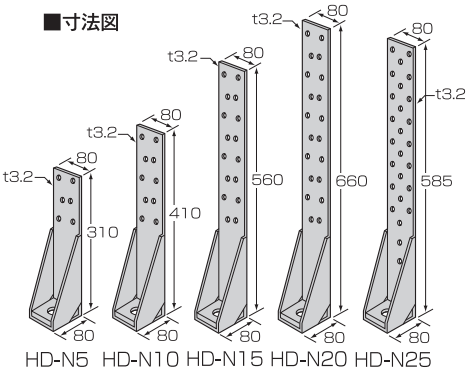
●告示第1460号(へ)以下のホールダウン金物を土台から接合する場合、近接したアンカーボルトの座金は、ホールダウン金物の引張耐力以上のものを使用します。
●ホールダウン金物の締めしろは、約30mm以上とります。
●ホールダウン金物には、専用の角座金W6.0×54を使用します。
●ホールダウン金物と筋かいが当たるような場合や真壁で仕上げる場合は、S-HDを使用します。

商品名	ホールダウン金物(引き寄せ金物) HD-B10/HD-B15/HD-B20/HD-B25
付属部品	角座金(W6.0×54)…1枚
入数	各10個/ケース(角座金:全サイズ—10個入)

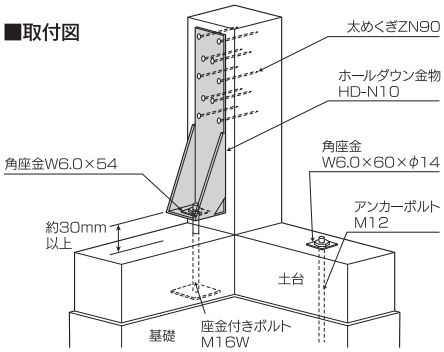
ホールダウン金物(引き寄せ金物) HD-N



■寸法図



■取付図



●使用接合具

	使用接合具		HD-N5	HD-N10	HD-N15	HD-N20	HD-N25
柱	太めくぎ	ZN90	6	10	16	20	26
土台	六角ナット 角座金	M16 W6.0×54	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1
	座金付きボルト 又はアンカーボルト	M16W M16以上	1 1	1 1	— 1	— 1	— 1

【栗山オリジナル金物対象製品】
●クリ10スリムコーナーⅢ=P19~20・26
●クリ15コーナー=P21~22・27
●クリ20コーナー=P23~24・28
●クリホールダウンⅢ=P29~37
●クリ高耐力ホールダウン68=P38
●MKパイプホールダウン MK-PHD=P39~40
●クリ10プレート K10PL=P49~50参照

用途・特徴

●土台又は基礎と柱の接合及び上下階の柱相互の接合に使います。
●金物の接合面の反対側に接合具を見せたくない場合に使用します。

使用方法

●告示第1460号(へ)以下のホールダウン金物を土台から接合する場合、近接したアンカーボルトの座金は、ホールダウン金物の引張耐力以上のものを使用します。
●ホールダウン金物の締めしろは、約30mm以上とります。
●くぎは必ずZN90を使用し、全部打たないと所要の耐力が得られません。

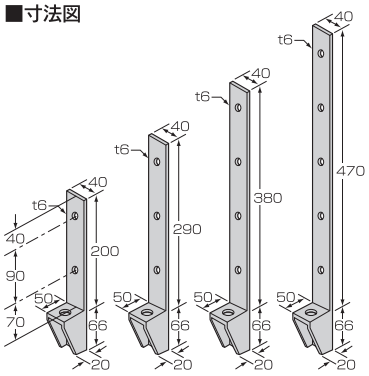
商品名	ホールダウン金物(引き寄せ金物) HD-N5/HD-N10/HD-N15/HD-N20/HD-N25
付属部品	太めくぎZN90…HD-N5—6本/HD-N10—10本 HD-N15—16本/HD-N20—20本/HD-N25—26本 角座金(W6.0×54)…各1枚
入数	各10個/ケース(くぎ:HD-N5—60本入×1袋、HD-N10—100本入×1袋 HD-N15—160本入×1袋、HD-N20—200本入×1袋、HD-N25—260本入×1袋 角座金:全サイズ—10個入)

ホールダウン金物（引き寄せ金物）S-HD



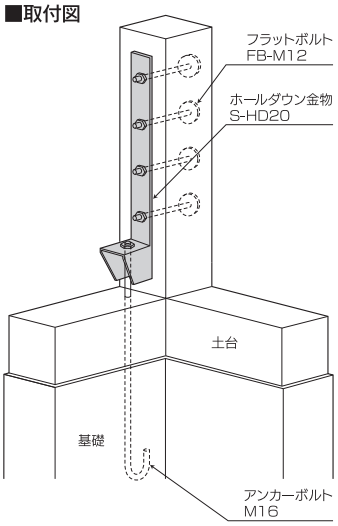
S-HD10 S-HD15 S-HD20 S-HD25

■寸法図

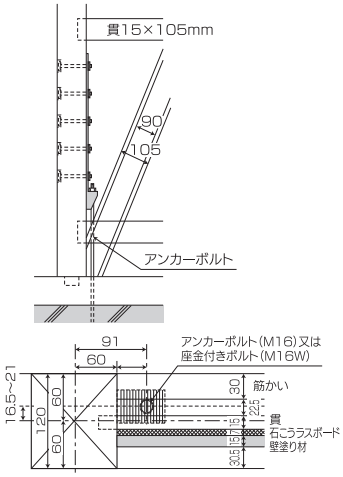


S-HD10 S-HD15 S-HD20 S-HD25

■取付図



■参考例
柱寸120mm角の真壁の納まり



●使用接合具

	使用接合具		S-HD10	S-HD15	S-HD20	S-HD25
柱	六角ボルト 六角ナット 角座金 又は ラグスクリュー	M12 M12 W4.5×40	2 2 2	3 3 3	4 4 4	5 5 5
		LS12	2	3	4	5
土台	六角ナット	M16	1	1	1	1
	座金付きボルト 又はアンカーボルト	M16W M16以上	1 1	— 1	— 1	— 1

※ラグスクリュー(LS12)は長さ11cm以上を使用してください。

【栗山オリジナル金物対象製品】
- クリ10スリムコーナーⅢ=P19~20・26
- クリ15コーナー=P21~22・27
- クリ20コーナー=P23~24・28
- クリホールダウンⅢ=P29~37
- クリ高耐力ホールダウン68=P38
- MKパイプホールダウン MK-PHD=P39~40
- クリ10プレート K10PL=P49~50参照

用途・特徴

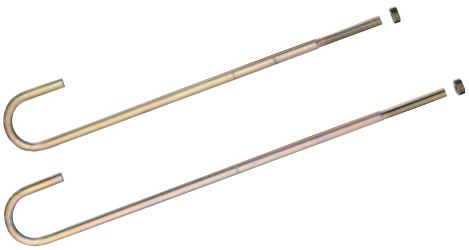
- 土台又は基礎と柱の接合及び上下階の柱相互の接合に使います。
- ホールダウン金物と筋かいが当たるような場合や真壁で仕上げる場合に使用します。

使用方法

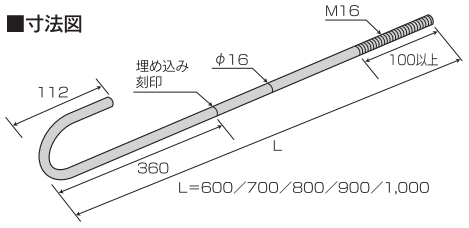
- 告示第1460号(へ)以下のホールダウン金物を土台から接合する場合、近接したアンカーボルトの座金は、ホールダウン金物の引張耐力以上のものを使用します。
- ホールダウン金物の締めしろは、約30mm以上とります。

商品名	ホールダウン金物(引き寄せ金物) S-HD10／S-HD15／S-HD20／S-HD25
入数	各12個／ケース

アンカーボルト M16



■寸法図



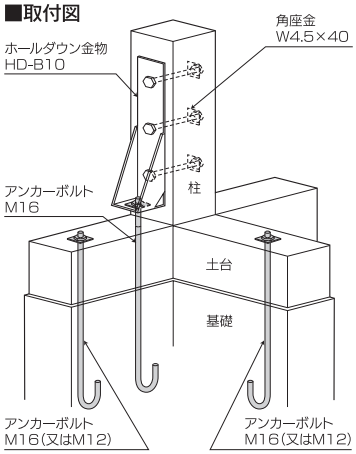
●使用接合具

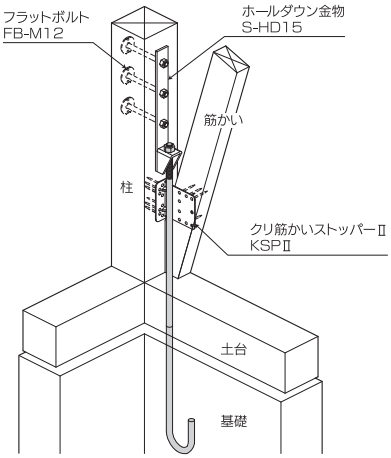
六角ナット	M16…1個
角座金 丸座金	W9.0×80…1枚 又は RW9.0×90…1枚

※ホールダウンS-HDタイプと直接緊結する場合は座金不要。

【栗山オリジナル金物対象製品】
- KDHアンカーボルト KDH・M16=P59
- クリ高耐力アンカーボルト KAH・M16=P60
- 同等認定品：クリアンカーボルト KA・M16=P61
  クリクランクアンカーボルトKZAC・M16=P62参照

■取付図





⚠ 注意
- ホールダウン金物を使用して柱と基礎を緊結する場合の位置決めは、金物と土台のボルト穴に正確に通るように細心の注意をはらってください。

用途・特徴

- ホールダウン金物を使用して柱と基礎を緊結する場合に使用します。

使用方法

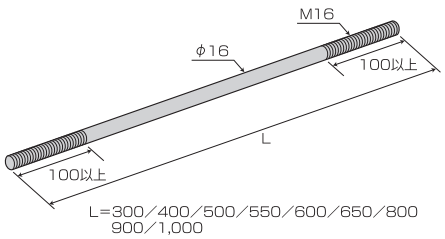
- 基礎への埋め込み長さは360mm以上とします。
- ホールダウン金物を筋かい端部の上に取り付ける場合は、必要な埋め込み長さを確保して、長めのアンカーボルトを用います。

商品名	アンカーボルト M16
付属部品	六角ナットM16…1個
入数	各10本／ケース(ナット掛)

両ねじボルト M16

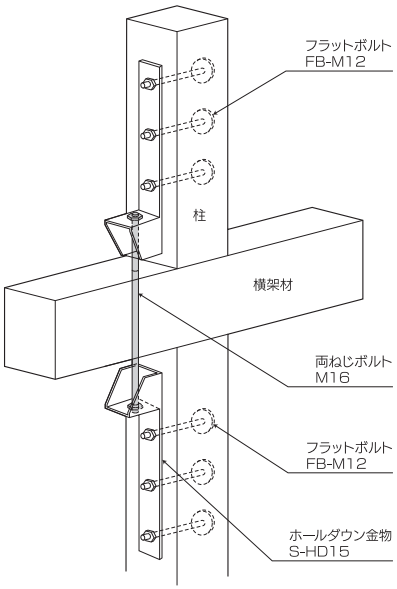


■寸法図



L=300／400／500／550／600／650／800
900／1,000

■取付図



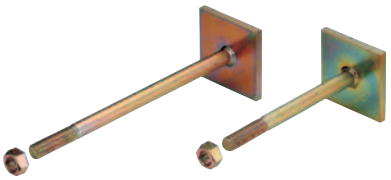
用途・特徴

●ホールダウン金物が上下に取付く場合等に使用します。

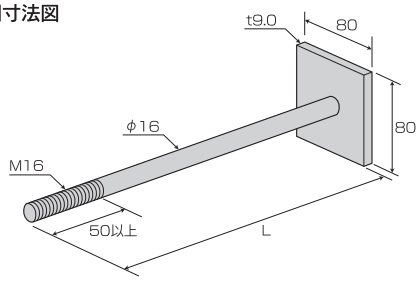
商品名	両ねじボルト M16
付属部品	六角ナットM16…2個
入数	各10本／ケース(ナット掛)

【栗山オリジナル金物対象製品】
●クリ高耐力両ねじボルト KRH・M16=P81参照

座金付きボルト M16W

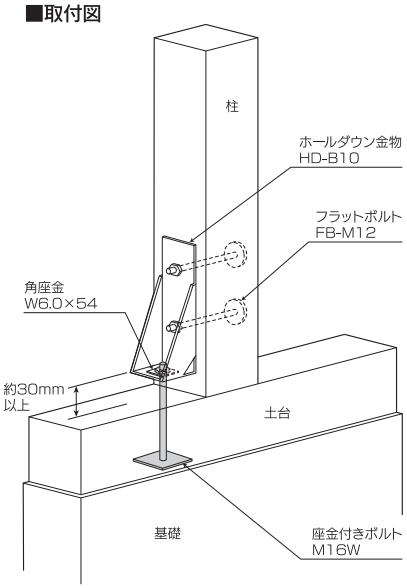


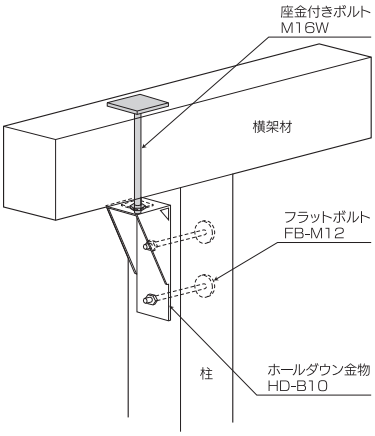
■寸法図



L=150／180／210／240／270／300／330／ 360／390／420
450／510／550／600

■取付図





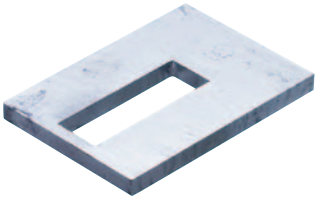
用途・特徴

●ホールダウン金物の接合具として使用します。

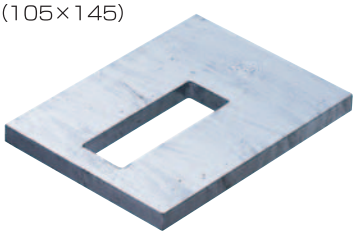
商品名	座金付きボルト M16W
付属部品	六角ナットM16…1個
入数	150～390：20本／ケース(ナット掛) 420～600：10本／ケース(ナット掛)

●座金付ボルト(偏芯タイプ)もあります。(P78参照)

めり込み防止座金 PW12

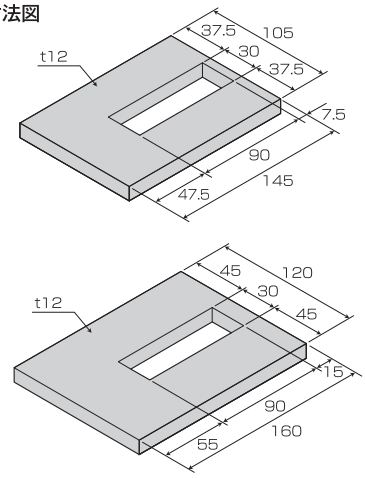


PW12(105×145)

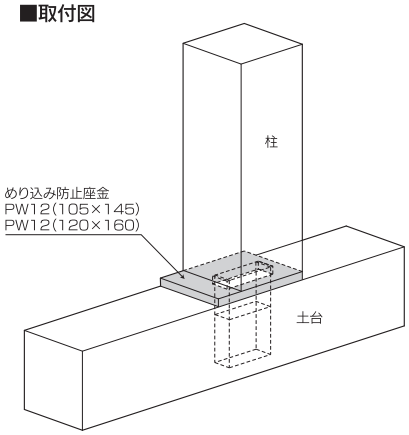


PW12(120×160)

■寸法図



■取付図



⚠ 注 意

●めり込み防止座金の取り付け方向は、ホールダウン金物や柱脚金物と干渉しないよう注意をはらってください。

用 途 ・ 特 徴

●柱脚部のめり込みを防止するために使用します。

使 用 方 法

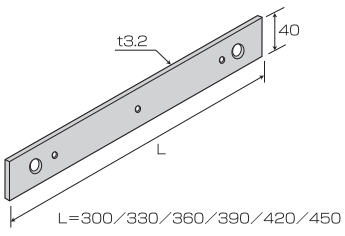
●PW12(105×145)：柱105mm×105mmに対し、土台幅105mm以上に使用します。
●PW12(120×160)：柱120mm×120mmに対し、土台幅120mm以上に使用します。

商　品　名	めり込み防止座金 PW12(105×145)／PW12(120×160)
入　　数	各6枚／ケース

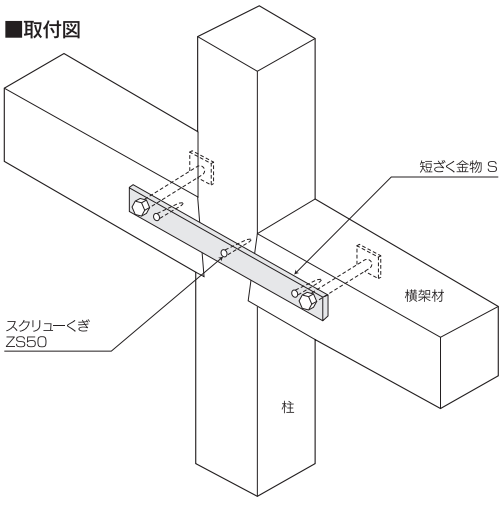
短ざく金物 S



■寸法図



■取付図



用 途 ・ 特 徴

●2階床梁及び管柱の連結等の補強に使用します。

使 用 方 法

●短ざく金物と六角ボルト頭の厚さが外壁仕上げや下地材に当たって支障がないかを確認し、必要に応じて彫り込んで沈めます。

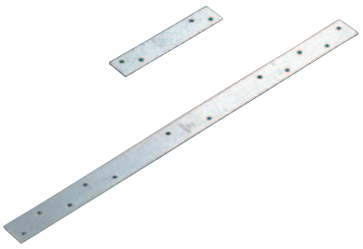
商　品　名	短ざく金物 S
付 属 部 品	スクリューくぎZS50…3本
入　　数	各30枚／ケース(くぎ：15本入×6袋)

●使用接合具

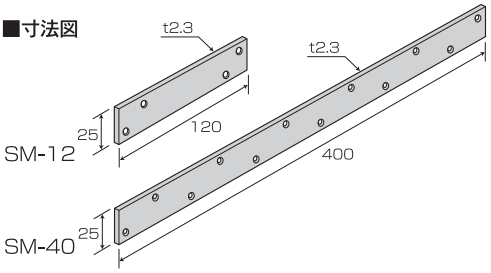
六角ボルト	M12…2本
六角ナット	M12…2個
角座金	W4.5×40…2枚
スクリューくぎ	ZS50…3本

【栗山オリジナル金物対象製品】
●クリ10プレート K10PL＝P49～50
クリ10短ざく金物 KS10-300＝P51～52

ひら金物
SM



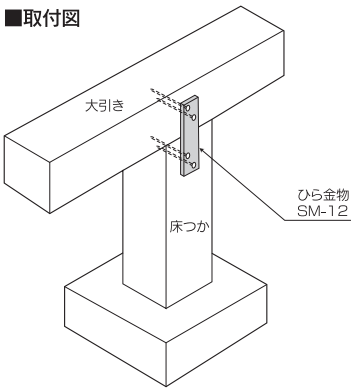
■寸法図

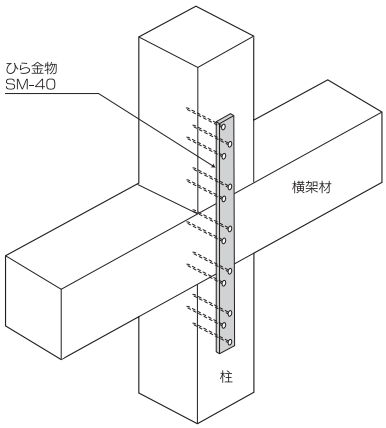


●使用接合具

SM-12	太めくぎ　ZN65…4本
SM-40	太めくぎ　ZN65…12本

■取付図





⚠ 注 意

●SM-40は、屋根ふき材をのせる前に使用しますと、屋根ふき材の重みでふくらむことがありますので、屋根ふき材をのせてからくぎ打ちしてください。

用 途 ・ 特 徴

SM-12

●大引と束、土台と柱、管柱と胴差、小屋梁と小屋束、母屋相互の連結の補強に使用します。

SM-40

●管柱の連結等に使用します。

使 用 方 法

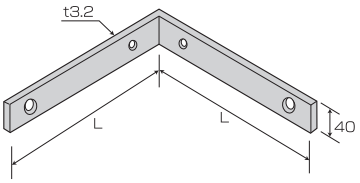
●軸の外壁周りで、かすがいでは仕上げや下地に当たって支障がある場合に使用します。

商　品　名	ひら金物 SM-12／SM-40
付 属 部 品	SM-12：太めくぎZN65…4本、SM-40：太めくぎZN65…12本
入　　数	SM-12：100枚／ケース（くぎ：20本入×20袋） SM-40：50枚／ケース（くぎ：60本入×10袋）

かね折り金物
SA

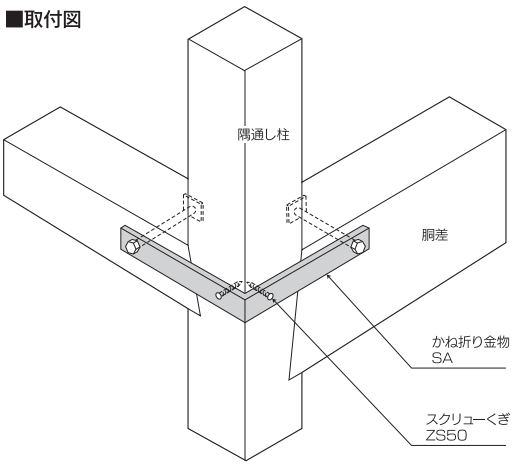


■寸法図



L=210／240／270／300／345

■取付図



用 途 ・ 特 徴

●隅通し柱と2方向の胴差の取合いに使用します。

使 用 方 法

●一般に隅通し柱が120mm角、胴差の幅が105mmの材を使用しますので、同一面上にかね折り金物を取り付けるには、隅通し柱に7.5mmほど彫り込まなければなりません。

●かね折り金物と六角ボルト頭の厚さが外壁仕上げや下地に当たって支障がないかを確認し、必要に応じて彫り込んで沈めます。

●彫り込むために木材の断面欠損が大きくなる場合は、羽子板ボルトを使用する方法もあります。

●使用接合具

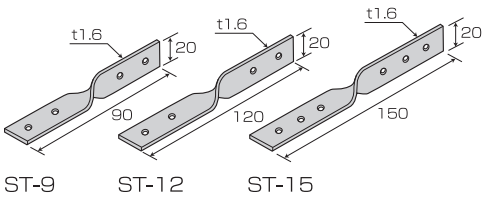
六角ボルト	M12…2本
六角ナット	M12…2個
角座金	W4.5×40…2枚
スクリューくぎ	ZS50…2本

商　品　名	かね折り金物 SA
付 属 部 品	スクリューくぎZS50…2本
入　　数	各30枚／ケース（くぎ：10本入×6袋）

ひねり金物 ST



■寸法図



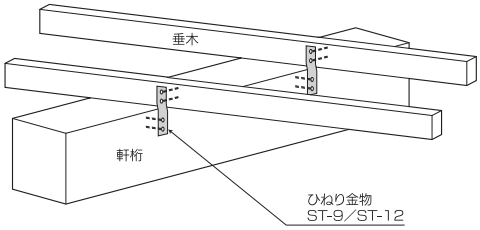
ST-9　ST-12　ST-15

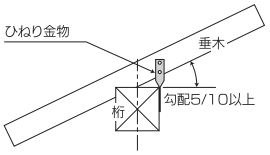
●使用接合具

ST-9	太めくぎ	ZN40…4本
ST-12	太めくぎ	ZN40…4本
ST-15	太めくぎ	ZN40…6本

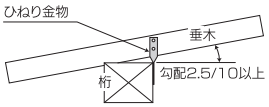
【栗山オリジナル金物対象製品】
●クリ垂木止め金物 KT＝P57参照
●あおり止め金物 KTS＝P87参照

■取付図

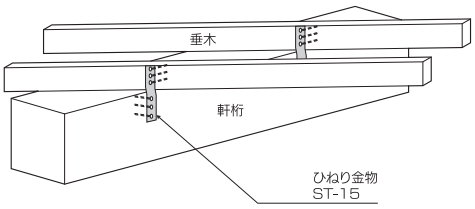


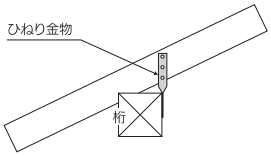


桁芯を峠にして垂木を納める場合は、垂木勾配5/10以上にします。



桁内側（棟側）に接してひねり金物を取り付ける場合は、垂木勾配2.5/10以上にします。





ひねり金物の上端が垂木上面より突出しないように注意します。

用途・特徴

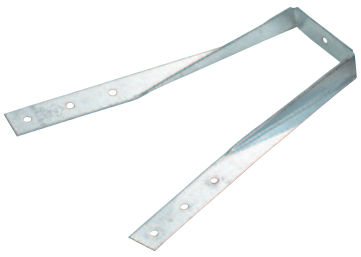
●垂木と母屋の接合、垂木と軒桁の接合、及び垂木と棟木の接合に使用します。

使用方法

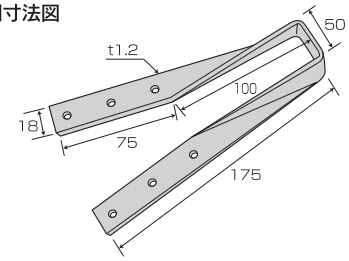
●桁等の内側（棟側）に接して取り付けます。
●垂木の両面使いもできます。

商品名	ひねり金物 ST-9／ST-12／ST-15
付属部品	ST-9：太めくぎZN40…4本、ST-12：太めくぎZN40…4本 ST-15：太めくぎZN40…6本
入数	各100枚／ケース（くぎ：ST-9・12…20本入×20袋、ST-15…30本入×20袋）

くら金物 SS



■寸法図

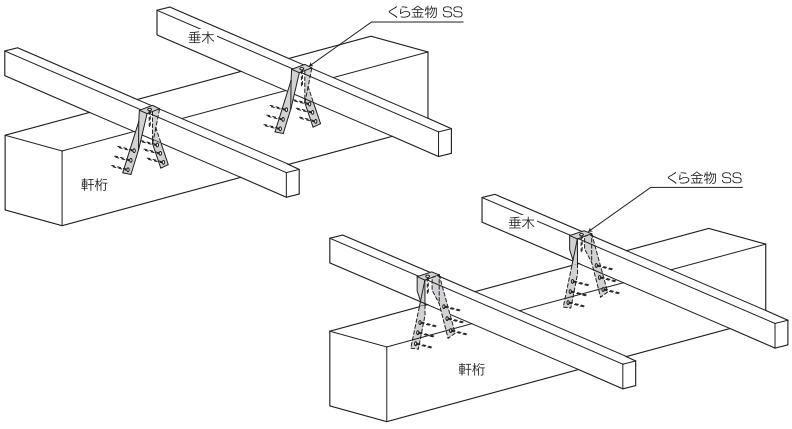


●使用接合具

太めくぎ		ZN40…7本

【栗山オリジナル金物対象製品】
●あおり止め金物 KTS＝P87参照

■取付図



用途・特徴

●垂木と母屋の接合、垂木と軒桁の接合、及び垂木と棟木の接合に使用します。（ひねり金物と同様の用途ですが、特に軒の出が大きい垂木の接合に適します。）

使用方法

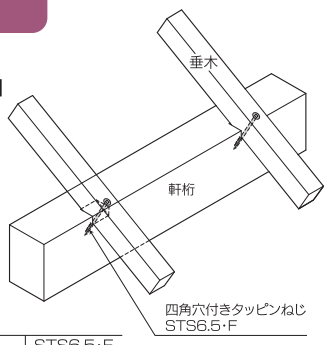
●脚の開き角度を変えて垂木の勾配に合わせます。（勾配が急なほど脚の開き角度を大きくします。）
●垂木の勾配に合わせて脚の開き角度を変えますが、あくまでもくぎが打てる範囲にとどめます。
●垂木の上端に良くなじませてから取り付けます。

商品名	くら金物 SS
付属部品	太めくぎZN40…7本
入数	100個／ケース（くぎ：35本入×20袋）

四角穴付きタッピンねじ STS6.5・F

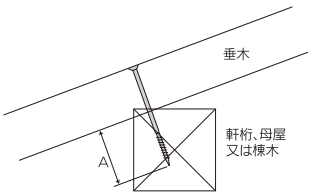


■取付図



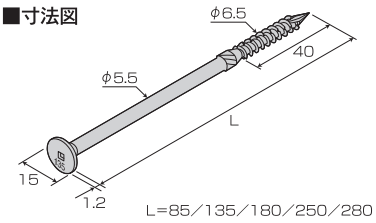
垂木成(mm)	STS6.5・F L寸法(mm)
45、60	135
75、90、105	180

軒の出などの使用条件については、(公財)日本住宅・木材技術センター「木造軸組工法住宅の構造計画」を参照



垂木成(mm)	タッピンねじの種類	軒桁、母屋又は棟木への埋め込み長さA(mm)
45	STS6.5・F (L=135)	90
60		75
75	STS6.5・F (L=180)	105
90		90
105		75

■寸法図



L=85／135／180／250／280

用途・特徴

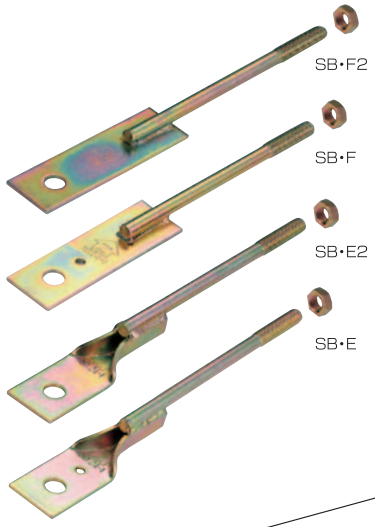
●垂木と軒桁又は母屋の接合に使用します。

使用方法

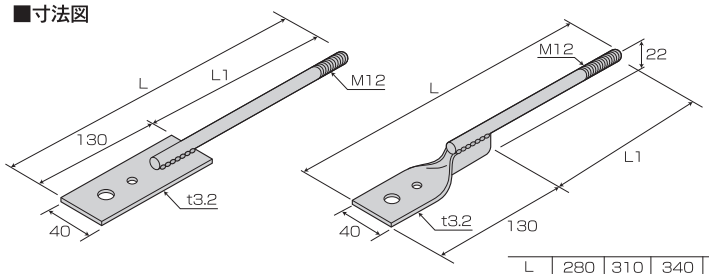
●軒桁、母屋又は棟木へのねじの埋め込み長さは75mm以上となります。

商品名	四角穴付きタッピンねじ STS6.5・F
入数	135:800本／ケース(100本入×8箱) 180:400本／ケース(100本入×4箱)

羽子板ボルト SB

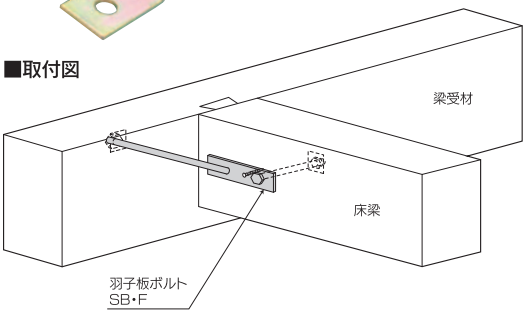


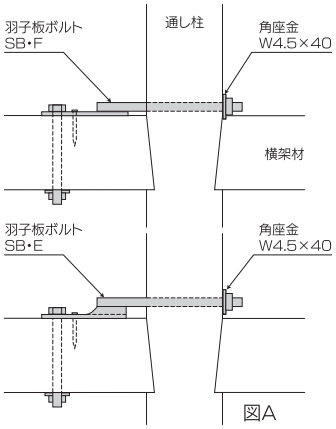
■寸法図



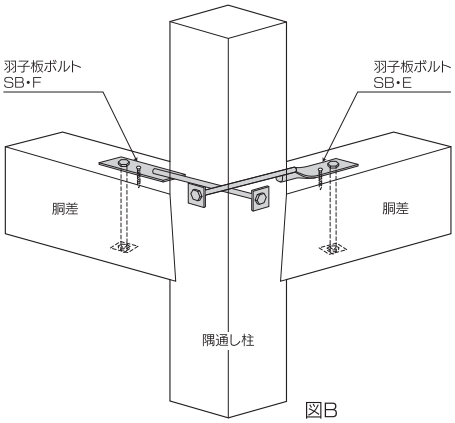
L	280	310	340	370	400	430
L1	150	180	210	240	270	300

■取付図





図A



図B

用途・特徴

●横架材と柱の接合及び横架材と横架材の接合に使用します。

使用方法

●羽子板ボルトSB・FとSB・Eの使い分けを上手に行ってください。
●角座金が柱の材端に当たる場合は、羽子板ボルトSB・Eを使用します。(図A)
●羽子板ボルトが交差する場合は、SB・FとSB・Eを使用します。(図B)
●SB・F2とSB・E2はスクリューくぎの穴のないタイプです。

●使用接合具

六角ボルト	M12…1本
六角ナット	M12…2個
角座金	W4.5×40…2枚
スクリューくぎ	ZS50…1本(SB・F／SB・E)

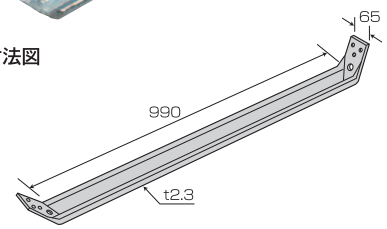
商品名	羽子板ボルト SB・F／SB・E／SB・F2／SB・E2
付属部品	六角ナットM12…1個、スクリューくぎZS50…1本(SB・F／SB・E)
入数	50本／ケース(くぎ:SB・F/SB・E…50本入×1袋、ナット:全種類…50個入×1袋)

【栗山オリジナル金物対象製品】
●同等認定品：棟梁羽子板Ⅱ＝P41、棟梁羽子板＝P45
万能羽子板Ⅱ＝P42、万能羽子板＝P46
●ビス止め棟梁羽子板Ⅱ＝P43、ビス止め万能羽子板Ⅱ＝P44
棟梁羽子板Ⅲ＝P47参照

火打金物 HB



■寸法図



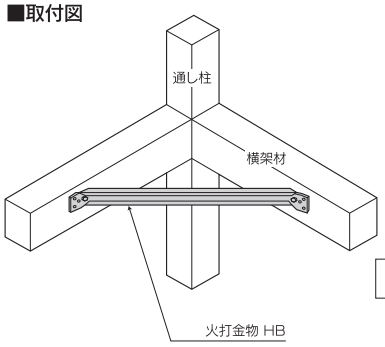
●ボルト穴を正確に保つためには、現場当たりではなくあらかじめ墨付けし、穴あけしておくことが必要です。
●踏ん張り長さ700mmを間違えると隅角部の直角が絶対に出ません。
●木工ドリルの径は15mm以上を使わないでください。
●根太を梁に渡りあご掛けとするときは、根太下端を欠き込まないように、火打金物の高さを調整します。
●小屋組で軒桁（または敷桁）から小屋梁に登り勾配に火打金物を取り付けるときは、座面彫りが必要です。
●角座金と小型角座金の使い分けは間違えないでください。小型で薄いほうが火打の座面用です。

●使用接合具

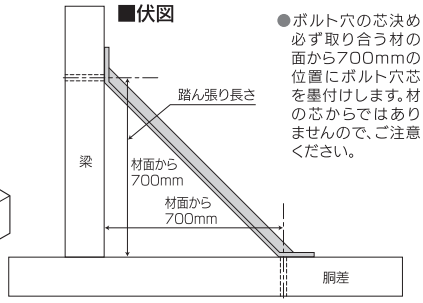
六角ボルト	M12…2本
六角ナット	M12…2個
角座金	W4.5×40…2枚
小型角座金	W2.3×30…2枚
平くぎ	ZF55…6本

【栗山オリジナル金物対象製品】
●クリピス止め火打金物Ⅱ KHBⅡ=P48参照

■取付図

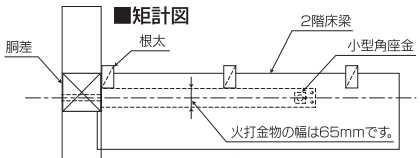


■伏図



●ボルト穴の芯決め必ず取り合う材の面から700mmの位置にボルト穴芯を墨付けします。材の芯からではありませんので、ご注意ください。

■矩計図



この高さで金物が水平となるように、両方の横架材のボルト穴位置を決めます。水平に納めないと、火打金物の座面が材面にぴったり当たりません。

用途・特徴

●床組及び小屋組の隅角部の補強に使用します。火打土台としても使用できます。

使用方法

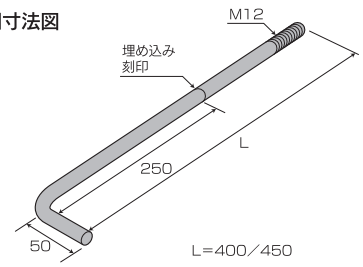
●ボルト締め＝建て入れ直し後、火打金物を仮付けし、まずボルト締めします。小型角座金を必ず火打金物の座面側に用います。
●くぎ打ち＝最後に平くぎZF55（ほかのくぎは不可）を各端に3本ずつしっかり打ちます。

商品名	火打金物 HB
付属部品	平くぎZF55…6本／小型角座金W2.3×30…2枚
入数	5本／束

アンカーボルト M12



■寸法図

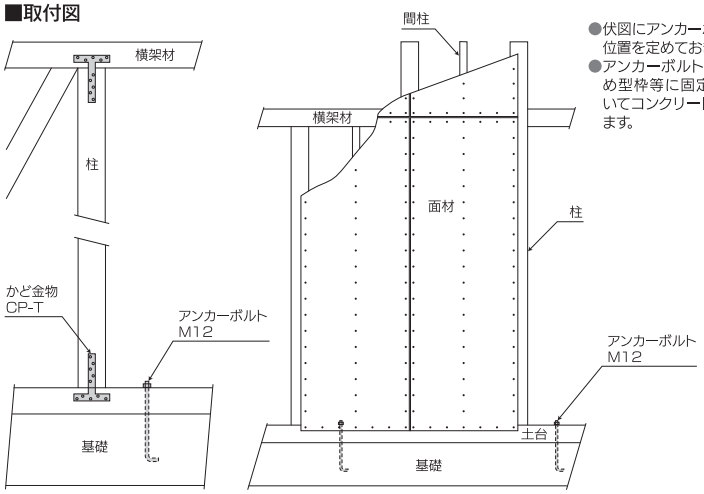


●使用接合具

六角ナット	M12…1個
角座金	W4.5×40…1枚

【栗山オリジナル金物対象製品】
●同等認定品：クリアンカーボルトKA・M12=P61
クリクランクアンカーボルトKZAC・M12=P62
クランクアンカーボルトZAC-R=P63参照

■取付図



●伏図にアンカーボルトの埋設位置を定めておきましょう。
●アンカーボルトは、あらかじめ型枠等に固定吊下げておいてコンクリートを打ちこみます。

用途・特徴

●土台を基礎コンクリートへ緊結するのに使用します。

使用方法

●基礎への埋め込み長さは250mm以上とします。
●筋かい及び面材を張った耐力壁の部分は、その両端の柱の下部にそれぞれ近接した位置に埋設します。
●土台切れの箇所、土台継手及び土台仕口箇所の土台端部位置に埋設します。

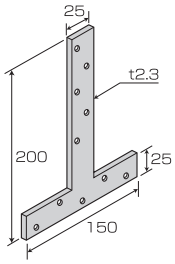
商品名	アンカーボルト M12
付属部品	六角ナットM12…1個
入数	50本／ケース（ナット：50個入×1袋）

かど金物
CP・T／CP・L

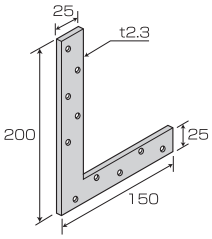

CP・T


CP・L

■寸法図



CP・T



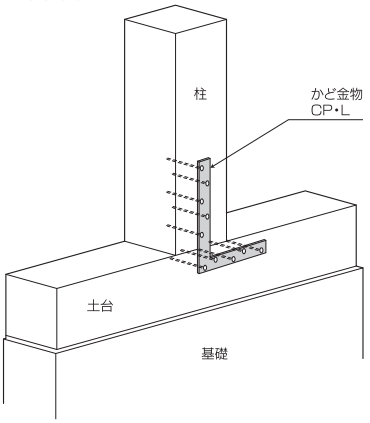
CP・L

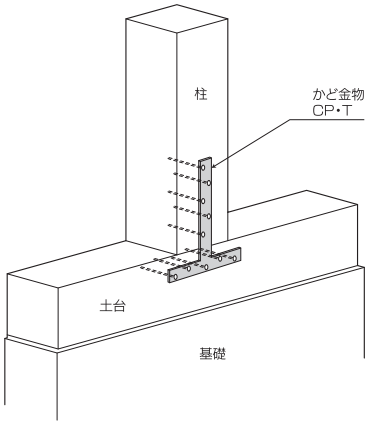
●使用接合具

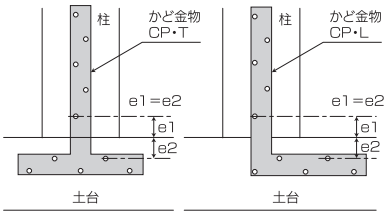
太めくぎ	ZN65…10本

【栗山オリジナル金物対象製品】
●クリコーナーⅢ⁺ KCNⅢ⁺=P14
クリピスプレート KBPL=P15
クリピスプレートⅡ（壁合板9mm対応）KBPLⅡG9=P16
チビクリⅡ CKⅡ=P17～18・25、チビクリ CK=P13参照

■取付図







2材の接合面がかど金物のくぎ穴の間隔の中心にくるように取り付けてください。

用途・特徴

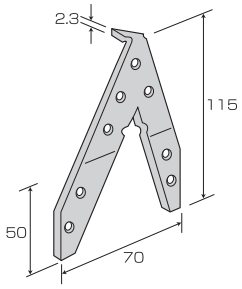
●柱と横架材、隅柱と横架材、通し柱と横架材の接合に使用します。

商品名	かど金物 CP・T／CP・L
付属部品	CP・T：太めくぎZN65…10本、CP・L：太めくぎZN65…10本
入数	各50枚／ケース（くぎ：50本入×10袋）

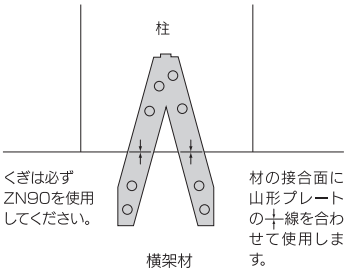
山形プレート
VP

■寸法図





仮止め用に山形の頂点を曲げてありますので高いところでも楽に取り付けられます。



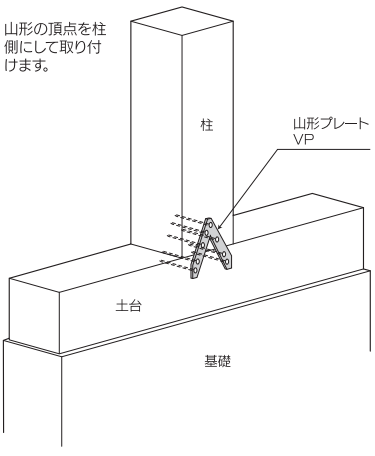
●使用接合具

太めくぎ	ZN90…8本

【栗山オリジナル金物対象製品】
●クリコーナーⅢ⁺ KCNⅢ⁺=P14
クリピスプレート KBPL=P15参照

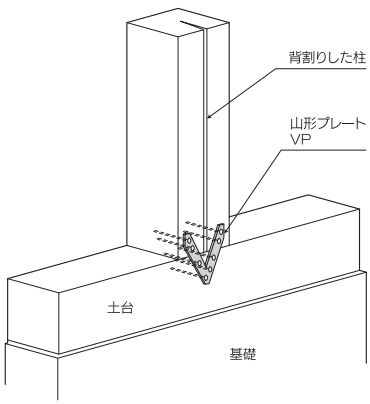
■取付図

山形の頂点を柱側にして取り付けます。



■背割りした柱の使い方

山形の頂点を横架材側にして取り付けます。



用途・特徴

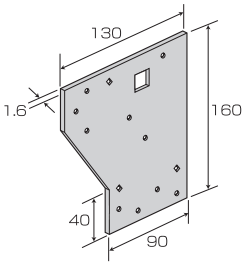
●柱と横架材、隅柱と横架材、通し柱と横架材の接合に使用します。

商品名	山形プレート VP
付属部品	太めくぎZN90…8本
入数	100枚／ケース（くぎ：40本入×20袋）

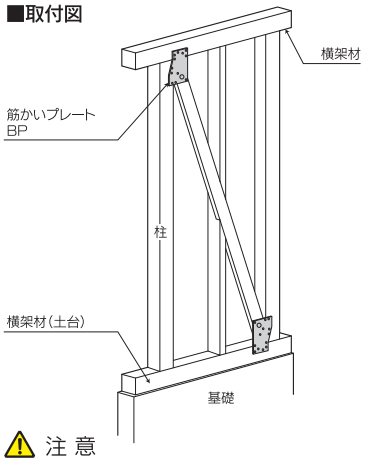
筋かいプレート BP



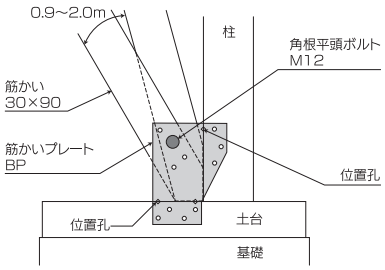
■寸法図



■取付図



筋かいの傾斜が柱間隔0.9～2.0mの場合にのみ使用します。この使用範囲外の時には、くぎの位置が縁に近すぎるなどの支障が生じます。



⚠ 注 意

- 筋かいプレートの部分には、仕上材や下地材にくぎが打てません。
- 角根平頭ボルト以外のボルトは使用しないでください。(このボルトは、仕上材や下地材に当たらないようにボルト頭を薄く平らにし、六角ナット側だけで本締めができる特殊なボルトです。)

用 途 ・ 特 徴

- 30×90mm断面以上の筋かいを柱と横架材に同時に接合するときに使用します。

使 用 方 法

- 柱と横架材接合の入隅部に筋かいプレートの位置孔等を頼りに筋かいプレートの位置を決めて取り付けます。
- 筋かいプレートを使用する場合は、筋かいは突付けとします。

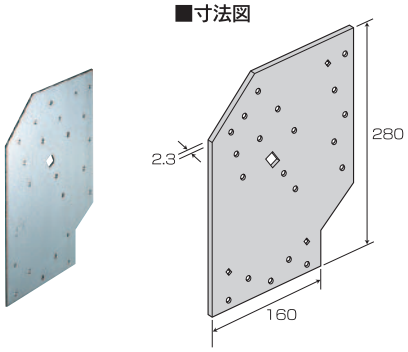
商 品 名	筋かいプレート BP
付属部品	角根平頭ボルトM12…1本、六角ナットM12…1個 小型角座金W2.3×30…1枚、太めくぎZN65…10本
入 数	30枚／ケース(ボルト・ナット・角座金:各5個入×6袋、くぎ:50本入×6袋)

●使用接合具

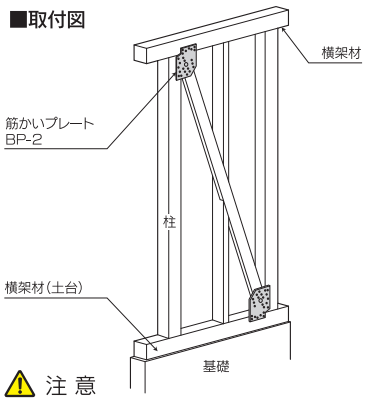
角根平頭ボルト	M12…1本
六角ナット	M12…1個
小型角座金	W2.3×30…1枚
太めくぎ	ZN65…10本

筋かいプレート BP-2

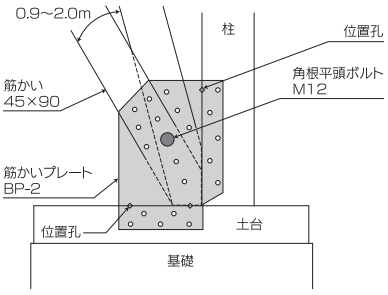
■寸法図



■取付図



筋かいの傾斜が柱間隔0.9～2.0mの場合にのみ使用します。この使用範囲外の時には、くぎの位置が縁に近すぎるなどの支障が生じます。



⚠ 注 意

- 筋かいプレートの部分には、仕上材や下地材にくぎが打てません。
- 角根平頭ボルト以外のボルトは使用しないでください。(このボルトは、仕上材や下地材に当たらないようにボルト頭を薄く平らにし、六角ナット側だけで本締めができる特殊なボルトです。)
- 筋かいに打つくぎの位置は、筋かいの傾斜により孔が決まります。筋かいに打つくぎ本数は7本、柱に5本、横架材に5本です。

用 途 ・ 特 徴

- 45×90mm断面以上の筋かいを柱と横架材に同時に接合するときに使用します。

使 用 方 法

- 柱と横架材接合の入隅部に筋かいプレートの位置孔等を頼りに筋かいプレートの位置を決めて取り付けます。
- 筋かいプレートを使用する場合は、筋かいは突付けとします。

商 品 名	筋かいプレート BP-2
付属部品	角根平頭ボルトM12…1本、六角ナットM12…1個 小型角座金W2.3×30…1枚、スクリューくぎZS50…17本
入 数	20枚／ケース(ボルト・ナット・角座金:各5個入×4袋、くぎ:85本入×4袋)

●使用接合具

角根平頭ボルト	M12…1本
六角ナット	M12…1個
小型角座金	W2.3×30…1枚
スクリューくぎ	ZS50…17本

【栗山オリジナル金物対象製品】

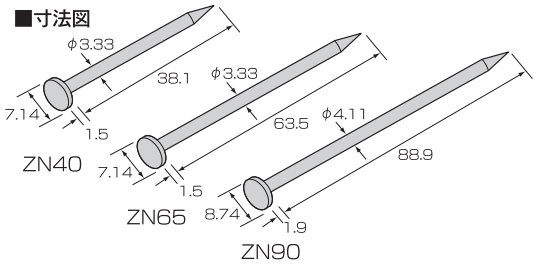
●クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ=P9、クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ=P10
2倍コンパクトボックス K-4=P11参照

太めくぎ ZN

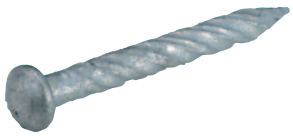


商品名	太めくぎ ZN40／ZN65／ZN90
入数	ZN40：20・30・35・40本／袋、ZN65：20・50・60本／袋 ZN90：40本／袋

■寸法図

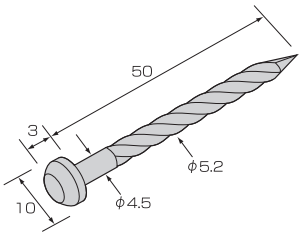


スクリューくぎ ZS



商品名	スクリューくぎ ZS50
入数	10・15・50本／袋

■寸法図

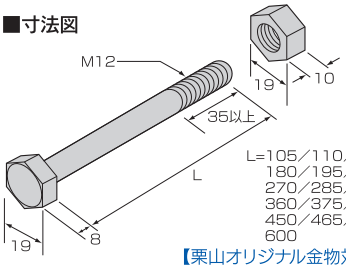


六角ボルト M12



商品名	六角ボルト M12
付属部品	六角ナットM12…1個
入数	105～300：各100本／ケース、315～450：各50本／ケース

■寸法図

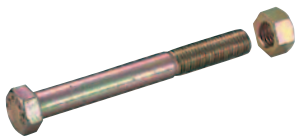


L=105／110／125／140／150／165
180／195／210／225／240／255
270／285／300／315／330／345
360／375／390／405／420／435
450／465／480／510／540／570
600

【栗山オリジナル金物対象製品】

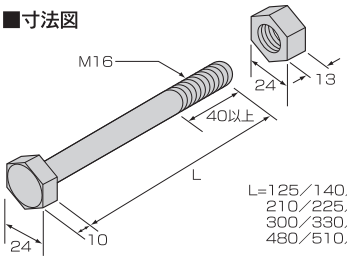
●同等認定・性能認定品：フラットボルト＝P82参照

六角ボルト M16



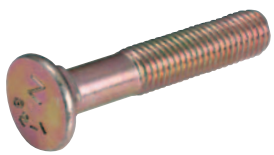
商品名	六角ボルト M16
付属部品	六角ナットM16…1個
入数	125～300：各50本／ケース、330～450：各20本／ケース、480～600：各10本／ケース

■寸法図



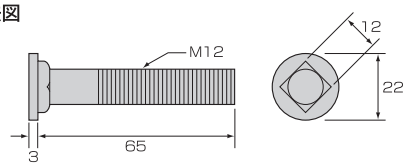
L=125／140／150／165／180／195
210／225／240／255／270／285
300／330／360／390／420／450
480／510／540／570／600

角根平頭ボルト M12

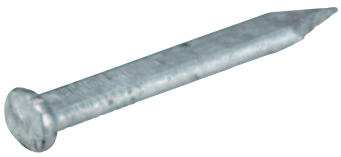


商品名	角根平頭ボルト M12

■寸法図

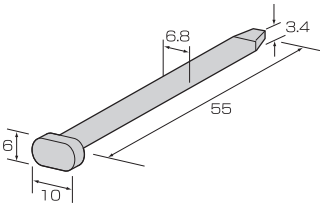


平くぎ ZF



商品名	平くぎ ZF55

■寸法図



角座金 W



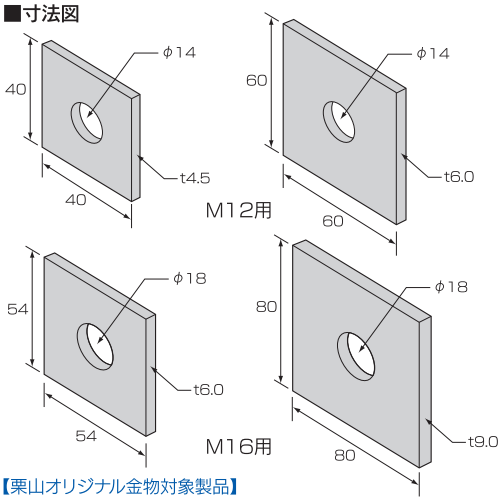
M12用(穴径φ14)

商品名	角座金 W4.5×40／W6.0×60
入数	W4.5×40:500枚／ケース、W6.0×60:100枚／ケース

M16用(穴径φ18)

商品名	角座金 W6.0×54／W9.0×80
入数	W6.0×54:100枚／ケース、W9.0×80:50枚／ケース

■寸法図



【栗山オリジナル金物対象製品】

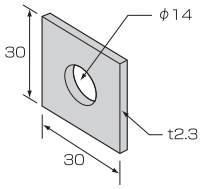
●クリSW付角座金 KW4.5×40=P73
クリカッターⅡ KCⅡ=P75、クリカッター KC=P76参照

小型角座金 W



商品名	小型角座金 W2.3×30

■寸法図



丸座金 RW



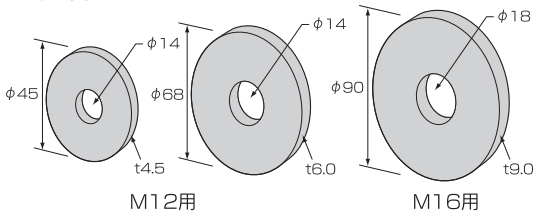
M12用(穴径φ14)

商品名	丸座金 W4.5×φ45(同等認定品)／RW6.0×68
入数	W4.5×φ45:400枚／ケース、RW6.0×68:100枚／ケース

M16用(穴径φ18)

商品名	丸座金 RW9.0×90
入数	50枚／ケース

■寸法図



Z角座金4.5×40×40同等認定品
(認定番号:㊂D19A02-01)

【栗山オリジナル金物対象製品】

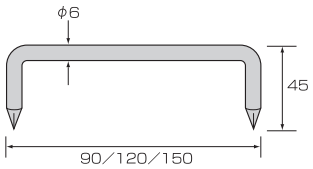
●クリSW付丸座金 KW4.5×φ45=P73
クリカッターⅡ KCⅡ=P75、クリカッター KC=P76参照

かすがい C

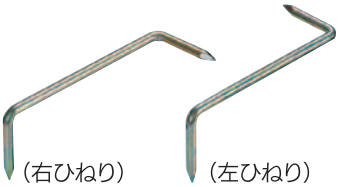


商品名	かすがい C-90／C-120／C-150
入数	C-90:600本／ケース、C-120:500本／ケース、C-150:500本／ケース

■寸法図

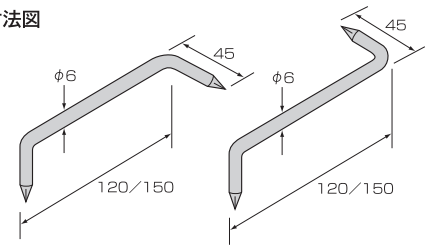


手違いかすがい CC



商品名	手違いかすがい CC-120／CC-150
入数	CC-120:600本／ケース、CC-150:500本／ケース

■寸法図



柱脚金物 PB-33

用　途

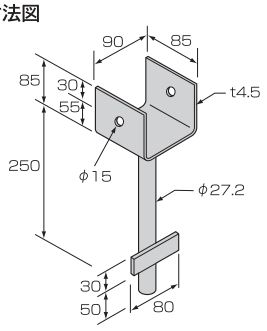
玄関の独立柱または、バルコニーの受柱の足元に使用します。
※基礎への埋め込み長さは200mm以上とし、充分突き固めてください。

●使用接合具

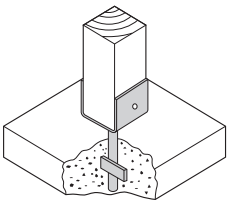
六角ボルト	M12×110…1本
六角ナット	M12…1個

商　品　名	柱脚金物 PB-33
入　　数	10個／ケース

■寸法図



■取付図



柱脚金物 PB-42

用　途

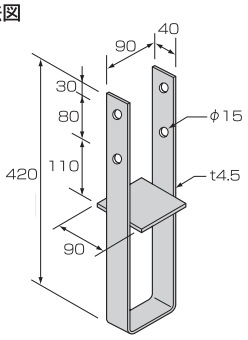
玄関の独立柱または、バルコニーの受柱の足元に使用します。
※基礎への埋め込み長さは150mm以上とし、充分突き固めてください。

●使用接合具

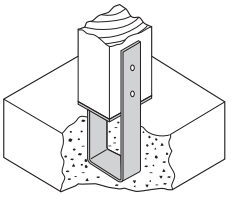
全ねじボルト	M12×115…2本
六角袋ナット	M12…4個

商　品　名	柱脚金物 PB-42
入　　数	10個／ケース

■寸法図



■取付図



柱脚金物 GL-PB

用　途

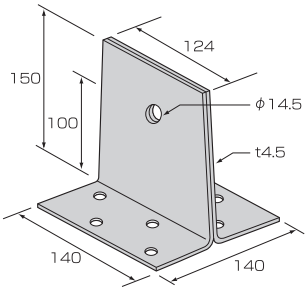
支持柱の柱脚と床組の緊結に使用します。

●使用接合具

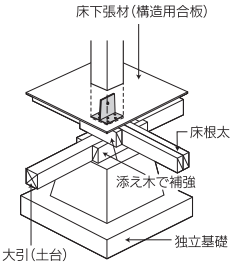
打ち込みピン	φ14×100…1本
太めくぎ	ZN65…8本

商　品　名	柱脚金物 GL-PB
入　　数	10個／ケース

■寸法図



■取付図



柱頭金物 PC

用　途

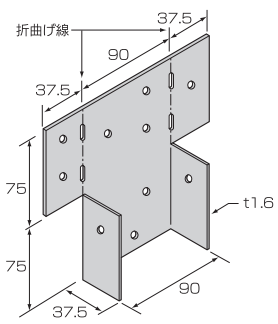
玄関の独立柱または、バルコニーの受柱の上部と梁、桁の仕口部分に使用します。

●使用接合具

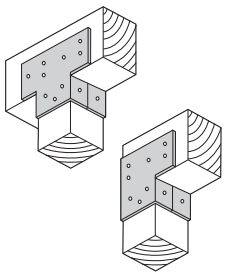
梁側　太めくぎ	ZN65…6本
柱側　太めくぎ	ZN65…6本

商　品　名	柱頭金物 PC
入　　数	50個／ケース

■寸法図



■取付図

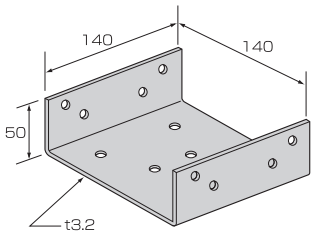


柱頭金物 GL-PC

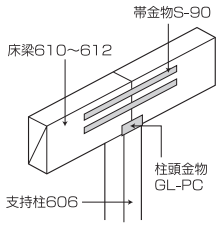
用　途

支持柱の柱頭と梁の緊結に使用します。

■寸法図



■取付図



●使用接合具

梁側	太めくぎ　ZN65…8本
柱側	太めくぎ　ZN65…6本

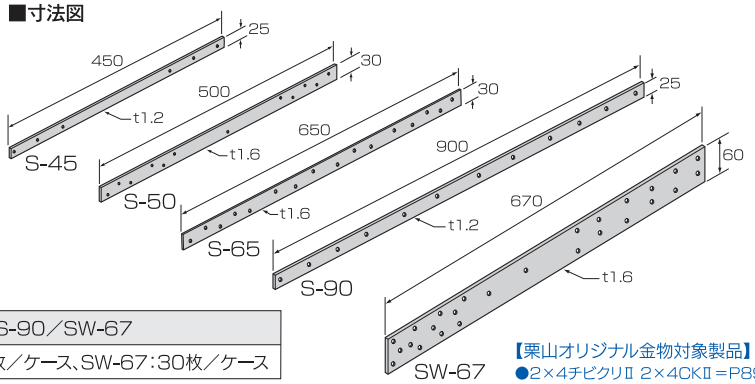
商　品　名	柱頭金物 GL-PC
入　　数	20個／ケース

帯金物 S

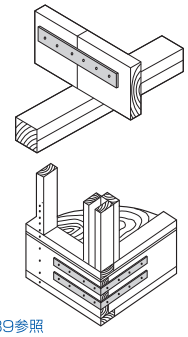
用　途

外壁の隅角部、開口部の両端、耐力壁の縦枠および床根太等を継ぐ場合に使用します。

■寸法図



■取付図



【栗山オリジナル金物対象製品】
●2×4チビクリⅡ 2×4CKⅡ＝P89参照

●使用接合具

S-45 太めくぎ	ZN40…6本
S-50 太めくぎ	ZN65…12本
S-65 太めくぎ	ZN65…16本
S-90 太めくぎ	ZN40…12本
SW-67 太めくぎ	ZN65…26本

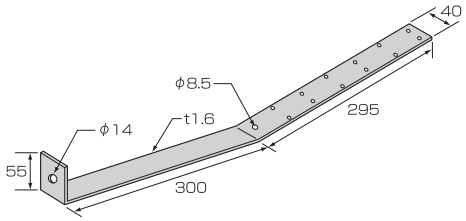
商　品　名	帯金物 S-45／S-50／S-65／S-90／SW-67
入　　数	S-45・S-50・S-65・S-90：50枚／ケース、SW-67：30枚／ケース

ストラップアンカー SA

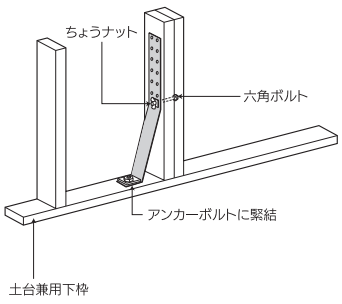
用　途

●土間コンクリート床スラブで構成し、両面開口を設けた場合の隅柱および縦枠並びにまぐさ受けと土台の緊結に使用します。
●3階建の1階を土間コンクリート床スラブで構成し、掃き出し窓を設けた場合の両端部と土台の緊結に使用します。

■寸法図



■取付図



●使用接合具

太めくぎ	ZN65…12本
六角ボルト	M8×150…1本
ちょうナット	M8…1個
平座金	W1.6×23…1個

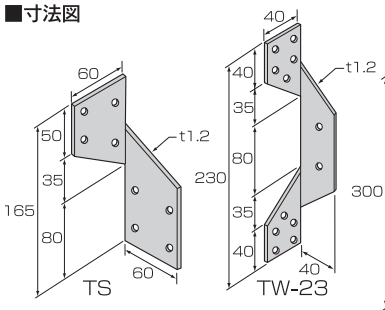
商　品　名	ストラップアンカー SA-65
入　　数	50枚／ケース

あおり止め金物 TS／TW

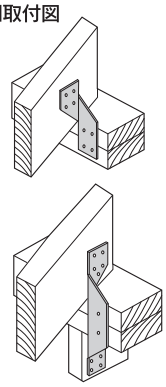
用　途

隅垂木、妻垂木、けらば垂木、もちおくり垂木、トラスおよび天井根太と外壁の緊結に使用します。

■寸法図



■取付図



【栗山オリジナル金物対象製品】
●同等認定品：あおり止め金物 KTS＝P87参照

●使用接合具 TS

垂木側	太めくぎ　ZN40…4本
頭つなぎ側	太めくぎ　ZN40…2本
上枠側	太めくぎ　ZN40…2本

●使用接合具 TW-23/TW-30

垂木側	太めくぎ　ZN40…4本
頭つなぎ側	太めくぎ　ZN40…1本
上枠側	太めくぎ　ZN40…1本
縦枠側	太めくぎ　ZN40…4本

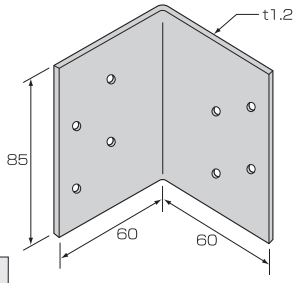
商　品　名	あおり止め金物 TS／TW-23／TW-30
入　　数	100個／ケース

根太受け金物 JH-S

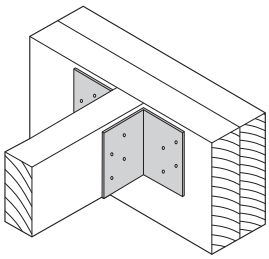
用　途

天井根太と端根太との仕口部分、床梁と根太の仕口部分、ささら桁と床開口部の合わせ根太との緊結などに使用します。

■寸法図



■取付図



●使用接合具

端根太側	太めくぎ	ZN40…4本
根太側	太めくぎ	ZN40…4本

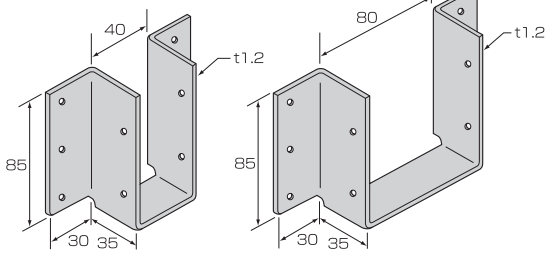
商　品　名	根太受け金物 JH-S204・206
入　　数	100個／ケース

根太受け金物 JH

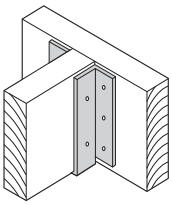
用　途

天井根太と端根太との仕口部分、床梁と根太の仕口部分、ささら桁と床開口部の合わせ根太との緊結などに使用します。

■寸法図



■取付図



●使用接合具 JH204・206

端根太側	太めくぎ	ZN40…6本
根太側	太めくぎ	ZN40…4本

●使用接合具 JH2-204・206

端根太側	太めくぎ	ZN65…6本
根太側	太めくぎ	ZN65…4本

商　品　名	根太受け金物 JH204・206／JH2-204・206
入　　数	JH204・206：100個／ケース、JH2-204・206：50個／ケース

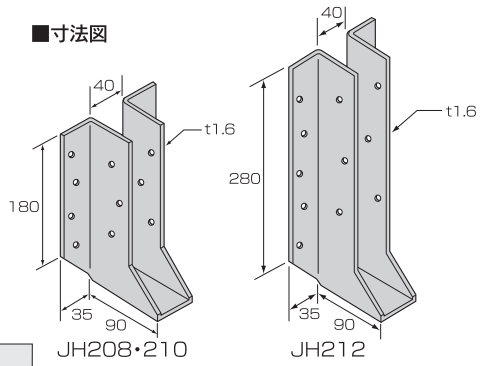
【栗山オリジナル金物対象製品】
●同等認定品：根太受け金物 KJH204・206＝P88参照

根太受け金物 JH

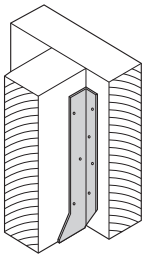
用　途

天井根太と端根太との仕口部分、床梁と根太の仕口部分、ささら桁と床開口部の合わせ根太との緊結などに使用します。

■寸法図



■取付図



●使用接合具 JH208・210

端根太側	太めくぎ	ZN65…8本
根太側	太めくぎ	ZN40…6本

●使用接合具 JH212

端根太側	太めくぎ	ZN65…10本
根太側	太めくぎ	ZN40…6本

商　品　名	根太受け金物 JH208・210／JH212
入　　数	JH208・210：50個／ケース、JH212：30個／ケース

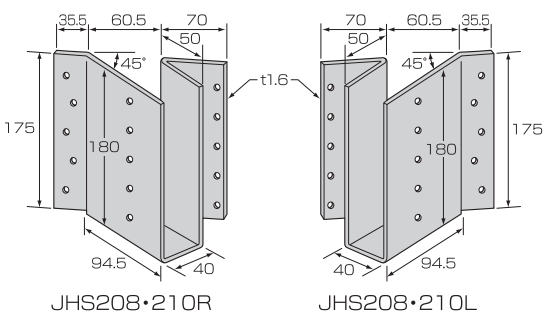
【栗山オリジナル金物対象製品】
●同等認定品：根太受け金物 KJH208・210＝P88参照

根太受け金物 JHS

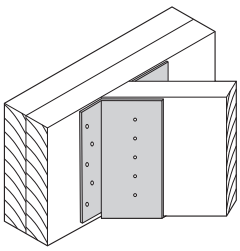
用　途

45°に根太（208・210材）を接合する場合に使用します。右勝手と左勝手があり、記号（R、L）で区別しています。

■寸法図



■取付図



●使用接合具

端根太側	太めくぎ	ZN65…10本
根太側	太めくぎ	ZN40…6本

商　品　名	根太受け金物 JHS208・210R／JHS208・210L

梁受け金物 BH

用　途

床開口部の補強材の仕口部分と合せ梁相互の仕口部分に使用します。

●使用接合具 BH2-208／BH2-210

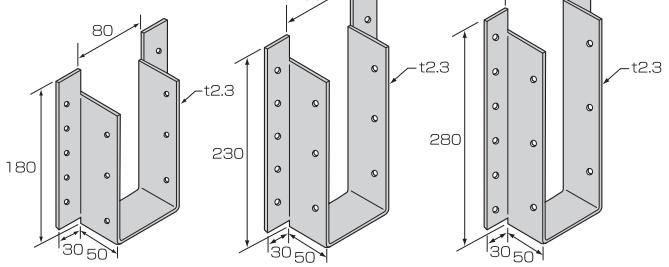
受材側	太めくぎ　ZN65…10本
梁側	太めくぎ　ZN65…6本

●使用接合具 BH2-212

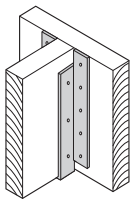
受材側	太めくぎ　ZN90…12本
梁側	太めくぎ　ZN65…6本

商　品　名	梁受け金物 BH2-208／BH2-210／BH2-212
入　　数	BH2-208・BH2-210：30個／ケース、BH2-212：20個／ケース

■寸法図



■取付図



梁受け金物 BH

用　途

床開口部の補強材の仕口部分と合せ梁相互の仕口部分に使用します。

●使用接合具 BH3-208／BH3-210

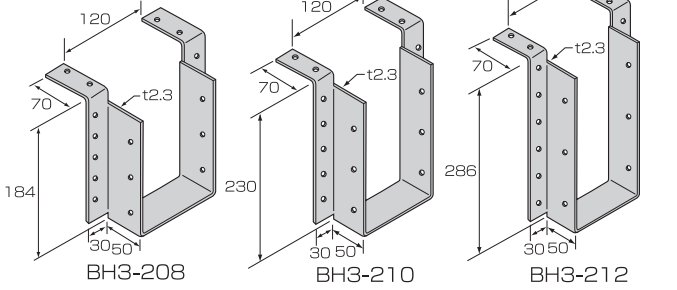
受材側	太めくぎ　ZN90…14本
梁側	太めくぎ　ZN90…6本

●使用接合具 BH3-212

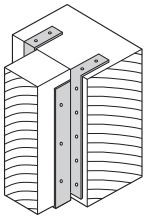
受材側	太めくぎ　ZN90…16本
梁側	太めくぎ　ZN90…6本

商　品　名	梁受け金物 BH3-208／BH3-210／BH3-212
入　　数	各10個／ケース

■寸法図



■取付図



梁受け金物 BH

用　途

床開口部の補強材の仕口部分と合せ梁相互の仕口部分に使用します。

●使用接合具 BH4-208／BH4-210

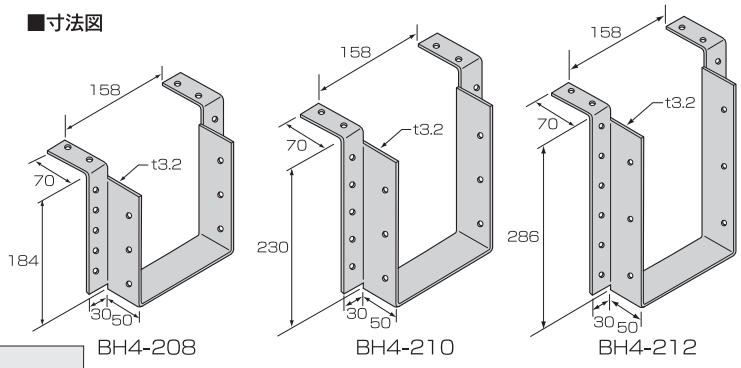
受材側	太めくぎ　ZN90…14本
梁側	太めくぎ　ZN90…6本

●使用接合具 BH4-212

受材側	太めくぎ　ZN90…16本
梁側	太めくぎ　ZN90…6本

商　品　名	梁受け金物 BH4-208／BH4-210／BH4-212
入　　数	各10個／ケース

■寸法図



梁受け金物 BHS

用　途

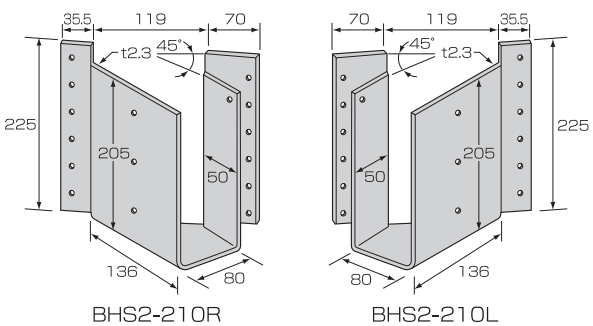
45°に梁（210材2枚合せ）を接合する場合に使用します。右勝手と左勝手があり、記号（R、L）で区別しています。

●使用接合具 BHS2-210R／BHS2-210L

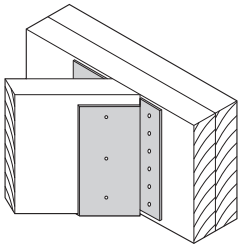
受材側	太めくぎ　ZN65…12本
梁側	太めくぎ　ZN65…4本

商　品　名	梁受け金物 BHS2-210R／BHS2-210L

■寸法図



■取付図

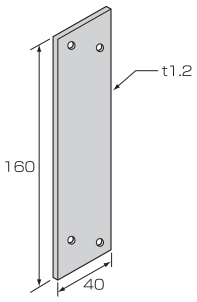


パイプガード PG

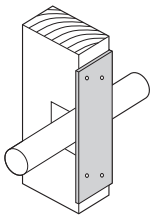
用　途

耐力壁の縦枠、上・下枠および頭つなぎを配線・配管やダクト工事のため欠き込みや穴あけをした場合の穴をふさぐのに使用します。

■寸法図



■取付図



●使用接合具

太めくぎ　ZN65…4本

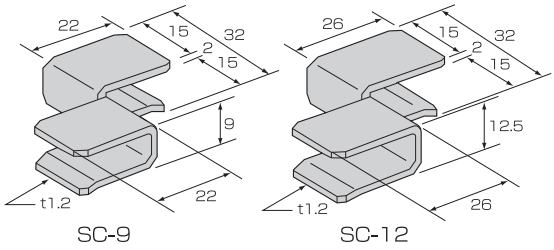
商　品　名	パイプガード PG
入　　数	100枚／ケース

シージングクリップ SC

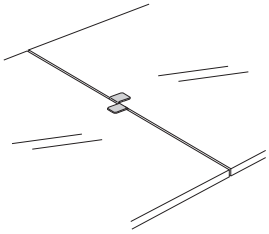
用　途

屋根下張り材の相互（長手方向）を受け材の替わりに使用します。

■寸法図



■取付図



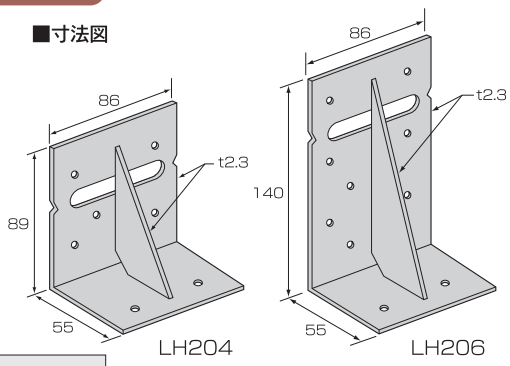
商　品　名	シージングクリップ SC-9／SC-12
入　　数	SC-9：1,200個／ケース、SC-12：1,000個／ケース

まぐさ受け金物 LH

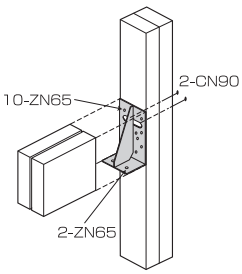
用　途

開口部の幅が1m以下で、まぐさが2枚合せの寸法形式204または206の場合に使用します。

■寸法図



■取付図



●使用接合具 LH204

縦枠側　太めくぎ　ZN65…6本
まぐさ側　太めくぎ　ZN65…2本

●使用接合具 LH206

縦枠側　太めくぎ　ZN65…10本
まぐさ側　太めくぎ　ZN65…2本

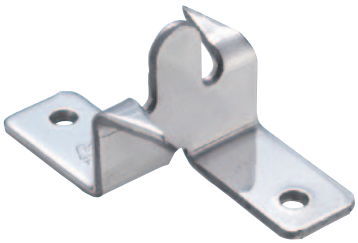
商　品　名	まぐさ受け金物 LH204／LH206
入　　数	各50個／ケース

各種金物

デッキコネクター ---------- 123
囲い金具 ---------- 124
雪止め金物 ---------- 125
金属屋根構法の特長 ---------- 126
メッキ短ざく金物、メッキ箱金金物 -------- 127
東羽子板ボルト、兼用羽子板 ---------- 127
土木特殊金物 ---------- 127

デッキコネクター

デッキコネクターは、ベランダや外部に木製デッキを敷く時、釘の代わりに使用します。釘が表面に出ないので、子供も安心して遊べます。又、木の素材がそのままに生き生きと美しく仕上がります。


ジョイント


スターター

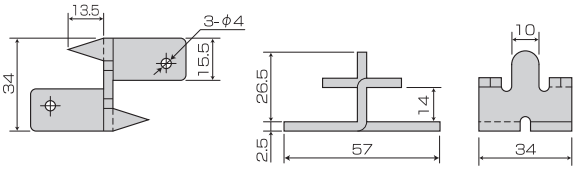

エンドA


エンドB

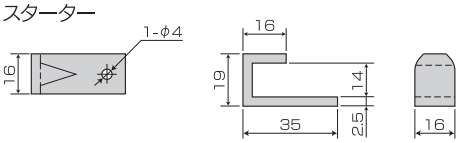

専用釘
(ステンレス)

■寸法図

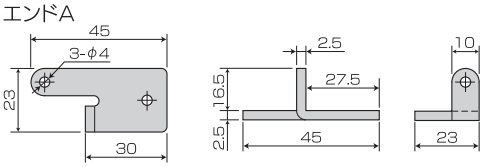
ジョイント



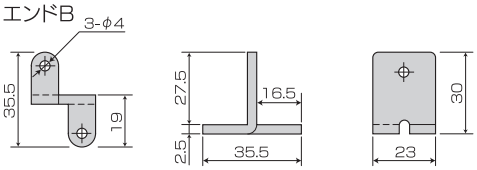
スターター



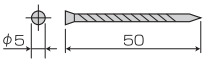
エンドA



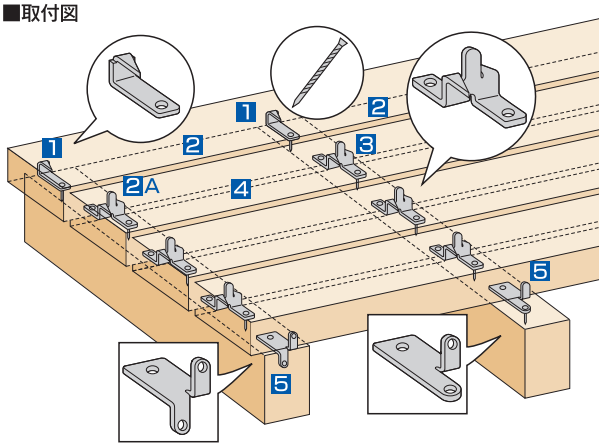
エンドB



専用釘(ステンレス)

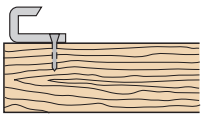


■取付図



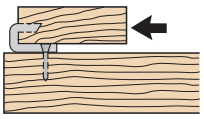
1 スターターを止める

根太にスターターを専用釘で止める。(デッキ材が長い場合はスターターを止める前に、糸を張る)



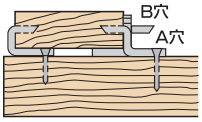
2 デッキを打ち込む

1枚目のデッキをスターターの爪に打ち込む。(デッキ材が長い場合は、始めのスターターが抜けないように釘で根太に止めておくと良い。)



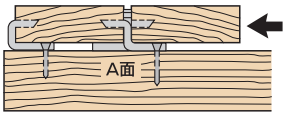
3 ジョイントを打ち込む

1枚目のデッキにジョイントを打ち込み、A穴に釘を打つ。



4 次のデッキを打ち込む

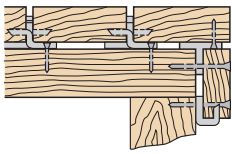
2枚目のデッキをジョイントの爪に打ち込む。(デッキを打ち込むときに、A面との隙間を空けない。)



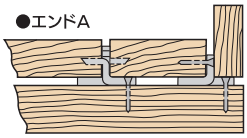
5 エンドを打ち込む

エンドA、エンドBどちらかを選んで釘で止める。(デッキ材の張り込みが終了したら終了時のデザインに合わせて図のようにエンドA、エンドBどちらかを選んで根太に取り付け、軒材を打ち付ける。)

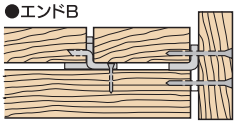
※標準的な釘使用数は、ジョイント、スターター1ヶに付き1本、エンドは2本使用します。



●エンドA

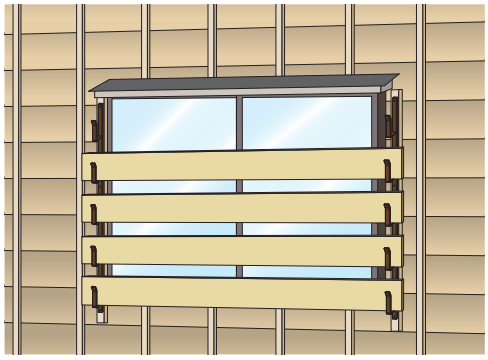


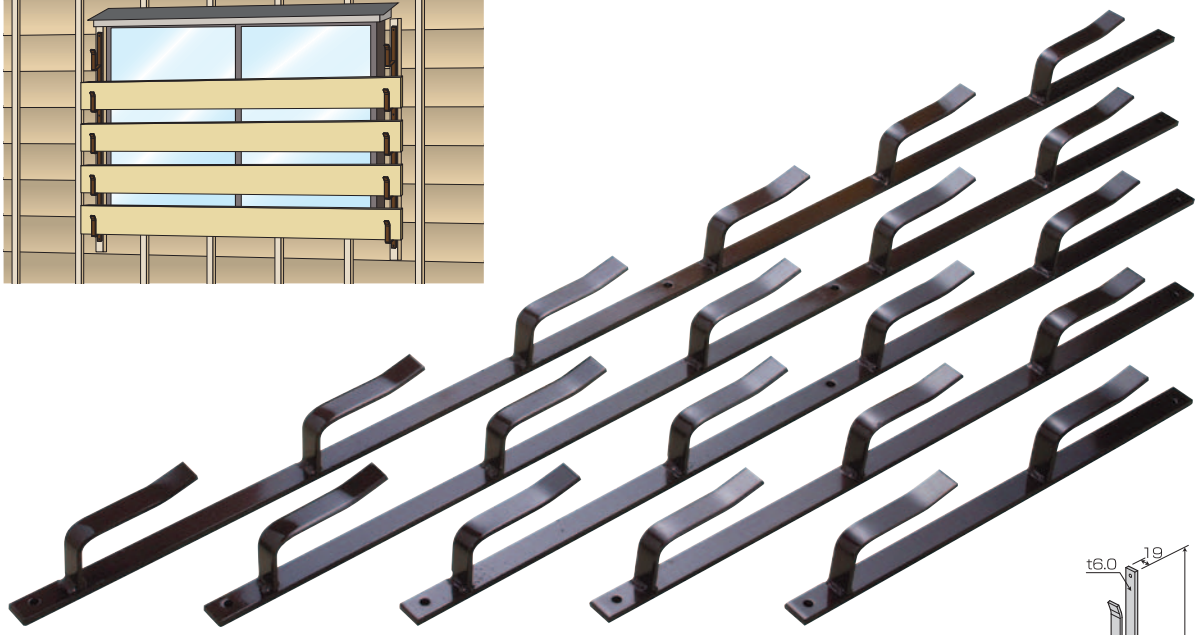
●エンドB

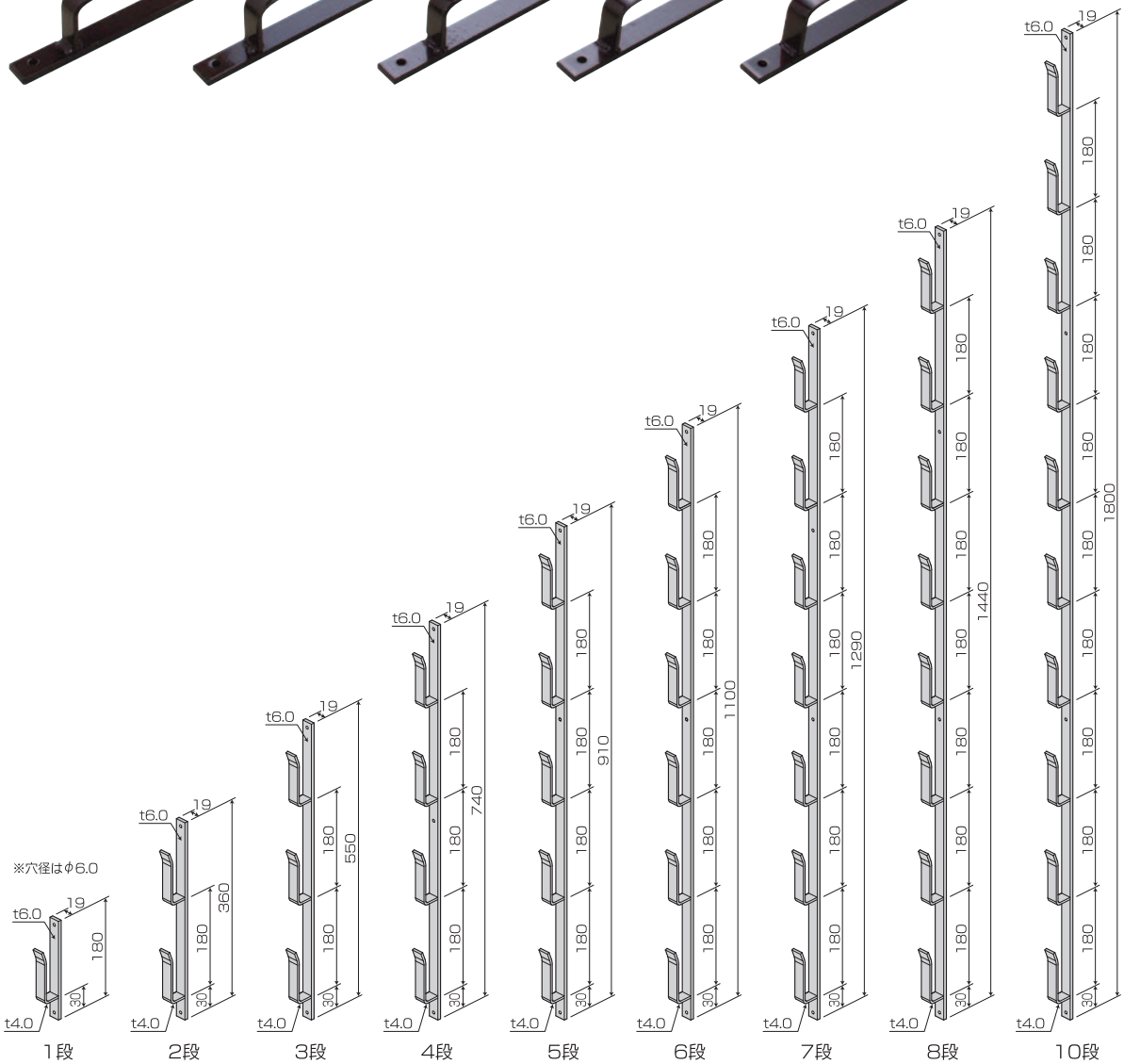


商　品　名	デッキコネクター
仕　　様	ステンレス(SUS430)
入　　数	ジョイント：250ヶ／ケース、スターター：250ヶ／ケース エンドA：250ヶ／ケース、エンドB：250ヶ／ケース、専用釘：2,500本／ケース

囲い金具



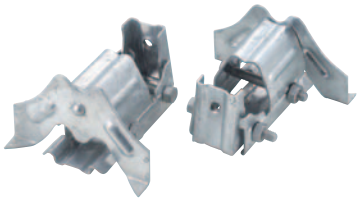




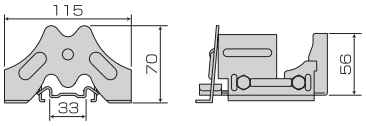
商　品　名	囲い金具(十手型)
サ　イ　ズ	1段／2段／3段／4段／5段／6段／7段／8段／10段
仕　　様	十手型：鉄ブロンズ

雪止め金物／三晃式・林式

ストップフジ（三晃式羽根付 2本ボルト）



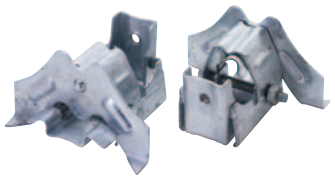
■寸法図



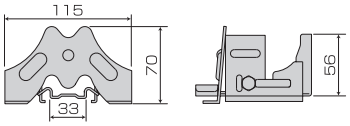
品番	K-1
材質	鉄
表面処理	ドブメッキ
入数	60個／ケース

●φ25.4のパイプを取付けることが出来ます。

ストップフジ（三晃式羽根付 1本ボルト）



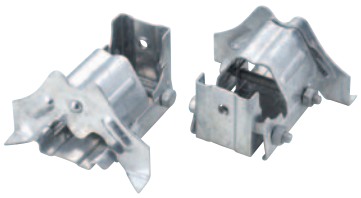
■寸法図



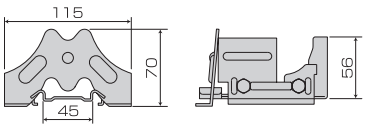
品番	K-2
材質	鉄
表面処理	ドブメッキ
入数	60個／ケース

●φ25.4のパイプを取付けることが出来ます。

ストップフジ（林式羽根付 2本ボルト）



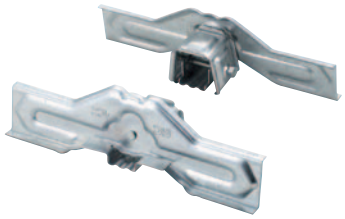
■寸法図



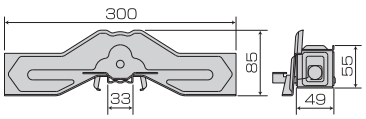
品番	林式
材質	鉄
表面処理	ドブメッキ
入数	60個／ケース

●φ25.4のパイプを取付けることが出来ます。

ニューフジ（三晃式羽根付 後付用）



■寸法図

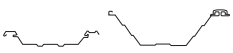


瓦棒幅33mm用

品番	H-1K
材質	亜鉛板・SUS304・銅
表面処理	生地（亜鉛板・SUS304）
入数	30個／ケース

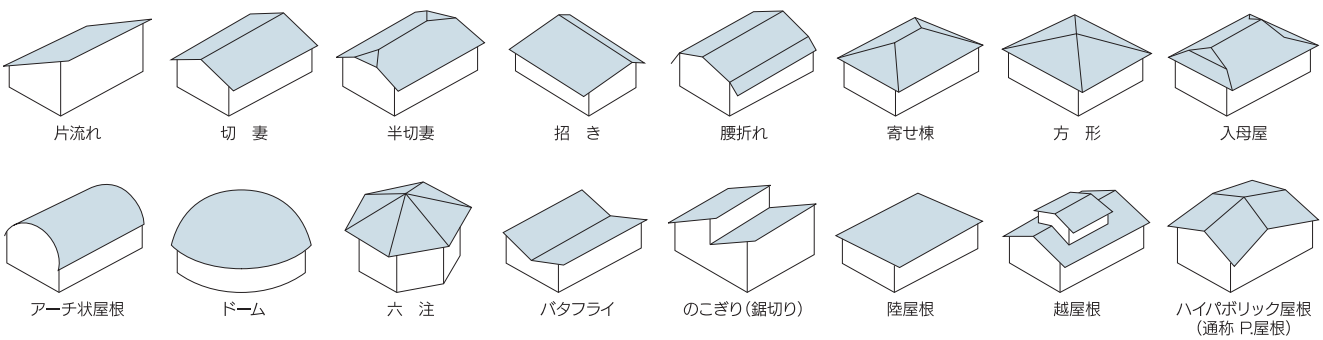
●φ25.4のパイプを取付けることが出来ます。

■金属屋根構法の特長

名称	形状	特長	適応板厚 最小(mm)	適応板厚 最大(mm)	最小勾配	屋根形状による適応の可否 片流れ	切妻	半切妻	招き	腰折れ	寄せ棟	方形	入母屋	アーチ	ドーム	六注	バタフライ	のこぎり	陸屋根	越屋根	P屋根
一文字葺		社寺建築に代表されるような、曲線に富んだ屋根に適合する。庇等の小規模屋根にも向く。	0.3	0.4	30/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
心木あり瓦棒葺		特別な加工機器を必要とせず、簡単に施工できる。瓦棒を丸型にすることも可能。	0.3	0.5	10/100	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	○	○	○	○	○	△~×
心木なし瓦棒葺		長尺で住宅から工場、倉庫等比較的大規模な屋根まで幅広く対応できる。	0.35	0.5	5/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	△
立平葺		瓦棒の持つ長尺と防水性を備えた長尺屋根で、安価でかつ風に弱い比較的小さい屋根に適する。	0.35	0.4	5/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△~×	○	○	○	○	○	△
蟻掛葺		立平葺に風に対する耐力を付加したもの。用途は立平葺に同じ。	0.35	0.4	5/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△~×	○	○	○	○	○	△
波板葺		簡易建物の屋根や工場等の越屋根に適する。重ねを馳にしたものもある。	0.35	0.6	30/100	○	○	○~△	○	△	○~△	○~△	○~△	○	×	○~△	○	○	×	○	△~×
角山葺		瓦棒と折板の中間的デザインで、施工が比較的簡単。板厚により母屋間隔を拡げ得る。	0.4	1.2	5/100	○	○	△	○	△	△	△	△	△	×	△	○	○	○	○	×
重ね折板葺		梁の上に直接葺くことが可能で、種々の荷重に耐える。瓦棒等に比べて工期が早い。	0.5	1.6	3/100	○	○	△	○	△	△	△	△	△	×	△	○	○	○	○	×
馳折板葺		重ね折板の防水性能をさらに向上させたもの。外表面にボルトが露出しないので安価でボルト錆の害がない。	0.6	1.2	3/100	○	○	△	○	△	△	△	△	△	×	△	○	○	○	○	×
横葺		屋根面を横の線でデザインした形式の屋根で意匠性に富む。	0.35	0.6	25/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○~△	×	○	○	○	×	○	×
金属瓦		瓦や化粧石綿板の意匠をとり入れた屋根。	0.3	0.3	25/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○~△	×	○	○	○	×	○	△~×
溶接防水工法		板相互を連続シーム溶接するため完全な防水性能が得られる。また複雑な屋根にも適応可能。	0.4	0.4	1/100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
嵌合折板葺		馳折板葺の施工性をより向上させた折板。その他は馳折板葺と同じ。	0.6	1.0	3/100	○	○	△	○	△	△	△	△	△	×	△	○	○	○	○	×

注　○: 適応可能・△: 適応可能であるが施工上十分な注意を必要とするもの・×: 適応不可能

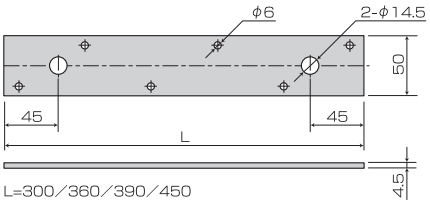
●屋根の形状



メッキ短ざく金物



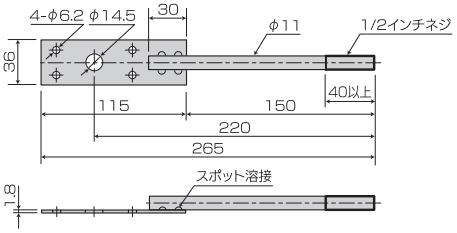
■寸法図



商　品　名	メッキ短ざく金物
サ　イ　ズ	4.5×50×300・360・390・450
仕　　様	JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC・ユニクロメッキ
入　　数	各20枚縛

東羽子板ボルト

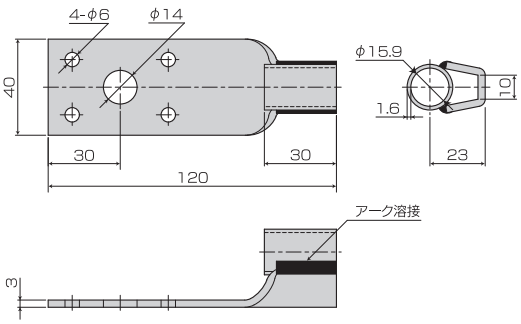
■寸法図



商　品　名	東羽子板ボルト
サ　イ　ズ	1/2×150（板寸法：36×115）
仕　　様	ユニクロメッキ
付属部品	六角ナットW1／2…1個
入　　数	100本／ケース（ナット：100個入×1袋）

兼用羽子板

■寸法図

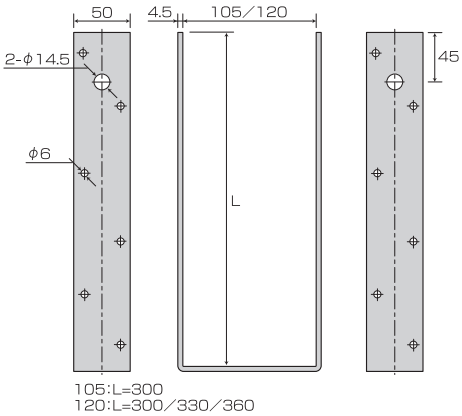


商　品　名	兼用羽子板
仕　　様	クロメートメッキ
入　　数	100本／ケース

メッキ箱金金物



■寸法図



商　品　名	メッキ箱金金物
サ　イ　ズ	105×300、120×300・330・360（4.5×50）
仕　　様	JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC・ユニクロメッキ
入　　数	各10縛

土木特殊金物

太ネジ・厚物製品など特注品も承っております。



●メートルネジとインチネジ

ネジには「メートルネジ」と「インチネジ」があります。メートルというのは誰でも知っている長さの単位です。メートルネジといっても、機械関係ではmmで表すのが普通ですから、メートルネジを「ミリネジ」と言っているところもあります。インチネジというのは、「1インチ（25.4mm）あたり○山」という表しかたをします。「1インチあたり13山」とか、1を省略して「インチ13山」などと呼びます。

■例

	ネジの呼び	ネジ外径	ネジピッチ
メートルネジ（ミリネジ）	M12（メートル並目ネジ）	12.0mm	1.75mm
インチネジ	1／2（ユニファイ並目ネジ：1/2-13UNC）	12.70mm（25.4mm÷2）	約1.95mm（25.4mm÷13山）

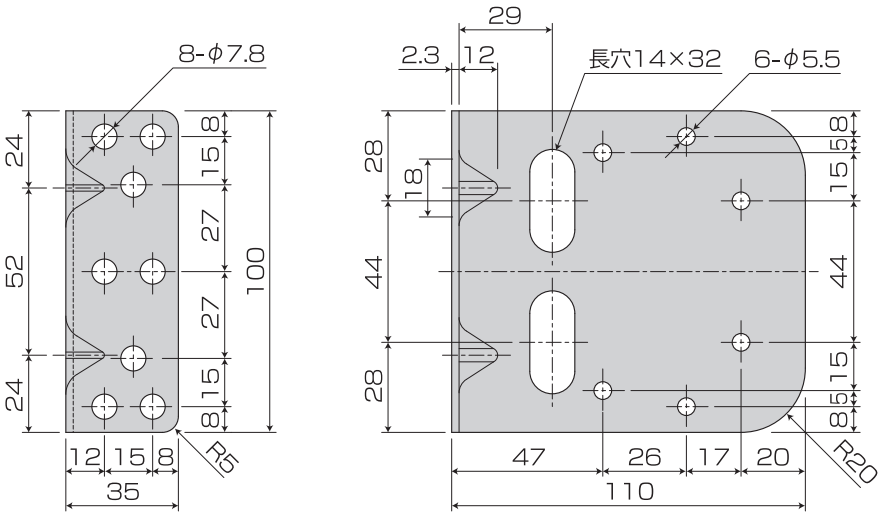
※ネジ外径はネジが切ってある部分であって、軸径（ネジの切っていない部分の径）ではありません。

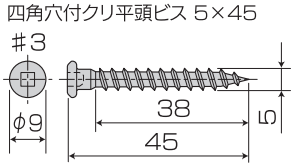
仕様図・データ

クリ筋かいストッパーⅢ ---- 129
クリ筋かいストッパーⅡ ---- 130
2倍コンパクトボックス ---- 131
クリコーナーⅢ+ ---- 132
クリビスプレート ---- 133
クリビスプレートⅡ ---- 134
チビクリⅡ ---- 135～136
クリ10(デン)スリムコーナーⅢ ---- 137～138
クリ15コーナー ---- 139～140
クリ20コーナー ---- 141～142
チビクリ ---- 143
クリホールダウンⅢ15・20・25 ---- 144
クリホールダウンⅢ30・35 ---- 145
クリホールダウンⅢ40 ---- 146
クリ高耐力ホールダウン68 ---- 147
棟梁羽子板Ⅲ ---- 148
棟梁羽子板Ⅱ ---- 149
万能羽子板Ⅱ ---- 150
ビス止め棟梁羽子板Ⅱ ---- 151
ビス止め万能羽子板Ⅱ ---- 152
棟梁羽子板 ---- 153
万能羽子板 ---- 154
クリ10(デン)プレート ---- 155～156
クリ10(デン)短ざく金物 ---- 157～158
クリビス止め火打金物Ⅱ ---- 159

クリ筋かいストッパーⅢ
KSPⅢ（仕様図・データ）

（単位／mm）





クリ筋かいストッパーⅢ　KSPⅢ

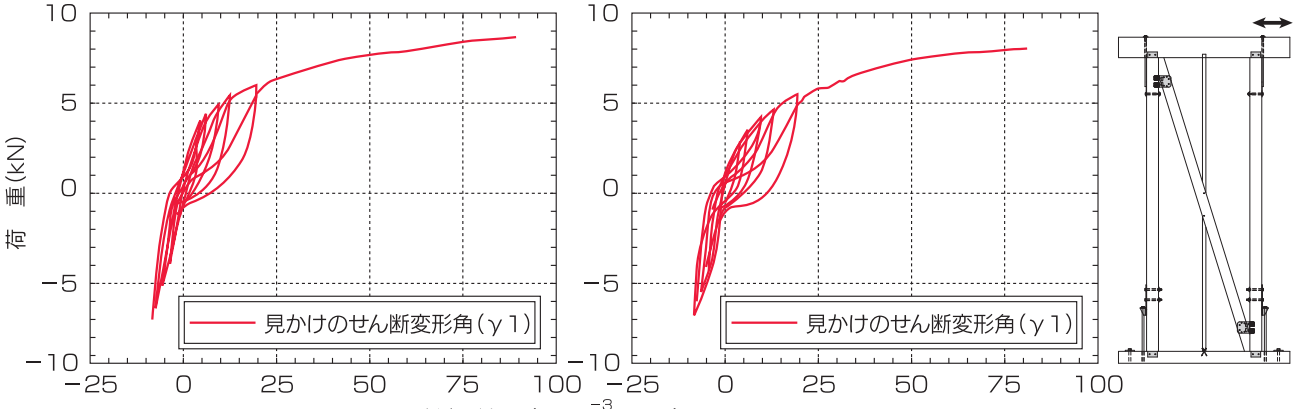
材　　質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表 面 処 理	JIS G 3302 溶融 Z27

使用接合具：四角穴付クリ平頭ビス 5×45

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH18A相当
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

（一財）建材試験センター

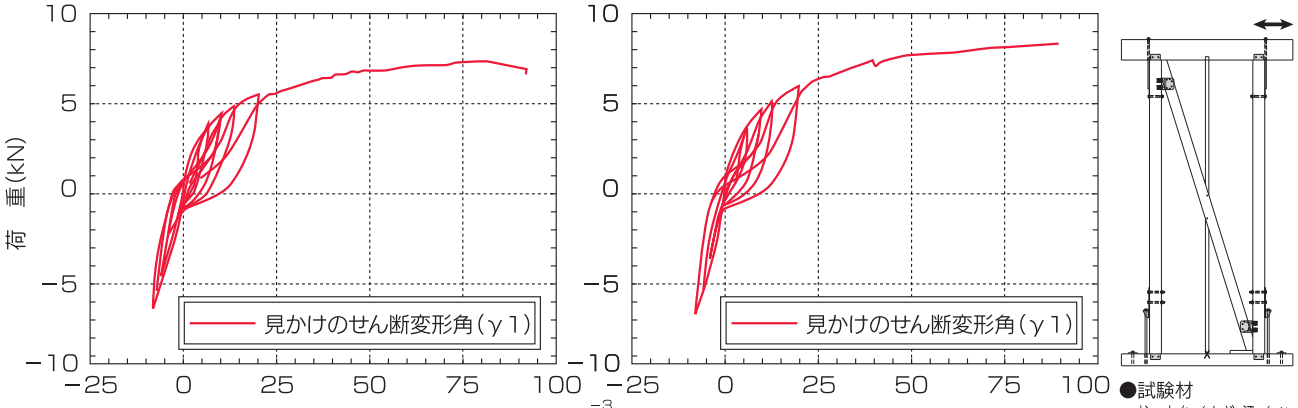
クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢを用いた筋かい入り軸組の面内せん断試験の荷重－せん断変形角曲線



※1kN≒102.0kgf

1mあたりの基準せん断耐力：3.1kN（外使い）　1mあたりの基準せん断耐力：3.3kN（内使い）

クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢを用い床合板30mmを介した筋かい入り軸組の面内せん断試験の荷重－せん断変形角曲線

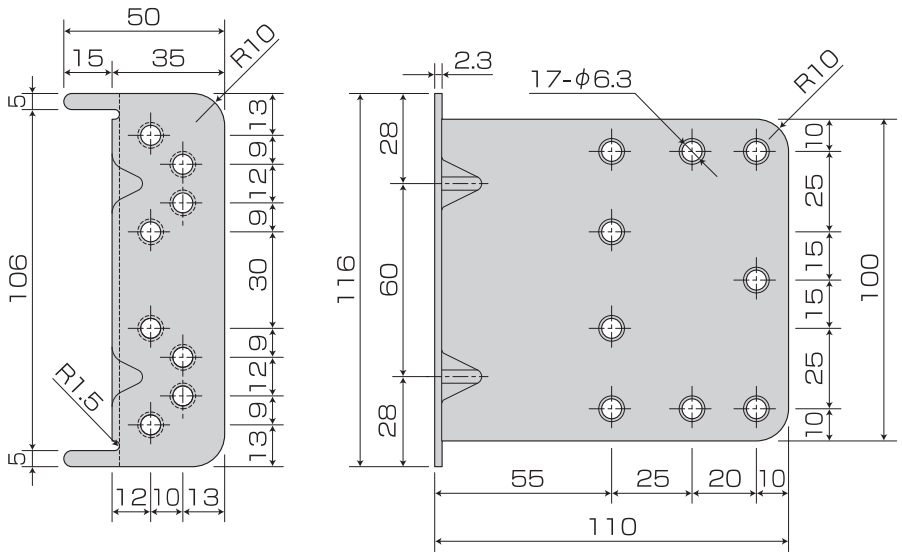


※1kN≒102.0kgf

1mあたりの基準せん断耐力：3.4kN（外使い）　1mあたりの基準せん断耐力：3.4kN（内使い）

●試験材
柱・土台／すぎ、梁／べいまつ
筋かい／べいつが、間柱／すぎ

（単位／mm）



クリ筋かいストッパーⅡ　KSPⅡ

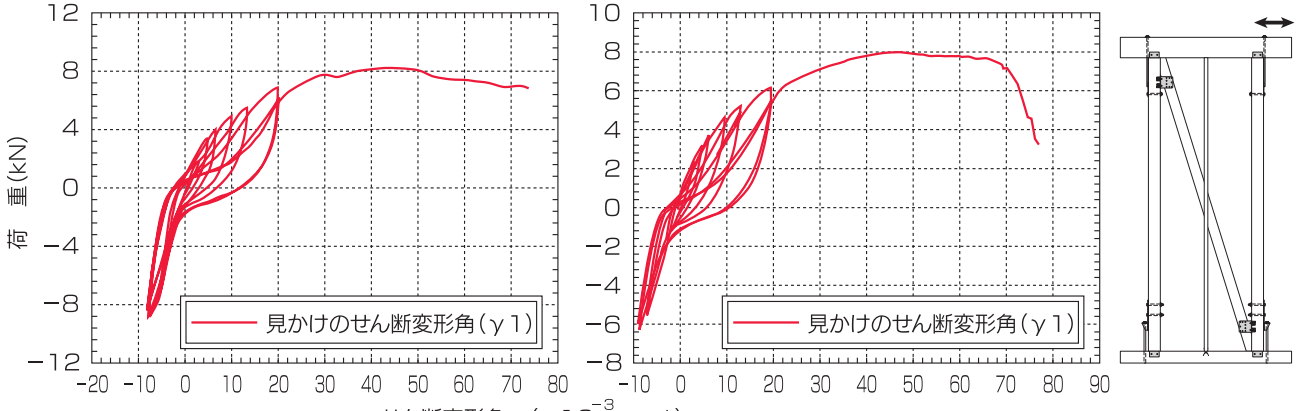
材　　質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表 面 処 理	JIS G 3302 溶融 Z27

使用接合具：四角穴付クリ皿ビス 5.5×45

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH18A相当
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

（一財）建材試験センター

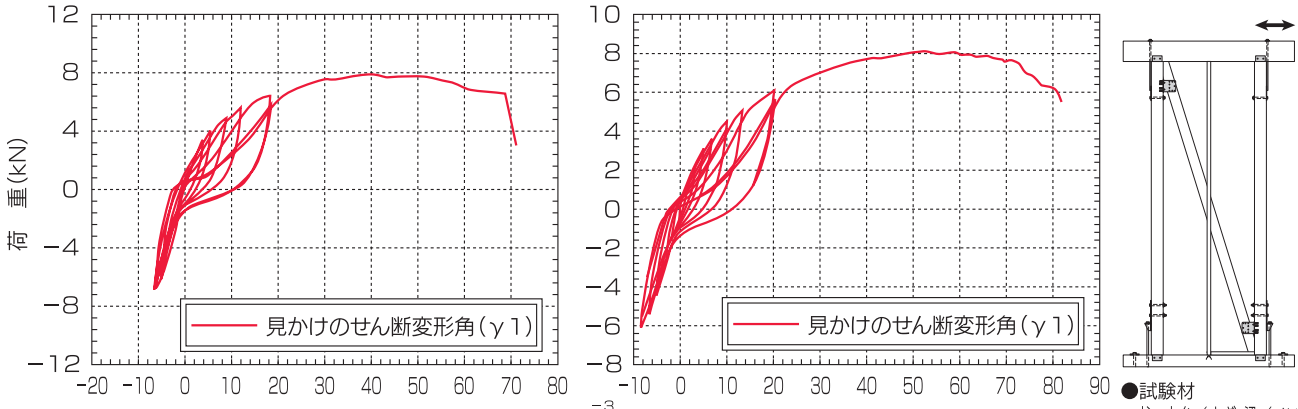
クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ を用いた筋かい入り軸組の面内せん断試験の荷重－せん断変形角曲線



※1kN≒102.0kgf　　せん断変形角γ（×10⁻³rad.）

1mあたりの基準せん断耐力：3.6kN（外使い）　1mあたりの基準せん断耐力：3.5kN（内使い）

クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡを用い床合板28mmを介した筋かい入り軸組の面内せん断試験の荷重－せん断変形角曲線



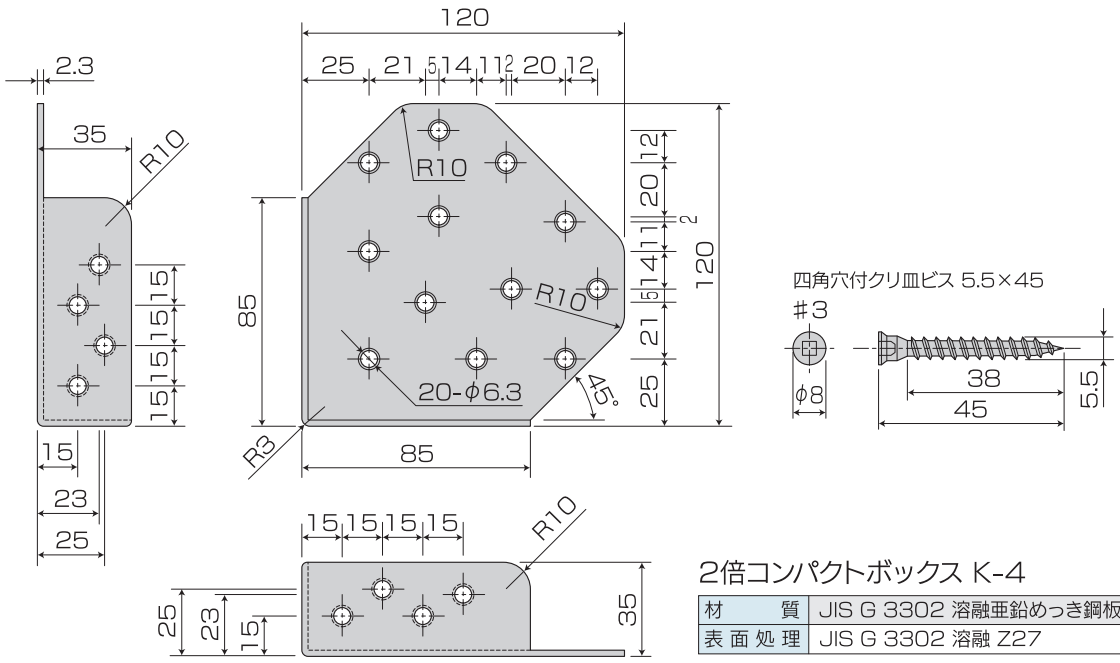
●試験材
柱・土台／すぎ、梁／べいまつ
筋かい／べいつが、間柱／すぎ

※1kN≒102.0kgf　　せん断変形角γ（×10⁻³rad.）

1mあたりの基準せん断耐力：3.7kN（外使い）　1mあたりの基準せん断耐力：3.6kN（内使い）

2倍コンパクトボックス
K-4（仕様図・データ）

（単位／mm）



2倍コンパクトボックス K-4

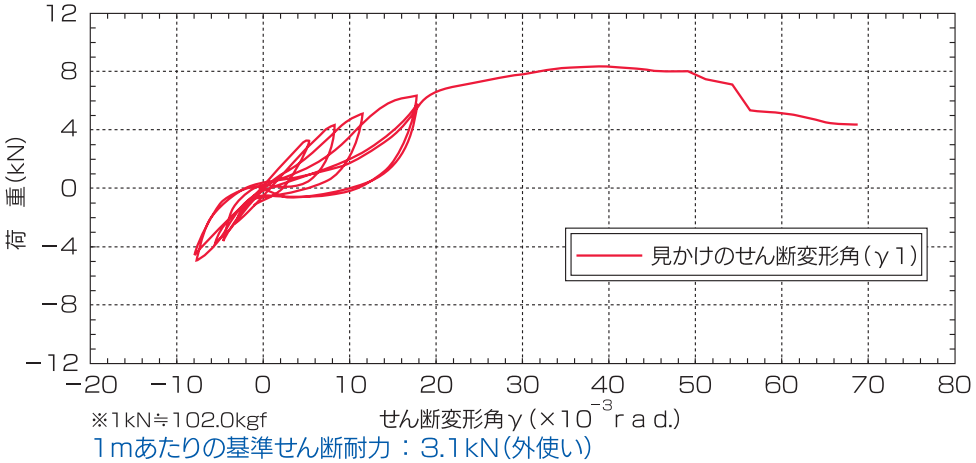
材　　質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表 面 処 理	JIS G 3302 溶融 Z27

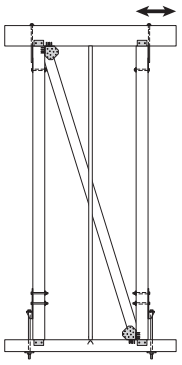
使用接合具：四角穴付クリ皿ビス 5.5×45

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH18A相当
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

（一財）建材試験センター

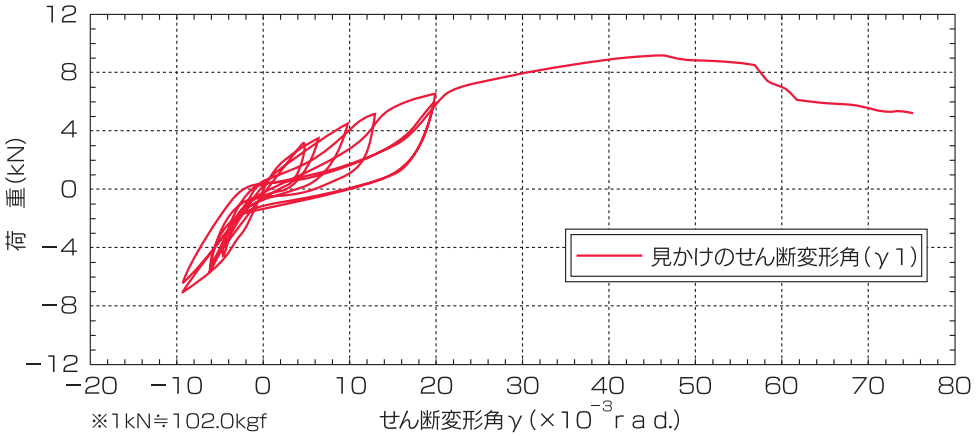
2倍コンパクトボックス K-4を用いた筋かい入り軸組の面内せん断試験の荷重－せん断変形角曲線

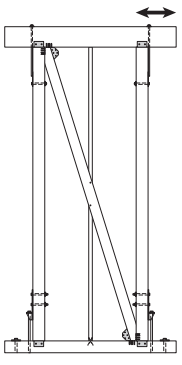




1mあたりの基準せん断耐力：3.1kN（外使い）

2倍コンパクトボックス K-4（内使い時）を用いた筋かい入り軸組の面内せん断試験の荷重－せん断変形角曲線

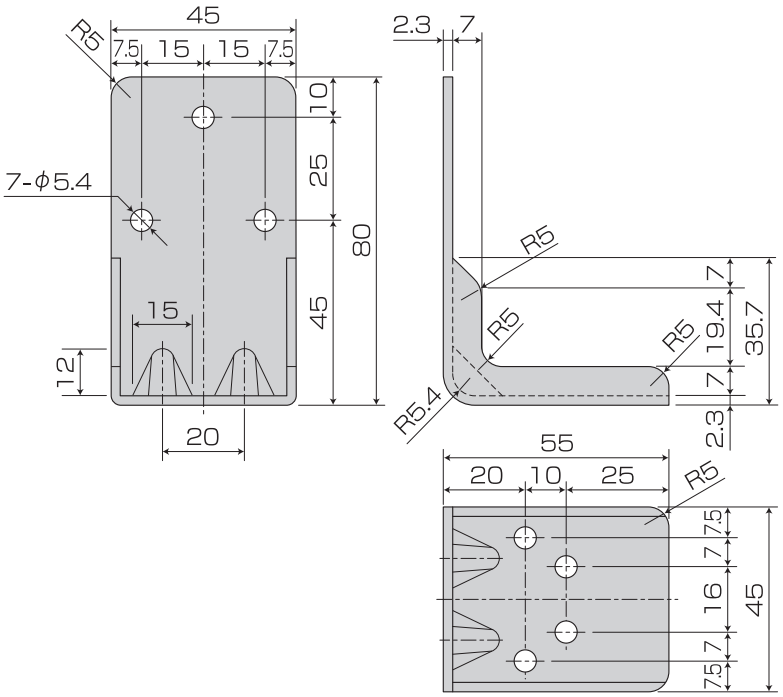


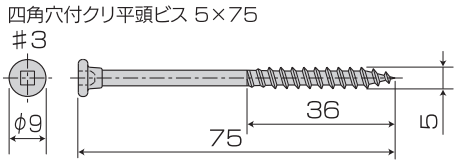


●試験材：柱・土台／すぎ、梁／べいまつ
筋かい／べいつが、間柱／すぎ

1mあたりの基準せん断耐力：3.5kN（内使い）

(単位／mm)





クリコーナーⅢ⁺ KCNⅢ⁺

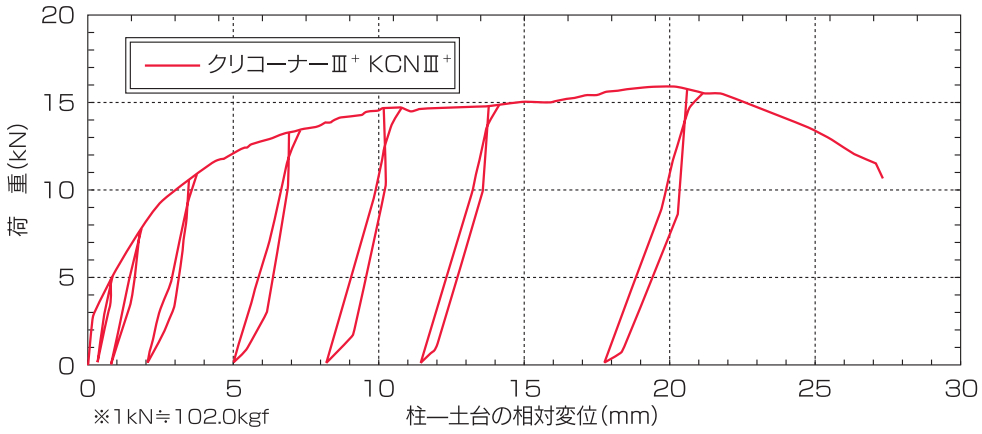
材　　質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表 面 処 理	JIS G 3302 溶融 Z27

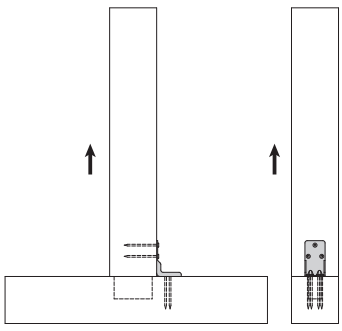
使用接合具：四角穴付クリ平頭ビス 5×75

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH18A相当
表 面 処 理	ラスパート

(一財)建材試験センター

クリコーナーⅢ⁺ KCNⅢ⁺の引張試験の荷重－相対変位曲線

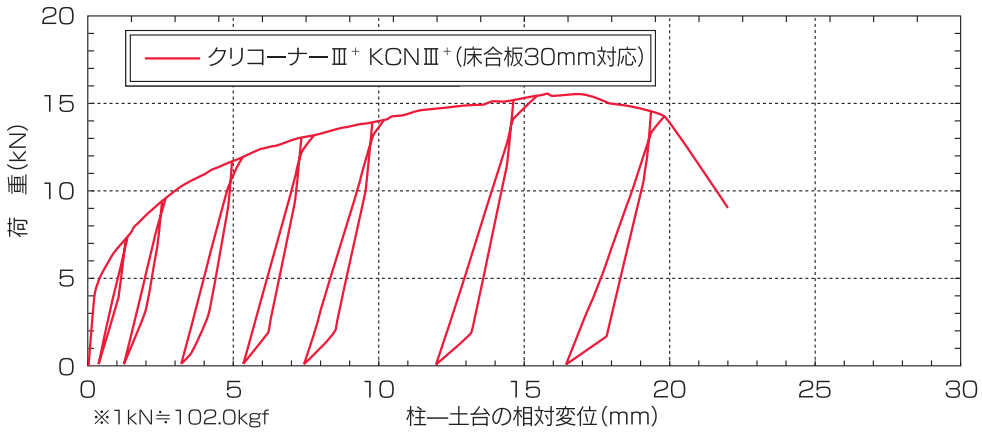


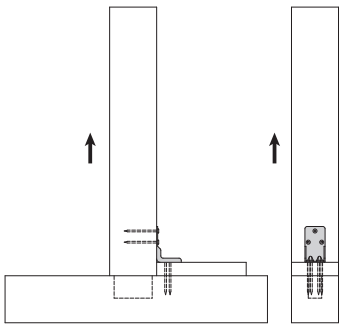


●試験材：すぎ

短期基準引張耐力：8.0kN

クリコーナーⅢ⁺ KCNⅢ⁺の床合板30mmを介した引張試験の荷重－相対変位曲線



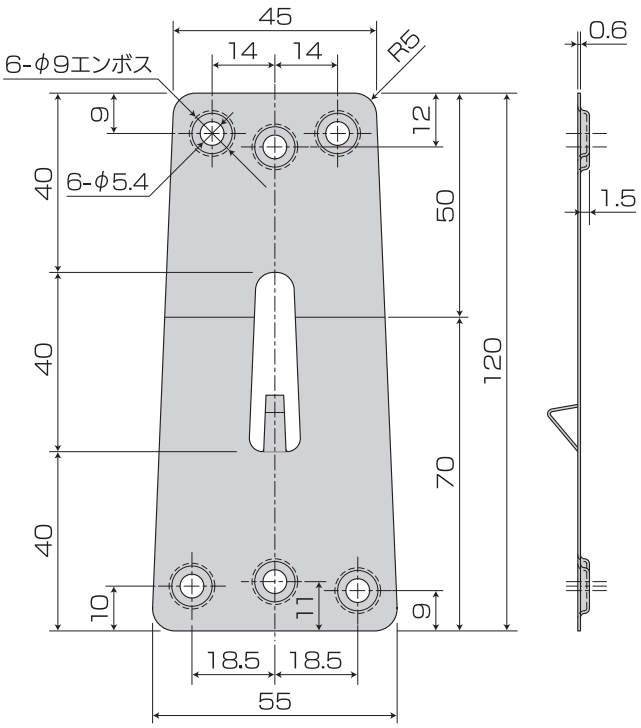


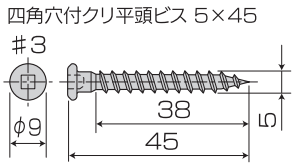
●試験材：すぎ

短期基準引張耐力：7.4kN

クリビスプレート
KBPL（仕様図・データ）

（単位／mm）





クリビスプレート KBPL

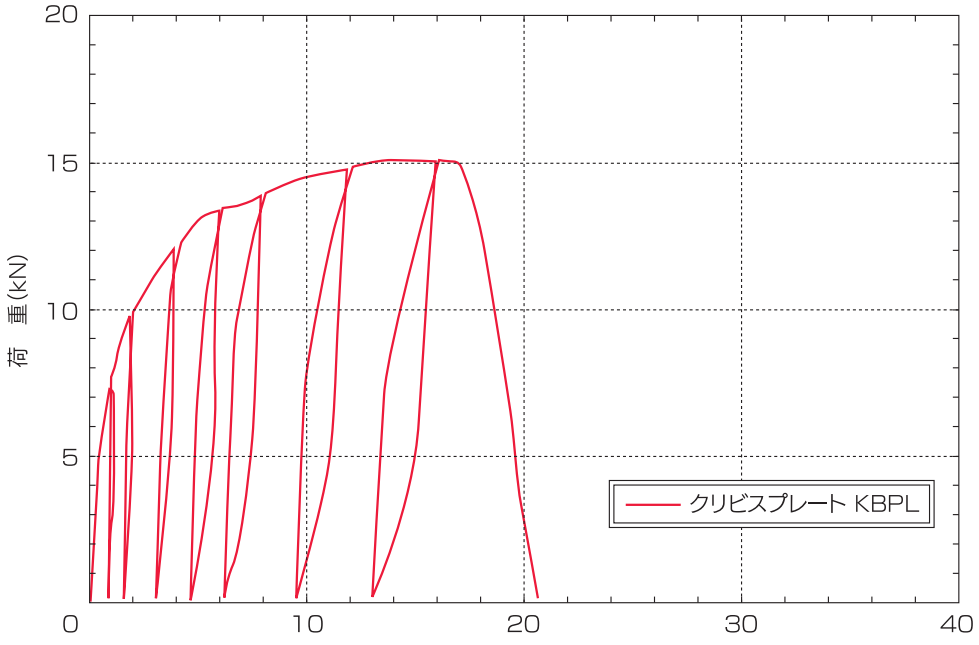
材　　質	引張強さ400N/mm²以上の鋼板
表 面 処 理	JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2同等以上の防錆処理

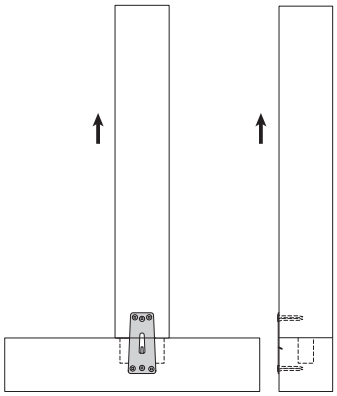
使用接合具：四角穴付クリ平頭ビス 5×45

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH18A相当
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

（一財）建材試験センター

クリビスプレート KBPLの引張試験の荷重－相対変位曲線



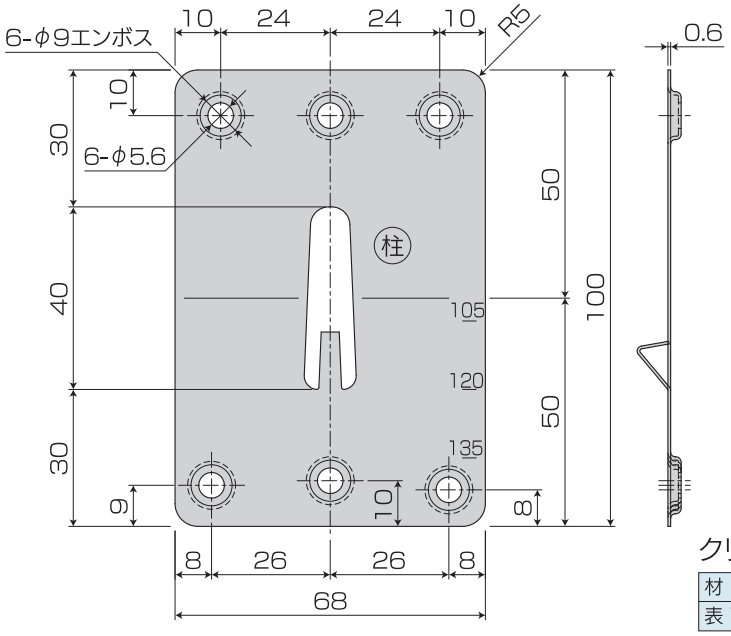


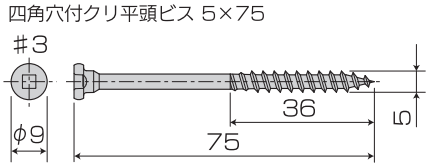
●試験材：すぎ

※1kN≒102.0kgf　　柱―土台の相対変位（mm）

短期基準引張耐力：6.8kN

（単位／mm）





クリビスプレートⅡ（壁合板9mm対応）KBPLⅡG9

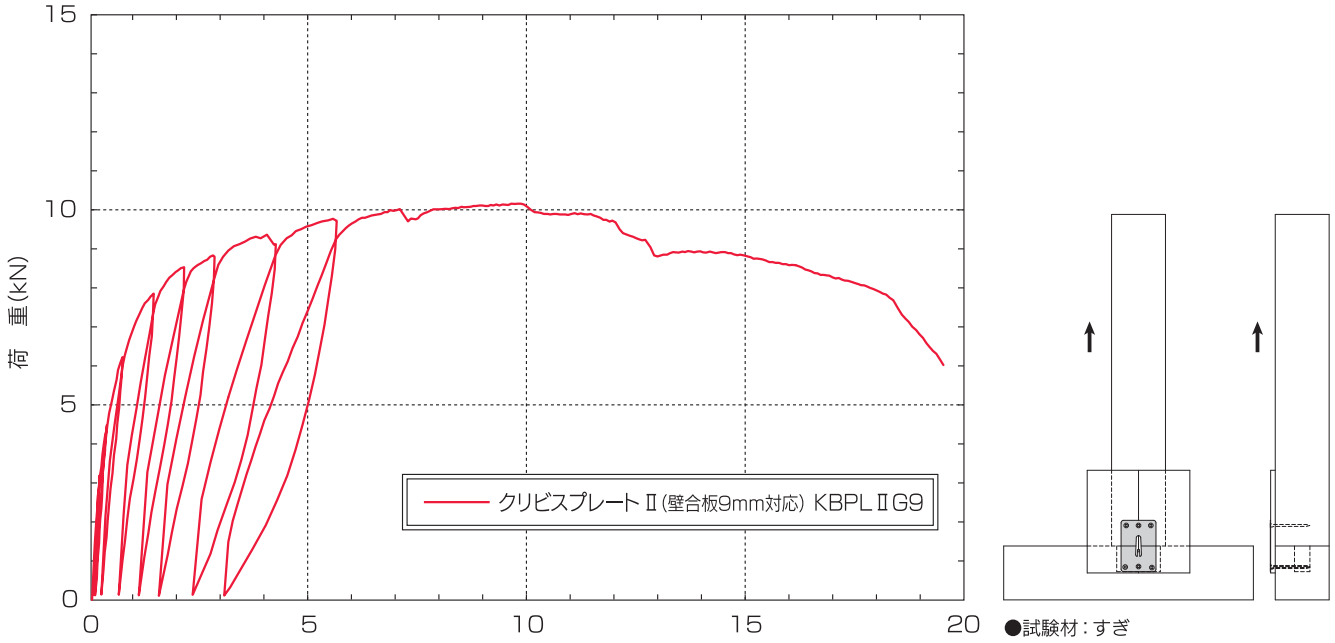
材　　質	引張強さ400N/mm²以上の鋼板
表 面 処 理	JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2同等以上の防錆処理

使用接合具：四角穴付クリ平頭ビス 5×75

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH18A相当
表 面 処 理	ラスパート

ハウスプラス確認検査（株）

クリビスプレートⅡ（壁合板9mm対応）KBPLⅡG9の引張試験の荷重－相対変位曲線

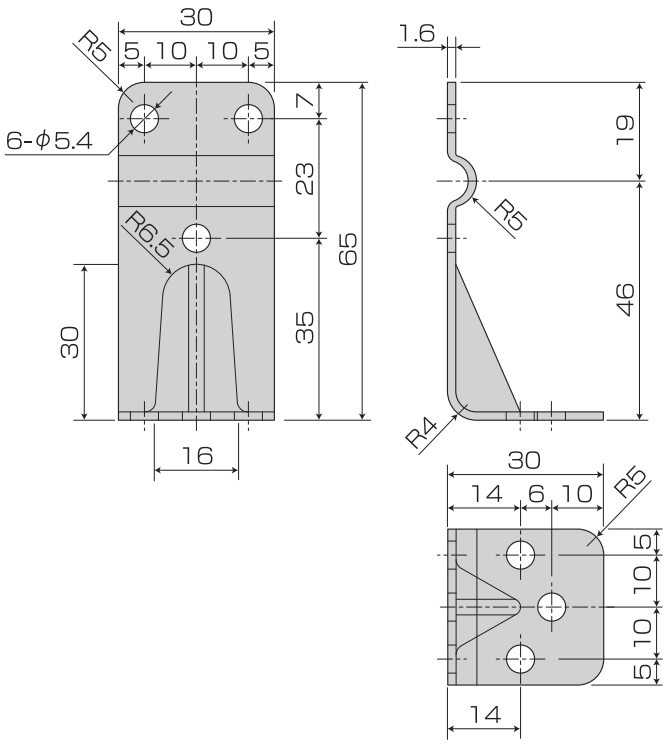


※1kN≒102.0kgf　　柱—土台の相対変位（mm）

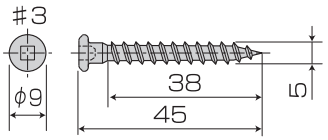
短期基準引張耐力：5.3kN

チビクリII
CKII（仕様図・データ）

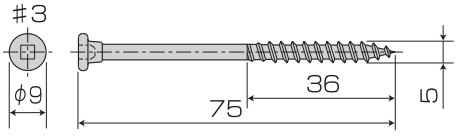
（単位／mm）



四角穴付クリ平頭ビス 5×45



四角穴付クリ平頭ビス 5×75



チビクリII CKII

材　　質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表 面 処 理	JIS G 3302 溶融 Z27

使用接合具：四角穴付クリ平頭ビス 5×45

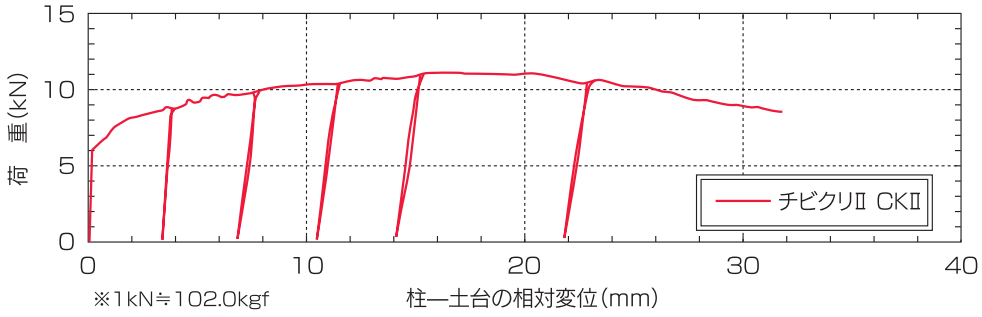
材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH18A相当
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

使用接合具：四角穴付クリ平頭ビス 5×75

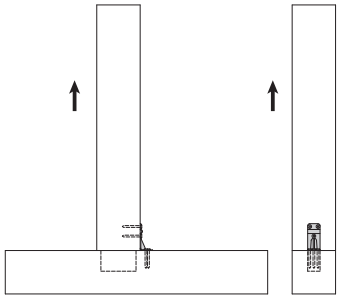
材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH18A相当
表 面 処 理	ラスパート

(一財)建材試験センター

チビクリⅡ CKⅡの引張試験の荷重－相対変位曲線(中柱型)

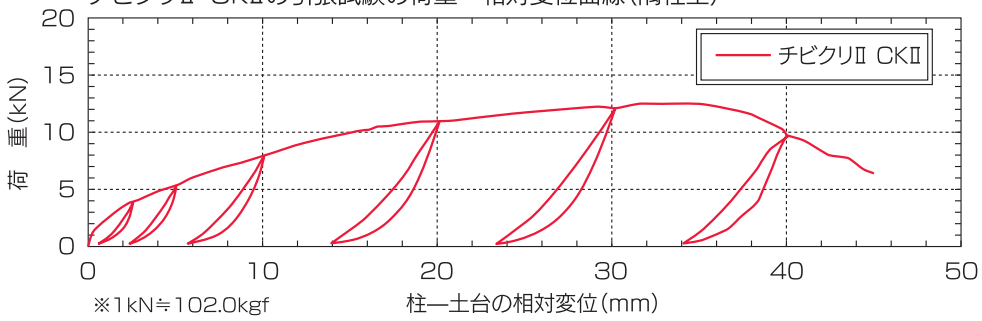


短期基準引張耐力：5.3kN

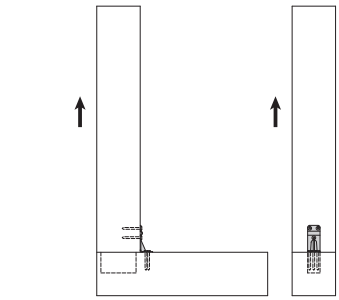


●試験材：すぎ

チビクリⅡ CKⅡの引張試験の荷重－相対変位曲線(隅柱型)

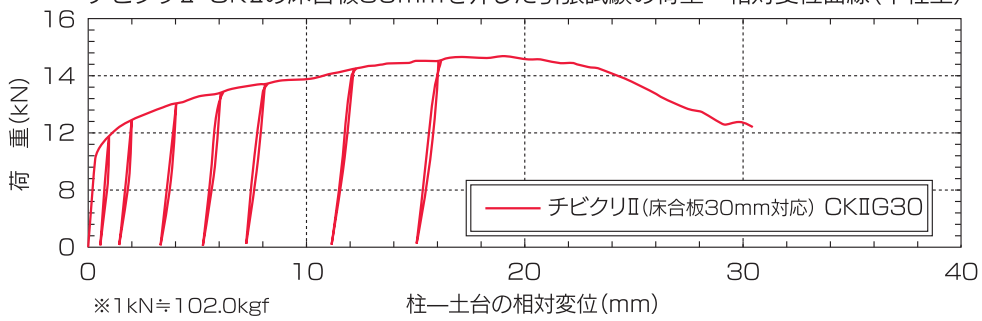


短期基準引張耐力：5.4kN

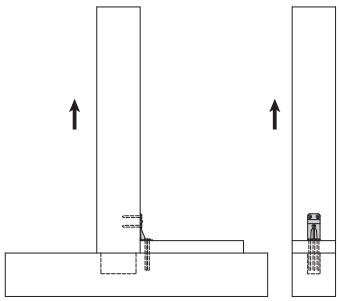


●試験材：すぎ

チビクリⅡ CKⅡの床合板30mmを介した引張試験の荷重－相対変位曲線(中柱型)

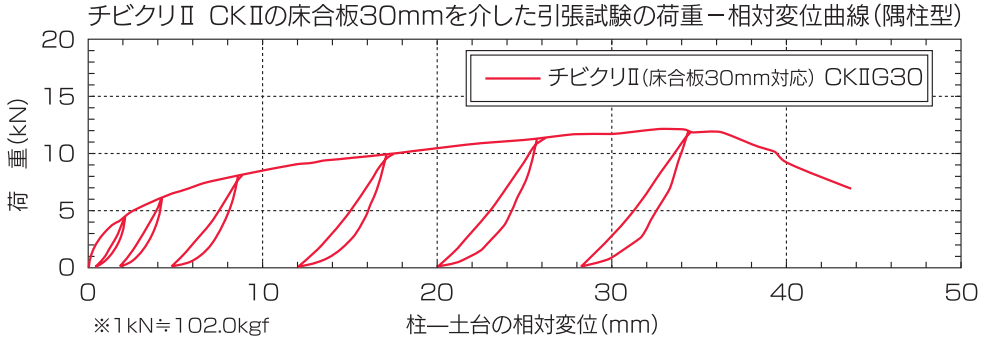


短期基準引張耐力：6.9kN

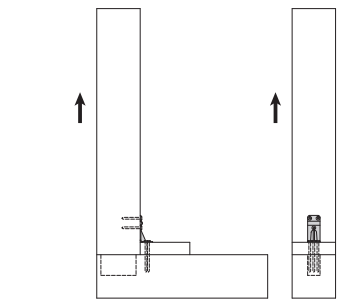


●試験材：すぎ

チビクリⅡ CKⅡの床合板30mmを介した引張試験の荷重－相対変位曲線(隅柱型)

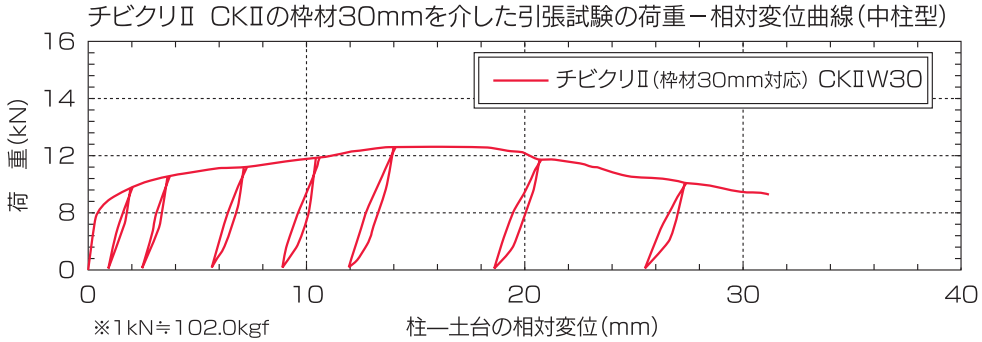


短期基準引張耐力：5.4kN

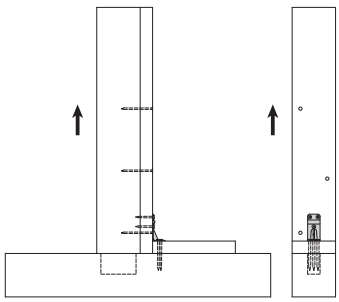


●試験材：すぎ

チビクリⅡ CKⅡの枠材30mmを介した引張試験の荷重－相対変位曲線(中柱型)



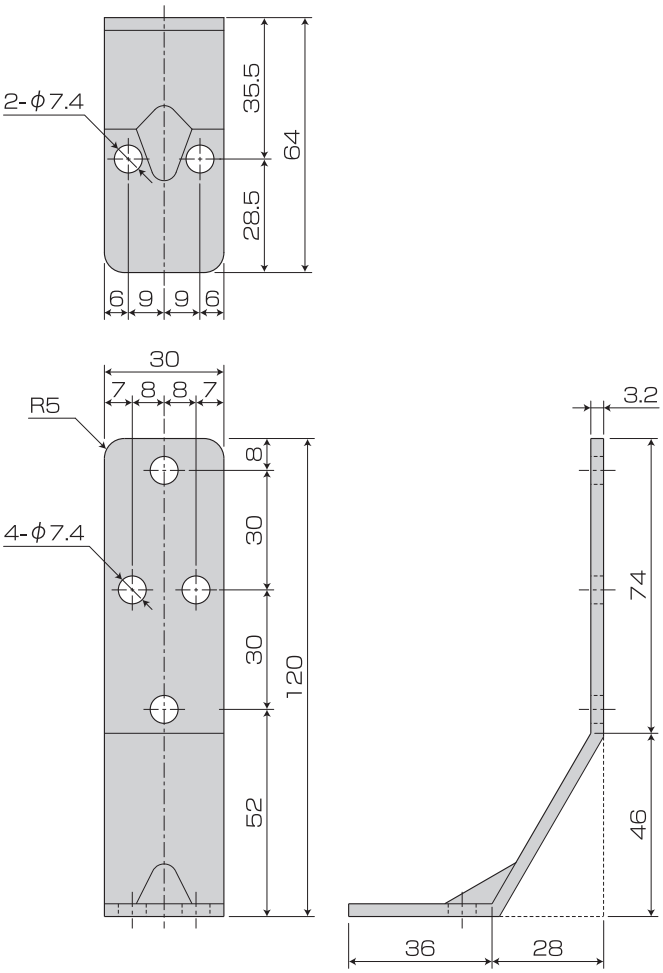
短期基準引張耐力：6.2kN

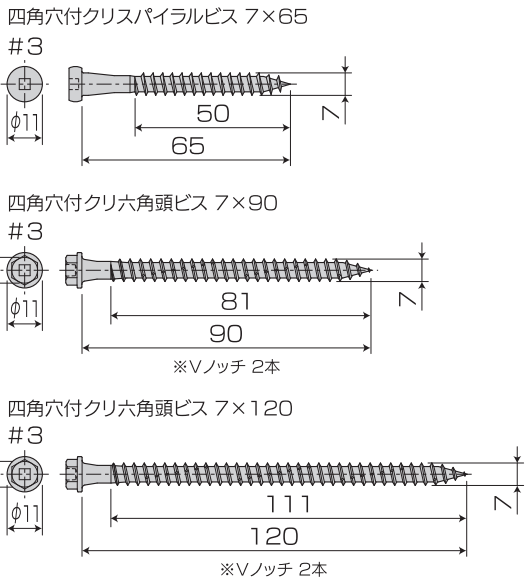


●試験材：すぎ

クリ10スリムコーナーⅢ K10SⅢ（仕様図・データ）

（単位／mm）





クリ10スリムコーナーⅢ K10SⅢ

材　　質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表 面 処 理	JIS G 3302 溶融 Z27

使用接合具：四角穴付クリスパイラルビス 7×65

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	ダクロタイズド

使用接合具：四角穴付クリ六角頭ビス 7×90

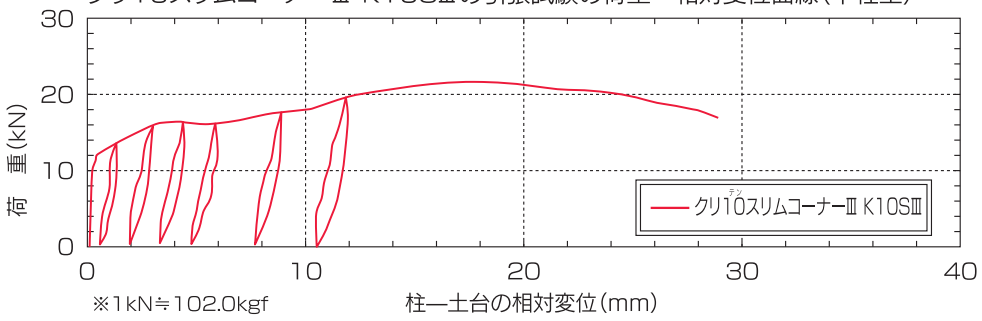
材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	ラスパート

使用接合具：四角穴付クリ六角頭ビス 7×120

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	ラスパート

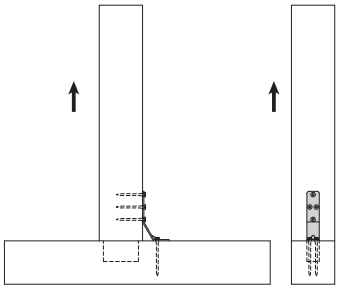
ハウスプラス確認検査(株)

クリ10スリムコーナーⅢ K10SⅢの引張試験の荷重－相対変位曲線(中柱型)



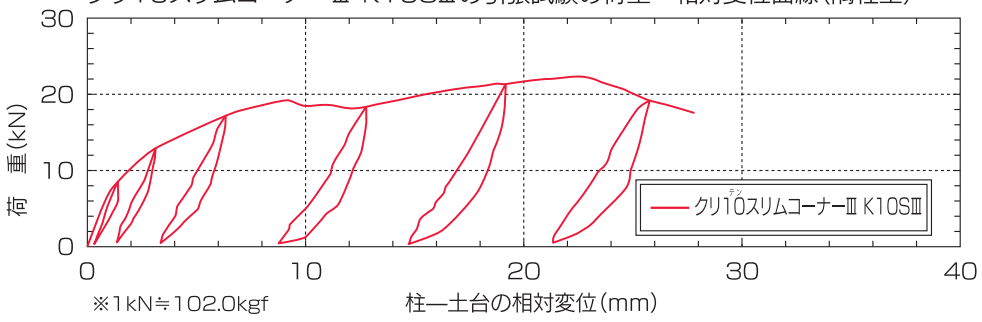
※1kN≒102.0kgf　　柱—土台の相対変位(mm)

短期基準引張耐力 ： 12.6kN



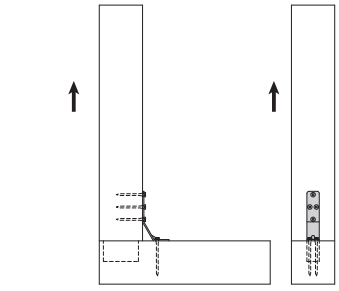
●試験材：すぎ

クリ10スリムコーナーⅢ K10SⅢの引張試験の荷重－相対変位曲線(隅柱型)



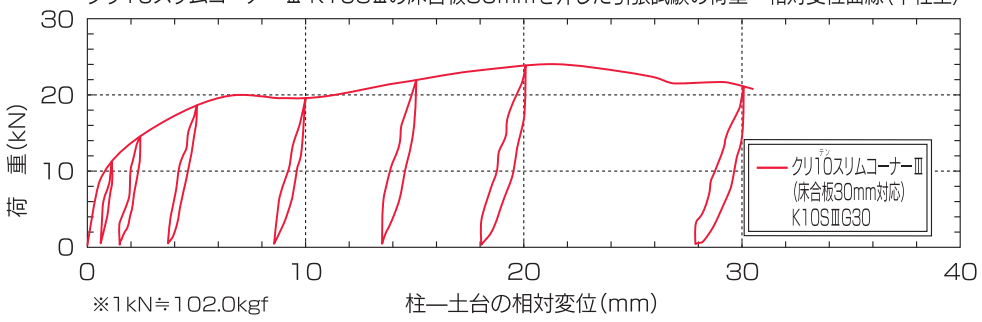
※1kN≒102.0kgf　　柱—土台の相対変位(mm)

短期基準引張耐力 ： 11.6kN



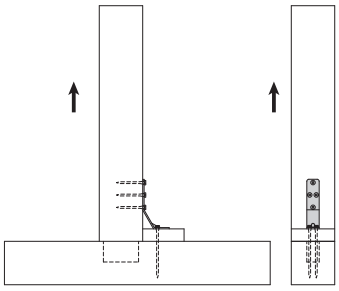
●試験材：すぎ

クリ10スリムコーナーⅢ K10SⅢの床合板30mmを介した引張試験の荷重－相対変位曲線(中柱型)



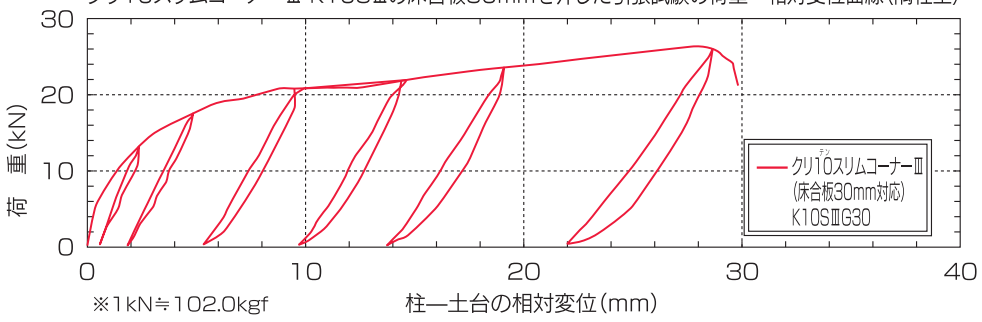
※1kN≒102.0kgf　　柱—土台の相対変位(mm)

短期基準引張耐力 ： 12.5kN



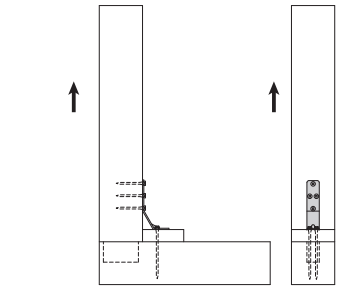
●試験材：すぎ

クリ10スリムコーナーⅢ K10SⅢの床合板30mmを介した引張試験の荷重－相対変位曲線(隅柱型)



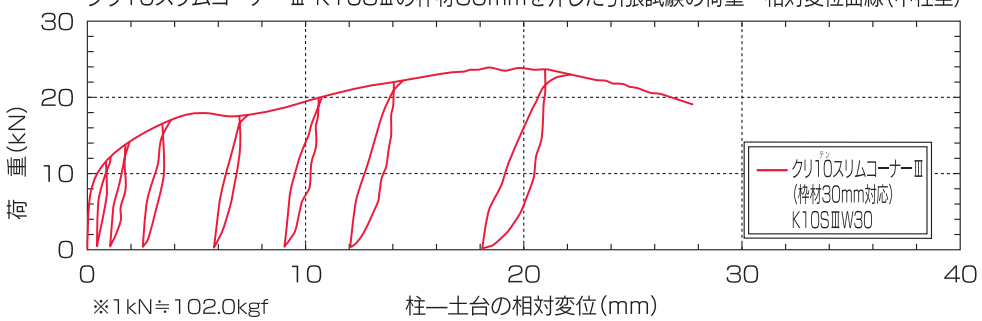
※1kN≒102.0kgf　　柱—土台の相対変位(mm)

短期基準引張耐力 ： 11.5kN



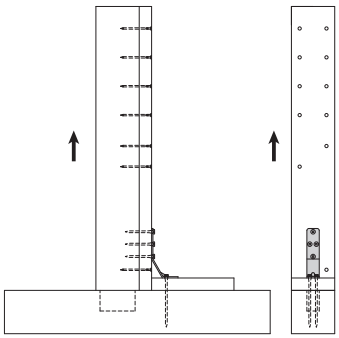
●試験材：すぎ

クリ10スリムコーナーⅢ K10SⅢの枠材30mmを介した引張試験の荷重－相対変位曲線(中柱型)



※1kN≒102.0kgf　　柱—土台の相対変位(mm)

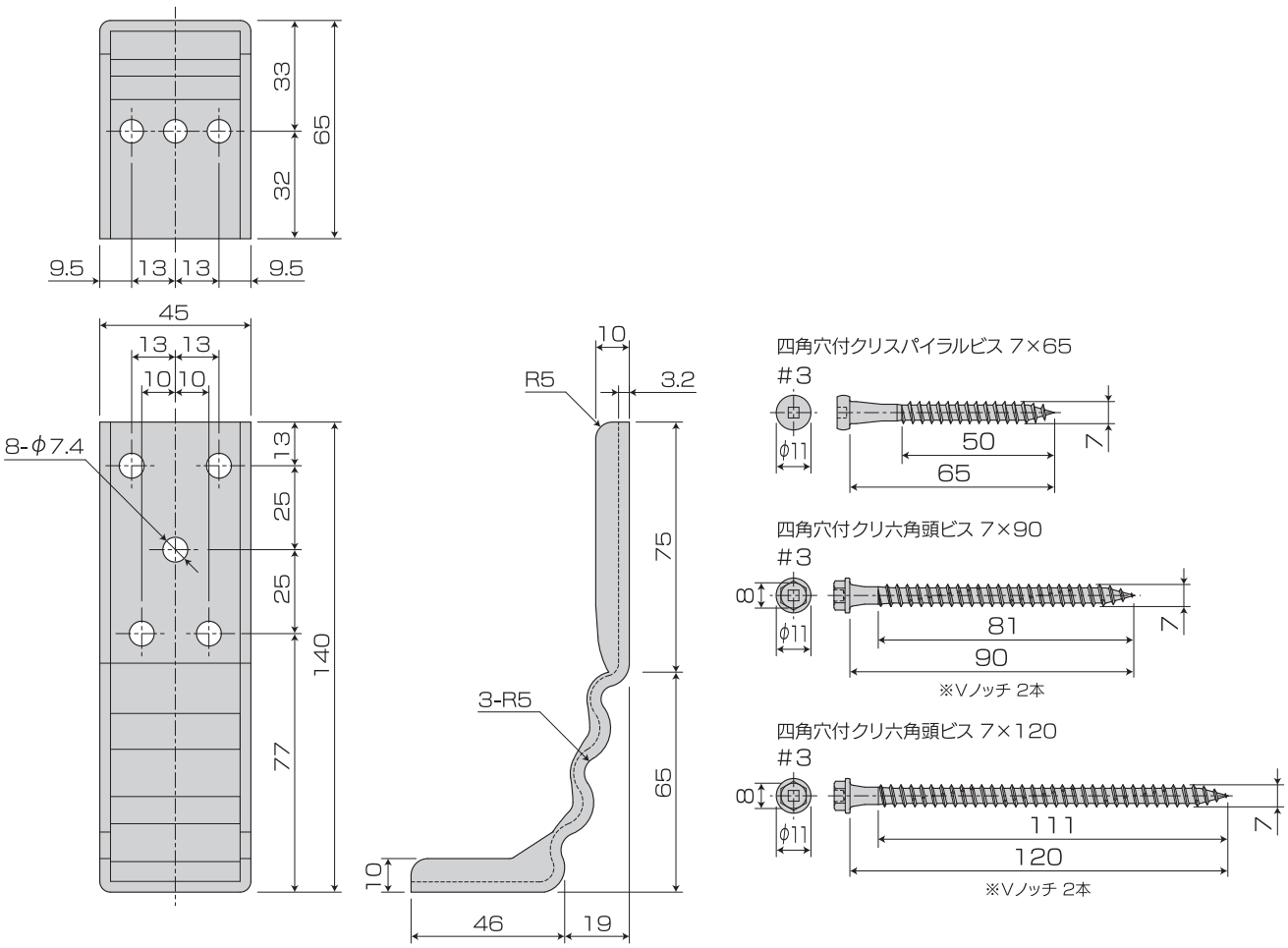
短期基準引張耐力 ： 11.8kN



●試験材：すぎ

クリ15コーナー
K15（仕様図・データ）

（単位／mm）



クリ15コーナー K15

材　　質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表 面 処 理	JIS G 3302 溶融 Z27

使用接合具：四角穴付クリスパイラルビス 7×65

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	ダクロタイズド

使用接合具：四角穴付クリ六角頭ビス 7×90

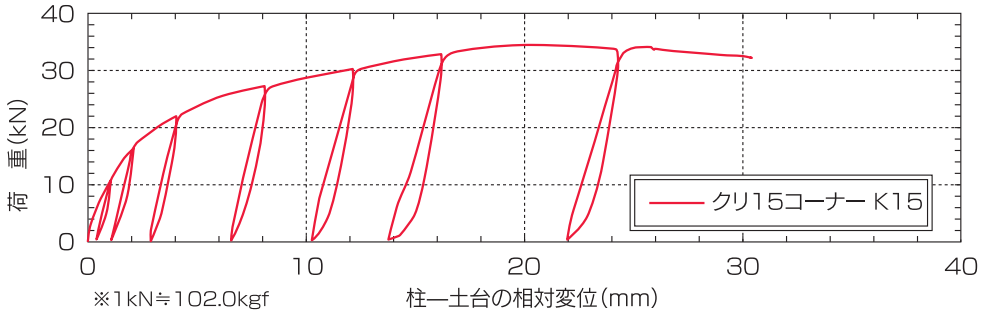
材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	ラスパート

使用接合具：四角穴付クリ六角頭ビス 7×120

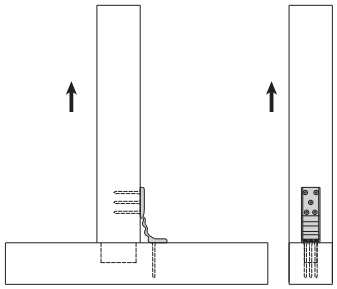
材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	ラスパート

ハウスプラス確認検査(株)

クリ15コーナー K15の引張試験の荷重－相対変位曲線(中柱型)

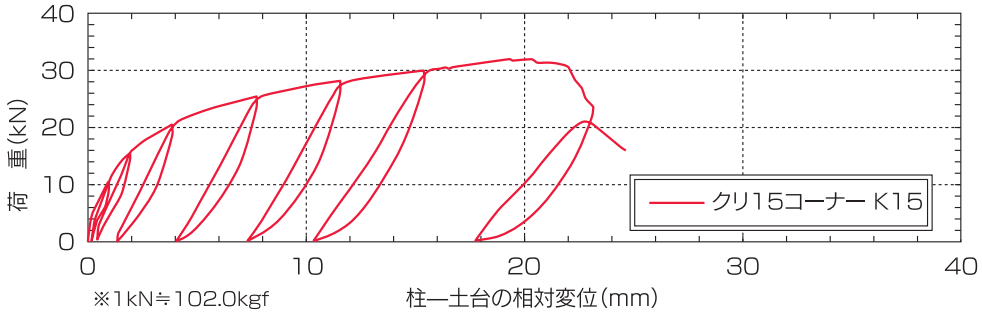


短期基準引張耐力 ： 17.8kN

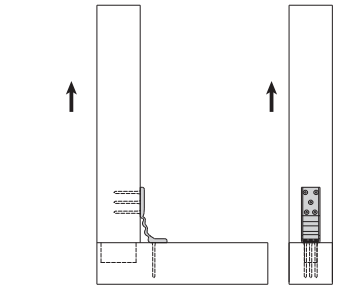


●試験材：すぎ

クリ15コーナー K15の引張試験の荷重－相対変位曲線(隅柱型)

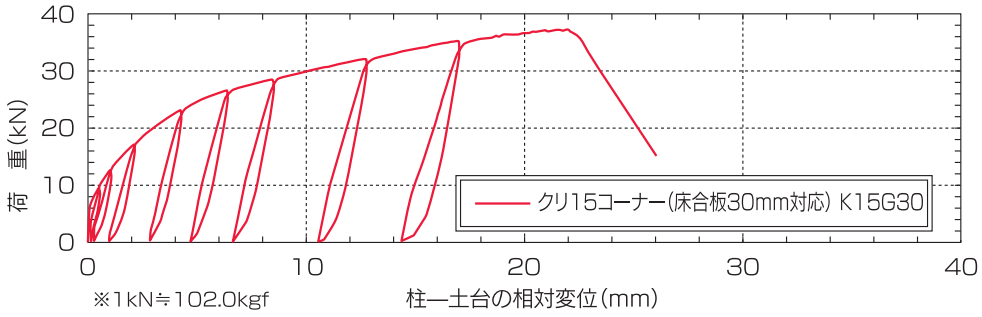


短期基準引張耐力 ： 16.6kN

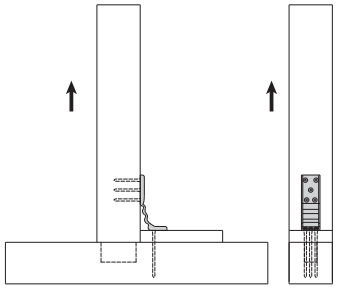


●試験材：すぎ

クリ15コーナー K15の床合板30mmを介した引張試験の荷重－相対変位曲線(中柱型)

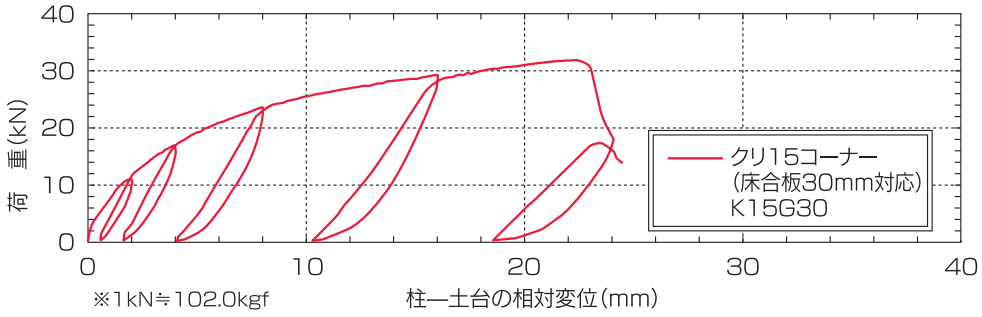


短期基準引張耐力 ： 15.6kN

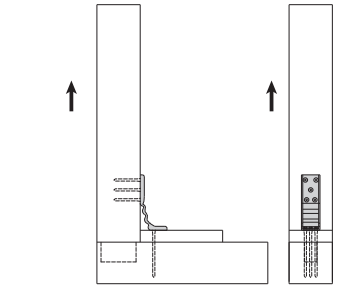


●試験材：すぎ

クリ15コーナー K15の床合板30mmを介した引張試験の荷重－相対変位曲線(隅柱型)

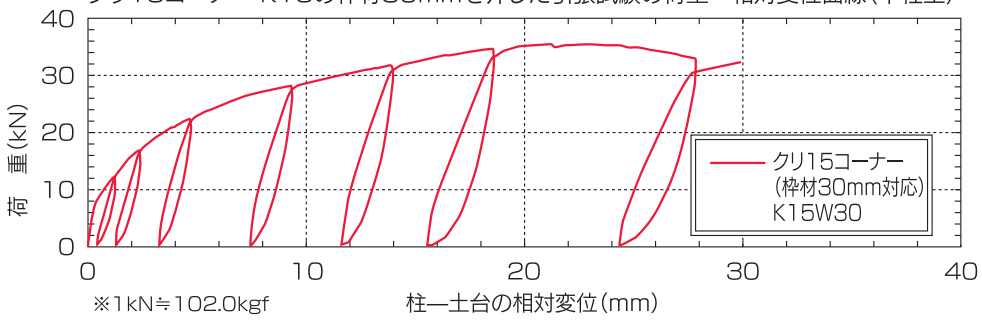


短期基準引張耐力 ： 17.3kN

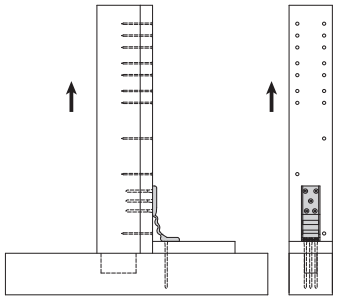


●試験材：すぎ

クリ15コーナー K15の枠材30mmを介した引張試験の荷重－相対変位曲線(中柱型)



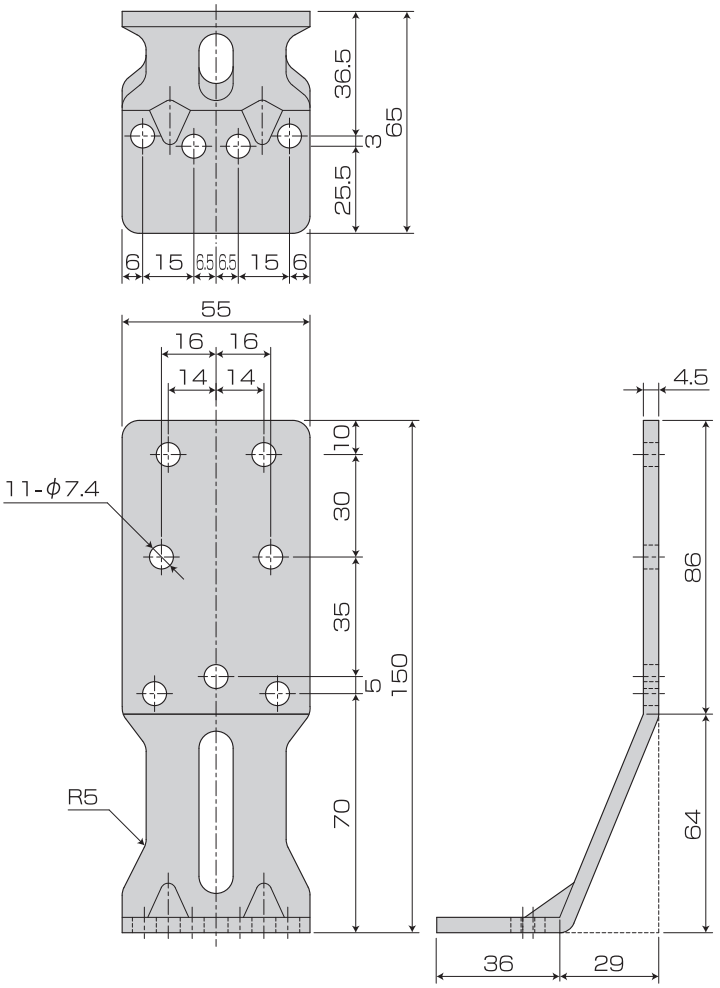
短期基準引張耐力 ： 16.9kN

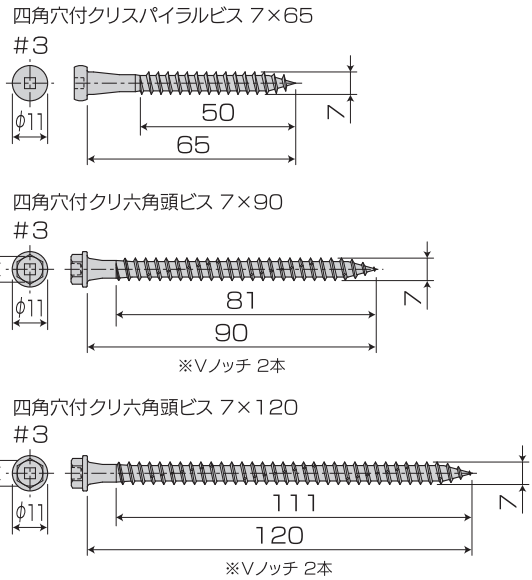


●試験材：すぎ

クリ20コーナー
K20（仕様図・データ）

（単位／mm）





クリ20コーナー K20

材　　質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表 面 処 理	JIS G 3302 溶融 Z27

使用接合具：四角穴付クリスパイラルビス 7×65

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	ダクロタイズド

使用接合具：四角穴付クリ六角頭ビス 7×90

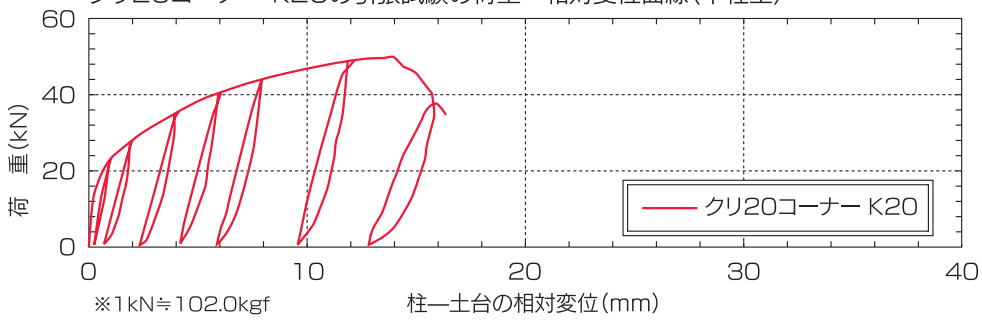
材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	ラスパート

使用接合具：四角穴付クリ六角頭ビス 7×120

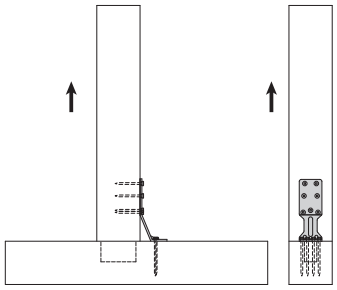
材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	ラスパート

ハウスプラス確認検査(株)

クリ20コーナー K20の引張試験の荷重－相対変位曲線(中柱型)

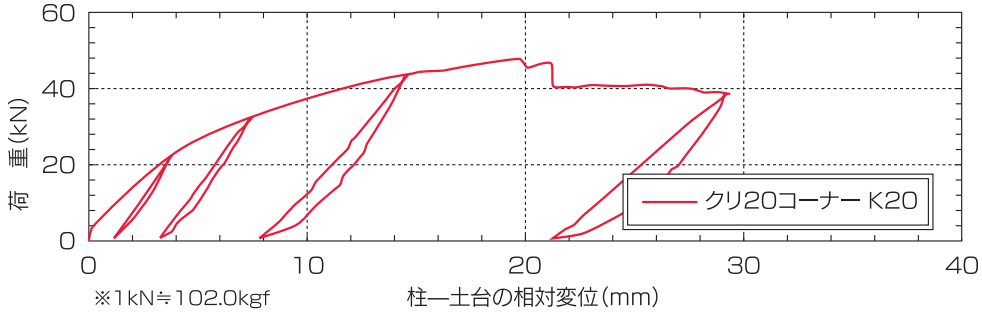


短期基準引張耐力：20.0kN

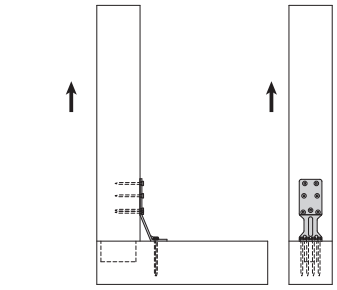


●試験材：すぎ

クリ20コーナー K20の引張試験の荷重－相対変位曲線(隅柱型)

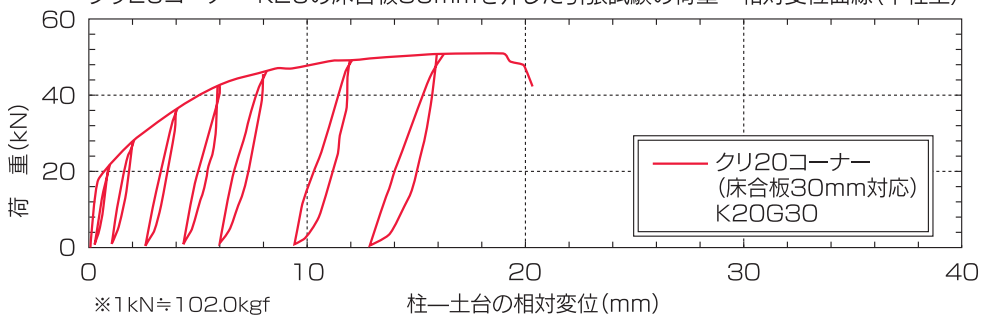


短期基準引張耐力：20.0kN

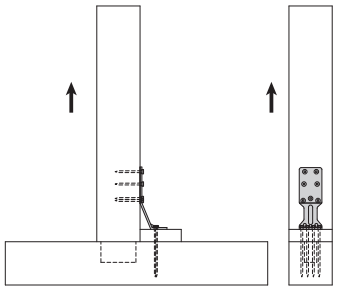


●試験材：すぎ

クリ20コーナー K20の床合板30mmを介した引張試験の荷重－相対変位曲線(中柱型)

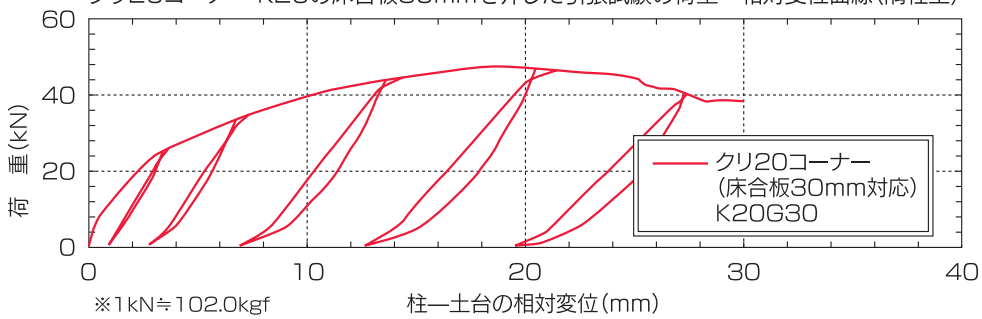


短期基準引張耐力：23.0kN

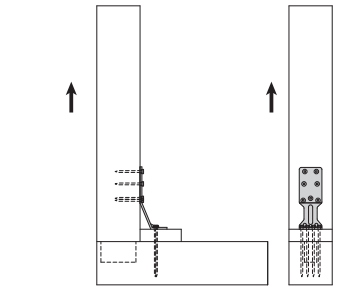


●試験材：すぎ

クリ20コーナー K20の床合板30mmを介した引張試験の荷重－相対変位曲線(隅柱型)

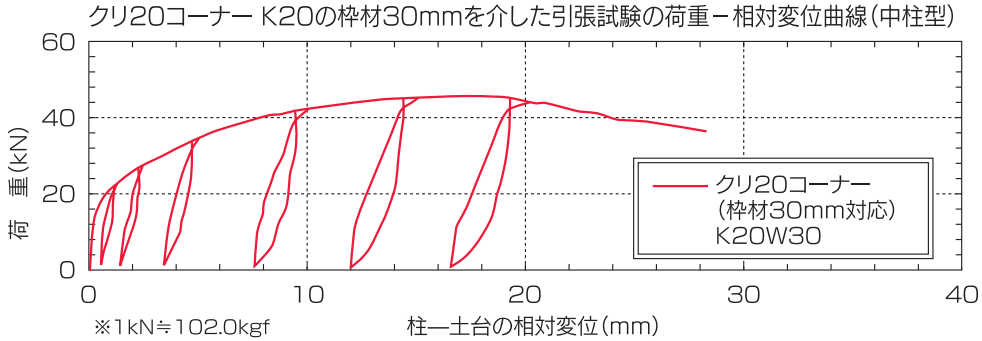


短期基準引張耐力：22.6kN

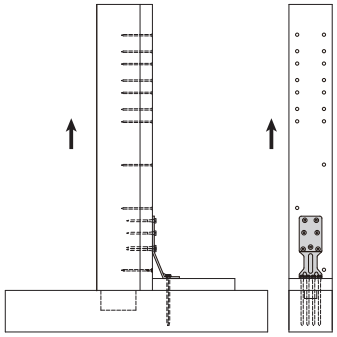


●試験材：すぎ

クリ20コーナー K20の枠材30mmを介した引張試験の荷重－相対変位曲線(中柱型)

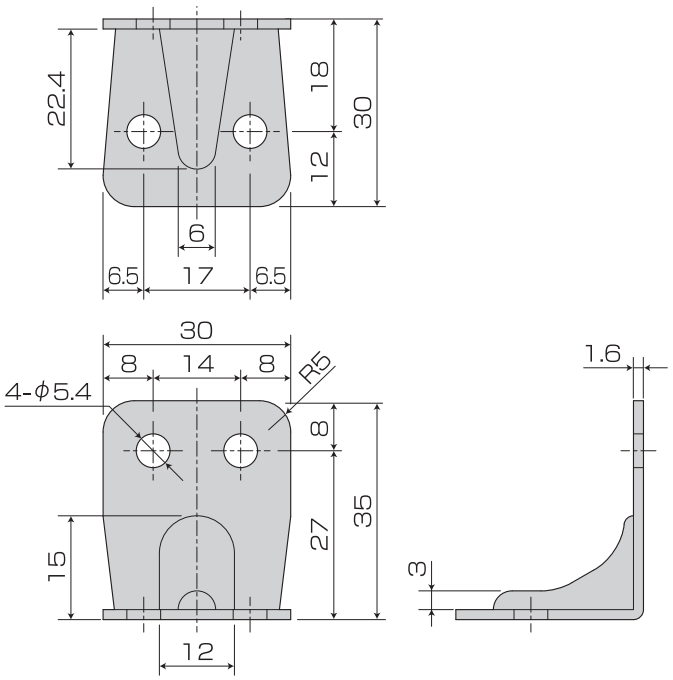


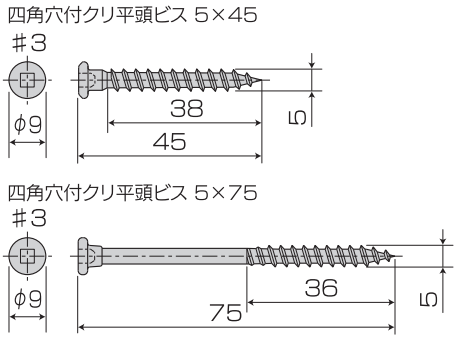
短期基準引張耐力：20.1kN



●試験材：すぎ

（単位／mm）





チビクリ CK

材　　質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC相当
表 面 処 理	JIS G 3302 溶融 Z27

使用接合具：四角穴付クリ平頭ビス 5×45

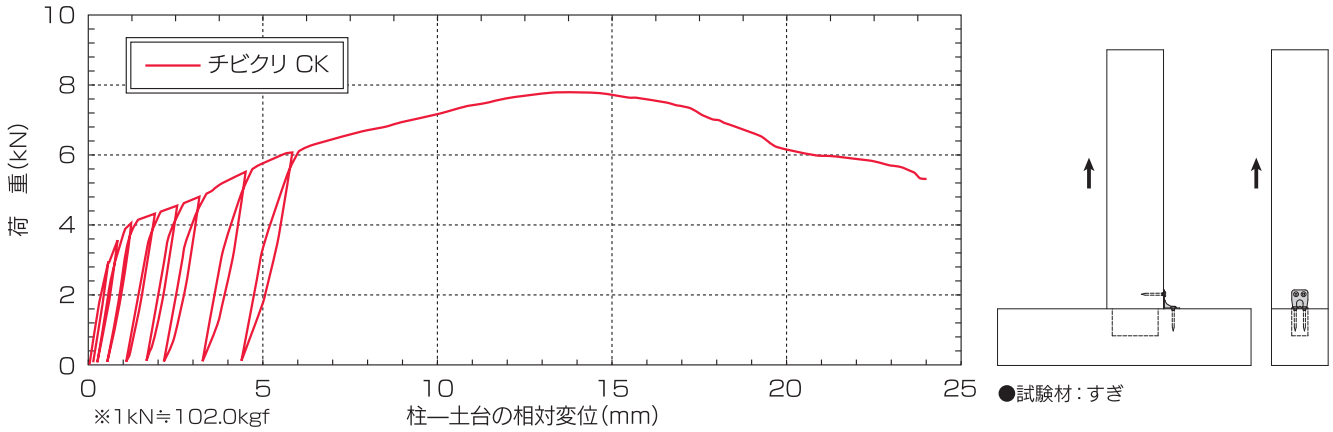
材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH18A相当
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

使用接合具：四角穴付クリ平頭ビス 5×75

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH18A相当
表 面 処 理	ラスパート

（一財）建材試験センター

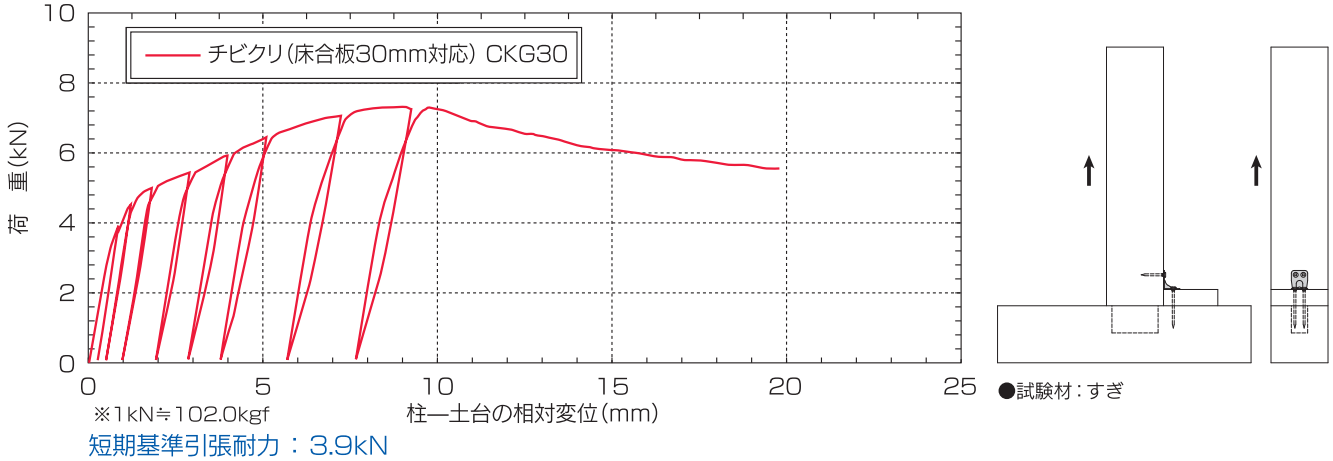
チビクリ CKの引張試験の荷重－相対変位曲線



●試験材：すぎ

短期基準引張耐力：3.6kN

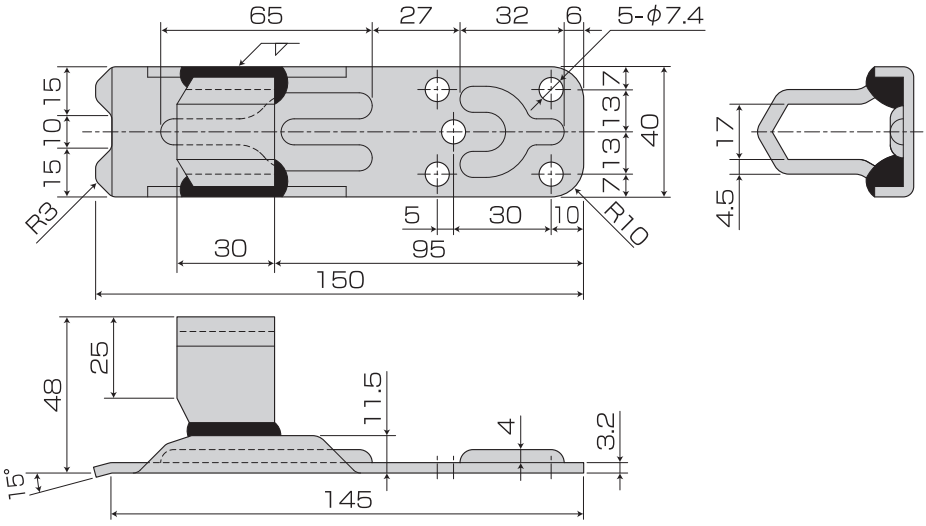
チビクリ CKの床合板30mmを介した引張試験の荷重－相対変位曲線



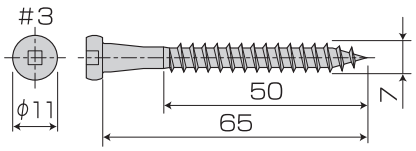
●試験材：すぎ

短期基準引張耐力：3.9kN

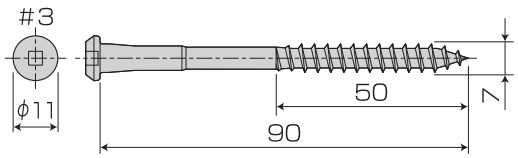
(単位／mm)



四角穴付クリスパイラルビス 7×65



四角穴付クリ鍋ビス 7×90(S50)



クリホールダウンⅢ15・20・25 KHDⅢ-15・20・25

材　　質	板:JIS G 3134 自動車用加工性熱間圧延高張力鋼板及び鋼帯SPFH590相当 ボルト受け:JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC相当
表 面 処 理	ダクロタイズド

使用接合具:四角穴付クリスパイラルビス 7×65

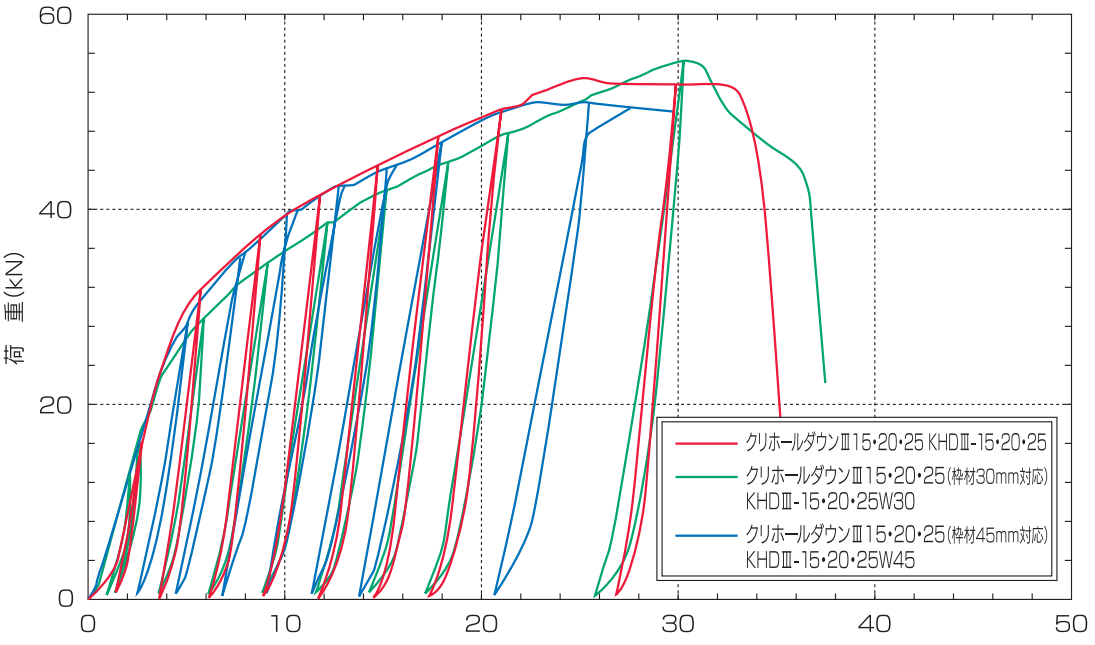
材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	ダクロタイズド

使用接合具(枠材用):四角穴付クリ鍋ビス 7×90(S50)

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

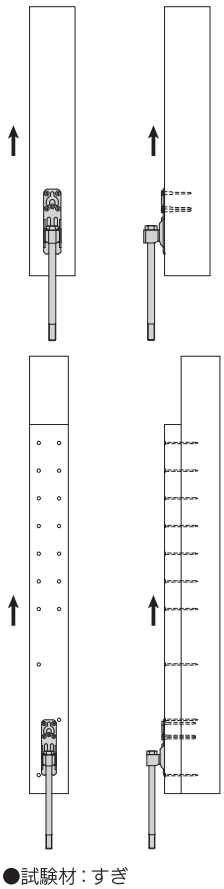
(一財)建材試験センター

クリホールダウンⅢ15・20・25 KHDⅢ-15・20・25の引張試験の荷重－相対変位曲線



※1kN≒102.0kgf　　金物の変位も含めた柱の浮き上がり変位(mm)

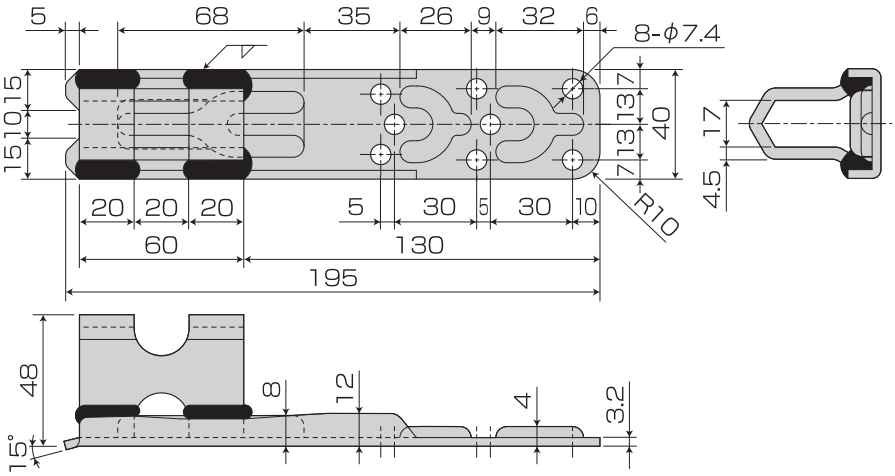
短期基準引張耐力：25.8kN(KHDⅢ-15・20・25)
25.2kN(KHDⅢ-15・20・25W30)
26.1kN(KHDⅢ-15・20・25W45)



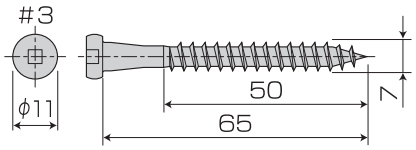
●試験材：すぎ

クリホールダウンⅢ30・35
KHDⅢ-30・35（仕様図・データ）

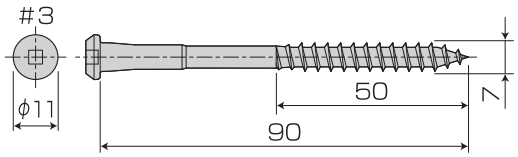
（単位／mm）



四角穴付クリスパイラルビス 7×65



四角穴付クリ鍋ビス 7×90（S50）



クリホールダウンⅢ30・35 KHDⅢ-30・35

材　　質	板：JIS G 3134 自動車用加工性熱間圧延高張力鋼板及び鋼帯SPFH590相当 ボルト受け：JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC相当
表 面 処 理	ダクロタイズド

使用接合具：四角穴付クリスパイラルビス 7×65

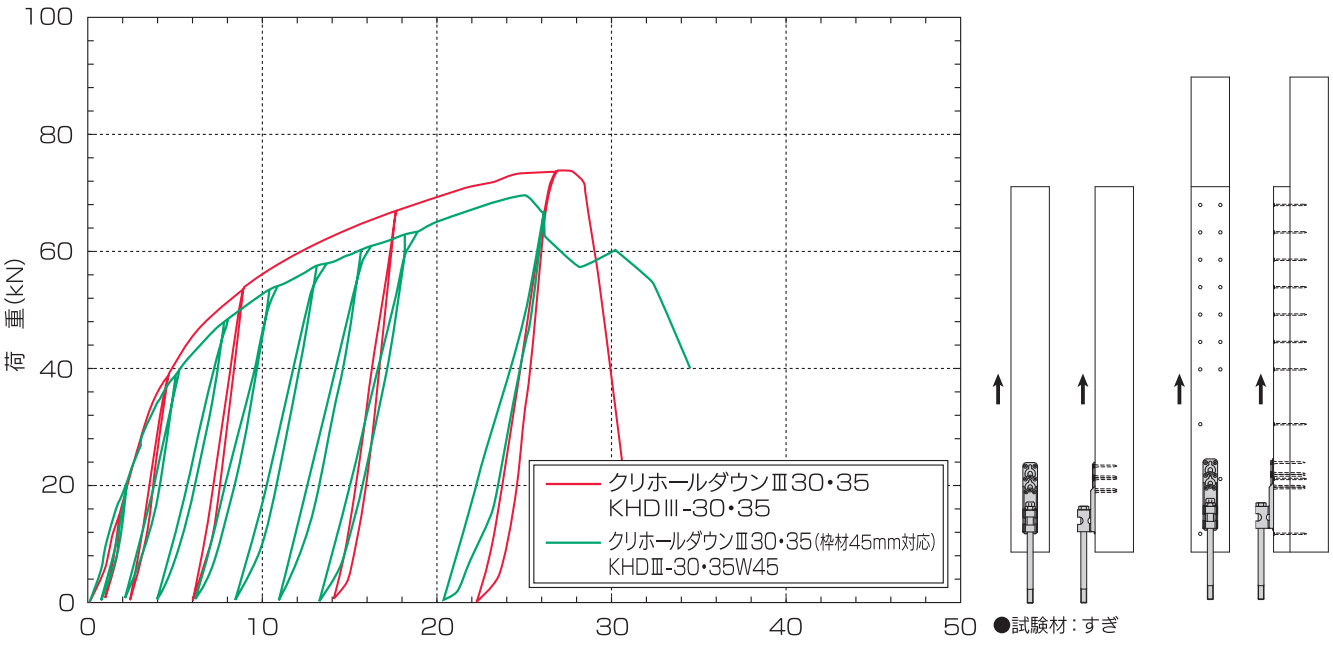
材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	ダクロタイズド

使用接合具（枠材用）：四角穴付クリ鍋ビス 7×90（S50）

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

（一財）建材試験センター

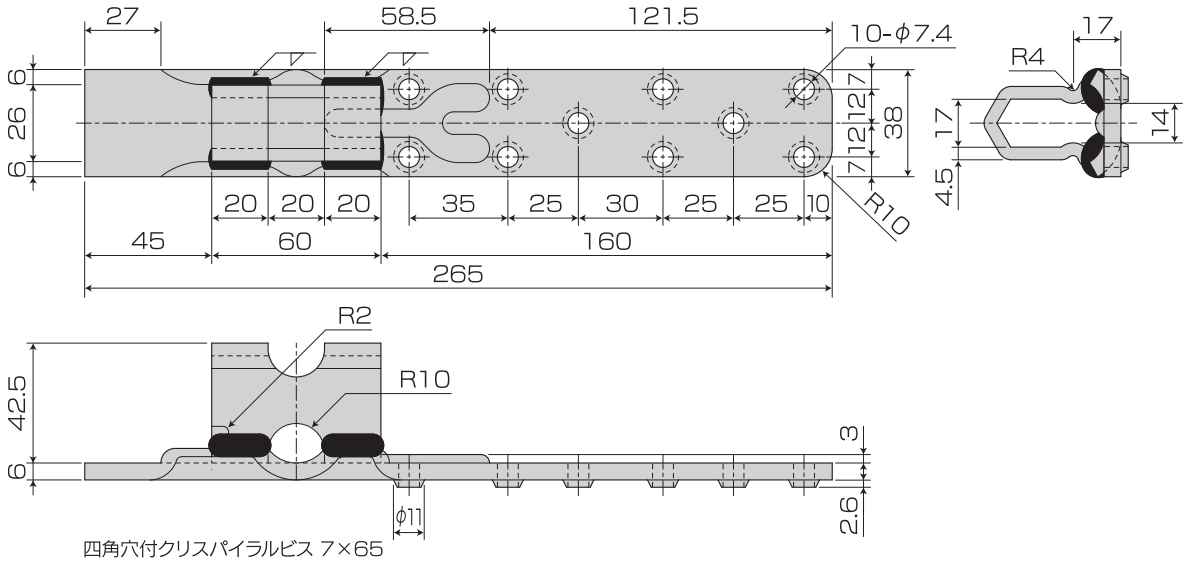
クリホールダウンⅢ30・35 KHDⅢ-30・35の引張試験の荷重－相対変位曲線



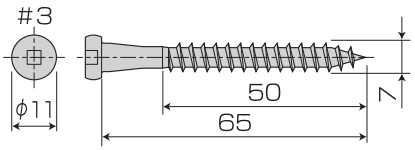
※1kN≒102.0kgf　　金物の変位も含めた柱の浮き上がり変位（mm）

短期基準引張耐力：37.4kN（KHDⅢ-30・35）
36.0kN（KHDⅢ-30・35W45）

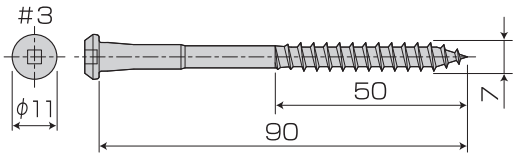
（単位／mm）



四角穴付クリスパイラルビス 7×65



四角穴付クリ鍋ビス 7×90（S50）



クリホールダウンⅢ40 KHDⅢ-40

材　質	JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC相当
表面処理	ダクロタイズド

使用接合具：四角穴付クリスパイラルビス 7×65

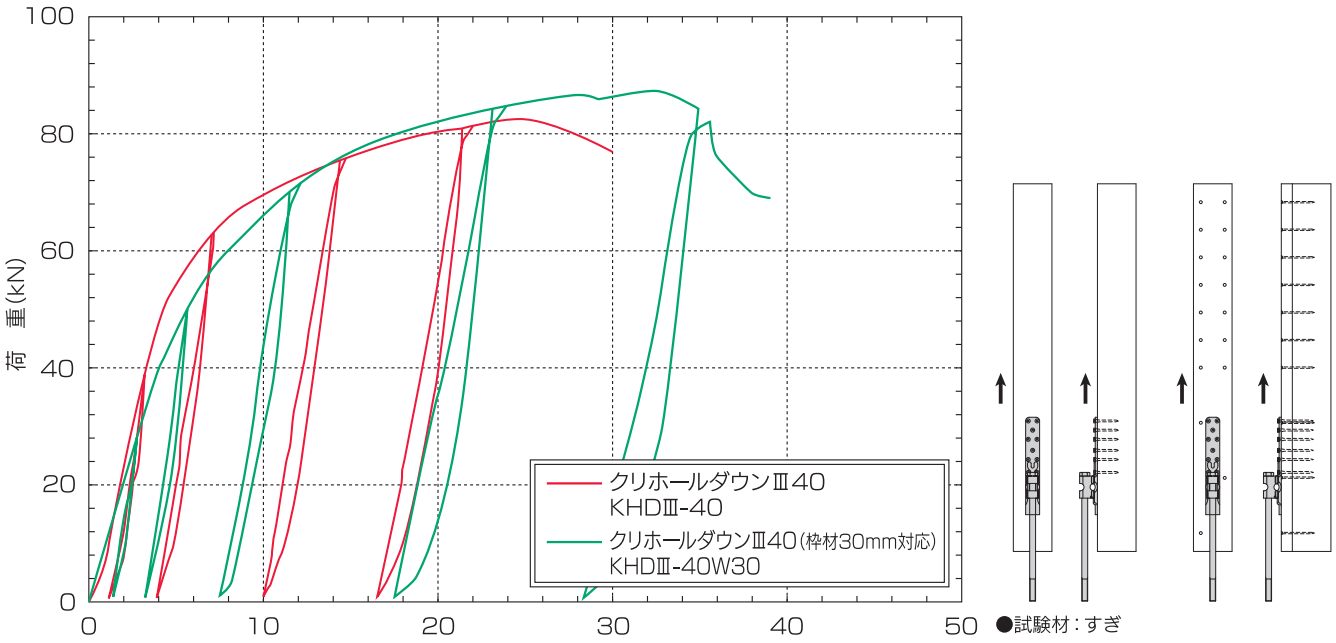
材　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表面処理	ダクロタイズド

使用接合具（枠材用）：四角穴付クリ鍋ビス 7×90（S50）

材　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表面処理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

ハウスプラス確認検査（株）

クリホールダウンⅢ40 KHDⅢ-40の引張試験の荷重－相対変位曲線

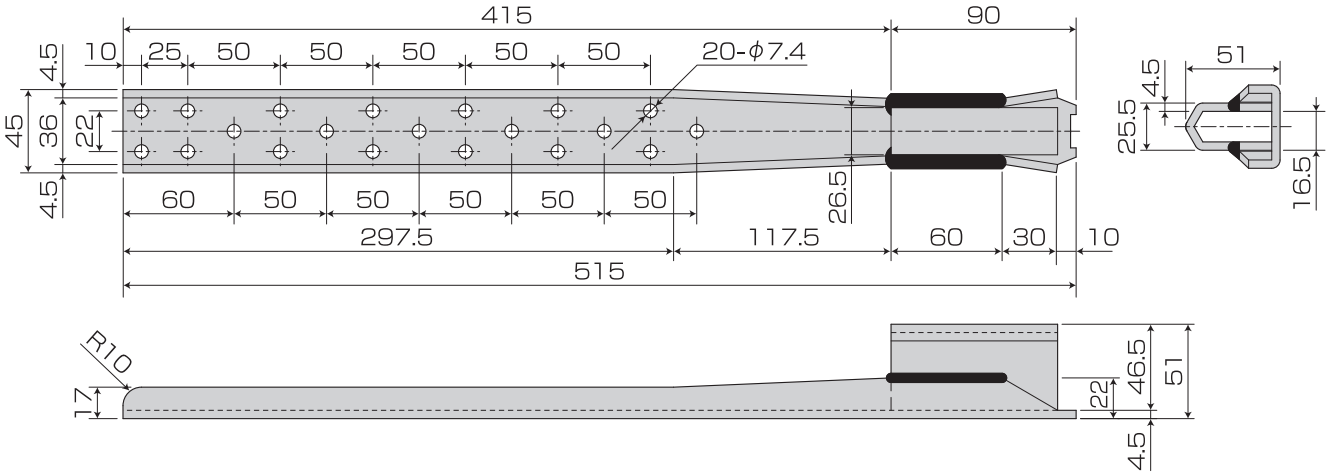


※1kN≒102.0kgf　　金物の変位も含めた柱の浮き上がり変位（mm）

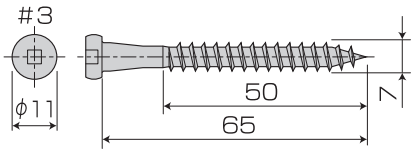
短期基準引張耐力：40.4kN（KHDⅢ-40）
42.9kN（KHDⅢ-40W30）

クリ高耐力ホールダウン68
KHD-68（仕様図・データ）

（単位／mm）



四角穴付クリスパイラルビス 7×65



クリ高耐力ホールダウン68 KHD-68

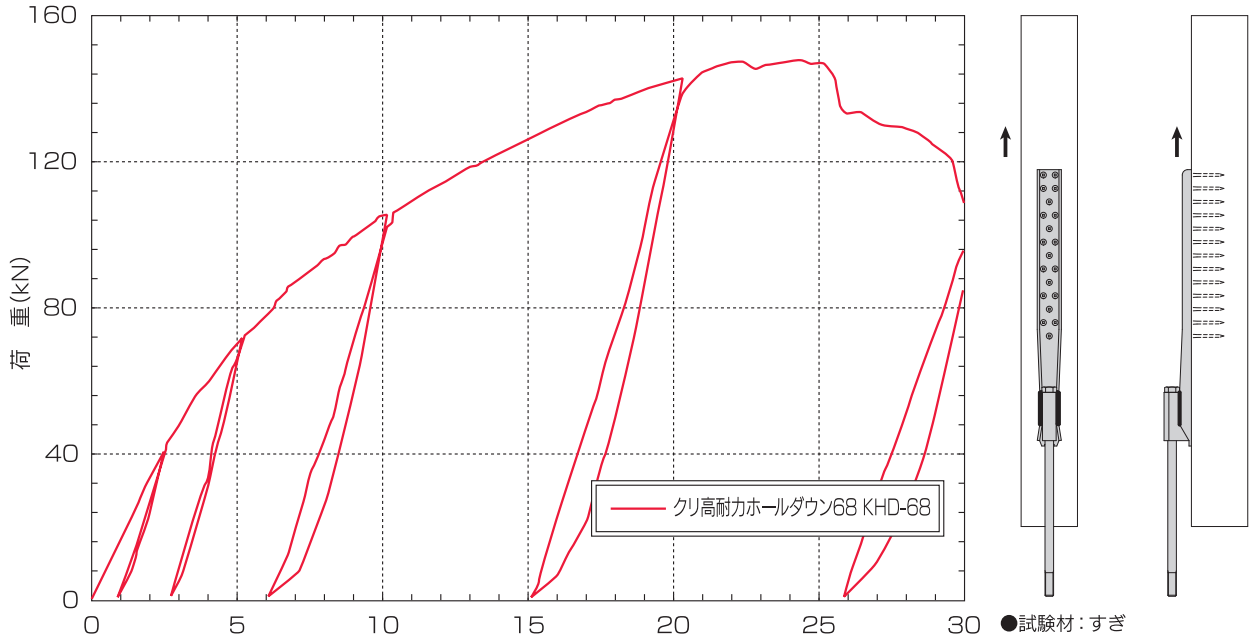
材　　質	板　　：JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材SS540相当 ボルト受け：JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC相当
表 面 処 理	ダクロタイズド

使用接合具：四角穴付クリスパイラルビス 7×65

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	ダクロタイズド

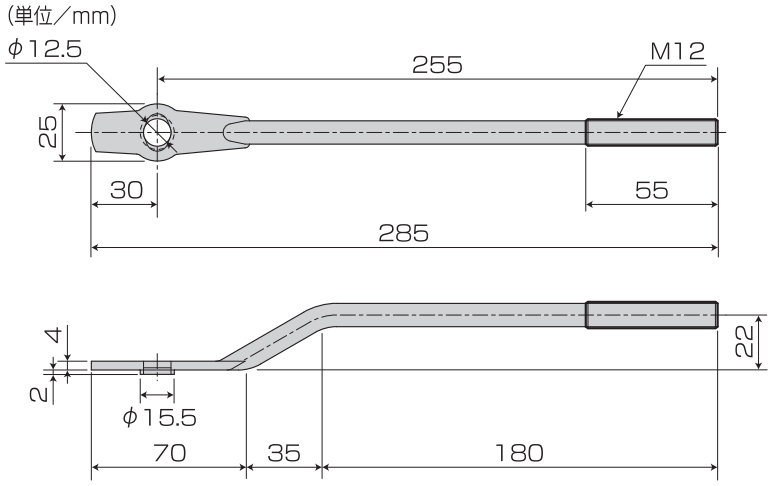
ハウスプラス確認検査（株）

クリ高耐力ホールダウン68 KHD-68の引張試験の荷重－相対変位曲線



※1kN≒102.0kgf　　金物の変位も含めた柱の浮き上がり変位（mm）

短期基準引張耐力：68.5kN

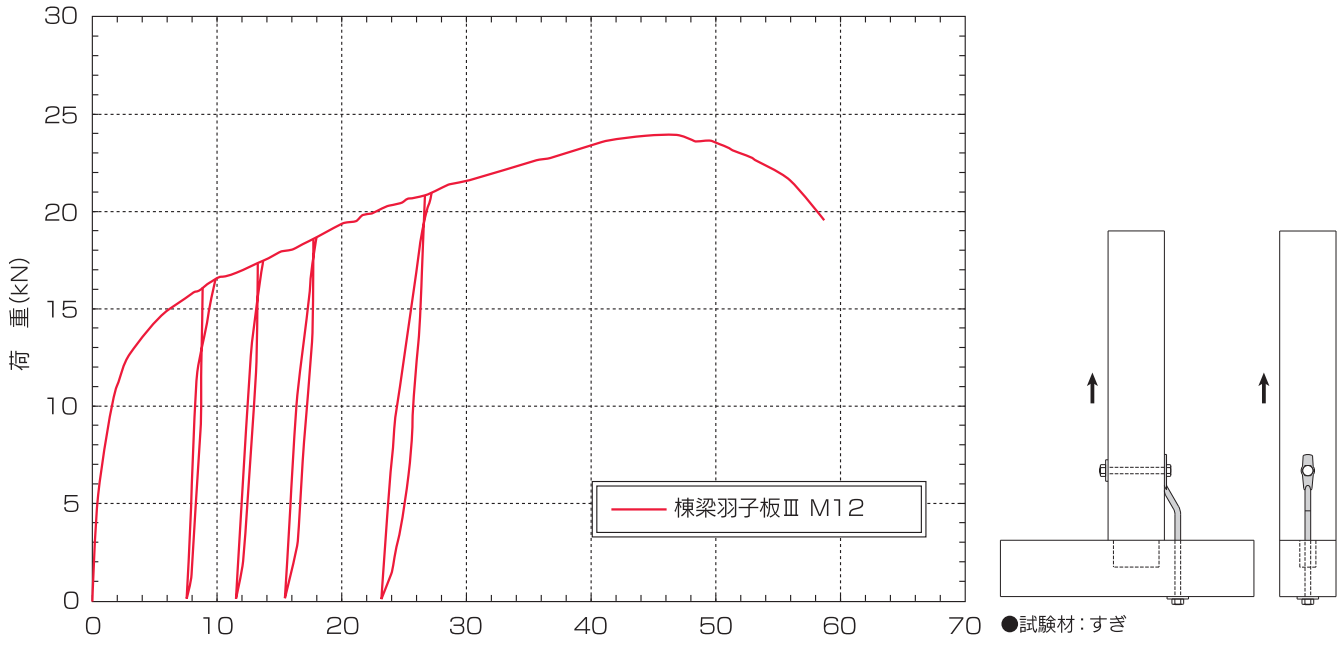


棟梁羽子板Ⅲ M12

材　　質	JIS B 1180 附属書JA:2014 強度区分4.6又は4.8を満足する炭素鋼
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

（一財）建材試験センター

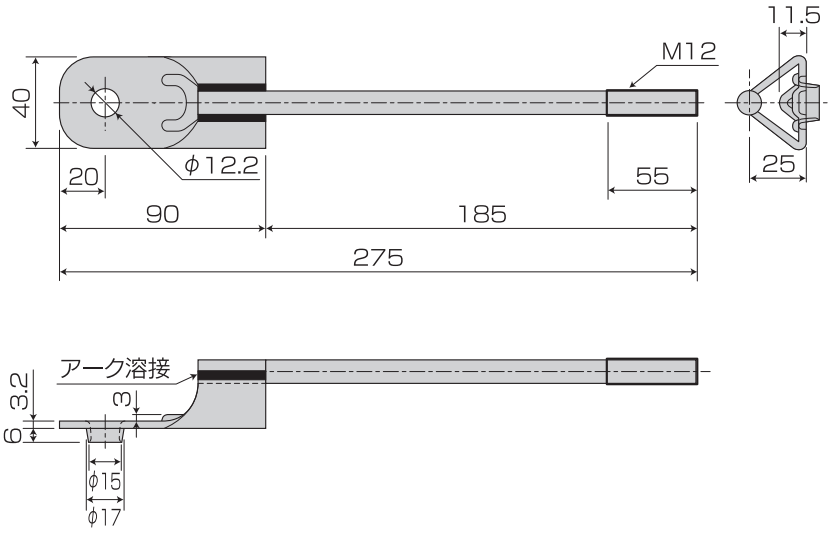
棟梁羽子板Ⅲ M12の引張試験の荷重－相対変位曲線



※1kN≒102.0kgf　　柱―横架材の相対変位（mm）

短期基準引張耐力：10.3kN

（単位／mm）

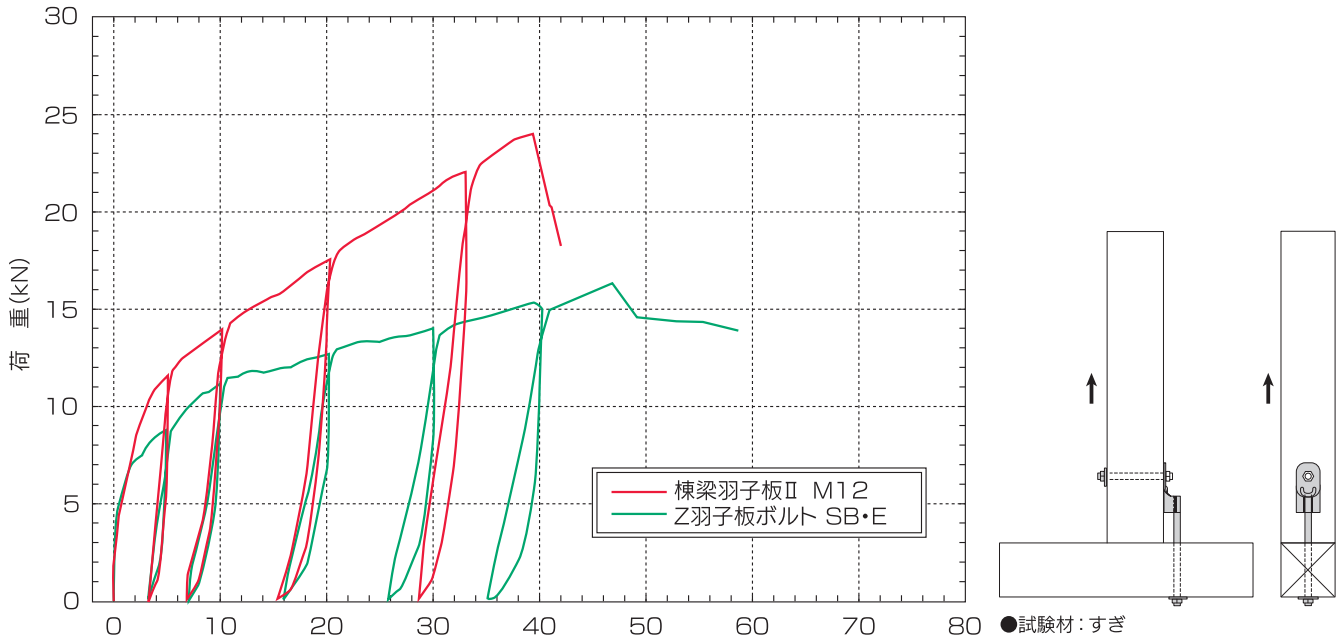


棟梁羽子板Ⅱ M12

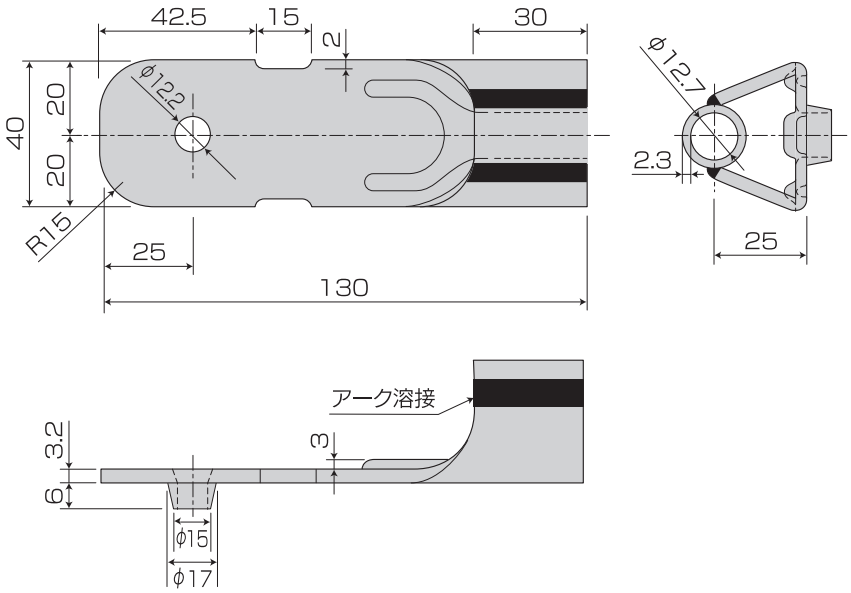
材　　質	板：JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC 棒：JIS B 1180 附属書JA：2014 強度区分4.6又は4.8を満足する炭素鋼
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

（公財）日本住宅・木材技術センター

棟梁羽子板Ⅱ M12の引張試験の荷重－相対変位曲線



（単位／mm）

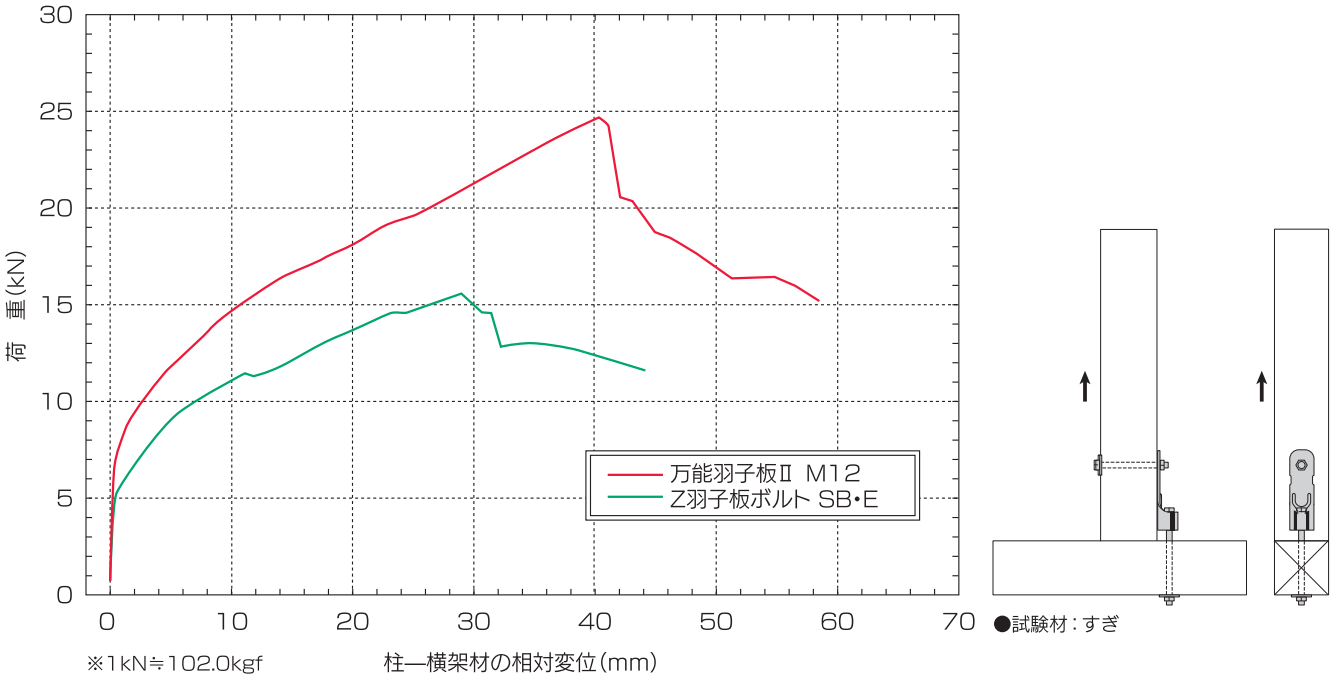


万能羽子板Ⅱ M12

材　　質	板　　:JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC パイプ:JIS G 3452 配管用炭素鋼管SGP
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

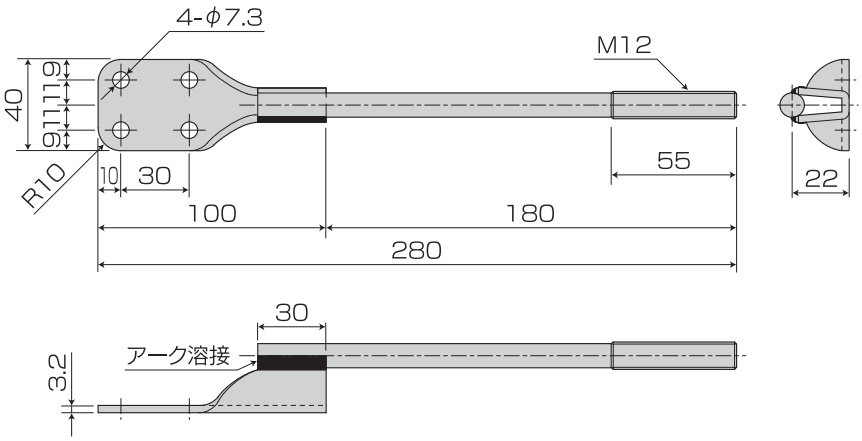
（公財）日本住宅・木材技術センター

万能羽子板Ⅱ M12の引張試験の荷重－相対変位曲線

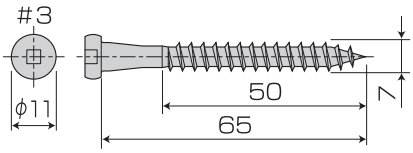


ビス止め棟梁羽子板Ⅱ
M12（仕様図・データ）

（単位／mm）



四角穴付クリスパイラルビス 7×65



ビス止め棟梁羽子板Ⅱ M12

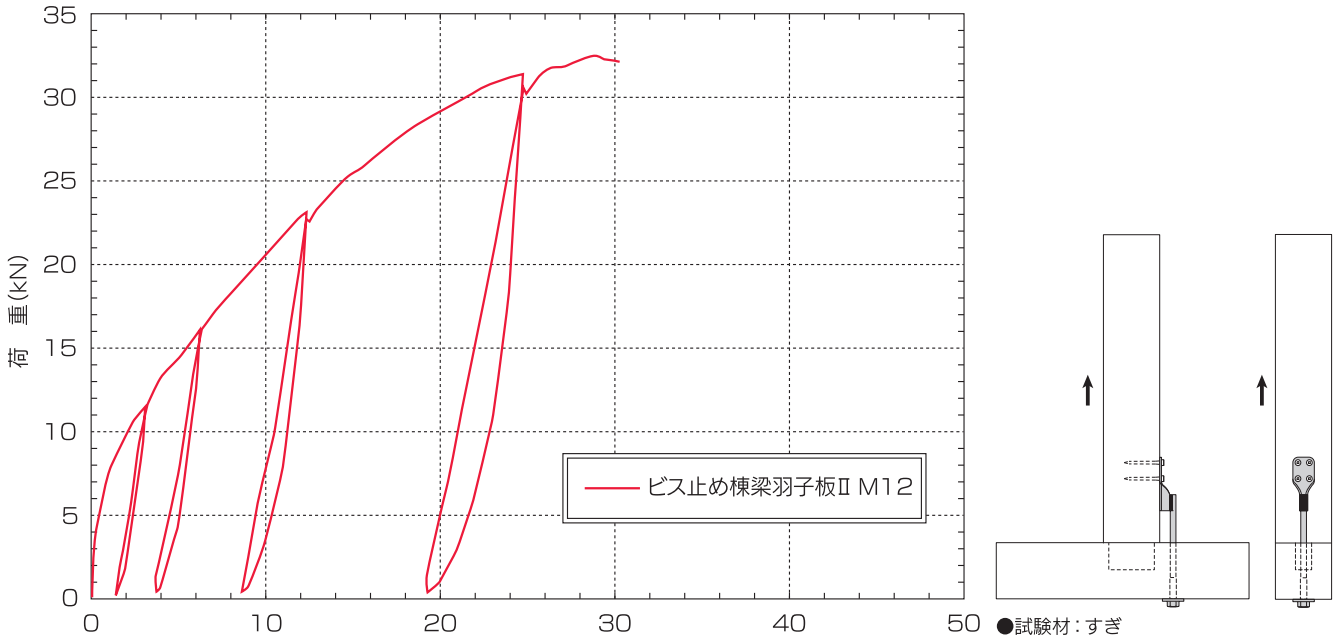
材　　質	板:JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC 棒:JIS B 1180 附属書JA:2014 強度区分4.6又は4.8を満足する炭素鋼
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

使用接合具：四角穴付クリスパイラルビス 7×65

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	ダクロタイズド

ハウスプラス確認検査（株）

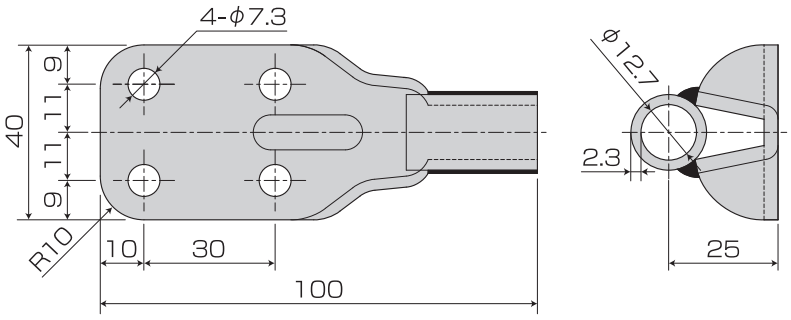
ビス止め棟梁羽子板Ⅱ　M12の引張試験の荷重－相対変位曲線

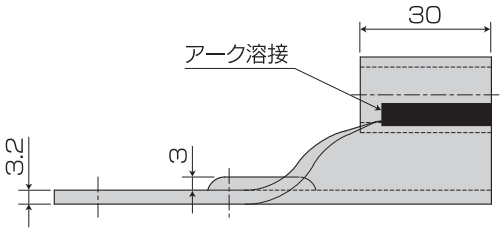


※1kN≒102.0kgf　　柱―横架材の相対変位（mm）

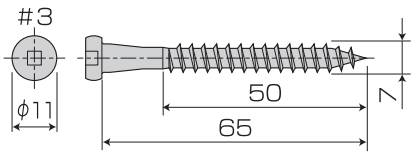
短期基準引張耐力：12.0kN

（単位／mm）





四角穴付クリスパイラルビス 7×65



ビス止め万能羽子板Ⅱ M12

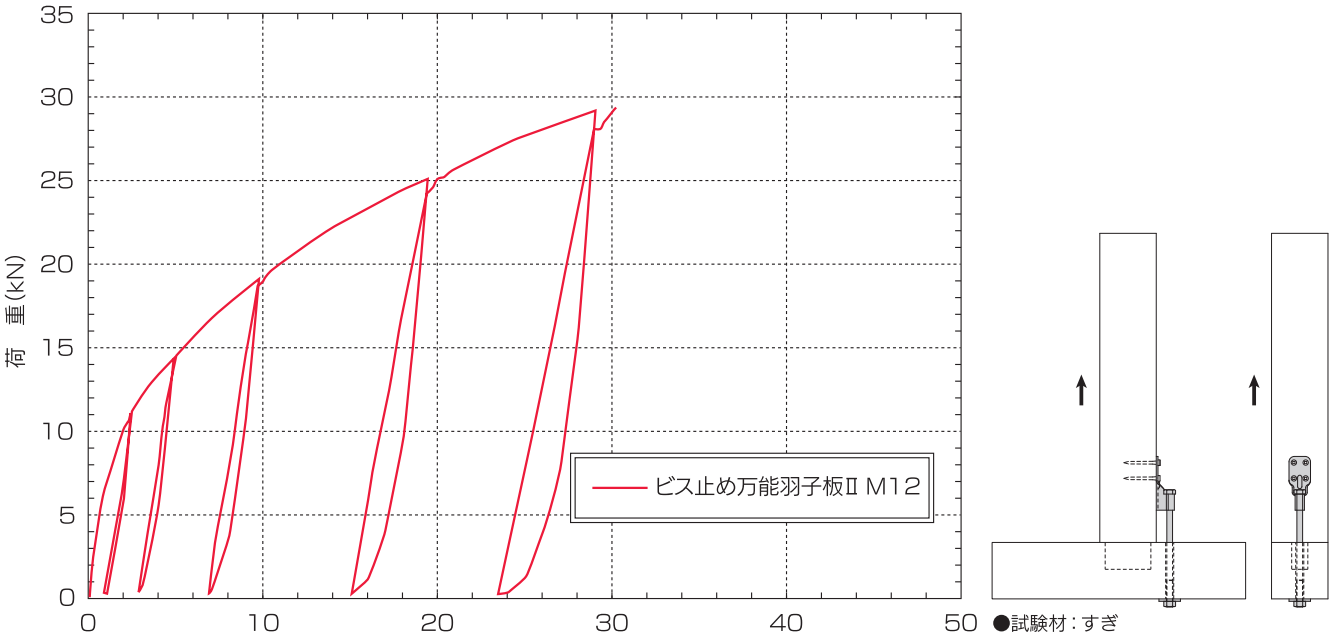
材　　質	板　　:JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC パイプ:JIS G 3452 配管用炭素鋼管SGP
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

使用接合具：四角穴付クリスパイラルビス 7×65

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	ダクロタイズド

ハウスプラス確認検査（株）

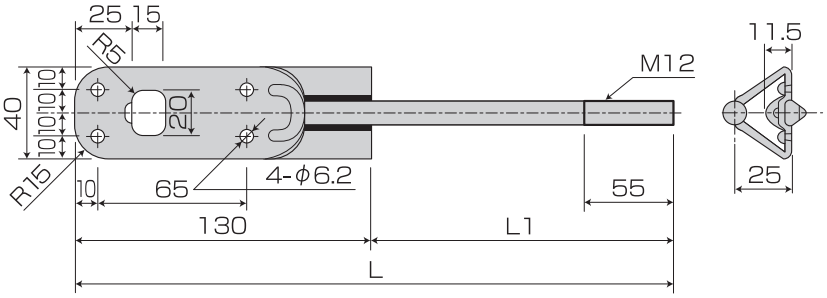
ビス止め万能羽子板Ⅱ　M12の引張試験の荷重－相対変位曲線

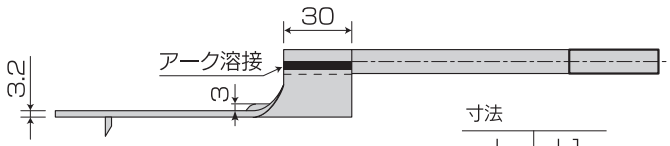


※1kN≒102.0kgf　　柱―横架材の相対変位（mm）

短期基準引張耐力：11.4kN

（単位／mm）

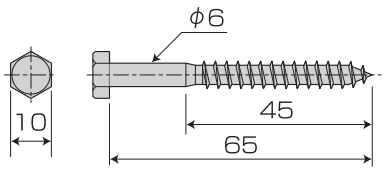




寸法

L	L1
280	150
310	180

コーチスクリュー 6×65



棟梁羽子板 M12

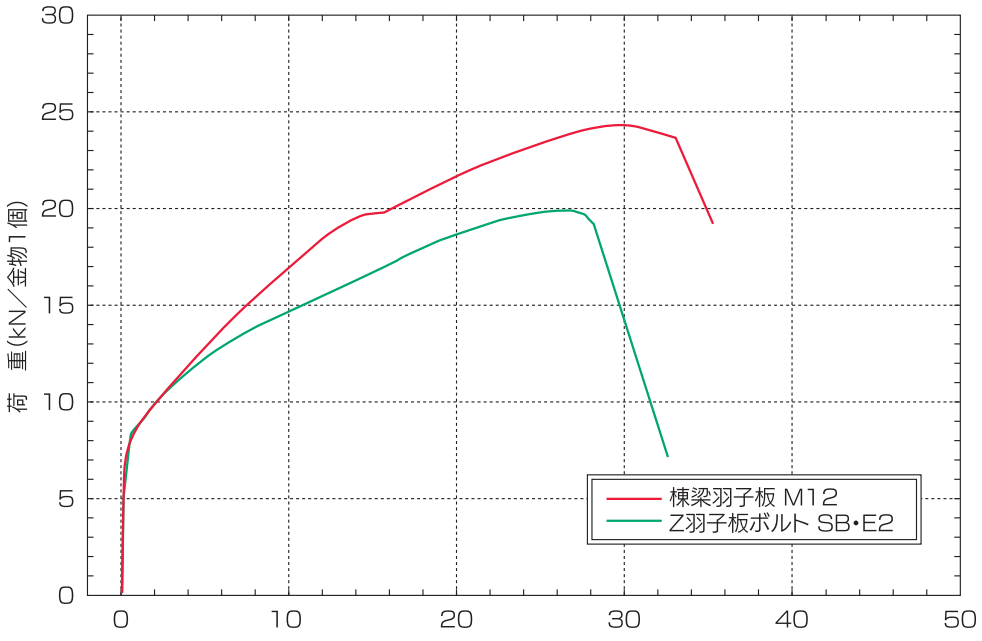
材　　質	板：JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC 棒：JIS B 1180 附属書JA：2014 強度区分4.6又は4.8を満足する炭素鋼
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

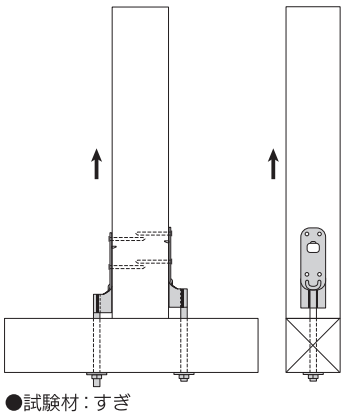
使用接合具：コーチスクリュー 6×65

材　　質	JIS G 3505 軟鋼線材 SWRM 15K相当
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

（公財）日本住宅・木材技術センター

棟梁羽子板 M12の引張試験の荷重－相対変位曲線



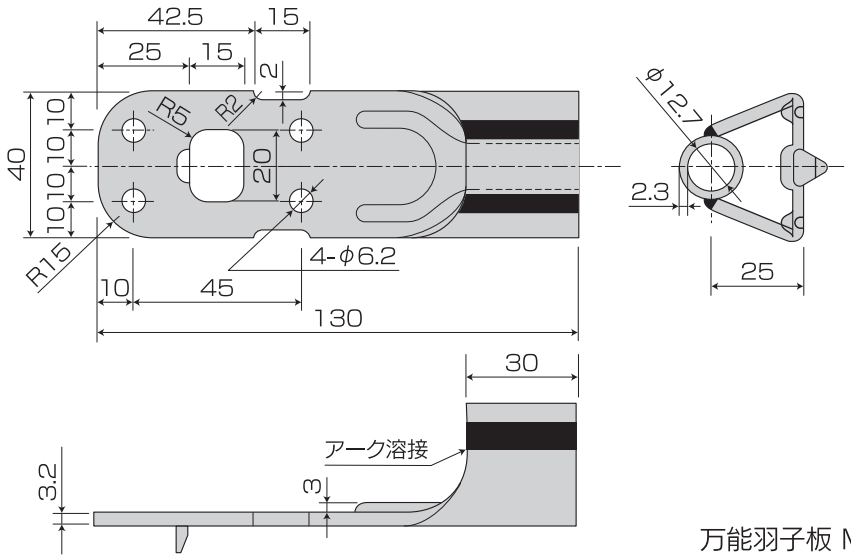


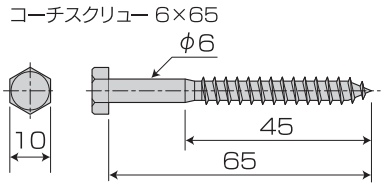
●試験材：すぎ

※1kN≒102.0kgf

柱―横架材の相対変位（mm）

（単位／mm）





万能羽子板 M12

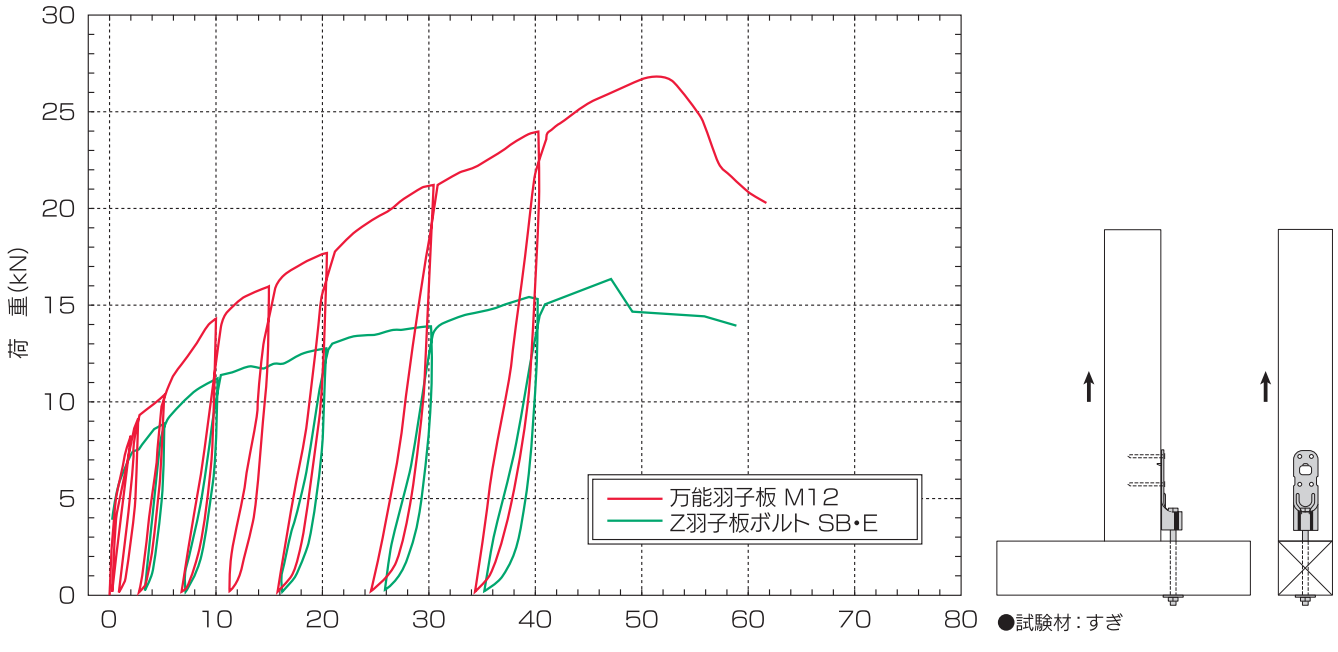
材　　質	板　　:JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯SPHC パイプ:JIS G 3452 配管用炭素鋼管SGP
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

使用接合具：コーチスクリュー 6×65

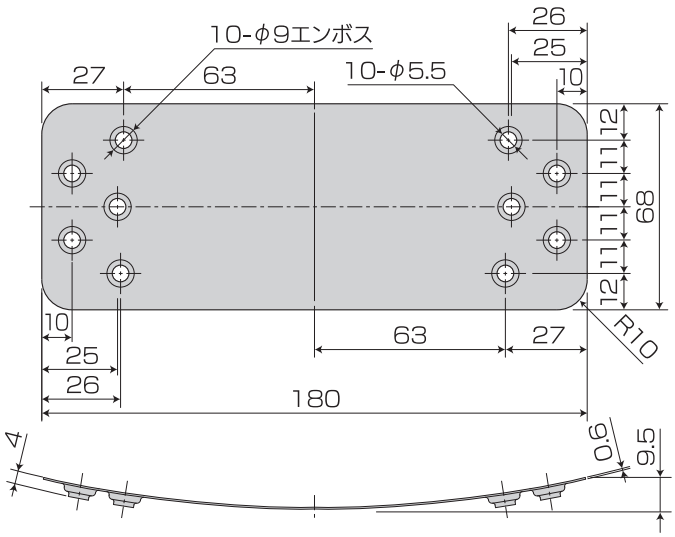
材　　質	JIS G 3505 軟鋼線材 SWRM 15K相当
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

（公財）日本住宅・木材技術センター

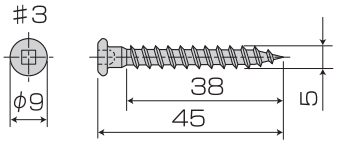
万能羽子板 M12の引張試験の荷重－相対変位曲線



（単位／mm）



四角穴付クリ平頭ビス 5×45



クリ10プレート K10PL

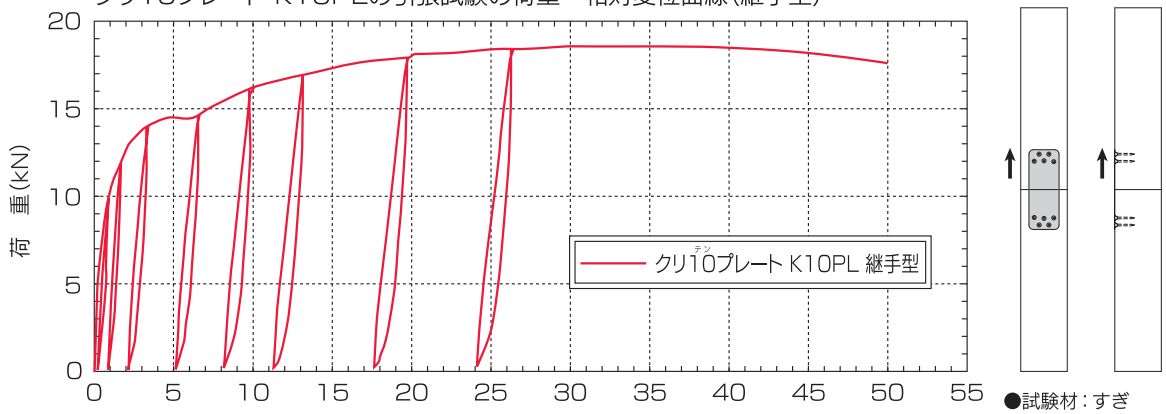
材　　質	引張強さ400N/mm²以上の鋼板
表 面 処 理	JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2同等以上の防錆処理

使用接合具：四角穴付クリ平頭ビス 5×45

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH18A相当
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

ハウスプラス確認検査（株）

クリ10プレート K10PLの引張試験の荷重－相対変位曲線（継手型）

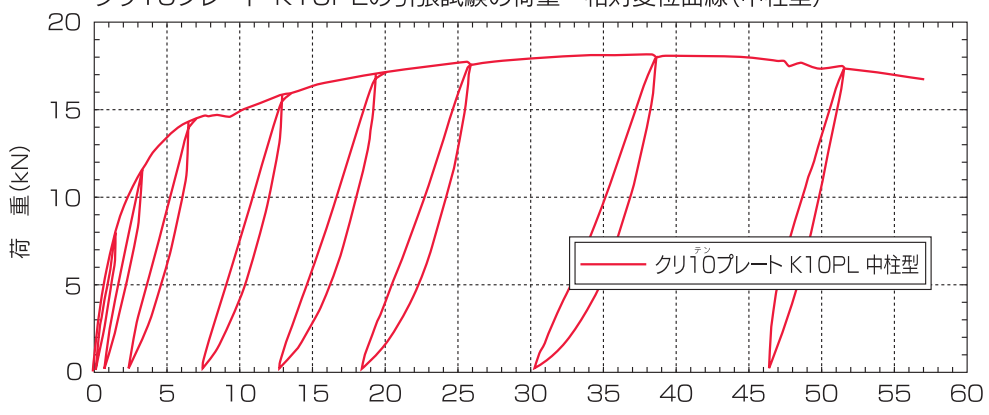


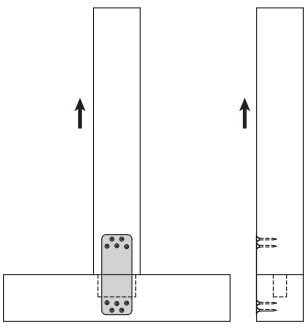
●試験材：すぎ

※1kN≒102.0kgf　　上材—下材の相対変位（mm）

短期基準引張耐力：11.2kN

クリ10プレート K10PLの引張試験の荷重－相対変位曲線（中柱型）



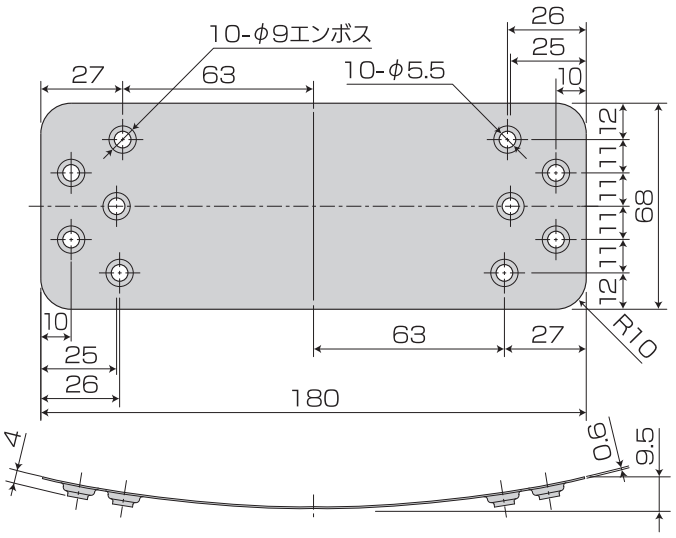


●試験材：すぎ

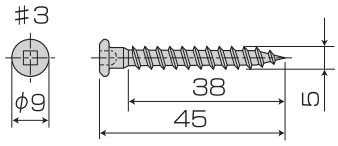
※1kN≒102.0kgf　　柱—土台の相対変位（mm）

短期基準引張耐力：10.8kN

(単位／mm)



四角穴付クリ平頭ビス 5×45



クリ10プレート K10PL

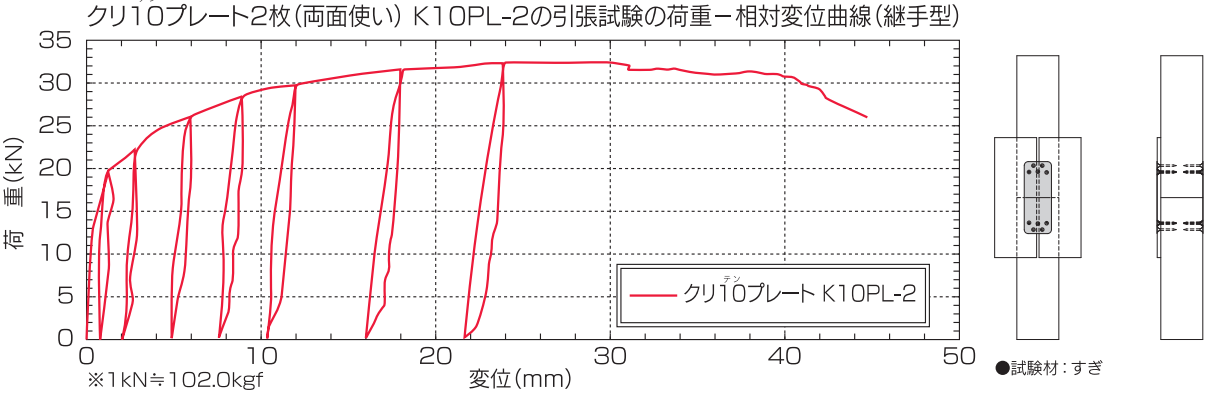
材　　質	引張強さ400N/mm²以上の鋼板
表 面 処 理	JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2同等以上の防錆処理

使用接合具：四角穴付クリ平頭ビス 5×45

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH18A相当
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

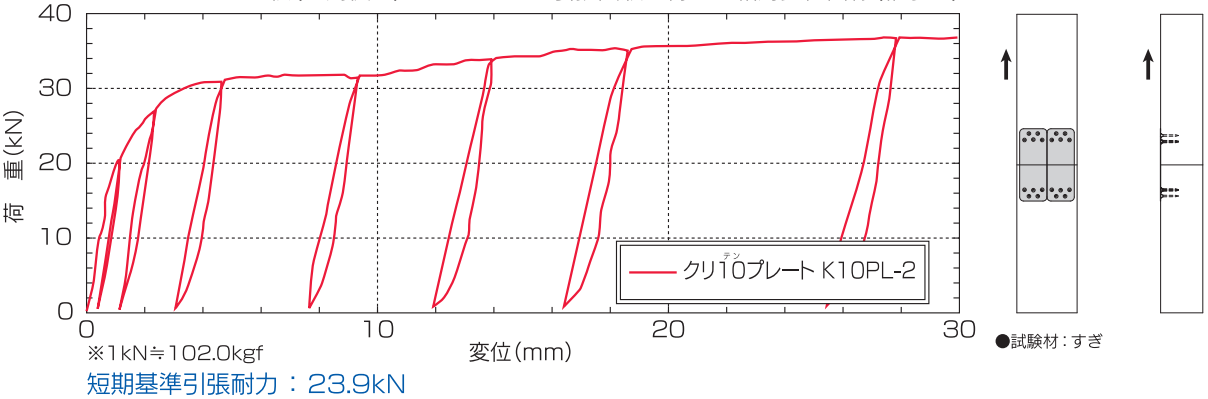
ハウスプラス確認検査(株)

クリ10プレート2枚(両面使い) K10PL-2の引張試験の荷重ー相対変位曲線(継手型)



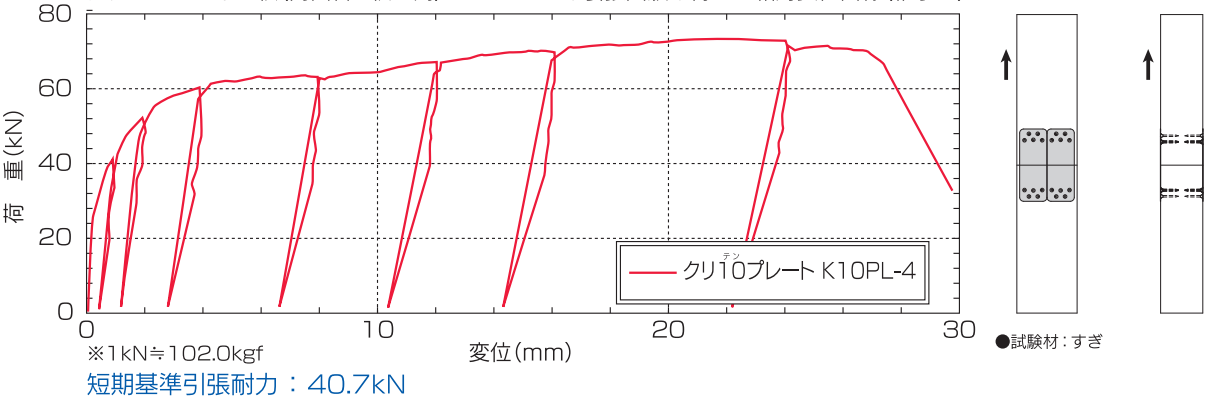
短期基準引張耐力：16.9kN

クリ10プレート2枚(並列使い) K10PL-2の引張試験の荷重ー相対変位曲線(継手型)



短期基準引張耐力：23.9kN

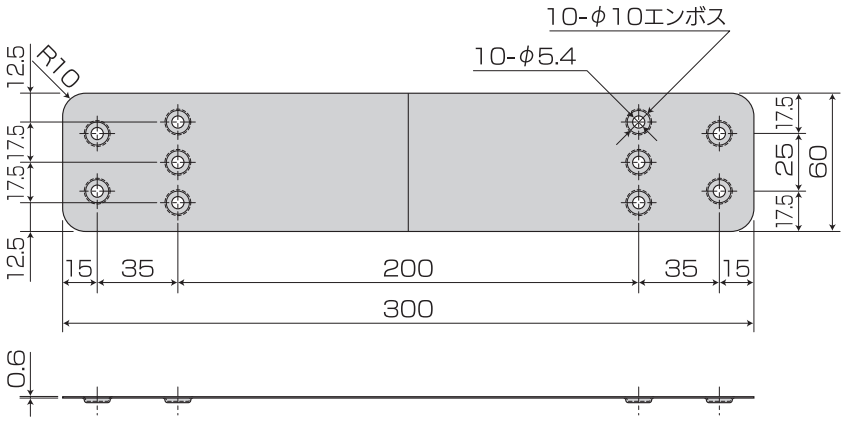
クリ10プレート4枚(両面各2枚並列) K10PL-4の引張試験の荷重ー相対変位曲線(継手型)



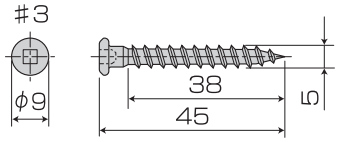
短期基準引張耐力：40.7kN

クリ10短ざく金物
KS10-300（仕様図・データ）

（単位／mm）



四角穴付クリ平頭ビス 5×45



クリ10短ざく金物　KS10-300

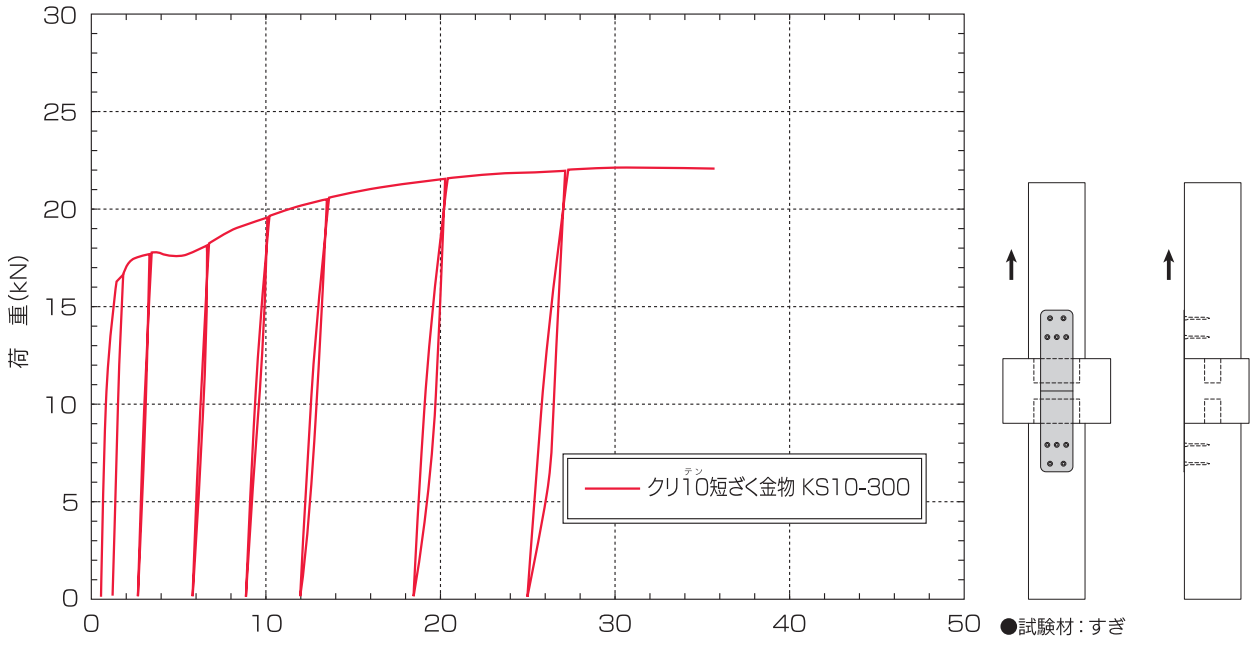
材　　質	引張強さ400N/mm²以上の鋼板
表 面 処 理	JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2同等以上の防錆処理

使用接合具：四角穴付クリ平頭ビス 5×45

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH18A相当
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

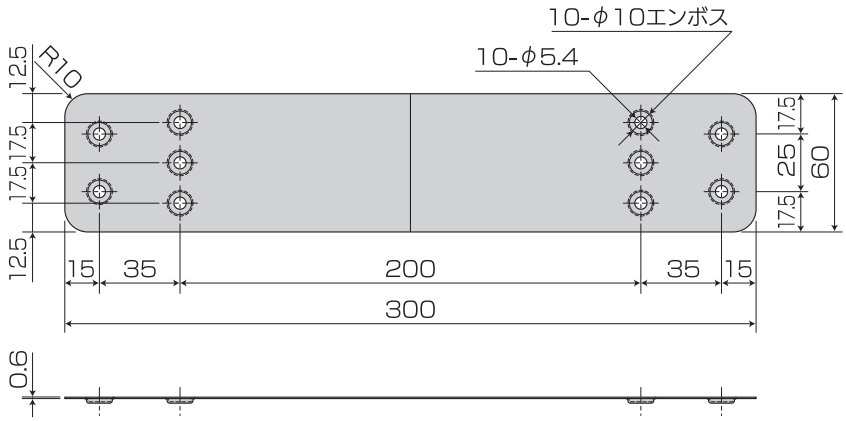
（一財）建材試験センター

クリ10短ざく金物 KS10-300の引張試験の荷重－相対変位曲線

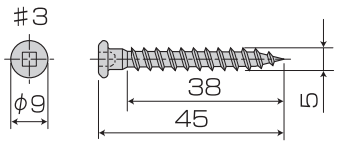


短期基準引張耐力：12.0kN

（単位／mm）



四角穴付クリ平頭ビス 5×45



クリ10（テン）短ざく金物　KS10-300

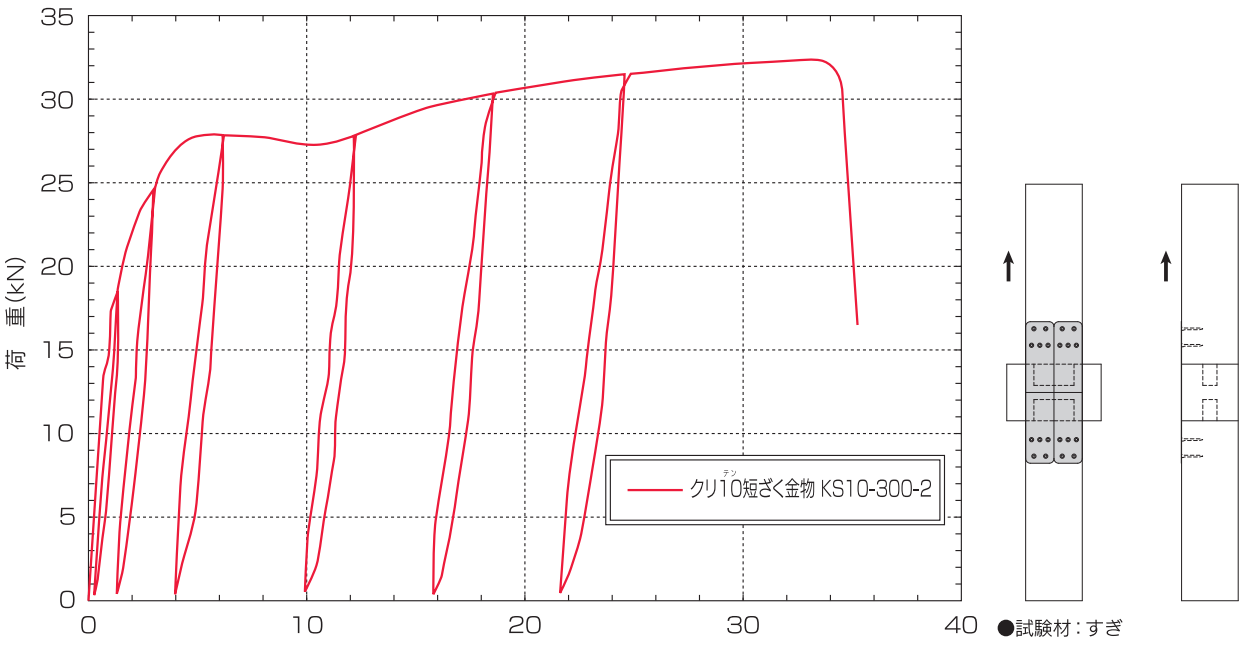
材　　質	引張強さ400N/mm²以上の鋼板
表 面 処 理	JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2同等以上の防錆処理

使用接合具：四角穴付クリ平頭ビス 5×45

材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH18A相当
表 面 処 理	JIS H 8610 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM2

ハウスプラス確認検査（株）

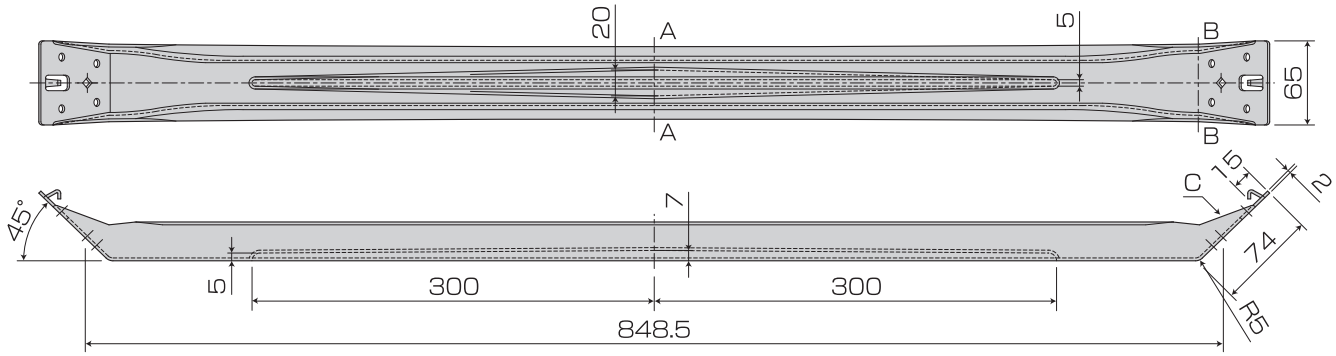
クリ10（テン）短ざく金物（2枚使い）KS10-300-2の引張試験の荷重－相対変位曲線

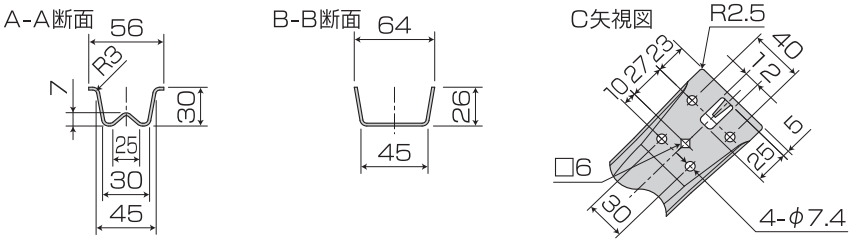


短期基準引張耐力：20.4kN

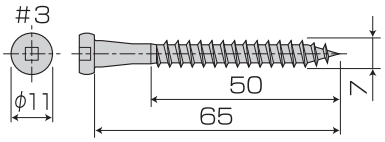
クリビス止め火打金物Ⅱ
KHBⅡ（仕様図・データ）

（単位／mm）





四角穴付クリスパイラルビス 7×65



クリビス止め火打金物Ⅱ KHBⅡ

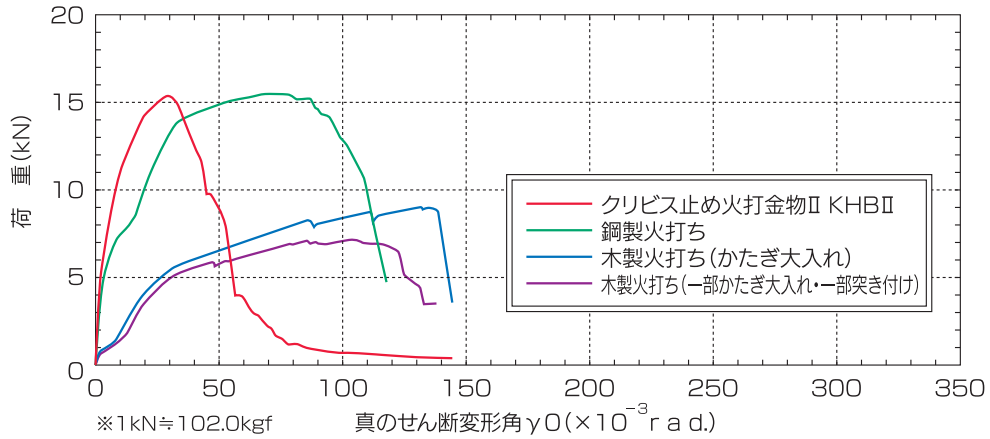
材　　質	JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯SGHC又はSGCC
表 面 処 理	JIS G 3302 溶融 Z27

使用接合具：四角穴付クリスパイラルビス 7×65

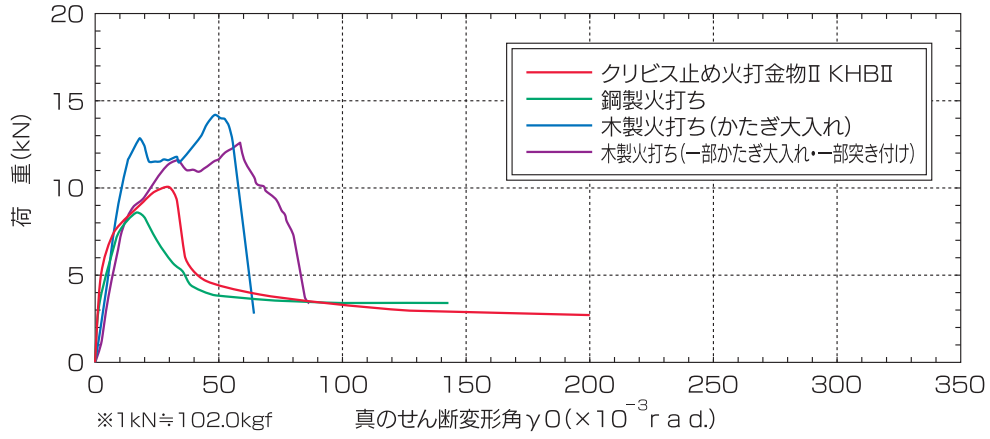
材　　質	JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼SWCH22A相当
表 面 処 理	ダクロタイズド

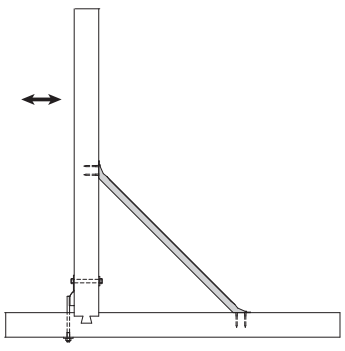
ハウスプラス確認検査（株）

クリビス止め火打金物Ⅱ KHBⅡ（引張加力）のモーメント変形角包絡曲線



クリビス止め火打金物Ⅱ KHBⅡ（圧縮加力）のモーメント変形角包絡曲線





●試験材：べいまつ

品質性能試験金物

品質性能試験金物とは、国土交通大臣指定性能評価機関またはそれに準ずる第三者機関において、定められた試験・評価方法に従って性能を確認し、その証として品質性能試験報告書が発行された金物です。
当社のオリジナル金物は、国土交通大臣指定性能評価機関（一般財団法人建材試験センター・ハウスプラス確認検査株式会社等）で定められた試験・評価方法に従って性能を確認され、報告書が発行された金物です。

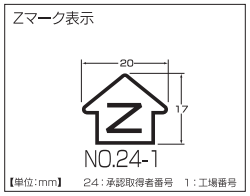
公益財団法人日本住宅・木材技術センターの認証マーク



認定番号

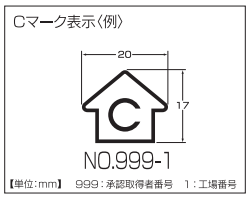
公益財団法人日本住宅・木材技術センターでは認証に当たって品質・性能、及び生産供給体制について厳密な審査を行い、合格したもののみを認証しています。
公益財団法人日本住宅・木材技術センター認証品の梱包等には、左記のマークが表示されます。また、製品本体には下記の個別認証マークが表示されることとなっています。

Zマーク表示金物



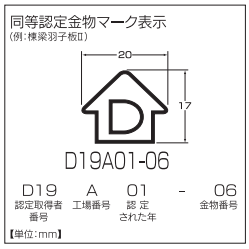
公益財団法人日本住宅･木材技術センターが定める木造軸組工法用の接合金物です。
承認金物には左記のZマークが表示されます。

Cマーク表示金物



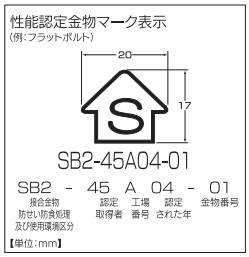
公益財団法人日本住宅･木材技術センターが定める枠組壁工法用の接合金物です。
承認金物には左記のCマークが表示されます。

同等認定金物



公益財団法人日本住宅･木材技術センターが定めるZ･Cマーク表示金物と品質･性能が同等以上と確認された接合金物です。
認定金物には左記のDマークが表示されます。

Sマーク表示金物



公益財団法人日本住宅･木材技術センターがその用途に応じて必要とする品質･性能を有することを確認し、性能値を認定された接合金物です。
認定金物には左記のSマークが表示されます。

施行令

（構造耐力上主要な部分である継手又は仕口）

【第47条】構造耐力上主要な部分である継手又は仕口は、ボルト締め、かすがい打、込み栓打その他の国土交通大臣が定める構造方法によりその部分の存在応力を伝えるように緊結しなければならない。この場合において、横架材の丈が大きいこと、柱と鉄骨の横架材とが剛に接合していること等により柱に構造耐力上支障のある局部応力が生ずる恐れがあるときは、当該柱を添木等によって補強しなければならない。

2　略

告示　平12建告第1460号

木造の継手及び仕口の構造方法を定める件

建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）第47条第1項の規定に基づき、木造の継手及び仕口の構造方法を次のように定める。
建築基準法施行令（以下「令」という。）第47条に規定する木造の継手及び仕口の構造方法は、次に定めるところによらなければならない。
ただし、令第82条第一号から第三号までに定める構造計算によって構造耐力上安全であることが確かめられた場合においては、この限りでない。

一、筋かいの端部における仕口にあっては、次に掲げる筋かいの種類に応じ、それぞれイからホまでに定める接合方法又はこれらと同等以上の引張耐力を有する接合方法によらなければならない。

イ　径9ミリメートル以上の鉄筋柱又は横架材を貫通した鉄筋を三角座金を介してナット締めとしたもの又は当該鉄筋に止め付けた鋼板添え板に柱及び横架材に対して長さ9センチメートルの太め鉄丸くぎ（日本工業規格A5508（くぎ）-1992のうち太め鉄丸くぎに適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。）を8本打ち付けたもの

ロ　厚さ1.5センチメートル以上で幅9センチメートル以上の木材柱及び横架材を欠き込み、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6.5センチメートルの鉄丸くぎ（日本工業規格A5508（くぎ）-1992のうち太め鉄丸くぎに適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。）を5本平打ちしたもの

ハ　厚さ3センチメートル以上で幅9センチメートル以上の木材厚さ1.6ミリメートルの鋼板添え板を、筋かいに対して径12ミリメートルのボルト（日本工業規格B1180（六角ボルト）-1994のうち強度区分4.6に適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。）締め及び長さ6.5センチメートルの太め鉄丸くぎを3本平打ち、柱に対して長さ6.5センチメートルの太め鉄丸くぎを3本平打ち、横架材に対して長さ6.5センチメートルの太め鉄丸くぎを4本平打ちとしたもの

ニ　厚さ4.5センチメートル以上で幅9センチメートル以上の木材厚さ2.3ミリメートル以上の鋼板添え板を、筋かいに対して径12ミリメートルのボルト締め及び長さ50ミリメートル、径4.5ミリメートルのスクリューくぎ7本の平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ50ミリメートル、径4.5ミリメートルのスクリューくぎ5本の平打ちとしたもの

ホ　厚さ9センチメートル以上で幅9センチメートル以上の木材柱又は横架材に径12ミリメートルのボルトを用いた一面せん断接合としたもの

二、壁を設け又は筋かいを入れた軸組の柱の柱脚及び柱頭の仕口にあっては、軸組の種類と柱の配置に応じて、平家部分又は最上階の柱にあっては次の表一に、その他の柱にあっては次の表二に、それぞれ掲げる表三（い）から（ぬ）までに定めるところによらなければならない。但し、当該仕口の周囲の軸組の種類及び配置を考慮して、柱頭又は柱脚に必要とされる引張力が、当該部分の引張耐力を超えないことが確かめられた場合においては、この限りではない。

表一

軸組の種類		出隅の柱	その他の軸組端部の柱
木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面又は両面に打ち付けた壁を設けた軸組		表三（い）	表三（い）
厚さ1.5センチメートル以上幅9センチメートル以上の木材の筋かい又は径9ミリメートル以上の鉄筋の筋かいを入れた軸組		表三（ろ）	表三（い）
厚さ3センチメートル以上幅9センチメートル以上の木材の筋かいを入れた軸組	筋かいの下部が取り付く柱	表三（ろ）	表三（い）
	その他の柱	表三（に）	表三（ろ）
厚さ1.5センチメートル以上幅9センチメートル以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組又は径9ミリメートル以上の鉄筋の筋かいをたすき掛けに入れた軸組		表三（に）	表三（ろ）
厚さ4.5センチメートル以上幅9センチメートル以上の木材の筋かいを入れた軸組	筋かいの下部が取り付く柱	表三（は）	表三（ろ）
	その他の柱	表三（ほ）	
構造用合板等を昭和56年建設省告示第1100号別表第一（一）項又は（二）項に定める方法で打ち付けた壁を設けた軸組		表三（ほ）	表三（ろ）
厚さ3センチメートル以上幅9センチメートル以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組		表三（と）	表三（は）
厚さ4.5センチメートル以上幅9センチメートル以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組		表三（と）	表三（に）

表二

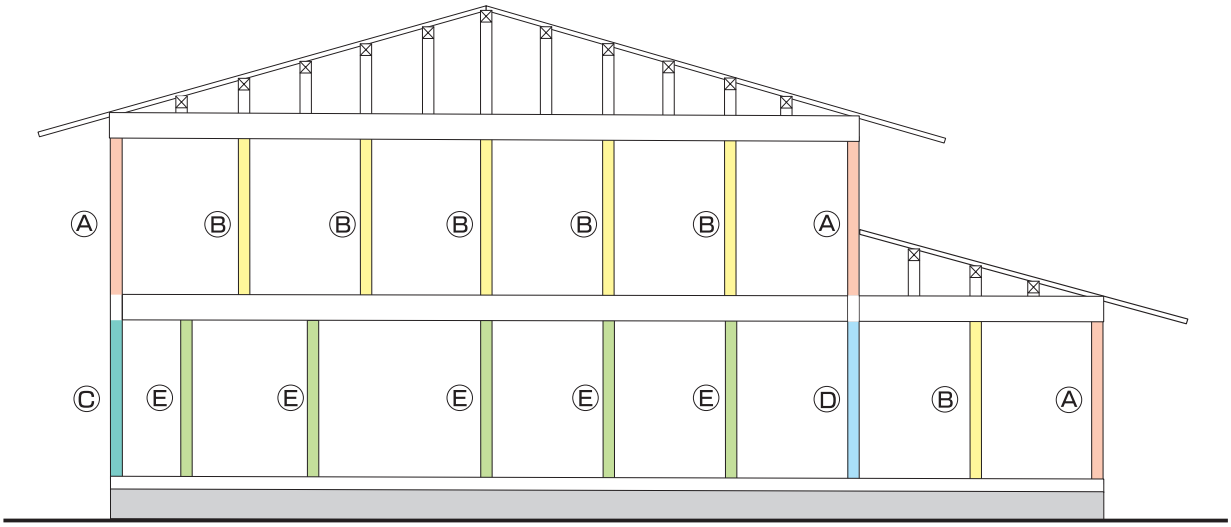
軸　組　の　種　類	上階及び当該階の柱が共に出隅の柱の場合	上階の柱が出隅の柱であり、当該階の柱が出隅の柱でない場合	上階及び当該階の柱が共に出隅の柱でない場合
木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面又は両面に打ち付けた壁を設けた軸組	表三(い)	表三(い)	表三(い)
厚さ1.5センチメートル以上幅9センチメートル以上の木材の筋かい又は径9ミリメートル以上の鉄筋の筋かいを入れた軸組	表三(ろ)	表三(い)	表三(い)
厚さ3センチメートル以上幅9センチメートル以上の木材の筋かいを入れた軸組	表三(に)	表三(ろ)	表三(い)
厚さ1.5センチメートル以上幅9センチメートル以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組又は径9ミリメートル以上の鉄筋の筋かいをたすき掛けに入れた軸組	表三(と)	表三(は)	表三(ろ)
厚さ4.5センチメートル以上幅9センチメートル以上の木材の筋かいを入れた軸組	表三(と)	表三(は)	表三(ろ)
構造用合板等を昭和56年建設省告示第1100号別表第一(一)項又は(二)項に定める方法で打ち付けた壁を設けた軸組	表三(ち)	表三(へ)	表三(は)
厚さ3センチメートル以上幅9センチメートル以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組	表三(り)	表三(と)	表三(に)
厚さ4.5センチメートル以上幅9センチメートル以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組	表三(ぬ)	表三(ち)	表三(と)

表 三

(い)	短ほぞ差し、かすがい打ち又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
(ろ)	長ほぞ差し込み栓打ち若しくは厚さ2.3ミリメートルのL字型の鋼板添え板を、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6.5センチメートルの太め鉄丸くぎを5本平打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
(は)	厚さ2.3ミリメートルのT字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ6.5センチメートルの太め鉄丸くぎを5本平打ちしたもの若しくは厚さ2.3ミリメートルのV字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ9センチメートルの太め鉄丸くぎを4本平打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
(に)	厚さ3.2ミリメートルの鋼板添え板に径12ミリメートルのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径12ミリメートルのボルト締め、横架材に対して厚さ4.5ミリメートル、40ミリメートル角の角座金を介してナット締めをしたもの若しくは厚さ3.2ミリメートルの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12ミリメートルのボルト締めとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
(ほ)	厚さ3.2ミリメートルの鋼板添え板に径12ミリメートルのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径12ミリメートルのボルト締め及び長さ50ミリメートル、径4.5ミリメートルのスクリュー釘打ち、横架材に対して厚さ4.5ミリメートル、40ミリメートル角の角座金を介してナット締めしたもの又は厚さ3.2ミリメートルの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12ミリメートルのボルト締め及び長さ50ミリメートル、径4.5ミリメートルのスクリュー釘打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
(へ)	厚さ3.2ミリメートルの鋼板添え板を用い、柱に対して径12ミリメートルのボルト2本、横架材、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16ミリメートルのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの
(と)	厚さ3.2ミリメートルの鋼板添え板を用い、柱に対して径12ミリメートルのボルト3本、横架材(土台を除く。)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16ミリメートルのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの
(ち)	厚さ3.2ミリメートルの鋼板添え板を用い、柱に対して径12ミリメートルのボルト4本、横架材(土台を除く。)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16ミリメートルのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの
(り)	厚さ3.2ミリメートルの鋼板添え板を用い、柱に対して径12ミリメートルのボルト5本、横架材(土台を除く。)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16ミリメートルのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの
(ぬ)	(と)に掲げる仕口を2組用いたもの

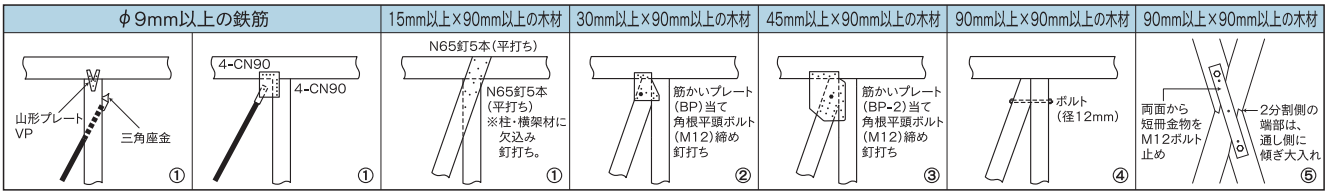
三、　前二号に掲げるもののほか、その他の構造耐力上主要な部分の継手又は仕口にあっては、ボルト締、かすがい打、込み栓打その他の構造方法によりその部分の存在応力を伝えるように緊結したものでなくてはならない。

告示第1460号第二号表(1)、(2)の早見表と解説図



軸組の種類		平屋部分又は最上階の柱				その他(2階建ての1階)の柱					
		Ⓐ出　隅		Ⓑその他軸組端部		Ⓒ上階及び当階共出隅		Ⓓ上階出隅及び当階出隅以外		Ⓔ上階及び当階共出隅以外	
		告示記号	参考図番号	告示記号	参考図番号	告示記号	参考図番号	告示記号	参考図番号	告示記号	参考図番号
木ずり		い	図-1	い	図-1	い	図-1	い	図-1	い	図-1
片筋かい	①15mm以上×90mm以上の木材又はφ9mm以上の鉄筋	ろ	図-2	い	図-3	ろ	図-2	い	図-3	い	図-3
	②30mm以上×90mm以上の木材	ろ	図-4 (筋かい下部)	い	図-3 (筋かい下部)	に	図-5 図-6	ろ	図-7	い	図-8
		に	図-5 図-6 (その他)	ろ	図-7 (その他)						
	③45mm以上×90mm以上の木材	は	図-9 (筋かい下部)	ろ	図-10	と	図-11	は	図-12 図-13	ろ	図-10
		ほ	図-14 図-15 (その他)								
	④90mm以上×90mm以上の木材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
面材1枚	構造用合板 パーティクルボード 構造用パネル	ほ	図-16 図-17	ろ	図-18	ち	図-19	へ	図-20	は	図-21 図-22
筋かいたすき掛け	15mm以上×90mm以上の木材又はφ9mm以上の鉄筋	に	図-5 図-23	ろ	図-24	と	図-25	は	図-26 図-27	ろ	図-24
	30mm以上×90mm以上の木材	と	図-25	は	図-28 図-29	り	図-30	と	図-31	に	図-32 図-33
	45mm以上×90mm以上の木材	と	図-11	に	図-32 図-34	ぬ	図-35	ち	図-36	と	図-31
	⑤90mm以上×90mm以上の木材	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

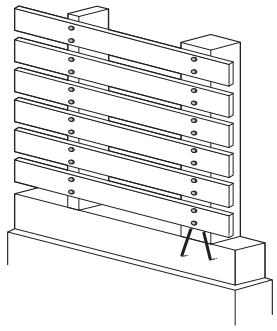
参考図



参考図番号1～12

図-1 その他 木ずり かすがい(C)

い

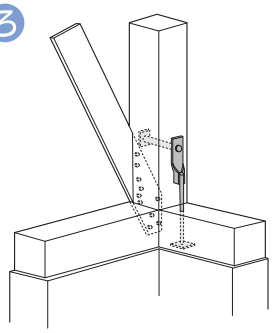


● 木ずりを片面及び両面に打ち付けた軸組や出隅の場合も同様です。

※かすがいの本数までは、告示では規定しておりません。ここでは、かすがいをハの字に2本取り付けています。かすがいを打ち込む時には、木材が割れないように注意しましょう。

図-2 出隅 15×90mm 羽子板ボルト(SB・E2)

ろ

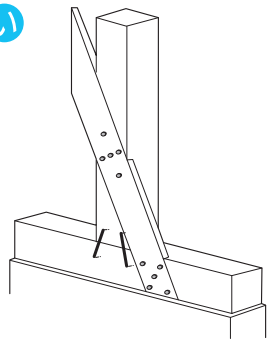


● 土台と柱の緊結は、9φの鉄筋の場合も同様です。

※土台小口へのくぎの耐力は、期待できないので小口面に接合金物や筋かい端部を取り付けることは避けましょう。また、接合金物と筋かい端部を同一面に重ねて取り付けることもできません。両者の一方を土台小口に取り付けないためには、接合金物はかど金物CP・Lでなく羽子板ボルト等を使用します。

図-3 その他 15×90mm かすがい(C)

い

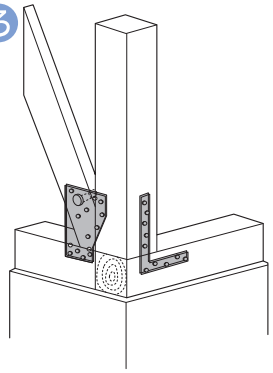


● 土台と柱の緊結は、9φの鉄筋又は30mm×90mmの筋かいの場合も同様です。

※筋かい15mm×90mmは、柱及び土台を切り欠いて取り付けています。かすがいの本数は、告示では規定しておりません。ここでは、かすがいをハの字に2本取り付けています。かすがいを打ち込む時には、木材が割れないように注意しましょう。

図-4 出隅 30×90mm かど金物(CP・L)

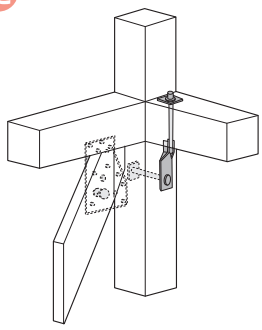
ろ



※かど金物CP・Lは、土台小口を避け柱及び土台の側面に取り付けます。

図-5 出隅 30×90mm 羽子板ボルト(SB・E2)

に

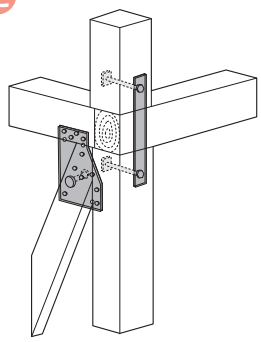


● 横架材と柱の緊結は、9φの鉄筋又は15mm×90mmの筋かい(たすき掛け)の場合も同様です。

※羽子板ボルトは、角座金が柱の材端に当たらないようにSB・E2を用います。

図-6 出隅 30×90mm 短ざく金物(S)

に

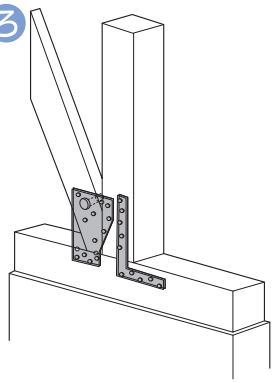


● 横架材と柱相互の緊結は、9φの鉄筋又は15mm×90mmの筋かい(たすき掛け)の場合も同様です。

※短ざく金物は、六角ボルトを用いて取り付けます。また、短ざく金物と六角ボルト頭の厚さが外壁仕上げや下地材に当たる場合があるので、必要に応じて彫り込んで沈めます。

図-7 その他 30×90mm かど金物(CP・L)

ろ

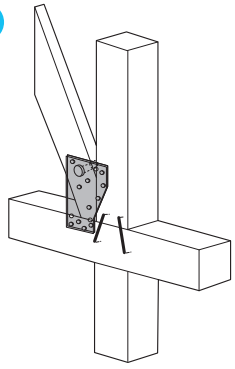


● 横架材と柱の緊結は、9φの鉄筋又は15mm×90mmの筋かい(たすき掛け)の場合も同様です。

※かど金物CP・Lが筋かい金物に当たらないように、かど金物CP・Lは柱芯を少し避けて取り付けましょう。

図-8 その他 30×90mm かすがい(C)

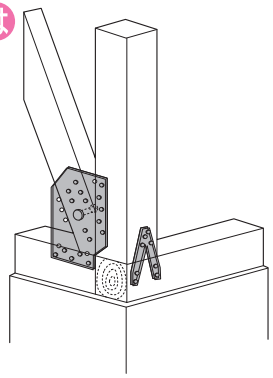
い



※かすがいの本数は、告示では規定しておりません。ここでは、かすがいをハの字に2本取り付けています。かすがいを打ち込む時には、木材が割れないように注意しましょう。

図-9 出隅 45×90mm 山形プレート(VP)

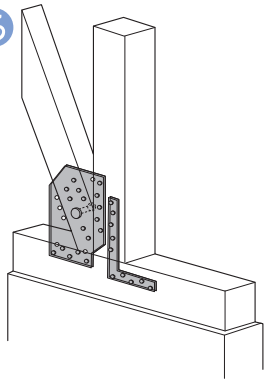
は



※山形プレートVPは土台の小口を避け、側面に取り付けましょう。筋かいプレートと山形プレートVPを同じ面に取付ける場合は、山形プレートVPを柱芯から少しずらして取り付けましょう。

図-10 その他 45×90mm かど金物(CP・L)

ろ

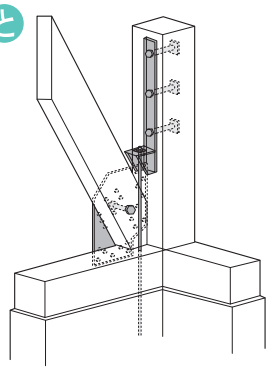


● 横架材と柱の緊結は、9φの鉄筋(たすき掛け)、15mm×90mm(たすき掛け)又は30mm×90mmの筋かいの場合も同様です。

※かど金物CP・Lが筋かい金物に当たらないように、かど金物CP・Lは柱芯を少し避けて取り付けましょう。

図-11 出隅 45×90mm 引き寄せ金物(S-HD15)ボルト3本

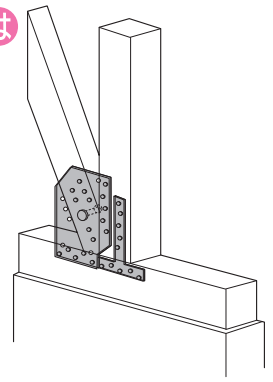
と



※30mm×90mm以上の筋かいを用いる場合は、引き寄せ金物が筋かいの厚みや筋かいプレートのボルト等に当たることがありますので、長めのアンカーボルトを用いて筋かい端部を避けて取付けるか、他の側面に取り付けましょう。

図-12 その他 45×90mm かど金物(CP・T)

は

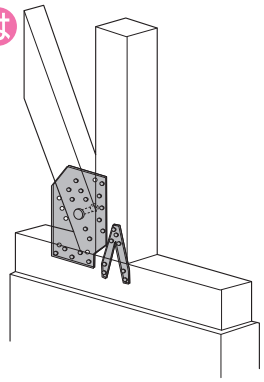


※筋かいプレートBP-2とかど金物CP・Tを同じ面に取り付ける場合は、かど金物CP・Tを柱芯から少しずらして取り付けましょう。

参考図番号13～24

図-13 その他 45×90mm 山形プレート(VP)

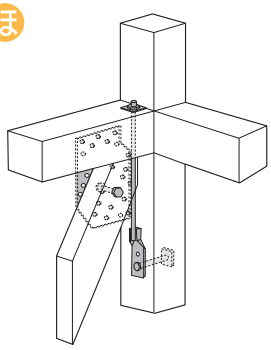
は



※筋かいプレートBP-2と山形プレートVPを同じ面に取り付ける場合は、山形プレートVPを柱芯から少しずらして取り付けましょう。

図-14 出隅 45×90mm 羽子板ボルト(SB・E)＋スクリューくぎ

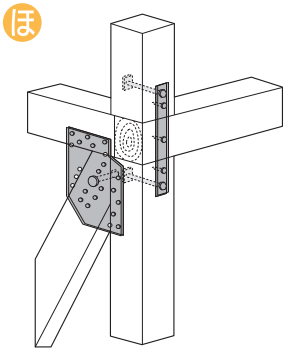
ほ



※45mm×90mm以上の筋かいを用いる場合は、羽子板ボルトが筋かいの厚みや筋かいプレートのボルト等に当たることがありますので、長めの羽子板ボルトを用いて筋かい端部を避けるか、他の側面に取り付けましょう。また、羽子板ボルトは、角座金が柱の材端に当たらないようにSB・Eを用います。

図-15 出隅 45×90mm 短ざく金物(S)＋スクリューくぎ

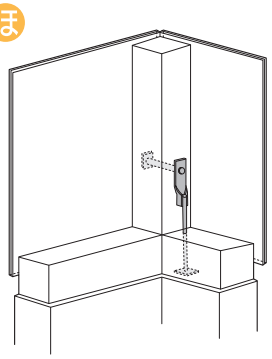
ほ



※短ざく金物は、六角ボルトとスクリューくぎを用いて取り付けます。また、短ざく金物と六角ボルト頭の厚さが外壁仕上げや下地材に当たる場合があるので、必要に応じて彫り込んで沈めます。

図-16 出隅 面材1枚 羽子板ボルト(SB・E)＋スクリューくぎ

ほ

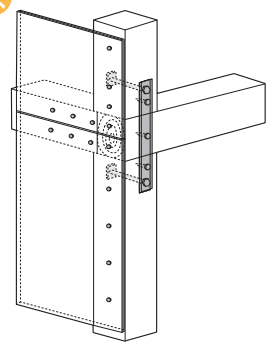


※告示では、羽子板ボルトをこのように取り付けることになります。しかし、羽子板ボルトの本締めを行うためには、土台や基礎を大きく切り欠く必要があります。(注1)

(注1)クリ10スリムコーナーⅢ P19・20参照
フラットボルト＋万能羽子板Ⅱ P82・42参照
フラットボルト＋ビス止め万能羽子板Ⅱ P82・44参照
フラットボルト＋万能羽子板 P82・46参照

図-17 出隅 面材1枚 短ざく金物(S)＋スクリューくぎ

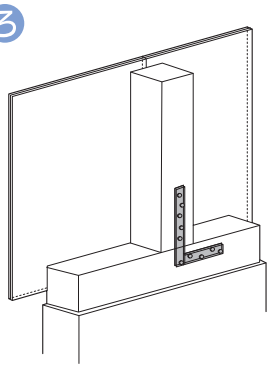
ほ



※短ざく金物は、六角ボルトとスクリューくぎを用いて取り付けます。また、短ざく金物と六角ボルト頭の厚さが外壁仕上げや下地材に当たる場合があるので、必要に応じて彫り込んで沈めます。

図-18 その他 面材1枚 かど金物(CP・L)

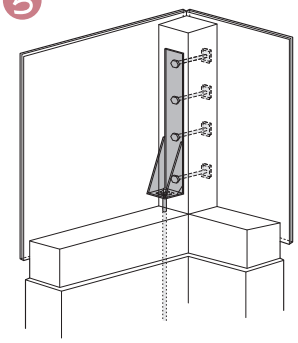
ろ



※かど金物CP・Lは、柱芯に取り付けます。

図-19 出隅 面材1枚 引き寄せ金物(HD-B20)ボルト4本

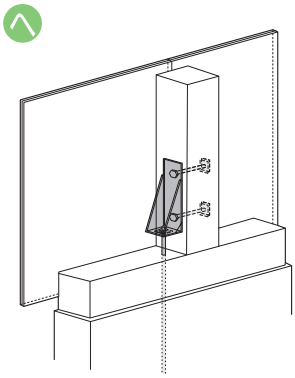
ち



※引き寄せ金物の締めしろは、約30mm以上とります。引き寄せ金物が筋かいに当たるような場合や真壁で仕上げる場合は、幅の狭いS-HDを使用します。

図-20 その他 面材1枚 引き寄せ金物(HD-B10)ボルト2本

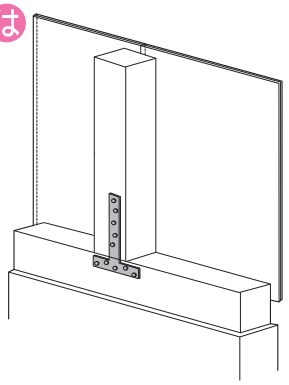
へ



※引き寄せ金物の締めしろは、約30mm以上とります。引き寄せ金物が筋かいに当たるような場合や真壁で仕上げる場合は、幅の狭いS-HDを使用します。

図-21 その他 面材1枚 かど金物(CP・T)

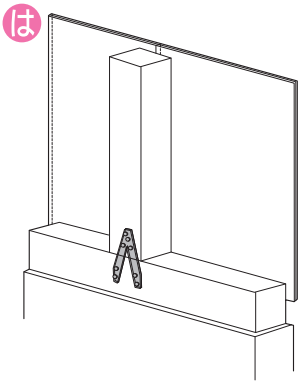
は



※かど金物CP・Tは、柱芯に取り付けます。

図-22 その他 面材1枚 山形プレート(VP)

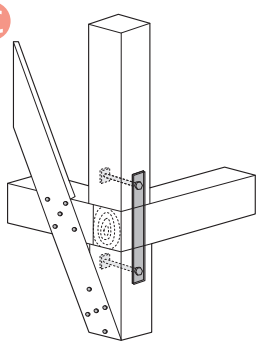
は



※原則として山形の頂点を柱側に取り付けます。ただし、背割りした柱は、山形の頂点を土台側に取り付けます。

図-23 出隅 15×90mm(たすき掛け) 短ざく金物(S)

に

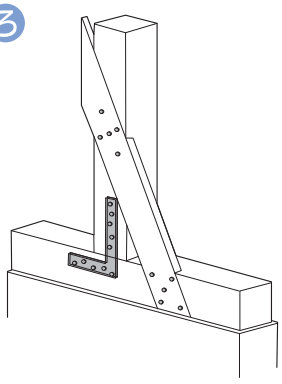


● 横架材と柱の緊結は、9φの鉄筋筋かいの場合も同様です。

※短ざく金物は、六角ボルトを用いて取り付けます。また、短ざく金物と六角ボルト頭の厚さが外壁仕上げや下地材に当たる場合があるので、必要に応じて彫り込んで沈めます。

図-24 その他 15×90mm(たすき掛け) かど金物(CP・L)

ろ



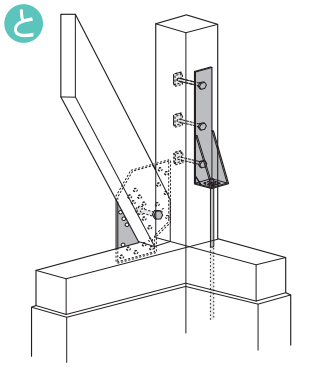
● 横架材と柱の緊結は、9φの鉄筋筋かいの場合も同様です。

※かど金物CP・Lは、柱芯に取り付けます。

参考図番号25～36

図-25 出隅 30×90mm(たすき掛け) 引き寄せ金物(HD-B15)ボルト3本

と

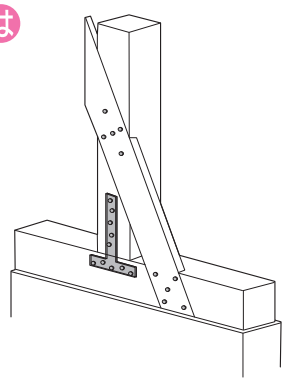


● 横架材と柱の緊結は、9φの鉄筋及び15mm×90mmの筋かいをたすき掛けにした場合も同様です。

※引き寄せ金物の締めしろは、約30mm以上とります。引き寄せ金物HD-Bは、筋かいに当たるので筋かい側を避けて取り付けます。ただし、同じ面に取付ける場合は、S-HDを取り付けます。

図-26 その他 15×90mm(たすき掛け) かど金物(CP・T)

は

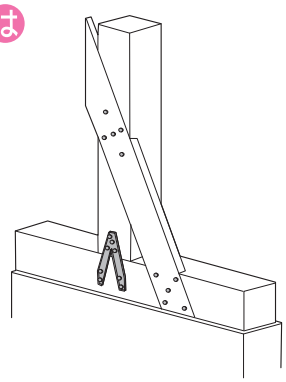


● 横架材と柱の緊結は、9φの鉄筋筋かいの場合も同様です。

※かど金物CP・Tは、柱芯に取り付けます。

図-27 その他 15×90mm(たすき掛け) 山形プレート(VP)

は

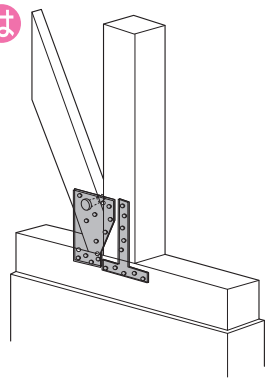


● 横架材と柱の緊結は、9φの鉄筋筋かいの場合も同様です。

※原則として山形の頂点を柱側に取り付けます。ただし、背割りした柱は、山形の頂点を土台側に取り付けます。

図-28 その他 30×90mm(たすき掛け) かど金物(CP・T)

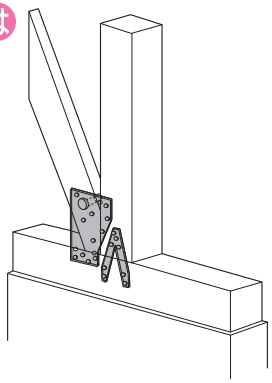
は



※筋かいプレートとかど金物CP・Tを同じ面に取り付ける場合は、かど金物CP・Tを柱芯から少しずらして取り付けましょう。

図-29 その他 30×90mm(たすき掛け) 山形プレート(VP)

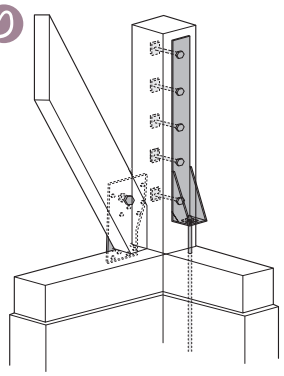
は



※筋かいプレートBPと山形プレートVPを同じ面に取り付ける場合は、山形プレートVPは柱芯に取り付けましょう。

図-30 出隅 30×90mm(たすき掛け) 引き寄せ金物(HD-B25)ボルト5本

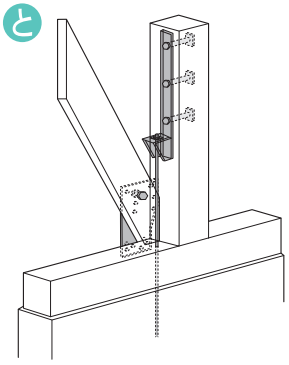
り



※引き寄せ金物の締めしろは、約30mm以上とります。引き寄せ金物HD-Bは、筋かいに当たるので筋かい側を避けて取り付けます。ただし、同じ面に取り付ける場合は、S-HDを取り付けます。

図-31 その他 30×90mm(たすき掛け) 引き寄せ金物(S-HD15)ボルト3本

と

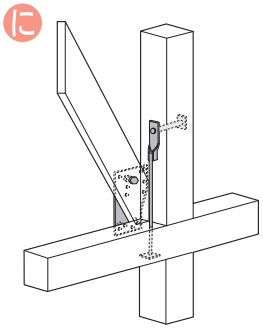


●横架材と柱の緊結は、45mm×90mmの筋かいをたすき掛けに取り付ける場合も同様です。

※30mm×90mm以上の筋かいを用いる場合は、引き寄せ金物が筋かいの厚みや筋かいプレートのナット等に当たることがありますので、長めのボルトを用いて筋かい端部を避けるか、他の側面に取り付けましょう。

図-32 その他 30×90mm(たすき掛け) 羽子板ボルト(SB・E2)

に

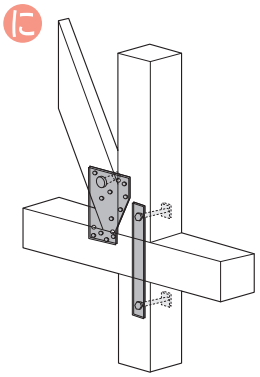


●横架材と柱の緊結は、45mm×90mmの筋かいをたすき掛けに取り付ける場合も同様です。

※30mm×90mm以上の筋かいを用いる場合は、羽子板ボルトが筋かいの厚みや筋かいプレートのボルト頭等に当たることがありますので、長めのボルトを用いて筋かい端部を避けるか、他の側面に取り付けましょう。また、羽子板ボルトは、角座金が柱の材端に当たらないようにSB・E2を用います。

図-33 その他 30×90mm(たすき掛け) 短ざく金物(S)

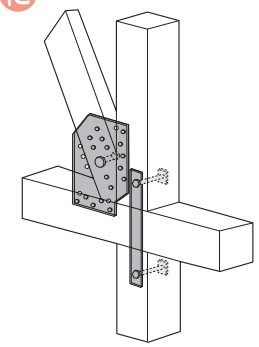
に



※短ざく金物は、六角ボルトを用いて取り付けます。筋かいプレートと短ざく金物を同じ面に取り付ける場合は、短ざく金物を柱芯から少しずらして取り付けましょう。また、短ざく金物と六角ボルト頭の厚さが外壁仕上げや下地材に当たる場合があるので、必要に応じて彫り込んで沈めます。

図-34 その他 45×90mm(たすき掛け) 短ざく金物(S)

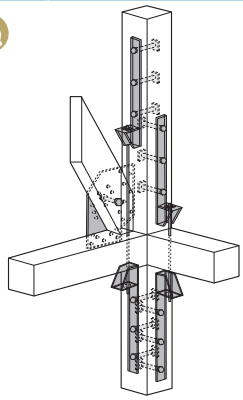
に



※短ざく金物は、六角ボルトを用いて取り付けます。筋かいプレートと短ざく金物を同じ面に取り付ける場合は、短ざく金物を柱芯から少しずらして取り付けましょう。また、短ざく金物と六角ボルト頭の厚さが外壁仕上げや下地材に当たる場合があるので、必要に応じて彫り込んで沈めます。

図-35 出隅 45×90mm(たすき掛け) 引き寄せ金物(S-HD15)ボルト3本2組

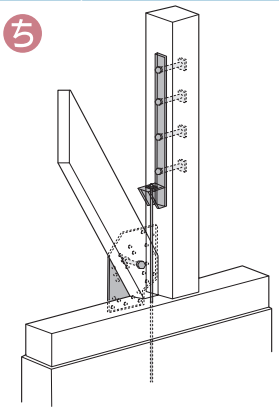
ぬ



※30mm×90mm以上の筋かいを用いる場合は、引き寄せ金物が筋かいの厚みや筋かいプレートのボルト等に当たることがありますので、筋かい端部を避けて取り付けます。また、引き寄せ金物2組が直行して柱に取り付きますので、六角ボルトが当たらないようにずらして取り付けます。引き寄せ金物の締めしろは、約30mm以上とります。

図-36 その他 45×90mm(たすき掛け) 引き寄せ金物(S-HD20)ボルト4本

ち



※30mm×90mm以上の筋かいを用いる場合は、引き寄せ金物が筋かいの厚みや筋かいプレートのナット等に当たることがありますので、長めのアンカーボルトを用いて筋かい端部を避けるか、他の側面に取り付けましょう。

接合金物を選択するための算定式

式1　平屋建ての場合、もしくは2階建ての部分における2階の柱の場合

$$N=A1\times B1-L1$$

N　：表1に規定するNの数値

A1：当該柱の両面における軸組の倍率の差（片側のみ軸組が取り付く場合には、当該軸組の倍率）の数値。
ただし、筋かいを設けた軸組の場合には、表2～表4に該当する補正値を加えたものとする。

B1：周辺の部材による押さえ（曲げ戻し）の効果を表す係数で、出隅の柱においては0.8、
その他の柱においては0.5とする。

L1：鉛直荷重による押さえの効果を表す係数で、出隅の柱においては0.4、
その他の柱においては0.6とする。

式2　2階建ての部分における1階の柱の場合

$$N=A1\times B1+A2\times B2-L2$$

N　：表1のNの数値

A1：当該柱の両面における軸組の倍率の差（片側のみ軸組が取り付く場合には、当該軸組の倍率）の数値。
ただし、筋かいを設けた軸組の場合には、表2～表4に該当する補正値を加えたものとする。

B1：周辺部材による押さえ（曲げ戻し）の効果を表す係数で、出隅の柱においては0.8、
その他の柱においては0.5とする。

A2：当該柱に連続する2階柱の両側における軸組の倍率の差（片側のみ軸組が取り付く場合には
当該軸組の倍率）の数値。ただし、筋かいを設けた軸組の場合には、表2～表4に該当する補正値を
加えたものとする。（当該2階柱の引抜き力が、他の柱などによって下階に伝達される場合は0とする。）

B2：2階の周辺部材による押さえ（曲げ戻し）の効果を示す係数で、2階の出隅の柱においては0.8、
2階のその他の柱においては0.5とする。

L2：鉛直荷重による押さえの効果を示す係数で、出隅の柱においては1.0、
その他の柱においては1.6とする。

これらの算定式から導き出されたN値を表1に照らし合わせると、継手・仕口に用いる接合金物が決まります。

表1

告示第1460号第二号表三	Nの値	継手・仕口の仕様
(い)	0.0以下	短ほぞ差し又はかすがい打ち
(ろ)	0.65以下	チビクリ CK
(は)	1.0以下	クリビスプレートⅡ（壁合板9mm対応） KBPLⅡG9 クリビスプレート KBPL、チビクリⅡ CKⅡ クリコーナーⅢ+ KCNⅢ+
(に)	1.4以下	棟梁羽子板、クリコーナーⅢ+ KCNⅢ+
(ほ)	1.6以下	棟梁羽子板Ⅱ、万能羽子板Ⅱ、万能羽子板

告示第1460号第二号表三	Nの値	継手・仕口の仕様
(へ)	1.8以下	クリ10スリムコーナーⅢ K10SⅢ 棟梁羽子板Ⅲ、ビス止め棟梁羽子板Ⅱ、ビス止め万能羽子板Ⅱ クリ10プレート K10PL、クリ10短ざく金物 KS10-300
(と)	2.8以下	クリ15コーナー K15 MKパイプホールダウン MK-PHD15 クリホールダウンⅢ15・20・25 KHDⅢ-15・20・25
(ち)	3.7以下	クリ20コーナー K20 クリホールダウンⅢ15・20・25 KHDⅢ-15・20・25
(り)	4.7以下	クリホールダウンⅢ15・20・25 KHDⅢ-15・20・25
(ぬ)	5.6以下	MKパイプホールダウン MK-PHD30 クリホールダウンⅢ30・35 KHDⅢ-30・35 クリホールダウンⅢ40 KHDⅢ-40 クリ高耐力ホールダウン68 KHD-68

表2　補正値1：筋かいが片側から取り付く柱

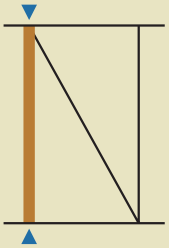
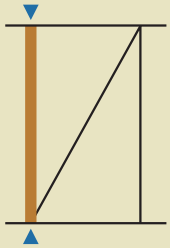
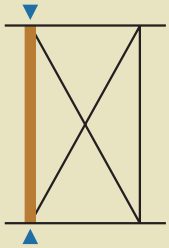
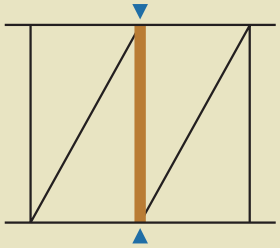
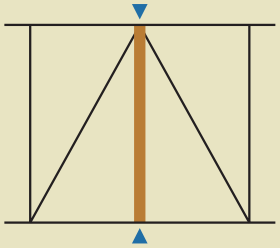
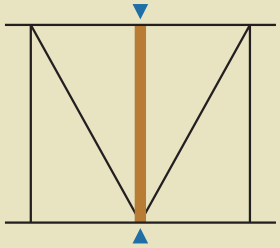
筋かいの種類＼筋かいの取り付く位置	図1：柱頭部 	図2：柱脚部 	図3：柱頭・柱脚部 
15mm以上×90mm以上の木材又はφ9mm以上の鉄筋	0	0	たすき筋かいの場合は、補正値を0とする。
30mm以上×90mm以上の木材	0.5	−0.5	
45mm以上×90mm以上の木材	0.5	−0.5	
90mm以上×90mm以上の木材	2.0	−2.0	

表3　補正値2：筋かいが両側から取り付く柱

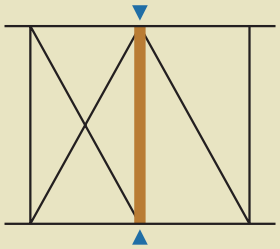
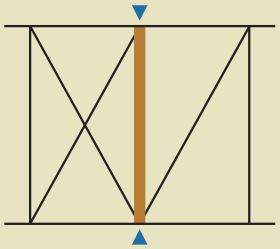
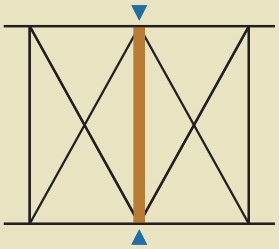
図4：両側が片筋かいの場合

一方が片筋かい＼他方が片筋かい	15mm以上×90mm以上の木材又はφ9mm以上の鉄筋	30mm以上×90mm以上の木材	45mm以上×90mm以上の木材	90mm以上×90mm以上の木材	備考
15mm以上×90mm以上の木材又はφ9mm以上の鉄筋	0	0.5	0.5	2.0	両筋かいがともに柱脚部に取り付く場合は、補正値を0とする。
30mm以上×90mm以上の木材	0.5	1.0	1.0	2.5	
45mm以上×90mm以上の木材	0.5	1.0	1.0	2.5	
90mm以上×90mm以上の木材	2.0	2.5	2.5	4.0	

表4　補正値3：筋かいが両側から取り付く柱

図5：一方が片筋かい、他方がたすき筋かいの場合

一方が片筋かい＼他方がたすき筋かい	15mm以上×90mm以上の木材又はφ9mm以上の鉄筋	30mm以上×90mm以上の木材	45mm以上×90mm以上の木材	90mm以上×90mm以上の木材	備考
15mm以上×90mm以上の木材又はφ9mm以上の鉄筋	0	0.5	0.5	2.0	片筋かいが柱脚部に取り付く場合又は両筋かいがともにたすきに取り付く場合は、補正値を0とする。
30mm以上×90mm以上の木材	0	0.5	0.5	2.0	
45mm以上×90mm以上の木材	0	0.5	0.5	2.0	
90mm以上×90mm以上の木材	0	0.5	0.5	2.0	

品　確　法

品確法とは、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」をいい、略して「品確法」「住宅品質確保法」ともいわれています。この法律は、大きく次の2つの柱からなっています。

1	新築住宅における瑕疵担保期間の10年の義務化
2	住宅性能表示制度（任意）

1. 新築住宅における瑕疵担保期間の10年の義務化

引き渡された（※1）新築住宅の（※2）基本構造部分に当初約束されていた品質・性能に瑕疵（欠陥）があった場合に、その瑕疵を修理したり賠償金の支払いなどをしなければならない（※3）責任が10年間あることをいいます。

（※1）「新築住宅」とは、新たに建設された住宅で、まだ人の居住の用に供したことのないもので、かつ新築されてから1年以内のものをいいます。従って、建売住宅で新築後1年以上売れ残ったものは対象になりません。

（※2）「基本構造部分」とは、次の部分のことです。

基本構造部分	具体的部位
構造耐力上主要な部分	柱・梁・耐力壁・基礎・地盤・土台等の構造躯体
雨水の浸入を防止する部分	外壁や屋根の仕上・下地・開口部等

（※3）「瑕疵担保責任」を負う工務店が瑕疵担保責任を負えないまま事業を停止したり解散してしまった場合、新築住宅の発注者や買主を保護するため「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律（略して「住宅瑕疵担保履行法」）」が平成21年10月1日に施行されました。この法律により、新築住宅の請負人（施工会社等）や売主（不動産会社等）に万一の場合でも瑕疵担保責任の履行を行えるよう資力確保措置（保険への加入または保証金の供託）が義務付けられ、平成21年10月1日以降に引き渡される新築住宅に関しては一定の水準の瑕疵担保責任の履行が保証されることとなりました。

2. 住宅性能表示制度（任意）

新築住宅の基本的な性能がどれくらいなのかを、住宅の工法・構造・施工者の別によらないで、共通に定められた方法を用いて客観的に示し、それを第三者が確認することを通じて、安心して住宅の取得ができることを目的とした制度です。

この制度は、次の2つのしくみから成り立っています。

（1）	住宅の性能を評価・表示するしくみ
（2）	性能評価された住宅に関する紛争を処理するしくみ

（1）住宅の性能を評価・表示するしくみ

①住宅の10分野の性能を計る「ものさし」ができます

国土交通大臣は、この制度の中で、日本住宅性能表示基準と評価方法基準を定めています。日本住宅性能表示基準は、住宅の性能に関し、表示すべき事項（「構造の安定に関すること」など、どのような性能を表示するか）と、表示の方法の基準（等級など、性能をどのように表示するか）を定めます。評価方法基準では、性能に関する設計図書の評価の方法や現場検査の方法が定められています。

②ものさしに従って第三者が客観的に性能をチェックします

住宅の性能評価を希望する者は、設計が完了した時点で、性能の自己評価をした上で、第三者機関である登録住宅性能評価機関に申請を行います。評価機関は、設計図書等に基づいて住宅の性能を評価し、設計住宅性能評価書（＝設計段階の性能の証明書）を交付します。さらに、評価機関は、施工段階と完成時に住宅の検査を行い、性能が確実に達成されているかを評価し、建設住宅性能評価書（＝完成段階の性能証明書）を交付します。なお、それぞれの性能評価書には法律に基づくマークが表示されます。

設計住宅性能評価書のマーク



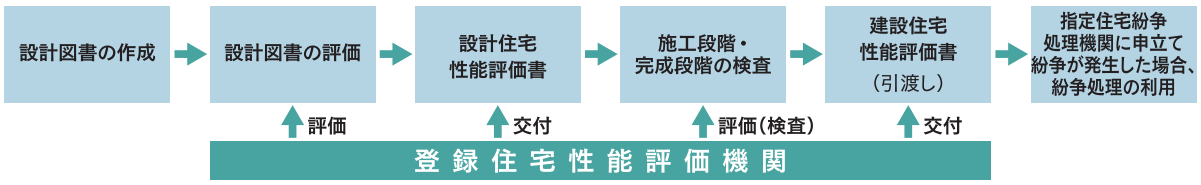
建設住宅性能評価書のマーク



③チェックされた性能を実現する

設計住宅性能評価書またはその写しを契約書に添付すると、設計評価された性能を実現することが契約内容として見なされます。このことは、契約により設計住宅性能評価書に示された性能と、建設住宅性能評価書で明らかになる性能を同じにすることを約束することを意味しています。ただし、契約書面で、契約内容としないことを明記した場合はこの限りではありません。また、性能評価書に示された性能は、あくまで引き渡し時点のものであり、引き渡し後何年かを経て性能が低下しないことを保証するものではありません。

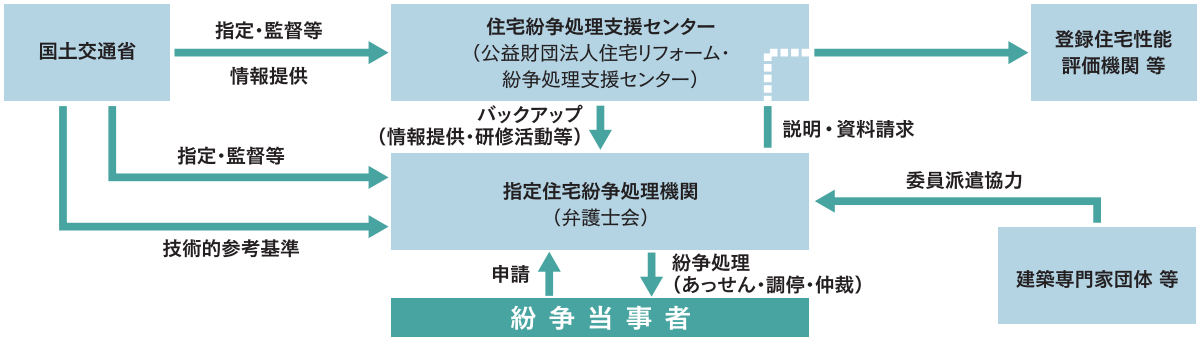
●住宅性能表示制度による性能評価の流れ



(2)性能評価された住宅に関する紛争を処理するしくみ

建設住宅性能評価書が交付された住宅については、国土交通大臣が指定する指定住宅紛争処理機関（各地の単位弁護士会）に紛争処理を申請することができます。指定住宅紛争処理機関は、裁判によらず住宅の紛争を円滑・迅速に処理するための機関ですが、建設住宅性能評価書が交付された住宅の紛争であれば、住宅性能評価書の記載内容だけでなく、請負契約・売買契約に関する当事者間のすべての紛争の処理を扱います。

●住宅性能表示制度による住宅の紛争処理のしくみ



●住宅性能表示制度の対象

1. 義務ではなく任意の制度です。

住宅性能表示制度は、法律に基づく仕組みですが、義務付けられるものではありません。このため、この制度を利用するかどうかは住宅取得者と住宅事業者の選択にゆだねられています。

2. だれでも申請できます。

登録住宅性能評価機関に性能評価の申請をするのは、住宅取得者でも住宅事業者でも構いません。住宅取得者は、自分で新築する住宅の性能を明らかにしたい場合に、設計図書が出来てから請負契約の締結までの間に、自ら登録住宅性能評価機関に申請することが出来ます。

3.「新築住宅」も「既存住宅」も制度の対象です。

住宅性能表示制度は、平成12年の施工時には新築住宅を対象としてスタートしましたが、平成14年には既存住宅（中古住宅）も対象に加えられました。

4.「併用住宅」も制度の対象です。

住宅性能表示制度の対象には、一戸建ての住宅・共同住宅・長屋などの専用住宅のほかに、併用住宅も含まれます。例えば事務所との併用住宅では、住宅の専用部分だけでなく、構造耐力を支える柱など事務所と共用している部分も対象となります。

5. 建築基準法に適合した住宅が制度の対象です。

住宅性能表示制度は、建築基準法に適合している住宅であれば活用が可能です。完成段階の性能評価書「建設住宅性能評価書」は、建築基準法に基づく確認申請の必要な地域では「検査済証」が発行されている住宅についてのみ発行されます。

●住宅性能表示制度における「表示すべき事項」

住宅性能表示制度では、「表示すべき事項」は10分野35項目（新築住宅については33項目）あります。このうち、必須項目は4分野9項目となります。その他については選択項目になり、登録住宅性能評価機関への評価申請の際に、評価をうけるかどうかを自由に選択することができます。

No	分　　野	内　　容	評価方法
1	構造の安定に関すること〔必須〕	地震や風等の力が加わった時の建物全体の強さ	壁量、壁の配置のつりあい等
2	火災時の安全に関すること	火災の早期発見のしやすさや建物の燃えにくさ	感知警報装置の設置、延焼のおそれのある部分の耐火時間等
3	劣化の軽減に関すること〔必須〕	建物の劣化（木材の腐朽等）のしにくさ	防腐・防蟻措置、床下・小屋裏の換気等
4	維持管理への配慮に関すること〔必須〕	給配水管とガス管の日常における点検・清掃・補修のしやすさ	地中埋設管の配管方法等
5	温熱環境に関すること〔必須〕	暖冷房時の省エネルギーの程度	躯体・開口部の断熱等
6	空気環境に関すること	内装材のホルムアルデヒド放散量の少なさ及び換気措置	居室の内装材の仕様、換気措置等
7	光・視環境に関すること	日照や採光を得る開口部面積の多さ	居室の床面積に対する開口部面積の割合
8	音環境に関すること	居室のサッシ等の遮音性能	サッシ等の遮音等級
9	高齢者等への配慮に関すること	バリアフリーの程度	部屋の配置、段差の解消、階段の安全性、手すりの設置、通路・出入口の幅員等
10	防犯に関すること	開口部の侵入防止対策	戸及び錠、サッシ及びガラス、雨戸等の侵入防止対策

＊住宅取得者に適した目標性能の設定

表示方法の多くは、等級や数値で表現されます。等級は、数字が大きいほど性能が高いことを表していますが、表示項目ごとに意味するところは異なります。また、住宅取得者のライフスタイルや地域の気候・風土への対応、デザイン、建設コストなど、表示基準の対象となっていない面も考慮して、それぞれの住宅取得者に最も適した性能の組み合わせを選択することが重要です。

基準の内容を十分に吟味しないで、等級が高いものや数値の良いものだけをむやみに要求したり、選択することは合理的とは言えません。また、建設コストの上昇を招くおそれもあります。

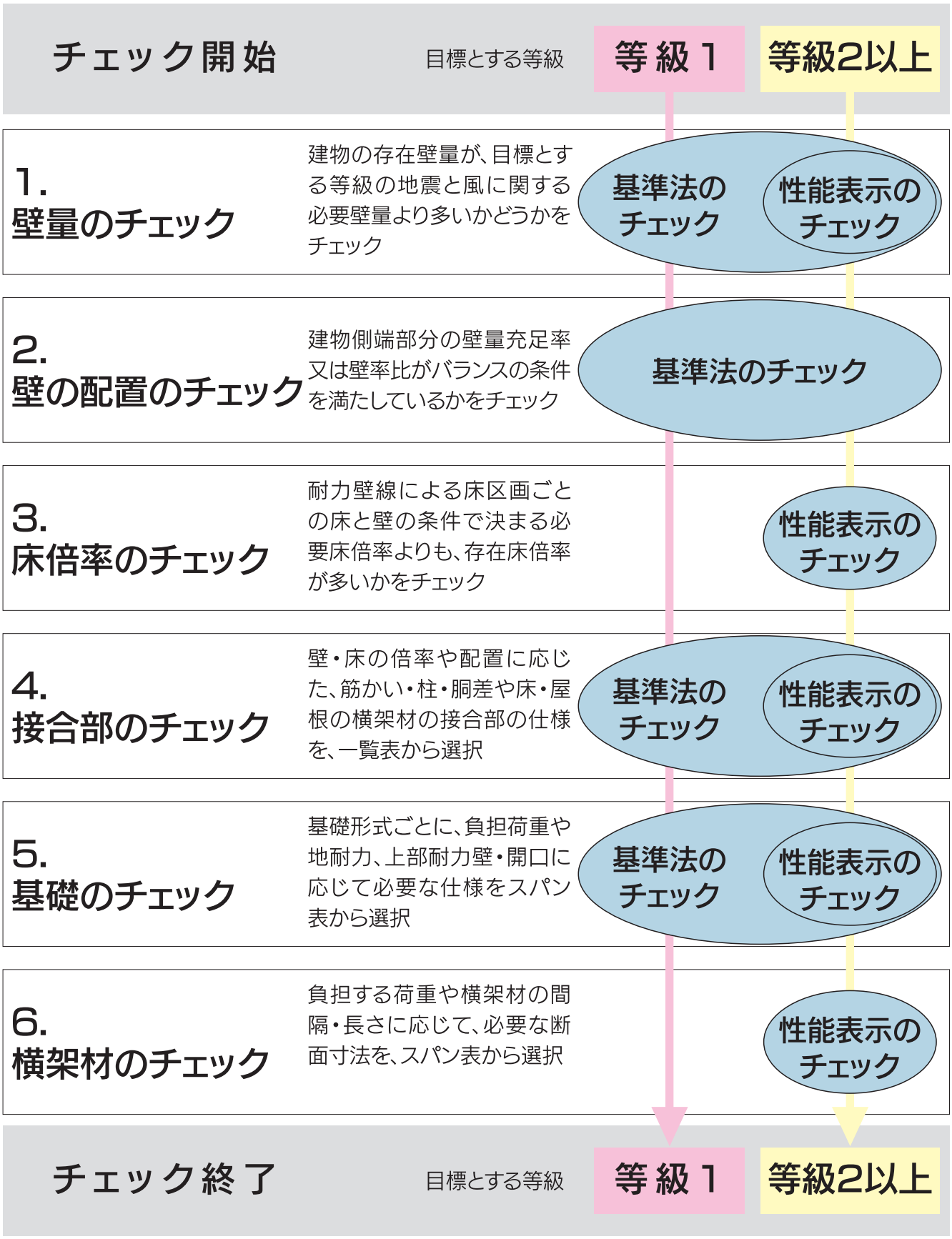
例えば、閑静な住宅地に建てる住宅に、遮音性の高いサッシがどの程度必要であるか、日中の外出が多くほとんど使用しない住宅に採光のための大きな窓がどの程度必要であるか、広さや間取りを犠牲にして、表示された性能だけが高ければ良いのか、などについて考慮することが重要です。

●住宅性能表示制度における「構造の安定に関すること」

「構造の安定に関すること」では、地震や風等の力が加わった時の建物全体の強さを次の6つの事項それぞれで評価を行います。（なお、対象となるのは、階数が2以下で延床面積が500㎡以下の戸建の木造軸組住宅だけです。）

No	項　　目	内　　容	評価方法
1	耐震等級（倒壊防止）	地震の力が加わった時の建物の倒壊・損傷のしにくさを等級（3,2,1）で表示します。	構造計算による方法と壁量規定等による方法があります。
2	耐震等級（損傷防止）		
3	耐風等級	風の力が加わった時の建物の倒壊・損傷のしにくさを等級（2,1）で表示します。	
4	耐積雪等級（多雪区域のみ）	屋根の積雪により生じる力に対する建物の倒壊・損傷のしにくさを等級（2,1）で表示します。	
5	地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	地盤又は杭に見込んでいる支持力の大きさと、その設定方法を記入します。	
6	基礎の構造方法及び形式等	基礎の構造及び形式を記入します。	

「構造の安定に関すること」の壁量規定等による、評価の手順



「構造の安定に関すること」の壁量規定等による、接合部のチェック項目

	項　　目	チェックについて	チェックの仕方
①	「筋かいの端部」と柱・横架材との接合部のチェック	建築基準法の告示に基づく仕様のチェック	筋かいの種類、材の断面寸法に応じた接合部の仕様を選択 ＊表1参照
②	「柱頭・柱脚」と横架材との接合部のチェック	建築基準法の告示に基づく仕様のチェック	柱に取りつく壁の倍率に応じた柱の接合部の仕様を選択 ＊表2参照
③	「胴差の端部と通し柱」の接合部のチェック	性能表示のチェック	通し柱と胴差の条件に応じた接合部の仕様を選択 ＊表3参照
④	「床・屋根の外周の横架材」の接合部のチェック	性能表示のチェック	横架材に取りついている床・屋根の存在床倍率から、横架材にかかる引き抜き力に応じた必要接合部倍率を求め、それよりも大きな存在接合部倍率を持った接合部の仕様を選択 ＊表2参照

＊耐震・耐雪等級を2以上とするためには、全てのチェックを行います。
＊耐積雪等級のみ2とするか、等級を全て1とするときには、①と②のチェックを行います。

表1 筋かいの種類に応じた筋かい端部の接合部の仕様

筋かいの種類	筋かい端部の接合部の仕様	当社製品	掲載ページ
鉄筋（φ9mm以上）	柱又は横架材を貫通し、三角座金を介してナット締め、又は鋼板添え板を用い鋼板を柱及び横架材にCN90,8本平打ち	−	−
木製筋かい（断面寸法 15×90mm以上）	柱・横架材を欠き込み、柱・横架材双方に対してN65,5本平打ち	−	−
木製筋かい（断面寸法 30×90mm以上）	鋼板添え板t＝1.6mmを筋かいに対してボルトφ12及びCN65,3本平打ち、柱に対してCN65,3本平打ち、横架材に対してCN65,4本平打ち	−	−
	参考：Zマーク表示金物筋かいプレート（BP）、同等認定金物等		
木製筋かい（断面寸法 45×90mm以上）	鋼板添え板t＝2.3mmを筋かいに対してボルトφ12及びスクリュー釘φ4.5L50,7本平打ち、柱及び横架材に対してスクリュー釘φ4.5L50,5本平打ち	クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ	9
		クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ	10
		2倍コンパクトボックス K-4	11
	参考：Zマーク表示金物筋かいプレート（BP-2）、同等認定金物等	−	−
木製筋かい（断面寸法 90×90mm以上）	柱又は横架材にボルトφ12mmを用いて一面剪断接合	−	−

参考図

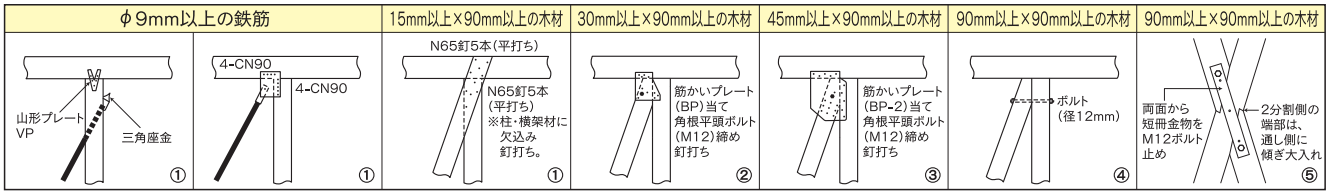


表2 接合部の仕様と耐力

接合記号	接合部の仕様		接合部倍率	当社該当製品	掲載ページ
(い)	短ほぞ差し かすがい(かすがいC注1)	短ほぞ差し、かすがい打ち又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	0.0	–	–
(ろ)	長ほぞ差し込み栓打ち L字型金物 (かど金物CP・L)	長ほぞ差し打ち込み栓若しくは厚さ2.3ミリメートルのL字型の鋼板添え板を、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6.5センチメートルの太め鉄丸くぎを5本平打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	0.7	チビクリ CK チビクリ(床合板30mm対応) CKG30	13
(は)	V字型金物 (山形プレートVP) T字型金物 (かど金物CP・T)	厚さ2.3ミリメートルのT字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ6.5センチメートルの太め鉄丸くぎを5本平打ちしたもの若しくは厚さ2.3ミリメートルのV字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ9センチメートルの太め鉄丸くぎを4本平打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	1.0	クリビスプレート KBPL クリビスプレートⅡ(壁合板9mm対応) KBPLⅡG9 クリコーナーⅢ+(床合板30mm対応) KCNⅢ+ チビクリⅡ CKⅡ チビクリⅡ(床合板30mm対応) CKⅡG30 チビクリⅡ(枠材30mm対応) CKⅡW30	15 16 14 17 18 25
(に)	羽子板ボルト (羽子板ボルト SB・E2、SB・F2) 短ざく金物 (短ざく金物S)	厚さ3.2ミリメートルの鋼板添え板に径12ミリメートルのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径12ミリメートルのボルト締め、横架材に対して厚さ4.5ミリメートル、40ミリメートル角の角座金を介してナット締めをしたもの若しくは厚さ3.2ミリメートルの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12ミリメートルのボルト締めとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	1.4	クリコーナーⅢ+ KCNⅢ+ 棟梁羽子板 M12	14 45
(ほ)	羽子板ボルト+スクリュー釘50 (羽子板ボルト SB・E、SB・F) 短ざく金物+スクリュー釘50 (短ざく金物S)	厚さ3.2ミリメートルの鋼板添え板に径12ミリメートルのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径12ミリメートルのボルト締め及び長さ50ミリメートル、径4.5ミリメートルのスクリュー釘打ち、横架材に対して厚さ4.5ミリメートル、40ミリメートル角の角座金を介してナット締めしたもの又は厚さ3.2ミリメートルの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12ミリメートルのボルト締め及び長さ50ミリメートル、径4.5ミリメートルのスクリュー釘打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	1.6	棟梁羽子板Ⅱ M12 万能羽子板Ⅱ M12 万能羽子板 M12	41 42 46
(へ)	10kN用 引き寄せ金物 (引き寄せ金物 HD-B10、HD-N10 S-HD10)	厚さ3.2ミリメートルの鋼板添え板を用い、柱に対して径12ミリメートルのボルト2本、横架材、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16ミリメートルのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの	1.8	クリ10スリムコーナーⅢ K10SⅢ クリ10スリムコーナーⅢ(床合板30mm対応) K10SⅢG30 クリ10スリムコーナーⅢ(枠材30mm対応) K10SⅢW30 棟梁羽子板Ⅲ M12 ビス止め棟梁羽子板Ⅱ M12 ビス止め万能羽子板Ⅱ M12 クリ10プレート K10PL クリ10短ざく金物 KS10-300	19 20 26 47 43 44 49 51
(と)	15kN用 引き寄せ金物 (引き寄せ金物 HD-B15、HD-N15 S-HD15)	厚さ3.2ミリメートルの鋼板添え板を用い、柱に対して径12ミリメートルのボルト3本、横架材(土台を除く。)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16ミリメートルのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの	2.8	クリ15コーナー K15 クリ15コーナー(床合板30mm対応) K15G30 クリ15コーナー(枠材30mm対応) K15W30 MKパイプホールダウン MK-PHD15	21 22 27 39~40
(ち)	20kN用 引き寄せ金物 (引き寄せ金物 HD-B20、HD-N20注2 S-HD20)	厚さ3.2ミリメートルの鋼板添え板を用い、柱に対して径12ミリメートルのボルト4本、横架材(土台を除く。)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16ミリメートルのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの	3.7	クリ20コーナー K20 クリ20コーナー(床合板30mm対応) K20G30 クリ20コーナー(枠材30mm対応) K20W30	23 24 28
(り)	25kN用 引き寄せ金物 (引き寄せ金物 HD-B25、HD-N25注2 S-HD25)	厚さ3.2ミリメートルの鋼板添え板を用い、柱に対して径12ミリメートルのボルト5本、横架材(土台を除く。)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16ミリメートルのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの	4.7	クリホールダウンⅢ15・20・25 KHDⅢ-15・20・25 クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材30mm対応) KHDⅢ-15・20・25W30 クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材45mm対応) KHDⅢ-15・20・25W45 クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材45×60mm対応) KHDⅢ-15・20・25W45×60	35 29 30 31
(ぬ)	15kN用 引き寄せ金物×2	(と)に掲げる仕口を2組用いたもの	5.6	クリホールダウンⅢ30・35 KHDⅢ-30・35 クリホールダウンⅢ30・35(枠材45mm対応) KHDⅢ-30・35W45 クリホールダウンⅢ30・35(枠材45×60mm対応) KHDⅢ-30・35W45×60 クリホールダウンⅢ40 KHDⅢ-40 クリホールダウンⅢ40(枠材30mm対応) KHDⅢ-40W30 MKパイプホールダウン MK-PHD30 クリ高耐力ホールダウン68 KHD-68	36 32 33 37 34 39~40 38

注1 接合部の仕様欄の( )内はZマーク表示金物の名称を記しており、Zマーク表示金物同等認定品等も用いることができる。
注2 柱及び横架材の樹種がスギ類の時は使用不可。

接合記号	接合部の仕様		接合部倍率	当社該当製品	掲載ページ
(る)	腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け＋羽子板ボルト若しくは短ざく金物		1.9	棟梁羽子板Ⅲ M12	47
				棟梁羽子板Ⅱ M12	41
				万能羽子板Ⅱ M12	42
				ビス止め棟梁羽子板Ⅱ M12	43
				ビス止め万能羽子板Ⅱ M12	44
				棟梁羽子板 M12	45
				万能羽子板 M12	46
				クリ10プレート K10PL	49
				クリ10短ざく金物 KS10-300	51
(を)	腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け＋羽子板ボルト若しくは短ざく金物×2		3.0	棟梁羽子板Ⅲ M12×2	47
				棟梁羽子板Ⅱ M12×2	41
				万能羽子板Ⅱ M12×2	42
				ビス止め棟梁羽子板Ⅱ M12×2	43
				ビス止め万能羽子板Ⅱ M12×2	44
				棟梁羽子板 M12×2	45
				万能羽子板 M12×2	46
				クリ10プレート K10PL×2	49
				クリ10短ざく金物 KS10-300×2	51

●参考図

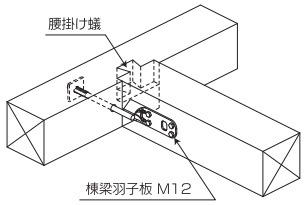
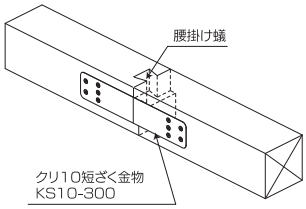
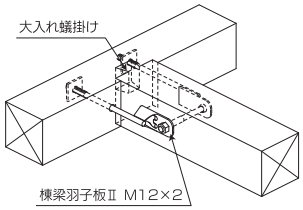
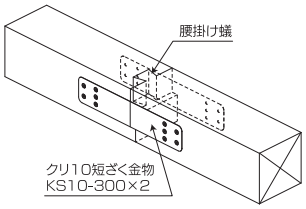
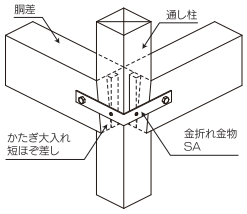
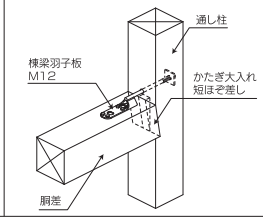
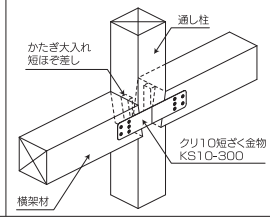
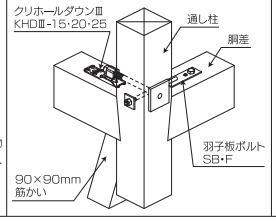
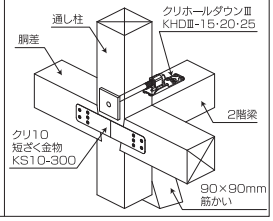
(る)腰掛け蟻＋羽子板ボルト (品確法接合部倍率:1.9)	(る)腰掛け蟻＋短ざく金物 (品確法接合部倍率:1.9)	(を)腰掛け蟻＋羽子板ボルト×2 (品確法接合部倍率:3.0)	(を)腰掛け蟻＋短ざく金物×2 (品確法接合部倍率:3.0)
			

表3 通し柱と胴差の条件に応じた接合部の仕様

通し柱と胴差の条件		仕口	当社該当製品	掲載ページ
T1	通し柱の片側に胴差がとりつく場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、羽子板ボルト、かね折り金物又は同等以上の仕口	棟梁羽子板Ⅲ M12	47
			棟梁羽子板Ⅱ M12	41
			万能羽子板Ⅱ M12	42
			ビス止め棟梁羽子板Ⅱ M12	43
			ビス止め万能羽子板Ⅱ M12	44
			棟梁羽子板 M12	45
			万能羽子板 M12	46
T2	通し柱の両側に胴差がとりつく場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、短ざく金物又は同等以上の仕口で胴差相互を緊結	クリ10短ざく金物 KS10-300	51
T3	通し柱と胴差の接合部の近くに断面寸法90×90㎜以上の木製筋かいがとりつく場合(通し柱が建物の出隅にあるか、筋かい壁が外壁と直交して接する場合)	胴差を通し柱に15kN用引き寄せ金物を水平に用いて緊結	クリホールダウンⅢ15・20・25 KHDⅢ-15・20・25	35

●参考図

(T1)かたぎ大入れ短ほぞ差し＋かね折り金物	(T1)かたぎ大入れ短ほぞ差し＋羽子板ボルト	(T2)かたぎ大入れ短ほぞ差し＋短ざく金物S	(T3)15kN用引き寄せ金物	
				

品質性能試験金物 一覧表

商品名	耐力(kN)	接合部倍率(N値)	番号	試験機関	告示第1460号	掲載ページ
クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ(外使い)	3.1	—	14A2962	(一財)建材試験センター	第一号 二	9
クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ(外使い・床合板30mm対応)	3.4		14A2961			
クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ(内使い)	3.3		14A2964			
クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ(内使い・床合板30mm対応)	3.4		14A2963			
クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ(外使い)	3.6	—	05A2772	(一財)建材試験センター	第一号 二	10
クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ(外使い・床合板28mm対応)	3.7		05A3199			
クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ(内使い)	3.5		06A3944			
クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ(内使い・床合板28mm対応)	3.6		06A3943			
2倍コンパクトボックス K-4(外使い)	3.1	—	04A2609	(一財)建材試験センター	第一号 二	11
2倍コンパクトボックス K-4(内使い)	3.5		05A2323			
チビクリ CK	3.6	0.67	15A2022	(一財)建材試験センター	第二号表三(ろ)	13
チビクリ(床合板30mm対応) CKG30	3.9	0.73	15A2023			
クリビスプレート KBPL	6.8	1.2	06A2584	(一財)建材試験センター	第二号表三(は)	15
クリビスプレートⅡ(壁合板9mm対応) KBPLⅡG9	5.3	1.0	HP13-KT097	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(は)	16
クリコーナーⅢ+ KCNⅢ+(床合板30mm対応)	7.4	1.3	10A3212	(一財)建材試験センター	第二号表三(は)	14
チビクリⅡ CKⅡ(中柱型)	5.3	1.0	08A1255	(一財)建材試験センター	第二号表三(は)	17
チビクリⅡ CKⅡ(隅柱型)	5.4	1.0	11A3179			
チビクリⅡ CKⅡ(床合板30mm対応) CKⅡG30(中柱型)	6.9	1.3	08A1816	(一財)建材試験センター	第二号表三(は)	18
チビクリⅡ CKⅡ(床合板30mm対応) CKⅡG30(隅柱型)	5.4	1.0	11A3180			
チビクリⅡ CKⅡ(枠材30mm対応) CKⅡW30	6.2	1.1	09A3213	(一財)建材試験センター	第二号表三(は)	25
クリコーナーⅢ+ KCNⅢ+	8.0	1.5	10A3211	(一財)建材試験センター	第二号表三(に)	14
クリ10スリムコーナーⅢ K10SⅢ(中柱型)	12.6	2.3	HP16-KT001	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(へ)	19
クリ10スリムコーナーⅢ K10SⅢ(隅柱型)	11.6	2.2	HP16-KT051			
クリ10スリムコーナーⅢ(床合板30mm対応) K10SⅢG30(中柱型)	12.5	2.3	HP16-KT002	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(へ)	20
クリ10スリムコーナーⅢ(床合板30mm対応) K10SⅢG30(隅柱型)	11.5	2.2	HP17-KT112			
クリ10スリムコーナーⅢ(枠材30mm対応) K10SⅢW30	11.8	2.2	HP18-KT010	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(へ)	26
棟梁羽子板Ⅲ M12	10.3	1.9	07A2362	(一財)建材試験センター	第二号表三(へ)	47
ビス止め棟梁羽子板Ⅱ M12	12.0	2.2	HP20-KT044	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(へ)	43
ビス止め万能羽子板Ⅱ M12	11.4	2.1	HP20-KT045	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(へ)	44
クリ10プレート K10PL(継手型)	11.2	2.1	HP12-KT060	ハウスプラス確認検査(株)	—	49
クリ10プレート K10PL(中柱型)	10.8	2.0	HP12-KT061		第二号表三(へ)	
クリ10プレート(両面使い) K10PL-2(継手型)	16.9	3.1	HP13-KT003	ハウスプラス確認検査(株)	—	50
クリ10プレート 2枚(並列使い・両面使い) K10PL-2(継手型)	23.9	4.5	HP19-KT092			
クリ10プレート 4枚(両面各2枚並列) K10PL-4(継手型)	40.7	7.6	HP20-KT092			
クリ10短ざく金物 KS10-300	12.0	2.2	06A3278	(一財)建材試験センター	第二号表三(へ)	51
クリ10短ざく金物(2枚使い) KS10-300-2	20.4	3.8	HP19-KT017	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(ち)	52
クリ15コーナー K15(中柱型)	17.8	3.3	HP14-KT026	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(と)	21
クリ15コーナー K15(隅柱型)	16.6	3.1	HP14-KT027			
クリ15コーナー(床合板30mm対応) K15G30(中柱型)	15.6	2.9	HP14-KT014	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(と)	22
クリ15コーナー(床合板30mm対応) K15G30(隅柱型)	17.3	3.2	HP14-KT015			
クリ15コーナー(枠材30mm対応) K15W30	16.9	3.1	HP14-KT107	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(と)	27
クリ20コーナー K20(中柱型)	20.0	3.7	HP17-KT110	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(ち)	23
クリ20コーナー K20(隅柱型)	20.0	3.7	HP17-KT176			
クリ20コーナー(床合板30mm対応) K20G30(中柱型)	23.0	4.3	HP17-KT113	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(ち)	24
クリ20コーナー(床合板30mm対応) K20G30(隅柱型)	22.6	4.2	HP17-KT175			
クリ20コーナー(枠材30mm対応) K20W30	20.1	3.7	HP19-KT080	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(ち)	28

商品名	耐力(kN)	接合部倍率(N値)	番号	試験機関	告示第1460号	掲載ページ
MKパイプホールダウン MK-PHD15	16.5	3.1	15-33-1	富山県林業技術センター	第二号表三(と)	39〜40
クリホールダウンⅢ15・20・25 KHDⅢ-15・20・25	25.8	4.8	07A0611	(一財)建材試験センター	第二号表三(り)	35
クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材30mm対応) KHDⅢ-15・20・25W30	25.2	4.7	08A1815	(一財)建材試験センター	第二号表三(り)	29
クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材45mm対応) KHDⅢ-15・20・25W45	26.1	4.9	09A1607	(一財)建材試験センター	第二号表三(り)	30
クリホールダウンⅢ15・20・25(枠材45×60mm対応) KHDⅢ-15・20・25W45×60	27.3	5.1	14A3599	(一財)建材試験センター	第二号表三(り)	31
MKパイプホールダウン MK-PHD30	31.3	5.9	15-33-2	富山県林業技術センター	第二号表三(ぬ)	39〜40
クリホールダウンⅢ30・35 KHDⅢ-30・35	37.4	7.0	07A0612	(一財)建材試験センター	第二号表三(ぬ)	36
クリホールダウンⅢ30・35(枠材45mm対応) KHDⅢ-30・35W45	36.0	6.7	09A1608	(一財)建材試験センター	第二号表三(ぬ)	32
クリホールダウンⅢ30・35(枠材45×60mm対応) KHDⅢ-30・35W45×60	36.3	6.8	14A3598	(一財)建材試験センター	第二号表三(ぬ)	33
クリホールダウンⅢ40 KHDⅢ-40	40.4	7.6	HP17-KT050	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(ぬ)	37
クリホールダウンⅢ40(枠材30mm対応) KHDⅢ-40W30	42.9	8.0	HP18-KT011	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(ぬ)	34
クリ高耐力ホールダウン68 KHD-68	68.5	12.9	HP21-KT124	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(ぬ)	38
あと施工クリホールダウン座金 KW19×70×104 ＋ クリホールダウンⅢ15・20・25 KHDⅢ-15・20・25	26.2	4.9	HP22-KT030	ハウスプラス確認検査(株)	第二号表三(り)	77
クリ高耐力座金(偏芯タイプ) KW16×95×120(すぎ105×150)	43.9	—	HP22-KT029	ハウスプラス確認検査(株)	—	80
クリ高耐力座金(偏芯タイプ) KW16×95×120(ひのき105×150)	68.7	—	HP22-KT028			
クリビス止め火打金物Ⅱ KHBⅡ	8.6(引張) 8.6(圧縮)	—	HP11-KT124	ハウスプラス確認検査(株)	—	48
クリ垂木止め金物 KT	1.4	—	HP評価(木)-20-004	ハウスプラス確認検査(株)	—	57
クリSW付角座金 KW4.5×40	—	—	HP15-KT048	ハウスプラス確認検査(株)	—	73
クリSW付丸座金 KW4.5×φ45	—	—	HP15-KT049			
クリカッターⅡ KCⅡ(すぎ樹種群)	7.2	—	A-001	(一財)建材試験センター	—	75
クリカッターⅡ KCⅡ(ひのき樹種群)	9.4	—	A-002			
クリカッターⅡ KCⅡ(べいまつ樹種群)	10.9	—	A-003			
クリカッター KC	6.6	—	HP13-KT129	ハウスプラス確認検査(株)	—	76
座金付ボルト(偏芯タイプ) M16W80×80(べいまつ)	36.4	—	HP11-KT004	ハウスプラス確認検査(株)	—	78
座金付ボルト(偏芯タイプ) M16W80×80(すぎ)	30.8	—	HP15-KT042			
座金付ボルト(偏芯タイプ) M16W90×100(べいまつ)	42.8	—	HP11-KT005			
座金付ボルト(偏芯タイプ) M16W90×100(すぎ)	32.4	—	HP15-KT041			
KDHアンカーボルト KDH・M16	—	—	11A0831	(一財)建材試験センター	—	59
クリ15kN柱受 寸胴型 100角(引張)	20.8	—	HP13-KT011	ハウスプラス確認検査(株)	—	65
クリ15kN柱受 寸胴型 100角(圧縮:短期)	82.5	—	HP13-KT007			
クリ15kN柱受 寸胴型 100角(圧縮:長期)	45.3	—	HP13-KT007			
クリ15kN柱受 寸胴型 100角(せん断)	16.3	—	HP13-KT009			
クリ15kN柱受 寸胴型 115角(引張)	21.7	—	HP13-KT012			
クリ15kN柱受 寸胴型 115角(圧縮:短期)	85.5	—	HP13-KT008			
クリ15kN柱受 寸胴型 115角(圧縮:長期)	47.0	—	HP13-KT008			
クリ15kN柱受 寸胴型 115角(せん断)	21.5	—	HP13-KT010			
2×4チビクリⅡ 2×4CKⅡ	6.3	—	10A3210	(一財)建材試験センター	—	89
2×4クリホールダウンⅢ15・20(2材) 2×4KHDⅢ-15・20-2	23.8	—	10A4411	(一財)建材試験センター	—	83
2×4クリホールダウンⅢ25・30(2材) 2×4KHDⅢ-25・30-2	30.7	—	10A4412	(一財)建材試験センター	—	84
2×4クリホールダウンⅢ15・20・25(3材) 2×4KHDⅢ-15・20・25-3	30.5	—	10A1493	(一財)建材試験センター	—	85
2×4クリホールダウンⅢ30・35(3材) 2×4KHDⅢ-30・35-3	38.9	—	10A1494	(一財)建材試験センター	—	86

同等認定金物 一覧表

商品名	対象製品	認定番号	告示第1460号	掲載ページ
棟梁羽子板Ⅱ M12	Z羽子板ボルト SB・E	D19A01-06	第二号表三(ほ)	41
万能羽子板Ⅱ M12	Z羽子板ボルト SB・E	D19A05-07	第二号表三(ほ)	42
棟梁羽子板 M12	Z羽子板ボルト SB・E2	D19A01-03	第二号表三(に)	45
万能羽子板 M12	Z羽子板ボルト SB・E	D19A01-05	第二号表三(ほ)	46
あおり止め金物 KTS	Cあおり止め金物 TS	D19A04-04	—	87
根太受け金物 KJH 204・206	C根太受け金物 JH 204・206	D19A04-05	—	88
根太受け金物 KJH 208・210	C根太受け金物 JH 208・210	D19A04-07	—	
フラットボルト FB-M12	Z六角ボルト M12	D19A04-02	—	82
クランクアンカーボルト ZAC-R	Zアンカーボルト M12	D19A01-02	—	63
クリアンカーボルト KA・M12	Zアンカーボルト M12	D19A04-08	—	61
クリアンカーボルト KA・M16	Zアンカーボルト M16	D19A04-10	—	
クリクランクアンカーボルト KZAC・M12	Zアンカーボルト M12	D19A04-09	—	62
クリクランクアンカーボルト KZAC・M16	Zアンカーボルト M16	D19A04-11	—	

認定機関：(公財)日本住宅・木材技術センター

商　品　名	耐 力（kN）		接合部倍率（N値）	認 定 番 号	告示第1460号	掲載ページ
フラットボルト FBC-M12	—	—	—	SB2-45A04-01	—	82

認定機関：(公財)日本住宅・木材技術センター

Zマーク表示金物の許容耐力表

名　称	記　号	短期許容耐力(kN)			接　合　具
		ベイマツ類※1	ヒノキ類※2	スギ類※3	
ひら金物	SM-12	1.7	1.5	1.3	太めくぎZN65(4本)
	SM-40	4.3	3.8	3.4	太めくぎZN65(12本)
ひねり金物	ST-9	1.7	1.5	1.3	太めくぎZN40(4本)
	ST-12	1.7	1.5	1.3	
	ST-15	2.5	2.3	2.0	太めくぎZN40(6本)
くら金物	SS	5.1	4.6	4.0	太めくぎZN40(7本)
羽子板ボルト	SB・F、SB・E	5.6	5.2	5.0	六角ボルトM12(1本)、スクリューくぎZS50(1本)
	SB・F2、SB・E2				六角ボルトM12(1本)
かど金物	CP・L	4.3	3.8	3.4	太めくぎZN65(10本)
	CP・T				
山形プレート	VP	5.0	4.5	3.9	太めくぎZN90(8本)
短ざく金物	S	5.6	5.2	5.0	六角ボルトM12(2本)、スクリューくぎZS50(3本)
かね折り金物	SA				六角ボルトM12(2本)、スクリューくぎZS50(2本)
かすがい	C-120	1.2	1.1	1.0	
	C-150				
手違いかすがい	CC-120				
	CC-150				
引き寄せ金物	HD-B10、S-HD10	11.3	10.4	10.0	六角ボルトM12(2本)又は ラグスクリューLS12(2本)
	HD-B15、S-HD15	17.0	15.6	15.0	六角ボルトM12(3本)又は ラグスクリューLS12(3本)
	HD-B20、S-HD20	22.7	20.8	20.0	六角ボルトM12(4本)又は ラグスクリューLS12(4本)
	HD-B25、S-HD25	28.4	26.0	25.0	六角ボルトM12(5本)又は ラグスクリューLS12(5本)
	HD-N5	7.5	6.8	5.8	太めくぎZN90(6本)
	HD-N10	12.6	11.4	9.8	太めくぎZN90(10本)
	HD-N15	20.1	18.2	15.6	太めくぎZN90(16本)
	HD-N20	22.6	20.5	17.6	太めくぎZN90(20本)
	HD-N25	29.4	26.6	22.9	太めくぎZN90(26本)

(注1)耐力の算出方法は、(一社)日本建築学会発行1988「木構造計算規準・同解説」による。
(注2)座金を使用する場合は、角座金W4.5×40以上とする。
(注3) ※1 ベイマツ類：ベイマツ、クロマツ、アカマツ、カラマツ、ツガ、リュウキュウマツ
※2 ヒノキ類：ヒノキ、ベイツガ、ベイヒ、ヒバ、モミ、アスナロ
※3 スギ類：スギ、ベイスギ、トドマツ、エゾマツ、ベニマツ、スプルース
これらの樹種分類は、密度ベースで整理した(一社)日本建築学会基準の趣旨を援用して整理している。

めり込み防止座金

(単位／kN)

名　称	記　号	種　別		樹種と部材					
				ベイマツ類※1		ヒノキ類※2		スギ類※3	
				土台	その他	土台	その他	土台	その他
めり込み防止座金	PW12(105×145)	長期	積雪時	56.16	53.54	48.67	46.40	37.44	35.69
			積雪以外		41.18		35.69		27.46
		短期	積雪時	74.88	59.90	64.90	51.92	49.92	39.94
			積雪以外		74.88		64.90		49.92
	PW12(120×160)	長期	積雪時	74.05	70.59	64.17	61.18	49.37	47.06
			積雪以外		54.30		47.06		36.20
		短期	積雪時	98.73	78.98	85.57	68.45	65.82	52.66
			積雪以外		98.73		85.57		65.82

(注1)耐力の算出方法は、(公財)日本住宅・木材技術センター発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2017年版)」による。
(注2) ※1 ベイマツ類：ベイマツ、クロマツ、アカマツ、カラマツ、ツガ、リュウキュウマツ
※2 ヒノキ類：ヒノキ、ベイツガ、ベイヒ、ヒバ、モミ、アスナロ
※3 スギ類：スギ、ベイスギ、トドマツ、エゾマツ、ベニマツ、スプルース
これらの樹種分類は、密度ベースで整理した(一社)日本建築学会基準の趣旨を援用して整理している。

アンカーボルト

名　称	記　号	円周の長さ(mm)	定着長さ(mm)	短期付着応力度(N/mm²)	短期付着耐力(kN)
アンカーボルト	M12※	10.7※×3.14	232	2.16	16.8
	M16	16×3.14	312		33.8

(注1)アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。
(注2)※アンカーボルトM12は有効径六角ボルト(JIS B 1180附属書JA:2014)が主流であることから、胴部径は10.7mmである。

筋かいプレート

名　称	記　号	耐力壁		接合具
		仕　様	壁倍率	
筋かいプレート	BP	30×90mm以上の木材	1.5	角根平頭ボルトM12(1本) 小型角座金W2.3×30(1枚) 太めくぎZN65(10本)
	BP-2	45×90mm以上の木材	2.0	角根平頭ボルトM12(1本) 小型角座金W2.3×30(1枚) スクリューくぎZS50(17本)
	BP-2FS			タッピンねじSTS・C45(10本)
	BP-3FS	90×90mm以上の木材	3.0	タッピンねじSTS・C65(13本)

火打金物

名　称	記　号	水平構面		接合具
		仕　様	存在床倍率	
火打金物	HB	平均負担面積2.5m²以下、 梁せい105mm以上の木材	0.5	平くぎZF55(6本) 小型角座金W2.3×30(2枚) 六角ボルトM12(2本) 角座金W4.5×40(2枚)
	HB・S			タッピンねじSTS・C65(12本)

接合具

(単位／kN)

名　称	記　号	樹種			主な用途等
		ベイマツ類※1	ヒノキ類※2	スギ類※3	
太めくぎ	ZN40	0.86	0.77	0.68	長期許容せん断耐力の値は、表値の1/2とする。 鋼板添え板のため、25%割増しによる数値とする。
	ZN65	0.86	0.77	0.68	
	ZN90	1.26	1.14	0.98	
スクリューくぎ	ZS50	1.48	1.34	1.17	
角座金	W4.5×40×φ14	9.60	8.32	6.40	めり込み耐力以下の引張りを受けるボルトM12用の座金
	W6.0×60×φ14	21.60	18.72	14.40	
	W9.0×80×φ18	38.40	33.28	25.60	めり込み耐力以下の引張りを受けるボルトM16用の座金
丸座金	RW6.0×68×φ14	21.77	18.87	14.51	めり込み耐力以下の引張りを受けるボルトM12用の座金
	RW9.0×90×φ18	38.14	33.06	25.43	めり込み耐力以下の引張りを受けるボルトM16用の座金
座金付きボルト	M16W	38.40	33.28	25.60	ホールダウン金物用の接合具
角座金	W6.0×54×φ18	—	—	—	HD-B、HD-Nの専用座金
小型角座金	W2.3×30×φ12.5	—	—	—	BP、BP-2の専用座金
ドリフトピン	DP12	—	—	—	HB及びTB-DPの専用接合具
タッピンねじ	STS・C	—	—	—	接合金物用の接合具
	STS・HC				
	HTS8・HC				

(注1)座金のめり込み耐力の算出方法は、国土交通省告示第1024号第1の1のイの規定によるとともに、
座面積の算出方法は、(公財)日本住宅・木材技術センター発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」による。
(注2)※1 ベイマツ類:ベイマツ、クロマツ、アカマツ、カラマツ、ツガ、リュウキュウマツ
※2 ヒノキ類:ヒノキ、ベイツガ、ベイヒ、ヒバ、モミ、アスナロ
※3 スギ類:スギ、ベイスギ、トドマツ、エゾマツ、ベニマツ、スプルース
これらの樹種分類は、密度ベースで整理した(一社)日本建築学会基準の趣旨を援用して整理している。

Cマーク表示金物の許容耐力表

名称	記号	短期許容耐力(kN)			接合具
		D.Fir-L ベイマツ類※1	Hem-Fir ヒノキ類※2	S.P.F スギ類※3	
柱脚金物	PB-33	11.3	10.4	10.0	六角ボルトM12(1本)
	PB-42	22.7	20.8	20.0	六角ボルトM12(2本)
柱頭金物	PC	10.3	9.3	8.1	太めくぎZN65(24本)
帯金物	S-45	2.5	2.3	2.0	太めくぎZN40(6本)
	S-50	5.1	4.6	4.0	太めくぎZN65(12本)
	S-65	5.1	4.6	4.0	太めくぎZN65(15本)
	S-90	5.1	4.6	4.0	太めくぎZN40(12本)
	SW-67	10.3	9.3	8.1	太めくぎZN65(26本)
ストラップアンカー	SA-65	10.3	9.3	8.1	太めくぎZN65(12本) 六角ボルトM8(1本)
あおり止め金物	TS	3.4	3.1	2.7	太めくぎZN40(8本)
	TW-23	4.3	3.8	3.3	太めくぎZN40(10本)
	TW-30				
かど金物	CP・L	4.3	3.8	3.4	太めくぎZN65(10本)
	CP・T				
引き寄せ金物	HD-B10	11.3	10.4	10.0	六角ボルトM12(2本)又は ラグスクリューLS12(2本)
	S-HD10				
	HD-B15	17.0	15.6	15.0	六角ボルトM12(3本)又は ラグスクリューLS12(3本)
	S-HD15				
	HD-B20	22.7	20.8	20.0	六角ボルトM12(4本)又は ラグスクリューLS12(4本)
	S-HD20				
	HD-B25	28.4	26.0	25.0	六角ボルトM12(5本)又は ラグスクリューLS12(5本)
	S-HD25				
	HD-N5	7.5	6.8	5.8	太めくぎZN90(6本)
	HD-N10	12.6	11.4	9.8	太めくぎZN90(10本)
	HD-N15	20.1	18.2	15.6	太めくぎZN90(16本)
	HD-N20	22.6	20.5	17.6	太めくぎZN90(20本)
	HD-N25	29.4	26.6	22.9	太めくぎZN90(26本)

(注1)耐力の算出方法は、(一社)日本建築学会発行1988「木構造計算規準・同解説」による。
(注2)PCは、2枚組で使用する値である。SA-65に使用する座金は、平座金W1.6×23とする。
(注3)SA-65以外の接合金物に座金を使用する場合は、角座金W4.5×40以上とする。
(注4)※1 ベイマツ類:ベイマツ、クロマツ、アカマツ、カラマツ、ツガ、リュウキュウマツ
※2 ヒノキ類:ヒノキ、ベイツガ、ベイヒ、ヒバ、モミ、アスナロ
※3 スギ類:スギ、ベイスギ、トドマツ、エゾマツ、ベニマツ、スプルース
これらの樹種分類は、密度ベースで整理した(一社)日本建築学会基準の趣旨を援用して整理している。

名称	記号	長期許容耐力(kN)			接合具
		D.Fir-L ベイマツ類※1	Hem-Fir ヒノキ類※2	S.P.F スギ類※3	
根太受け金物	JH-S204・206	3.4	3.1	2.7	端根太へ太めくぎZN40(8本) 根太へ太めくぎZN40(8本)
	JH204・206	2.5	2.3	2.0	端根太へ太めくぎZN40(6本) 根太へ太めくぎZN40(4本)
	JH2-204・2-206	2.5	2.3	2.0	端根太へ太めくぎZN65(6本) 根太へ太めくぎZN65(4本)
	JH208・210	3.4	3.1	2.7	端根太へ太めくぎZN65(8本) 根太へ太めくぎZN40(6本)
	JH212	4.3	3.8	3.3	端根太へ太めくぎZN65(10本) 根太へ太めくぎZN40(6本)
	JHS208・210R				
	JHS208・210L				
梁受け金物	BH2-208	4.3	3.8	3.3	受材へ太めくぎZN65(10本) 梁へ太めくぎZN65(6本)
	BH2-210				
	BH2-212	7.5	6.8	5.8	受材へ太めくぎZN90(12本) 梁へ太めくぎZN65(6本)
	BH3-208	8.7	7.9	6.8	受材へ太めくぎZN90(14本) 梁へ太めくぎZN90(6本)
	BH3-210				
	BH3-212	10.0	9.1	7.8	受材へ太めくぎZN90(16本) 梁へ太めくぎZN90(6本)
	BH4-208	8.7	7.9	6.8	受材へ太めくぎZN90(14本) 梁へ太めくぎZN90(6本)
	BH4-210				

名　称	記　号	長期許容耐力(kN)			接　合　具
		D.Fir-L ベイマツ類※1	Hem-Fir ヒノキ類※2	S.P.F スギ類※3	
梁受け金物	BH4-212	10.0	9.1	7.8	受材へ太めくぎZN90(16本) 梁へ太めくぎZN90(6本)
	BHS2-210R BHS2-210L	5.1	4.6	4.0	受材へ太めくぎZN65(12本) 梁へ太めくぎZN65(4本)
まぐさ受け金物	LH204	2.5	2.3	2.0	たて枠へ太めくぎZN65(6本) まぐさへ太めくぎZN65(2本)
	LH206	4.3	3.8	3.3	たて枠へ太めくぎZN65(10本) まぐさへ太めくぎZN65(2本)

(注1)耐力の算出方法は、(一社)日本建築学会発行1988「木構造計算規準・同解説」による。
(注2)JH-S 204・206は、2枚組で使用する値である。
(注3)※1 ベイマツ類:ベイマツ、クロマツ、アカマツ、カラマツ、ツガ、リュウキュウマツ
※2 ヒノキ類:ヒノキ、ベイツガ、ベイヒ、ヒバ、モミ、アスナロ
※3 スギ類:スギ、ベイスギ、トドマツ、エゾマツ、ベニマツ、スプルース
これらの樹種分類は、密度ベースで整理した一般社団法人日本建築学会基準の趣旨を援用して整理している。

アンカーボルト

名　称	記　号	円周の長さ(mm)	定着長さ(mm)	短期付着応力度(N/mm²)	短期付着耐力(kN)
アンカーボルト	M12※	10.7※×3.14	232	2.16	16.8
	M16	16×3.14	312		33.8

(注1)アンカーボルトの短期付着応力度の算出方法は、国土交通省告示第1024号第1第十五号の規定による。なお、コンクリートの設計基準強度は、18N/mm²としている。
(注2)※アンカーボルトM12は有効径六角ボルト(JIS B 1180附属書JA:2014)が主流であることから、胴部径は10.7mmである。

接合具

(単位／kN)

名　称	記　号	樹　種			主な用途等
		D.Fir-L ベイマツ類※1	Hem-Fir ヒノキ類※2	S.P.F スギ類※3	
太めくぎ	ZN40	0.86	0.77	0.68	長期許容せん断耐力の値は、表値の1/2とする。鋼板添え板のため、25%割増しによる数値とする。
	ZN65	0.86	0.77	0.68	
	ZN90	1.26	1.14	0.98	
	ZN80	1.96	1.77	1.54	
スクリューくぎ	ZS50	1.48	1.34	1.17	
角座金	W4.5×40×φ14	9.60	8.32	6.40	めり込み耐力以下の引張りを受けるボルトM12用の座金
	W6.0×60×φ14	21.60	18.72	14.40	
	W9.0×80×φ18	38.40	33.28	25.60	めり込み耐力以下の引張りを受けるボルトM16用の座金
	W6.0×54×φ18	—	—	—	HD-B、HD-Nの専用座金
丸座金	RW6.0×68×φ14	21.77	18.87	14.51	めり込み耐力以下の引張りを受けるボルトM12用の座金
	RW9.0×90×φ18	38.14	33.06	25.43	めり込み耐力以下の引張りを受けるボルトM16用の座金
	RW6.0×40×φ17	—	—	—	HD-Sの専用座金
座金付きボルト	M16W	38.40	33.28	25.60	ホールダウン金物用の接合具
平座金	W1.6×23×φ9	—	—	—	SAの専用座金

(注1)座金のめり込み耐力の算出方法は、国土交通省告示第1024号第1の1のイの規定によるとともに、座面積の算出方法は、(公財)日本住宅・木材技術センター発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」による。
(注2)太めくぎ及びスクリューくぎの耐力は、枠組材と接合具を直接接合した場合の耐力である。
(注3)※1 ベイマツ類:ベイマツ、クロマツ、アカマツ、カラマツ、ツガ、リュウキュウマツ
※2 ヒノキ類:ヒノキ、ベイツガ、ベイヒ、ヒバ、モミ、アスナロ
※3 スギ類:スギ、ベイスギ、トドマツ、エゾマツ、ベニマツ、スプルース
これらの樹種分類は、密度ベースで整理した(一社)日本建築学会基準の趣旨を援用して整理している。

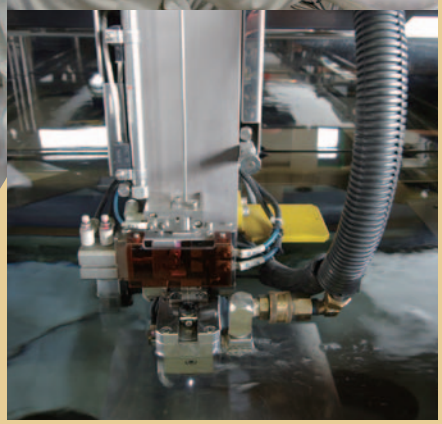
夢を語る

私たちは、木造建築の未来について夢を語り合っています。
今すぐに実現でき無くとも、いつか実現できる日が来ると信じ、
そして、製品開発の第一歩となることを信じて、真剣に語り合います。

夢を夢で終わらせないために…。







「金物・ビス・木」—3つの力がつりあう時、仕口の強度は最大になる











金物・ビス・木の３つの能力を最大限に引き出す為に
日々実験を行い、バランスの取れた製品作りを
目指しています。

信頼される製品作り

私たちのつくる建築金物は、
構造体をしっかりと繋ぎ・締め・受けとめ・そして支える
重要な役割を果たしています。
私たちは、安心してお使いいただける
高品質・高性能な製品づくりをめざして、
製品はもとより、ビスも検査・テストを行っています。
そして、お客様の声に耳を傾けながら、
常に信頼される製品づくりに邁進しております。

信頼される製品作りのために…。

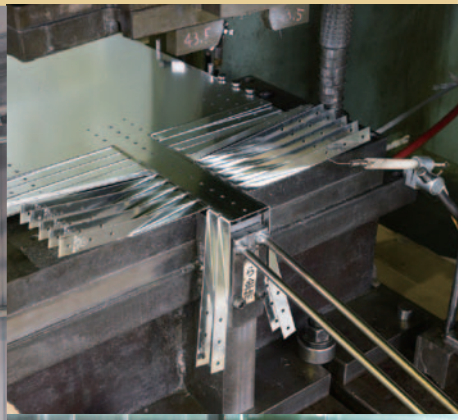






高品質の製品は最新の機械だけが造るのではなく、人が造るもの。











Hyakuzoの金物は機械ではなく、人によって
造りだされます。最新の機械だけでは
高品質の製品はできません。
優れたエンジニアが、精密な機械を自分の
体の一部のように使いこなしてこそ良い製品は生まれるのです。
「企業は人である」の言葉通り、優秀な人材の育成が
企業にとって最も大切な仕事です。
私たちは、これまで培ってきた、知恵と技術で高品質・高性能の
製品を造り続けてまいります。

情報を正確に伝える

当社では、お客様に必要な情報を最適の方法で、
わかりやすくお伝えできるよう各種情報サービスにも
力を入れております。
「インターネット・ホームページ」
「総合カタログ・DM およびパンフレット」
「製品取付サンプル」等で製品のあらゆる
情報をいち早くお届けし、
幅広くご利用頂いております。

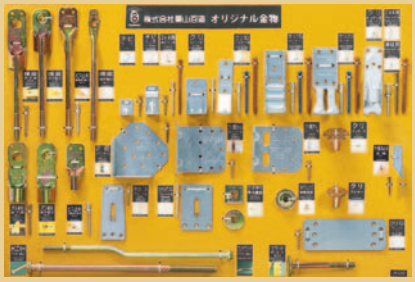
http://www.hyakuzo.co.jp

ホームページでは製品のご紹介・金物の選び方などを掲載しております。
又、カタログ・認定書・報告書のダウンロードもできます。















サポート

効率の良い施工とコストダウンをアシストします。

施工物件に必要な計算表及び金物をセットにしてお届けします。

「どこに金物をつければいいのか分からない」「金物を選ぶことが面倒で手間がかかる」「使用する金物を統一化したい」というお客様の声を受け、当社では適切な金物の種類・取り付け箇所を知っていただき、安全な建築物を建てていただくため、さまざまなサポートを実施しております。

〈例〉

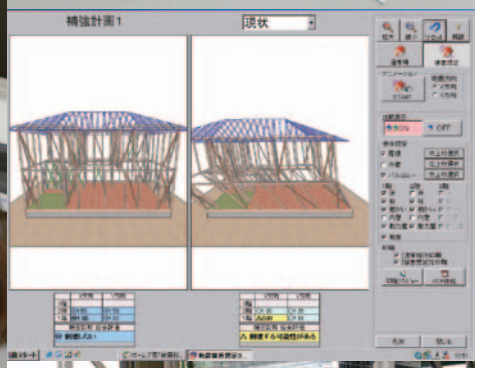
- N値計算ソフトによる使用金物の算定及び
  算定結果を基にした金物数量表・配置伏図・計算表の作成
- 壁量、偏芯率の計算による建築基準法での適合性の算定
- 金物のピッキング、配送

※その他ご要望により、さまざまなサポートを行いますので、ご相談ください。













明治元年 鉄を叩くことから始まった。

沿　革

1868年（明治元年）	農業の副業として和釘・太鼓鋲等、製造販売 事業主：栗山百造
1951年　1月	戦後機械等を導入し本格的に建築金具を製造。 金属雑貨の仕入も含製造販売 （該当業種：建築ボルト、建築金具）
1961年 10月（昭和36年）	新潟県三条市仲之町において 株式会社栗山百造（金属製品製造業）を創立する。 資本金500万円 初代・代表取締役社長 栗山啓次郎
1965年　4月	三条市林町一丁目に工場建設移転開設
1969年　2月	就任・代表取締役社長 栗山丈作
1974年　5月	資本金、1,000万円に増資する。
1981年　1月（昭和56年）	木造住宅用優良接合金物 Zマークの 表示・承認工場に認定される。
1991年　8月	三条市大島工業団地、進出決定により 協同組合大島工業団地に加入。
1992年 10月（平成 4年）	三条市井戸場（大島工業団地）に、新社屋完成。 資本金4,000万円に増資する。
1992年 11月	三条市井戸場84-9 新社屋に事業所・本社を全面移転開設操業する。
1995年　8月	就任・代表取締役社長 栗山政衛
2001年 11月	ホームページ開設
2006年　4月	大阪出張所開設
2007年　2月	試験棟完成、試験設備の充実をはかる。
2009年　8月	就任・代表取締役社長 栗山百次郎
2010年　8月	関東営業所開設 大阪出張所を関西営業所に名称変更
2012年　2月	C.I.計画キックオフ
2013年 11月	関西営業所移転・物流センター併設
2014年　5月	関東営業所移転
2015年　4月	就任・代表取締役社長 栗山政義
2016年　5月	関東営業所移転・物流センター併設
2016年 11月	第二工場溶接部門稼働
2017年 10月	新倉庫完成

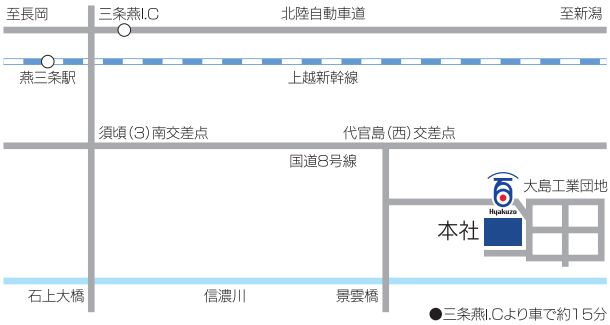




会社概要

商　　号	株式会社栗山百造
本社所在地	〒955-0096 新潟県三条市井戸場84-9
	TEL. 0256-32-0371(代)　FAX. 0256-33-8280
関東営業所	〒339-0073 埼玉県さいたま市岩槻区上野5丁目2-7
	TEL. 048-876-8942　FAX. 048-876-8943
関西営業所	〒577-0044 大阪府東大阪市西堤学園町2丁目5-13
	TEL. 06-6781-8005　FAX. 06-6781-8070
創　　立	昭和36年10月13日
資 本 金	4,000万円
役　　員	代表取締役社長　栗 山 政 義
	専 務 取 締 役　永 井　 馨
従業員数	52名

●本　社



●三条燕I.Cより車で約15分
●燕三条駅より車で約15分



本社
工場



倉庫









関東営業所　関西営業所

●関東営業所



●東武野田線東岩槻駅より車で約5分
●東北自動車道岩槻I.Cより車で約15分

●関西営業所



●大阪地下鉄中央線高井田駅・JRおおさか東線高井田中央駅
近鉄奈良線河内小阪駅より徒歩約20分
●阪神高速東大阪線高井田インターより車で約10分


Hyakuzo
We want to get the trust



信頼の種 飛ばしたい…

外壁や床材などと違って、普段はけっして目に触れることのない建築金物。
しかし、長期間にわたっての木造建築を内側から支えてゆくという、その役割は重要です。
長い年月を経てなお、歪みのないしっかりとした構造体を保つこと、
そして安全に作業が進められて効率が良いこと、
建築金物は耐久性・安全性・作業効率に於いて最良の製品でなければなりません。
私たちは（公財）日本住宅・木材技術センターが認定する
Zマーク・Cマーク表示金物および同等認定・性能認定金物を数多く製造してまいりました。

私たちは、変化する時代の要求に応え、
木造建築の未来を考えながら常に新製品の開発に取り組んでいます。
厳しい試験を繰り返し行い改良を加え、施工される方々に信頼して使っていただけると、
自信を持てる製品だけを提供させていただいております。

「お客様へ、またその先のお客様へ」と
「信頼」という大切な種を飛ばし続けたいと思っています。

索　引

あ

あおり止め金物 KTS ---- 87
あおり止め金物 TS ---- 118
あおり止め金物 TW ---- 118
アゴ付梁受け・大引き受け金物 ---- 54
東羽子板ボルト ---- 127
あと施工クリホールダウン座金 KW19×70×104 ---- 77
アンカーボルト M12 ---- 112
アンカーボルト M16 ---- 106

え

MKパイプホールダウン MK-PHD15-105/15-120/30-105/30-120 --- 39～40

お

帯金物 S ---- 118

か

角座金 W4.5×40 ---- 116
角座金 W6.0×54 ---- 116
角座金 W6.0×60 ---- 116
角座金 W9.0×80 ---- 116
角根平頭ボルト M12 ---- 115
囲い金具 ---- 124
かすがい C ---- 116
かど金物 CP・L ---- 113
かど金物 CP・T ---- 113
かね折り金物 SA ---- 109

き

キソパッキンロング ---- 71
気密パッキンロング ---- 71

く

くら金物 SS ---- 110
クランクアンカーボルト ZAC-R ---- 63
クリアンカーボルト KA・M12 ---- 61
クリアンカーボルト KA・M16 ---- 61
クリSW付角座金 KW4.5×40 ---- 73
クリSW付丸座金 KW4.5×φ45 ---- 73
クリ大引き受け金物 KO 105 ---- 55
クリ大引き受け金物 KO 120 ---- 56
クリカッター M12専用ビット ---- 97
クリカッター M16専用ビット ---- 97
クリカッター KC ---- 76
クリカッターⅡ KCⅡ ---- 75
クリクランクアンカーボルト KZAC・M12 ---- 62
クリクランクアンカーボルト KZAC・M16 ---- 62
クリクリップ KP ---- 90
クリ高耐力アンカーボルト KAH・M16 ---- 60
クリ高耐力座金 KW16×95×122 ---- 79
クリ高耐力座金（偏芯タイプ） KW16×95×120 ---- 80
クリ高耐力両ねじボルト KRH・M16 ---- 81
クリ高耐力ホールダウン68 KHD-68 ---- 38
クリコーナーⅢ+ KCNⅢ+ ---- 14
クリ皿ビス 5.5×45 ---- 95
クリジャッキ KJU ---- 68
クリ15kN柱受 寸胴型 ---- 65
クリ15コーナー K15 ---- 21
クリ15コーナー（床合板30mm対応） K15G30 ---- 22
クリ15コーナー（枠材30mm対応） K15W30 ---- 27

く

クリ筋かいストッパーⅡ KSPⅡ ---- 10
クリ筋かいストッパーⅢ KSPⅢ ---- 9
クリスパイラルビス 7×65 ---- 95
クリ垂木止め金物 KT ---- 57
グリッパー ---- 64
クリ10スリムコーナーⅢ K10SⅢ ---- 19
クリ10スリムコーナーⅢ（床合板30mm対応） K10SⅢG30 ---- 20
クリ10スリムコーナーⅢ（枠材30mm対応） K10SⅢW30 ---- 26
クリ10短ざく金物 KS10-300 ---- 51
クリ10短ざく金物（2枚使い） KS10-300 ---- 52
クリ10プレート K10PL ---- 49
クリ10プレート（数枚使い） K10PL ---- 50
クリ鍋ビス 7×90（S50） ---- 95
クリ鍋ビス 7×120 ---- 96
クリ20コーナー K20 ---- 23
クリ20コーナー K20（床合板30mm対応） K20G30 ---- 24
クリ20コーナー K20（枠材30mm対応） K20W30 ---- 28
クリ梁受け金物 KH 105/90/45 ---- 53
クリビス止め火打金物Ⅱ KHBⅡ ---- 48
クリビスプレート KBPL ---- 15
クリビスプレートⅡ（壁合板9mm対応） KBPLⅡG9 ---- 16
クリ平頭ビス 5×45 ---- 95
クリ平頭ビス 5×75 ---- 95
クリ平頭ビス 5×120 ---- 95
クリホールダウンⅢ15・20・25 KHDⅢ-15・20・25 ---- 35
クリホールダウンⅢ15・20・25（枠材30mm対応） KHDⅢ-15・20・25W30 --- 29
クリホールダウンⅢ15・20・25（枠材45mm対応） KHDⅢ-15・20・25W45 --- 30
クリホールダウンⅢ15・20・25（枠材45×60mm対応） KHDⅢ-15・20・25W45×60 --- 31
クリホールダウンⅢ30・35 KHDⅢ-30・35 ---- 36
クリホールダウンⅢ30・35（枠材45mm対応） KHDⅢ-30・35W45 --- 32
クリホールダウンⅢ30・35（枠材45×60mm対応） KHDⅢ-30・35W45×60 --- 33
クリホールダウンⅢ40 KHDⅢ-40 ---- 37
クリホールダウンⅢ40（枠材30mm対応） KHDⅢ-40W30 ---- 34
クリ六角頭ビス 7×90 ---- 96
クリ六角頭ビス 7×120 ---- 96

け

化粧金物 ---- 92
KDHアンカーボルト KDH・M16 ---- 59
兼用羽子板 ---- 127

こ

小型角座金 W2.3×30 ---- 116
コボット ---- 91
コーチスクリュー 6×65 ---- 96

さ

座金付きボルト M16W ---- 107
座金付ボルト（偏芯タイプ） M16W ---- 78

し

四角穴付きタッピンねじ STS6.5・F ---- 111
四角ビット ＃3×80 ---- 96
遮熱・透湿・防水シート ---- 93
シージングクリップ SC ---- 121

す

スクリューくぎ ZS ---- 115
筋かいプレート BP ---- 114
筋かいプレート BP-2 ---- 114
ストラップアンカー SA ---- 118

た
タイトニック(耐震座金) 74
高ナット M12×50 97
高ナット M16×50 97
タルキックⅡ 58
短ざく金物 S 108

ち
チビクリ CK 13
チビクリ(床合板30mm対応) CKG30 13
チビクリⅡ CKⅡ 17
チビクリⅡ(床合板30mm対応) CKⅡG30 18
チビクリⅡ(枠材30mm対応) CKⅡW30 25
柱脚金物 GL-PB 117
柱脚金物 PB-33 117
柱脚金物 PB-42 117
柱頭金物 GL-PC 118
柱頭金物 PC 117

つ
2×4クリホールダウンⅢ15・20(2材) 2×4KHDⅢ-15・20-2 83
2×4クリホールダウンⅢ15・20・25(3材) 2×4KHDⅢ-15・20・25-3 85
2×4クリホールダウンⅢ25・30(2材) 2×4KHDⅢ-25・30-2 84
2×4クリホールダウンⅢ30・35(3材) 2×4KHDⅢ-30・35-3 86
2×4チビクリⅡ 2×4CKⅡ 89
ツライチくん 12

て
手違いかすがい CC 116
デッキコネクター 123

と
透湿・防水シート 93
棟梁羽子板 M12 45
棟梁羽子板Ⅱ M12 41
棟梁羽子板Ⅲ M12 47
土木特殊金物 127

に
2倍コンパクトボックス K-4 11

ね
根太受け金物 JH 119
根太受け金物 JHS 119
根太受け金物 JH-S 119
根太受け金物 KJH 88

は
パイプガード PG 121
パクトナット NS-M12b 97
パクトナット NS-M16b 97
羽子板ボルト SB・E 111
羽子板ボルト SB・E2 111
羽子板ボルト SB・F 111
羽子板ボルト SB・F2 111
柱受 カップ型(釘タイプ) 67
柱受 寸胴型・カップ型(ボルトタイプ) 66
梁受け金物 BH 120
梁受け金物 BHS 120
万能羽子板 M12 46
万能羽子板Ⅱ M12 42
パイプガード PG 121

ひ
火打金物 HB 112
ビス止め棟梁羽子板Ⅱ M12 43
ビス止め万能羽子板Ⅱ M12 44
ひねり金物 ST 110
ひら金物 SM-12 109
ひら金物 SM-40 109
平くぎ ZF 115

ふ
太めくぎ ZN 115
フラットボルト FB-M12 82
フラットボルト FBC-M12 82

ほ
防水気密テープ 94
防水水切りシート 94
防虫グリル 70
ホールダウン金物 HD-B 105
ホールダウン金物 HD-N 105
ホールダウン金物 S-HD 106

ま
まぐさ受け金物 LH 121
丸座金 RW6.0×68 116
丸座金 RW9.0×90 116
丸座金 W4.5×φ45 116

め
メッキ短ざく金物 127
メッキ箱金金物 127
めり込み防止座金 PW12 72・108

や
山形プレート VP 113

ゆ
床合板養生シート 93
雪止め金物 125

り
両ねじボルト M16 107
リレベル 70

る
ルーフスペーサー 94

ろ
六角ソケット 8mm 97
六角ボルト M12 115
六角ボルト M16 115

わ
YR束 69

は、同等・性能認定金物　は、品質性能試験金物　は、Zマーク表示金物　は、Cマーク表示金物

建築金物・金属製品　製造販売

株式会社栗山百造

本　　社　〒955-0096 新潟県三条市井戸場84-9
tel. 0256-32-0371(代)　fax. 0256-33-8280
関東営業所　〒339-0073 埼玉県さいたま市岩槻区上野5丁目2-7
tel. 048-876-8942　fax. 048-876-8943
関西営業所　〒577-0044 大阪府東大阪市西堤学園町2丁目5-13
tel. 06-6781-8005　fax. 06-6781-8070

URL　http://www.hyakuzo.co.jp

■このカタログに掲載されている商品の仕様は、改良のため予告なしに変更する場合があります。

22.10.21